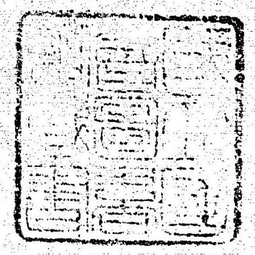
臨時假名遣調査委員會議事速記錄

文部省

811.56R59zM



国立国会
29. 2.15
参考調

219543

目次

臨時假名遣調査委員會經過……一頁
臨時假名遣調査委員會官制……一
委員長、委員、主事及書記任命……一
開會ノ月日……一
牧野文部大臣演說筆記……二
假名遣諮問案……一一
假名遣諮問案理由書……一一
臨時假名遣調査委員會議事速記錄第一回……一
臨時假名遣調査委員會議事速記錄第二回……七
臨時假名遣調査委員會議事速記錄第三回……五
臨時假名遣調査委員會議事速記錄第四回……一九
臨時假名遣調査委員會議事速記錄第五回……二九
附錄……六一
……九五
……一二三

臨時假名遣調査委員會議事速記錄人名索引

文部大臣男爵牧野伸顯君　頁

第二回　三三……三四……三五……三七……三九

第五回　一二三……一二四

委員長男爵菊池大麓君

第一回　一……二……一四……二七

第二回　二九……三六……四九……五〇……五九

第三回　六一……八一……九四

第四回　九五……九六……一二〇……一二一

第五回　一二三……一二九……一三〇……一三五……一六一

委員子爵曾我祐準君

第一回　二三……二四……二五　二七

第二回　三八　三九……四九……五〇

第四回　一一二……一一三……一二一

第五回　一二三……一二四

委員男爵松平正直君

第二回　三二……三四

委員淺田德則君

第二回　四八……四九

委員子爵岡部長職君

第二回　四四

委員矢野文雄君

第三回　七八……八一

委員森林太郎君

第三回　九四

第四回　九六……一一二……一一三

委員岡野敬次郎君

第一回　一五……一九……二四……二六

第二回　三九……四一……四二……四三……四四……五〇

委員伊知地彥次郎君

第五回　一二七

委員伊澤修二君

第一回　一四……一五……二〇……二一……二三……二七

第二回　三二……三四……三五……三六……三八……四九
第三回　六二……八一……九三……九四
第四回　九五……一一三……一二〇……一二一
第五回　一三五
委員芳賀矢一君
第一回　二一
第三回　八一……九二……九三……九四
第四回　一一二……一二〇
委員藤岡好古君
第三回　六三
第五回　一二三……一三〇
委員大槻文彦君
第二回　五〇
第四回　一二〇……一二一
第五回　一二三
委員江原素六君
第二回　四五……四七
委員三宅雄二郎君
第三回　九二……九三
番外渡部董之介君
第一回　二……一四……一五……一八……一九……二〇……二二……二三……二四……二五
第二回　二九……三二……三七……三八……四〇……四二……四四……四五……四六……四七……四八……四九……五〇
第三回　六一……六二
第四回　九五

臨時假名遣調査委員會經過

明治四十一年五月二十三日臨時假名遣調査委員會官制公布左ノ如シ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年五月二十五日委員長、委員、主事及書記任命左ノ如シ

勅令第百三十六號（明治四十一年五月二十五日官報）

臨時假名遣調査委員會委員長被仰付（内閣）

内閣總理大臣　侯爵　西園寺公望

文部大臣　男爵　牧野伸顯

臨時假名遣調査委員會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治四十一年五月二十三日

内閣總理大臣　侯爵　西園寺公望

文部大臣　男爵　牧野伸顯

第一條　臨時假名遣調査委員會ハ文部大臣ノ監督ニ屬シ國語及字音ノ假名遣ニ關スル事項ヲ調査ス

第二條　臨時假名遣調査委員會ハ委員長一人及委員二十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長及委員ハ文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第三條　臨時假名遣調査委員會ニ主事一人ヲ置キ文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

主事ハ委員長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第四條　臨時假名遣調査委員會ニ書記二人ヲ置キ文部省判任官中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

從三位勳二等理學博士　男爵　菊池大麓

正三位勳一等　子爵　曾我祐準

正三位勳一等　男爵　松平正直

正三位勳一等　淺田德則

從三位勳二等　小牧昌業

從三位勳三等理學博士　山川健次郎

從三位勳四等　子爵　岡部長職

正四位勳三等　矢野文雄

從四位勳二等功三級醫學博士　森林太郎

從四位勳二等法學博士　岡野敬次郎

從四位勳二等　小松謙次郎

從四位勳三等文學博士　井上哲次郎

從四位勳四等文學博士　上田萬年

正五位勳三等功三級　伊知地彦次郎

正五位勳四等　伊澤修二

正五位　德富猪一郎

正五位勳四等　横井時雄
正五位文學博士　芳賀矢一
從五位　松村茂助
正六位勳四等　島田三郎
從六位　藤岡好古
從七位文學博士　大槻文彦
勳四等　江原素六
鎌田榮吉
文學博士　三宅雄次郎
臨時假名遣調查委員會委員被仰付（內閣）
從五位勳五等　渡部董之介
臨時假名遣調查委員會主事被仰付（內閣）
文部屬　板根友敬
同　土館長言
臨時假名遣調查委員會書記ヲ命ス（文部省）

明治四十一年五月二十八日

正五位勳四等　肥塚龍
臨時假名遣調查委員會委員被仰付（內閣）

明治四十一年五月二十八日文部大臣ヨリ假名遣ニ關スル諸問案交付

明治四十一年五月二十九日文部大臣委員長及委員ヲ官邸ニ招集諮問事項ノ大要演說アリ委員長挨拶ノ後會場ヲ文部大臣官邸會日ヲ每週金曜日ト定ム

明治四十一年六月一日議案說明ノ爲メ文部書記官渡部董之介ヲ出席セシムル旨通牒アリ

明治四十一年六月五日第一回委員會開會

明治四十一年六月十二日第二回委員會開會

明治四十一年六月十九日第三回委員會開會

明治四十一年六月二十六日第四回委員會開會

明治四十一年七月三日第五回委員會開會

明治四十一年七月十日以後休會

明治四十一年九月五日諮問案撤回ノ旨文部大臣ヨリ達セラル

明治四十一年五月二十九日臨時假名遣調查委員會委員長及委員文部大臣官邸ニ參集ノ際ニ於ケル牧野文部大臣ノ演說筆記

假名遣ノ問題ハ其性質學問上ニ渉リ又國民全體ノ日用文ニモ直接關係ヲ有シテ居ルカラ之ヲ解決スルノハ隨分困難ナ事デアリマス、ソレユエ當局者ハ更ニ廣ク有識ノ方々ノ審查ヲ請

ヒタイト切望致シマシタ結果御多忙ナル諸君ニ其ノ委員ヲ御依頼致シマシタ所幸ヒ御承諾下サレ貴重ノ時間ヲ割イテ今日御出席下サレ又今後モ必要ニ應ジ御臨席下サルコトハ深ク感謝致ス所デアリマス

就キマシテハ今日ハ諸君ノ御審查ヲ願フベキ原案並ニ參考トナルベキ關係書類ヲ御配付致シマスルニ付何卒御持歸リノ上篤ト御熟讀アランコトヲ願ツテ置キマス、コレヨリ本官ハ何故ニ假名遣問題ガ起リ之ガ解決ニ迫ツタカトイフ事情ニ付テ要領ヲ摘ンデ申述ベテ置キタイト思ヒマス

抑モ假名遣問題ノ起リマシタノハ維新ノ結果トシテ百般ノ制度文物革新致シマシテ敎育法モ大ニ變更セラレタ際ニ胚胎シタモノト存ジマス、從來ハ就學ノ始カラ直チニ漢字ヲ敎フルノガ慣例デ字音モ字訓モ假名ヲ借ラズ、直チニ其漢字ヲ見テ之ガ發音ノ暗誦ヲサセマシタ、ソレデスカラ書クトキハ漢字ガ主トナリ假名ハ客トナツテ字音モ字訓モ漢字ニ隱レテ居ツタタメニ假名遣法ガ餘リ問題ニナラナカツタノデアリマス、然ルニ現行敎育法デハ初年級ノモノハスベテ假名ニ依ツテ之ヲ書キ現ハスコトニナツテ居リマスカラ假名遣ガ小學敎育ノ初年ニ於テ非常ニ大切ナモノニナツタノデアリマス、トコロガ從來敎科書ニ用ヒテ來タ假名遣ハ歷史的ノモノデ通常ノ人ニハ頗ル六ケ敷イ物デアルノデ、之ヲ精確ニ學習サセルコトハ中々容易デナイ、殊ニ一方ニハ困難ナ漢字ヲ學年ノ進ムト共ニ學バナケレバナラヌノデ、兒童ノ負擔ハ實ニ重イノデアリマスル、又學年ガ進ムニ從テ學科ガ段々增加スル許デアリマスカラ國語國文ヲ學習スルノ困難ト學科ニ對スル負擔トハ益々兒童ニ重荷ヲ課スルコトニナリマス、我邦兒童ガ國語國文ヲ習得スルノ困難ハ慨カニ他國ノ兒童ガ彼ノ國語國文ヲ學習スルヨリ數倍デアルコトハ爭フベカラザル事實デ他ノ國民ニ對シ誠ニ不幸ノ位地ニ居ルモノト言ツテ宜シイノデアリマス、敎育當事者ハ乃チ敎育事業ノ改良手段ノ一トシテ遂ニ明治三十三年小學校令施行規則制定ノ場合ニ假名遣上最モ困難トスル字音ニ關シテ改正ヲ加ヘ學習上簡便ニ致シマシタ、是ハ諸君ガ既ニ御承知ノ現行ノ字音假名遣デアリマス、敎育家及兒童ハ之ガ爲メニ便益ヲ感ジタコトガ少小デナカツタト確信シテ居リマス、爾來敎育者間ノ希望トシテ國語ノ假名遣モ字音假名遣ト同一ノ主義デ改正ヲ加ヘラレタイ、字音假名遣ト國語假名遣ト其用法ニ於テ嚴格ナ區別ヲ書スルコトハ小學兒童ニ於テハ頗ル困難デアルカラ尙進ンデ國語假名遣ニ關シテモ相當ノ改正ヲ加ヘラレタイト云フ聲ガ高クナツテ參リマシタ、殊ニ國定敎科書修正調查ノ爲メ關係ノ學者敎育家ヲ以テ組織シタ敎科書調查委員會ニ於テモ假名遣ノ統一改正ヲ急務ト認メ案ヲ具シテ報告シテ參リマシタ、明治三十八年ノ春

高等教育會議及國語調査委員會ニ諮問シテ審議ヲ求メマシタノハ即チ右ノ案デアリマシタ、然ルニ當時高等教育會議ニ於テハ本件ハ重要ノ問題デアルカラ猶十分講究ノ必要ガアル依テ他日ヲ俟テ更ニ諮問アランコトヲ望ムト云フ議決ヲ致シマシタ、其後國語調査委員會ニ於テハ該案ニ付愼重ナ調査ヲ致シマシテ同三十八年十一月詳細ナル案ヲ具シテ答申ヲ差出シマシタ、ソコデ文部省ハ三十九年十二月開會ノ高等教育會議ヲシテ更ニ右ノ案ヲ審議サセマシタトコロ同會ハ直チニ之ヲ可決シタノデアリマス、是等諸會議ノ意見ハ固ヨリ本大臣ノ敬重スル所デアリマスガ之ガ實行ノ責ニ任ズルニ先チ尙一層ノ研究ヲ要スルトコロガアルトイフコトヲ認メマシタ、而シテ又昨四十年三月貴族院カラ假名遣改正ニ關スル建議ガ出マシタカラ其ノ趣旨ヲモ參案シテ考慮致シマシタ結果、本省主務課ニ更ニ起案ヲ命ジマシタ其案ハ即チ今回諸君ニ廻付シタモノデゴザイマス、本案ハ假名遣上口語ト文語トノ區別ヲ廢シ、或ハ社會ノ慣用ニアマリ遠ザカラナイ樣ニ注意ヲ加ヘマシタ、且又先ニ字音假名遣ヲ改正シタ結果國語ノ假名遣モ自然之ニ倣フ樣ニナリマシテ、現ニ小中學ノ生徒ハ字音ト國語トノ區別ヲ嚴重ニ辨別致シマセヌ——相當教育アル人々モ之ヲ區別スルニ困難ヲ感ズル場合ガ少クアリマセヌ——ソレデ其學習シタ字音ノ新假名遣法ハ比較的簡易デアリマスカラ改正ハ單ニ字音ニ限ツタノニ拘ラズ之ヲ推シテ國語假名遣ニモ應用スル樣ニナツタモノモ頗ル多イノデアリマス、例ヘバ國語ノ葬ヲ「ホームル」ト書クノハ其一例デアリマス、依テ本省ハ此等ノ事情ニ顧ミマシテ今ニ於テ之ヲ統一シ整理スルニアラザレバ本邦ノ國文ハ一層ノ混亂ヲ來タスノハ明白ナ道理デアリマスカラ、此際此案ノ如ク字音假名遣法ト國語假名遣法トヲ出來得ルダケ統一シ、(改正ノ區域ハ可成之ヲ減少シ、)之ニ依テ國語教育ノ困難ヲ除キ其發達ノ便ヲ計ランコトヲ主眼ト致シマシタ、夫レカラ今一ツ說明シテ置ク必要ガアルト思フ點ハ、此案ノ緒言ニ此假名遣ハ國定教科書ヲ編纂スル場合ニ之ヲ用フルコトヲ許容ストアルコトニツイテデアリマス、乃チ許容ハ讀ンデソノ字ノ如クデアリマシテ、將來スベテ此新假名遣法ニ一定シテシマツテ在來ノモノハ之ヲ全廢スルト云フ意味デハアリマセヌ、敎科書ニ之ヲ用ヒテモ差支ガナイト云フノデアリマシテ、在來ノモノハ勿論歷史的ノモノトシテ之ヲ存置スルノデアリマス、此許容ト云フコトニハ已ニ先例ガアリマシテ先年文法上許容スベキ事項ヲ定メタコトガアリマス、夫レハ古來ノ用例ニ照シテ正確ニ論ズル時ハ文法上ノ誤謬ト見ルベキモノデモ慣習久シキニ及ンデ居ルモノハ之ヲ咎メナイト云フノデアリマス、此文法上ノ許容事項ハ目下行ハレツツアルノデアリマシテ今度ノ許容ト云フノモ實ハ之ト同樣ノ意味デアリマス、而シテ原案ノ新假名遣ハ甚ダ簡單デアリマスルシ、世間デ通常人ノ用フル所ト甚ダ近イモノト信ジマスルカラ之ヲ學ブニハ別段骨ノ折レルコトハナイト存ジマス

又假名遣ト發音トヲ成ルベク一致サセル大體ノ精神ニ至ツテハ先キノ國語調査委員會ノ案ト其趣旨相戾ルコトハアリマセヌ抑モ假名遣ノ問題ハ前ニ述ベマシタ通リ普通教育上ノ利害カラ起ツタモノデアリマスルシ小學校デハ假名ヲ多ク使用シテ國語ヲ敎授スルノデアリマスカラ國定敎科書修正ノ事業ニハ直接ノ關係ガアル譯デアリマス、ソレ故明治四十二年度ノ始カラ使用スベキ修正敎科書ノ編纂ニツイテハ本問題ヲ豫メ決定シテ置クコトガ先決ノ順序デアリマス、假名遣問題ノ起原沿革等ハ以上ノ如クデアリマスガ尙ホ承ハリマスレバ假名ガ時代ニヨリ人ニヨリ隨分勝手ニ用ヒラレタ樣子ハ古書ニ例證ガ澤山アルト申シマスガ此邊ノコトハ私ハ能ク心得テ居リマセヌ、唯今日ハ六百萬ノ兒童ニ義務敎育ガ負ハセテアリマシテ其國民敎育ノ成績如何ニ依テ各國トノ競爭上帝國ノ位置ヲ維持スルト云フ歷史上未曾有ノ時運デアリマス、ソレユエ苟モ國家的觀念ノ養成ニ妨ゲザル限リハ聊カデモ其負擔ヲ輕減シ敎育ノ實質ヲ進メ現代ハ勿論永久ニ國民ヲシテ其便益ニ浴セシメ國家ノ進運ニ貢獻サセタイト云フ精神カラ此問題ヲ解決シヨウトシタノデアリマスカラ願ハクハ諸君之ヲ諒察セラレテ愼重審議以テ速ニ何分ノ答申アランコトヲ希望致シマス

申發圖二三號

臨時假名遣調査委員會

別紙假名遣ノ件ニ關シ其ノ會ノ意見ヲ問フ

明治四十一年五月二十八日

文部大臣 男爵 牧野伸顯

假名遣ノ件

緒言

一本案ノ假名遣ハ文部省ニ於ケル敎科書檢定及ヒ編纂ノ場合ニ之ヲ許容スルモノトス

二本案ノ實行ト同時ニ明治三十三年文部省令第十四號小學校令施行規則第二號表ヲ廢ス

第一章　字音假名遣ニ關スル事項

舊假名遣	新假名遣	舊假名遣	新假名遣	舊假名遣	新假名遣
ゐ	い	なふ	なう	ひやう	ひょう
ゑ	え	はふ	はう	びやう	びょう
を	お	ばふ	ばう	べう	べう
くゎ	け	ぱふ	ぱう	ぴやう	ぴょう
ぐゎ	げ	ぼう	ぼう	ぺう	ぺう
あふ	おう	まう	まう	みやう	みょう
わう		もう	もう	めう	めう
をう	おう	ゆう	ゆう	りやう	りょう
かふ	こう	いう	いう	れう	れう
こふ	こう	ふ	ふ	れふ	りょう
くわう	こう	やう	ようう	きう	きう
がふ	ごう	えう	えう	ぎう	ぎう
ごふ	ごう	らう	らう	しう	しう
ぐわう	ごう	らふ	ろう	じう	じう
さふ	そう	きやう	きょう	ちう	ちう
ざふ	ぞう	けふ	きょう	ぢう	ぢう
たふ	とう	ぎやう	ぎょう	にう	にう
だふ	どう	げふ	ぎょう	りう	りう
		しやう	しょう	あん	あん
		せふ	しょう		
		じやう	じょう		
		ぜう	じょう		
		ちやう	ちょう		
		てう	ちょう		
		ぢやう	ぢょう		
		てふ	ちょう		
		ねふ	にょう		

（其他語尾ノ撥音ニむんヲ區別スルモノ皆之ニ準ス）

第二章　國語假名遣ニ關スル事項

一。ゐ、ゑ、をノ假名ニハい、え、おノ假名ヲ用フ但シ動詞ノ活用ヨリ起ルゐ、ゑ及ヒ豆爾遠波ノをヲ除ク又ゑふ(酔)ノゑニハよヲ用フ

例

いのしし(猪)　こえ(聲)　おけ(桶)

但書ノ例

ひきゐる(率)　うゑ(植)

二。わ、い、う、え、おト發音スルは、ひ、ふ、へ、ほノ假名ニハわ、い、う、え、おノ假名ヲ用ヒおト發音スルふノ假名ニハおノ假名ヲ用フ但シ左ノ場合ヲ除ク

(1)豆爾遠波ノは及ヒ豆爾遠波ノ關係竝ニ動詞ノ活用ヨリ起ルは

(2)動詞ノ活用ヨリ起ルひ

(3)動詞ノ活用ヨリ起ルふ

(4)豆爾遠波ノへ、さへ、及ヒ豆爾遠波ノ關係竝ニ動詞ノ活用ヨリ起ルへ

(5)副詞なほノほ

例

いわ(岩)　うぐいす(鶯)　あやうし(危)

いえ(家)　かお(顔)　たおす(倒)

但書ノ例

もしくは(若)　あらは(洗)

あらひ(洗)

あらふ(洗)

あまつさへ(剩)　あらへ(洗)

三。阿列ノ假名ニふ、うガ附キ又ハ於列ノ假名ニほガ附キテ於列ノ長音ニ發音スルモノハ於列ノ假名ニうヲ附ス但シ左ノ場合ヲ除ク

(1)動詞ノ活用ヨリ起リ阿列於列ノ假名ニふノ附ク場合

(2)動詞形容詞ノ語尾ノ音便ニ依リ阿列ノ假名ニうノ附ク場合

(3)動詞ヲ口語ニテ未來ニ用フルニ依リ阿列ノ假名ニうノ附ク場合

例

おうぎ(扇)　こうがい(笄)

おうかみ(狼)

但書ノ例

あたふ(與)　とふ(問)

かうて(買)　あかう(赤)

いのらう(將祈)

四。字音ヲ假リテ國音ヲ表記シタルモノノ變化セシモノ及ヒ

素ト字音ニシテ國音ノ例ニ依リテ變化セシモノハ前諸項ノ例ニ依ル

例

あわ（阿波）　まさいちわ（薪一把）

理由書

假名遣ノ法則中學習上困難ナルモノヲ簡約ニシテ國語教育ノ發達ヲ圖ルカ爲明治三十三年文部省令第十四號小學校令施行規則第二號表ヲ以テ其最モ複雜ナル字音假名遣ヲ改正ヲ加ヘタリ例ヘハ均シク「コー」ト發音スル假名遣ニ「カウ」（校）、「カフ」（甲）、「コウ」（公）、「コフ」（劫）等ノ別アリシモ之ヲ止メテ「コー」ニ一定シ又均シク「ホー」ト發音スル假名遣ニ「ハウ」（方）、「ハフ」「ホフ」（法）、「ホウ」（奉）ノ別アリシモ之ヲ止メテ「ホー」ニ一定シタルノ類ナリ然ルニ爾來教育ノ實驗ニ依レハ兒童ニ於テ字音ト國語トヲ區別スルコト困難ナルカ爲ニ知ラス識ラス字音ノ表記法ヲ國語ニ及ホシ例ヘハ「カウモリ」（蝙蝠）ノ「カウ」、「ハウムル」（葬）ノ「ハウ」ノ如キハ字音ニアラサルニ拘ラス之ヲ字音ノ「コー」「ホー」ト同視シテ「コーモリ」「ホームル」等ノ如ク表記スルノ混雜ヲ生シタリ加之國語假名遣ニ於テモ「カハ」（川）、「ウグヒス」（鶯）、「アヤフシ」（危）、「イヘ」（家）、「カホ」（顏）等ノ「ハ」ヒ」「フ」「ヘ」「ホ」又ハ「アフギ」（扇）、「タウゲ」（峠）等ノ「アフ」「タウ」ノ如ク發音ニ一致セサル假名遣ヲ存カラス之カ學習ノ困難ナル字音假名遣ニ讓ラサルモノアリ依テ國語假名遣モ亦字音假名遣改定ト同一ノ趣旨ヲ以テ速ニ之ヲ整理スルノ必要ヲ認メ同時ニ曩ニ定メタル字音假名遣ニモ統一上更ニ多少ノ變更ヲ施スヲ可トシタリ

前記小學校令施行規則第二號表ノ字音假名遣ハ之カ實行ヲ小學教育上ニノミ限リ中等教育ニ於テハ依然舊來ノ假名遣ヲ強テ學習セシメタルモ假名遣ノ如キハ教育ノ階級ニ依リテ截然限界ヲ畫スヘキニアラス加之何レノ階級ノ教育ニ於テモ舊假名遣ヲ株守シ又ハ新假名遣ヲ強制スルコトナク新舊竝行セシメ自然ノ淘汰ニ一任スルヲ可トス依テ本案ノ假名遣ハ曩ニ定メタル文法上許容スヘキ事項ト均シク諸教科書ノ檢定又ハ編纂ノ場合ニ關シ廣ク之ヲ應用セントス

臨時假名遣調査委員會 議事速記錄（第一回）

明治四十一年六月五日（金曜日）午後二時十分開議

委員席次

一番	子爵 曾我祐準	十七番	横井時雄
二番	男爵 松平正直	十八番	文學博士 芳賀矢一
三番	淺田德則	十九番	松村茂助
四番	小牧昌業	二十番	島田三郎
五番	理學博士 山川健次郎	二十一番	藤岡好古
六番	子爵 岡部長職	二十二番	文學博士 大槻文彥
七番	矢野文雄	二十三番	江原素六
八番	醫學博士 森林太郎	二十四番	鎌田榮吉
九番	法學博士 岡野敬次郎	二十五番	文學博士 三宅雄次郎
十番	小松謙次郎		
十一番	文學博士 井上哲次郎		
十二番	文學博士 上田萬年		
十三番	伊知地彥次郎		
十四番	伊澤修二		
十五番	肥塚龍		
十六番	德富猪一郎		

○委員長（男爵菊池大麓君）　ソレデハ唯今カラ開會致シマス、此席次ハ別ニ抽籤スルデモアリマスマイト思ヒマシテ官報ノ順ニ依ツテ番號ヲ極メマシタカラシテドウカ左樣御承知ヲ願ヒマス、――ソレカラ先日御廻シヲシテ置キマシタ議事規則ニ就イテ御意見ガアリマスナラバ先ヅ此議事規則ヲ極メテカラ議事ヲ開キマス、之ニ就イテ御意見ガゴザイマスレバ唯今御申出ニナルヤウニ……

臨時假名遣調査委員會會議略則

第一條　會議ハ普通一般ノ規則ニ從ヒ疑義アルトキハ委員

長ノ見解ニ依ル

第二條　委員長事故アリ缺席スルトキハ委員長ヨリ委員ノ一人ニ代理ヲ囑託ス

第三條　委員事故アリ缺席スルトキ意見ヲ具シテ提出スルコトヲ得但決議ノ數ニ加ラス

○委員長（男爵菊池大麓君）議事規則ニ就イテハ別ニ御意見ガ無イト看做シテ差支ゴザイマセヌカ、――然ラバ確定ト看做シマス――文部大臣カラシテ通牒ガアリマスカラチョット朗讀シマス

議案說明ノ爲メ當省ヨリ文部書記官渡部董之介ヲ出席致サセ候條此段及通牒候也

明治四十一年六月一日　文部大臣　男爵　牧野伸顯

臨時假名遣調査委員會委員長

理學博士　男爵　菊池大麓殿

○委員長（男爵菊池大麓君）諸君ニ御諮リシマスガ、先ヅ最初渡部書記官ヨリ一應說明ヲ聽イタ方ガ一番議事ノ進行ノ爲メニ宜カラウト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

（「同感々々」又「至極結構デゴザイマス」ト呼ブ者アリ）

○番外（渡部董之介君）チョット說明ヲ致シマス、此案ニ就キマシテハ先日ノ御會合ノ節大臣カラ大體ノ御說明ガアリマシタカラ大體ハ無論アレデ御分リニナッテ居ルコトト信ジマスガ、尙ホモウ少シ立入リマシテ私ハ起案者ノコトデアリマスカラ說明ヲ致シタナラバ御參考ニナラウカト思ヒマスガ、稍々詳シク申述ベマシテ尙ホ足ラヌ所ハ御質問等ニ應ジテ申述ベル積リデアリマス、デ此案ハ明治三十三年ニ文部省令ヲ以テ發布セラレマシタルトコロノ小學校令施行規則第二號表ト云フモノ、ソレカラ明治三十八年ノ春ノ高等教育會議ト國語調査會ヘ諮問ニナリマシタトコロノ諮問案、是レハ御手許ヘ差出シテ置キマシタモノデアリマス、ソレカラ其諮問案ニ對シマシテ國語調査委員會ニ於テ御評議ニナッテ答申ニナッタトコロノ案、是レモ御手許ヘ參考トシテ廻シテ置キマシタ、是等ノ案ト同樣ノ精神ヲ有ッテ居リマス、大體ノ精神ガ同ジデアリマス、ト申シマスルノハ今日甚ダ複雜デアルトコロノ歷史的ノ假名遣ノ代リニ成ルベク當代ノ發音ニ一致シタトコロノ假名遣ヲ用ヰタイト云フ精神デアリマス、其點ハ從來ノ案ト同ジデアリマス、唯異ッテ居リマスル點ハドウ云フノカト申シマスルト細カイコトハ澤山アリマスガ、主モナル點ガ二ツアルノデアリマス、其一ツハ此案ノ假名ハ新シクナッテ居リマスルトコロノ假名ノ範圍ハ前ノ案ノ範圍ヨリモ縮小シテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此案ハ許容ト云フ形式ニナッテ居リマス、即チ新シイ假名遣ヲ以テ直チニ舊イ假名遣ニ置換ヘルト云フ譯デナクシテ舊イ假名遣ト此案ノ新假名遣ト二ツナガラ竝ビ行ハシメルト云フ精神デアリマス、此二ツガ最モ大イナル相違デアリマス、ソレデ其二ツヲ順次說明致シマセウ

第一ニ新假名ノ範圍ガ縮ッテ居ルト云フコトヲ申述ベマス、假名ノ用キ方ニシテ今ノ發音ニ一致シナイトコロノモノガアル、ソレガ起リデ斯ウ云フ調ガ出來マスルノデアリマスガ其一致シナイ假名遣ニ就イテ考ヘテ見マスルト大要二ツノ區別ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、一ツハ今日ノ一般ノ國民ノ注意ヲ惹イテ居ル、一般國民ノ意識ニ入ッテ居ルモノトデモ申シマセウカ、其一般國民ノ意識ニ入ッテ居ルモノト又他ノ一ツハ一般ノ國民ノ意識ニ入ッテ居ラヌモノト此二ツガアルヤウデアリマス、ソレデ此案ハ國民ノ意識ニ入ッテ居ルトコロノ假名遣ハソレハ先ヅ其儘ニシテ置イテ手ヲ着ケマセヌ、唯國民ノ意識ニ入ッテ居ラヌモノト認メマスルトコロノモノヲ新ニスル方針ヲ執ッタノデアリマス、彼ノ豆爾遠波ノ中ノ或種類、「何ハ」トカ「何ヘ」トカノ「ハ」「ヘ」デアリマス、或ハ動詞ノ活用カラ起ッテ參リマスルトコロノ「洗ハム」トカ「洗ヒ」トカ「洗フ」トカ「洗ヘ」トカ「ハ」「ヒ」「フ」「ヘ」トナッテ活用シテ參リマス「ハ行」ノ動詞並ニ動詞又ハ形容詞ノ語尾ノ音便ト云フモノガゴザイマス、例ヘバ「行カム」――「行カム」ト云フノハ口語デ「行カウ」トナリマス、其時ハ「ユカウ」ト書クコトニナリマス、又「トラム」ト云フノハ口語デ働キマスルトキハ「何ヲ取ラウ」トナル、ソレヲ「取ラウ」ト書ク、「取ロウ」ト云フノデナシニ「取ラウ」ト書クノガ是レマデノ規則デアリマス、又「木ノ葉ガ赤ウ見エル」ト形容詞ノ語尾ノ音便デ言フノデアリマス、語尾ノ「赤ク」ト云フ「ク」ガ「ウ」ニナッテ「赤ウ」トナリマス、又「物ガ無クナル」、矢張形容詞デアリマスルガ、其語尾ノ「ク」ノトコロガ音便ノ爲ニ「ウ」ニナッテ「無ウナル」ト書ク、ソレガ普通ノ規則デアリマスガ、サウ云フ所ハ一般ノ國民ノ意識ニ入ッテ居ルモノデアル、普通ノ教育ヲ受ケタトコロノ者ハソレヲ使ッテ參リマス上ニ於テ之レヲ誤マラヌコトガ出來ルノデアリマス、尤モ教育ノ無イ者ハソレハ間違ヘマスケレドモ一通リ教育ノアル者ナラバソレ位ノ規則ハ其人ノ意識ニ入ッテ居ルノデアリマス、所ガ字音假名遣ノヤウナモノデアリマス、ソレハ字音假名遣例ト云フモノヲ崑崙版ニシテ御參考ニ廻シマシタ、アレニアリマスルトコロノ區別ノヤウナモノハ非常ニムヅカシイ、マタ國語ノ假名遣デアリマスガ、ソレハ理由書ニモチョット出シテ置キマシタガ、（川）ト云フノハ「カハ」ト書カナケレバナラヌ、（蕊）ト云フノハ「ウグヒス」ト書カナケレバナラヌ、（危）ヲ「アヤフシ」ト書カナケレバナラヌ、（家）ト云フノハ「イヘ」ト書カネバナラヌ、（顏）ト云フノハ「カホ」ト書カナケレバナラヌト

ノ方カラ考ヘマスト云フヤウナ所ヲ改メタイト云フノガ此案ノ精神ノ一ツデアリマス、デ明治二十八年ノ諮問案即チ高等教育會議ト國語調査委員會ヘ提出セラレマシタ國語調査委員會ガ妥協シテ出來タ案ヲ更ニ國語調査委員會ノ案並ニ國語調査會ノ案ヲ參酌シテ今申上ゲマシタ國語調査會ノ案ヲ作リマシタ、ソレガ即チ今ノ國語調査委員會ノ案デアリマス、ソレデ此案ハ從來ノ案ニ比ベマスト餘程改良ノ跡ガ見エマス、ソレハ第一ニ假名遣ノ種類ヲ減ジタ點デアリマス、從來ノ假名遣ハ一ツノ音ニ對シテ數種ノ假名ヲ用ヒテ居リマシタガ、此案ニハ一ツノ音ニ對シテ一ツノ假名ヲ用ヒルコトニシタノデアリマス、ソレカラ第二ニハ從來ノ假名遣ハ發音ト符合シナイ點ガ多クアリマシタガ、此案ニハ成ルベク發音ト符合スルヤウニ改メタノデアリマス、ソレカラ第三ニハ從來ノ假名遣ハ語原ニ基イテ定メテアリマシタガ、此案ニハ語原ヲ顧ミズ單ニ發音ノミニ從ヒ假名ヲ用ヒルコトニシタノデアリマス、ソレカラ第四ニハ從來ノ假名遣ハ一ツノ語ニ對シテ數種ノ書キ方ヲ許シテ居リマシタガ、此案ニハ一ツノ語ニ對シテ一ツノ書キ方ヲ定メタノデアリマス、ソレカラ第五ニハ從來ノ假名遣ハ漢字ト假名ト混合シテ用ヒル場合ニ於テモ勿論關係ガ無イヤウニ見エルノデアリマス、普通ノ假名ノ部分ニ表ハレルトコロノ假名ハ變ヘナイデ漢字ニ於テモ最モ關係ガ無イヤウニ見エルノデアリマス、サウシテ假名ノ部分ニ表ハレルトコロノ假名ハ變ヘナイデ漢字ニ於テモ最モ關係ガ無イヤウニ見エルノデアリマス、普通ノ

ワ」、「ガ」ト「グヮ」トノ區別ヲ全廢致シテ居リマス、又「ジ」ト「ヂ」、「ズ」ト「ヅ」ノ區別モ、（字音ニ就イテ申上ゲルノデアリマスガ）明治三十八年春ノ諮問案ニ於キマシテハ之レヲ全廢致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ國語調査委員會ノ答申ハドウカト言ヒマスト其點ニ就キマシテハ或特別ノ文字、「智」「茶」「中」、「通」、「地」、「治」其六字ヲ除キマシテハ總テ廢シタノデアリマス、所ガ此案ニ於キマシテハ夫等ノ點ニ講究ヲ致シマシタル結果、或地方ノ發音ニハ未ダ斯ウ云フヤウナ音ガ、東京ニコソナイガ、或地方ノ發音ニハ尚ホ斯ウ云フ區別ヲ存シテ居ルト云フ所ガアリマスルカラ先ヅ之レニ觸レナイコトニ致シタノデアリマス、是レハ此案ノ表ニナイノデアリマスルカラ舊來ノ區別ノ通リ區別ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、又國語ニ於キマスルトコロノ「ジ」ト「ヂ」、「ズ」ト「ヅ」ノ區別、ソレハ從來ノ案デハドウナッテ居ルカト申シマスルト明治三十八年ノ諮問案及ビ國語調査委員會ノ答申モ何レモ或取除ケヲ以テ之レヲ廢シタノデアリマス、ソレハ二語連合ノ音便、二ツノ語ガ連合シタ場合ニ起ルトコロノ音便、幷ニ同ジ音ノ連呼ニ依ッテ生ジタル場合ノ「ジ」「ヂ」、「ズ」「ヅ」、是等ハ從來ノ通リ區別ヲシナケレバナラヌガ、其他ハ廢スルコトニナッテ居リマス、併ナガラ此案ニ於キマシテハ「ジヂ」「ズヅ」ハ如何ナル場合ニ於テモ一切之レヲ新ニスルコトヲ避ケタノデアリマス、是レモ第二章ノ方ニ少シモ見エヌノデアリマス、見エヌノハ即チ舊來ノ通リ「ジ」ト「ヂ」ヲ區別スル精神デアリマス、總テ此案ハ列記法ノ積リデアリマス、此處ニ書イテアルノハ變ヘル、唯類推ヲ以テ之レヲ他ノ假名ニ及ボスコトハシナイ積リデアリマス、總テ以上申シ述ベマシタ理由ニヨリマシテ新シイ假名ノ範圍ト云フモノガ此案ニ於キマシテハ前ノ案ヨリハ著シク縮少致シマシタ、普通ノ漢字混リノ文章ニ於テ此新シイ假名ヲ使ッテドウナルカト申シマシタナラバ普通ノ吾々ガ書キマスルトコロノ漢字混リ文ニ於テハ殆ド影響ガナイノデアリマス、御承知ノ通リニ明治十五年ニ下シ給ハリマシタルトコロノ軍人訓戒ノ勅諭ト云フモノガアリマス、アノ勅諭ハ他ノ勅語等トハ違ッテ居リマシテ餘程倭言葉、純粹ノ日本語ガ澤山ニ御用キニナッテ先ヅ日本的トデモ申シマセウカ、漢文的デナシニ日本的ノ文章ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ隨分長イモノデ十行二十字ニデモ書キマシタナラバ十四五頁モアラウカト云フ隨分長イモノデアリマス、彼ノ勅諭ニ假名デ書イテアル所ニ此假名遣ヲ當嵌メタナラバドウカト思ッテ調ベテ見マシタガ、サウシタレバ唯二字ダケ違フノデアリマス、ソレハドウ云フノカト申シマスルト、「祖宗ノ恩ニ報イマヰラスル事」ト云フ句ガ彼ノ勅諭ノ中ニアリマス、所ガ「報イマヰラス

ル」ト云フ「マヰラスル」ト云フ字ガ「參」ノ字デナシニ「マ井」ト假名デ書イテアリマス、其「井」ガ此案ノ假名トハ違フノデアリマス、此案ノ假名デハ「イ」ヲ用井ルノデアリマスガ其處ガ違ヒマス、モウ一ツハ「如何ナル嘉言モ善行モ皆ウハヘノ裝飾ニテ何ノ用ニカハ立ツベキ」ト云フ句ガアリマス、此「ウハヘ」ト云フ字モ矢張假名デ表ハレテ居リマス、ソレガ歷史的ニ正シイノデアリマス、所ガ此案デハ「ハ」ト云フノハ國民ノ意識ニ入ラヌ假名トシテ新ニナルコトニナッテ居リマスルカラ、「ワ」「井」「ウ」「エ」「ヲ」ノ「ワ」ヲ書クコトニナリマス、其ニツダケガ違フヤウデアルノデアリマス、之レヲ以テモ此案ハ普通ノ漢字混リ文ヲ吾々ノヤウナ大人ガ書キマスル上ニ於テハ何ノ影響ヲモ起サヌ、少シモ普通ノ慣例ニ背イタヤウナ感ヲ起スヤウナ場合ガナイト云フコトガ御分リニナルダラウト思フノデアリマス

ソレカラ第二ニ違ッテ居リマスル主ナル點、即チ此案ハ許容ト云フ形ヲ踏ンダノデアリマス、此許容ト申シマスルコトハ今ガ初メデナイノデアリマス、是レモ大臣ノ演說ニモアリマシタガ、「文法上許容スベキ事項」ト云フモノヲ出シタコトガアリマス、是モ御手許ヘ出シテ置キマシタ參考書ノ中ニアルノデアリマスガ、彼ノ時ニ許容ノ例ガ開ケテ居ルノデアリマス、丁度此假名遣ノ問題ニ關シテ矢張彼ノ例ヲ踏ンダ方ガ宜カラウト云フ許容ニ由リマシタノデアリマス、此許容ト云フ事ニ就イテハ餘程論ガアリ得ルカト思ヒマスル、チヨット其精神ヲ解リ易クスル爲メニ或ハ卑近ナ——餘リ卑近デハアルカモ知レマセヌガ例ヲ以テ申上ゲテ見ヨウト思ヒマスルガ、丁度甲ト云フ或土地ガアル、ソレカラ乙ト云フ地ヘ參リマス場合ガアルト假定メタラ宜カラウト思ヒマス、其時ニ昔カラ一ツノ舊道ガアッタ、所ガ其道ガ嶮シク致シマシテ通行スルニ不便デアル、ソレデ何時ノ間ニヤラ別ニ新道ガ脇ヘ出來マシテ人ガ通ルヤウニナッタ、自然ニサウ云フ道ガ開拓セラレマシタ、其時ニ當局者ガ此新道ハ非常ニ便利デアル、衆人ガ之レニ由ルトコロカラ其新道ヲ公ノ道路ニ組入レルト云フコトニ想像シテ見タイト思フノデアリマス、其場合ニ特別ノ理由ガアリマシタナラバ格別デアリマスルガ、サウデナカッタナラバ別ニ舊道ヲ步クコトヲ禁ズルニ及ブマイト思フノデアリマス、特別ノ理由ガアリマスルナラバ新道ノミ通ラセテ舊道ヲ通ルコトハ禁ジタ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、サウデナイ以上ハ新舊兩道、何レヲ通ッテモ宜イト云フコトニシテ宜カラウト思ヒマス、即チ優勝劣敗ニ依ッテ或ハ舊道ノ方ヲ通ルコトガ少クナッテサウシテ其道ガ大イニ荒廢スルカモ知レマセヌ、ソレハ仕方ガナイノデアリマセウ、併ナガラ舊道ヲ殊更ニ禁ズル必要ハ無論ナイノデアリマス、ソレデ此舊假

名遣ニ對シテ新シイ假名遣ヲ許容致シマスルノハ丁度舊道ニ對シテ自然ニ起リマシタルトコロノ新道ヲ認メル、公認ノ道路ト認メル關係ニ能ク似テ居ルカド私ハ思フノデアリマス、素ヨリ舊道デナケレバナラヌ、或ハ舊假名遣デナケレバナラヌト云フコトデアリマスルナラバ何處マデモ新道、新假名遣ヲ撲滅スルノデアリマスガ、サウデナイ以上ハ別ニ舊假名遣、即チ衆人ニ不便ナ假名遣ヲ墨守スルニモ及ブマイト考ヘマシテ新假名遣ヲ公認スルノデアリマスカラ舊イ假名遣ヲ使フト云フコトヲ別ニ禁ズルニモ及ブマイ、自然ノ勢ニ任セテ置イタナラバ宜カラウト云フ考デアルノデアリマス、ソレカラ其新假名遣ガ公認セラレマシタル以上ハ、一般ノ人ガ矢張教科書デモ拵ヘル人ハ皆ソレヲ歩イテ宜イカ、世間ノ文學ニ係ハル人ハソレハ無論勝手次第デ舊道ヲ歩カウトモ新道ヲ歩カウトモ勝手次第、其通リ教科書等ヲ書キマスル者ハ無論差支ナイト云フコトニ致シマス、ノミナラズ文部ノ當局者ト雖モ矢張從來ノ歷史的ノ假名遣ノ束縛ヲ今日マデ受ケテ居ッタノデアリマスガ一度許容ノ方ガ出マシタル以上ハ教育上ノ便利ノ上ヨリ致シマシテ其新シイ假名遣ヲ使用シタイト云フ見込デアリマス、即チ此新シイ假名遣ニ據ッテ教科書ヲ書クト云フコトニ致シタイ、民間カラ出マスルトコロノ教科書デアリマスナラバソレハドチラデモ宜シウゴザイマスガ、教育ノ便利ヲ計ッテ國語ヲ發展セシメタイト云フ考ヨリ殊ニ教科書ヲ自ラ書キマスルノデアリマスルカラ新シイ假名遣ヲ用ヰル積リナノデアリマス、或ハ許容ト申シマスルト即チ許スト云フノデアルカラ別ニ正シイ道ガアルノデアラウ、ソレナラバ正シイ道ヲ踏ンデ矢張教科書ヲ書イタラ宜カラウト云フヤウナ御論モアルカトモ思ヒマスルガ、是レハ斯ウ云フ假名遣ノヤウナ問題ニ就キマシテハ倫理學上ナドデ申シマスルトコロノ正邪トカ善トカ惡トカ云フトコロノ論法ヲ以テ見ルベキモノデハナイト思フノデアリマスル、唯歷史的ノ是レマデノ假名遣ト云フモノガアル、ソレニ對シテ新シイ假名遣ガ起ッテ其方ヲ許ス、恰モ今申上ゲタ通リ舊道ガアッタ、ソレニ對シテ新道ガ出來、新道ヲ通行スルコトハ勝手デアルト云フ風ナノト同ジコトデ別ニ一方ハ正デアッテ一方ハ邪デアルト云フヤウナモノデハナイト思フノデアリマス、是レハ獨リ假名バカリデハアリマセヌ、詰リ斯ウ云フ舊道ニ對シテ新道ガ起ルト云フヤウナ關係ガ假名遣ニ就イテ起リマスルヤウナ事柄ハ別ニ假名バカリニ就イテサウ云フコトガ起ル譯デハナイト思フノデアリマス、私ハ極ク不案内デアリマスルガ、漢字ナドデモ矢張字體ト云フモノガ種々ノ變遷ヲ致シマシテ或ハ省字トカ或ハ通用字トカ或ハ俗字トカ種々ナ字體ガ起ッテ居ルノデアリマス、其通用字、省字、俗字ノ如キモノヲ使ッテ、ソレモマ

ルデ無制限ニ使フト云フコトハ往カヌノデアリマセウ、或制限ノ下ニ通用字、俗字、省字ヲ使フト云フコトハ差支ナイコトニナッテ居ルヤウデアリマス、是レハ日本ノミナラズ漢字ノ本家デアル所ノ支那ナドニ於キマシテモ矢張斯ウ云フ字ハ使ッテ居ルヤウデアリマス、一厘、二厘ト云フ「厘」ノ如キハアレハ僞字デアッテ本統ハ未ト云フ字ヲ書イテ其脇ニ欠ノ字ヲ書イテ其下ヘ普通ノ厘ノ字ヲ書クノガ本統デアルト云フヤウニ私ハ承ッテ居ルノデアリマスガ、矢張政府モ一厘ノ(釐)ノ字ハ簡易ナ(厘)ノ字ヲ用キテ居ルノデアリマス、一般ノ人ガソレヲ用ヰテ殆ド本體ノ難シイトコロノ釐ノ字ハ知ラヌト云フコトニナッテ居リマス、(萬)ト云フ字モ(万)ヲ使ッテ差支ナイヤウニ一般ガナッテ居リマス、漢字ナドニモサウ云フ風ニ變遷ガアッテソレガ一般ニ認メテ居ルトコロデス、假名ニ就イテモ矢張サウ云フ變遷ヲ認メマシテ發音ガ變ッテ來ー變ッテ來タニ依ッテソレニ對スルトコロノ假名遣ガ起ッタノデアリマスカラ、ソレハ同ジニ見テモ差支ハナイカト思フノデアリマス、詰リ從來ノ案ハ舊イ假名遣ニ對シテ新シイ假名遣ヲ開キマスルト同時ニ舊イ假名遣ノ使用ヲ一切禁ジタヤウナ形ニナッテ居ルノデアリマスガ、此案ハ新假名遣ヲ起スト同時ニ新舊兩假名遣共ニ何レモ正シキモノトシマシテ併立セシメ自然ノ淘汰ニ任セヨウ、ドチラヲ使ッテモ宜イト云フノニ過ギナイノデアリマス

是レデ此案ガ從來ノ案ニ異ッテ居ルトコロノ二ツノ主モナル點ヲ申上ゲタ積リデアリマスガ、尙ホ從來ノ案ノ中デモ國語調査委員會ノ方針ト違ッテ居ル一ノ點ガアリマス、彼ノ三十八年ノ諸問案トハ違ヒマセヌ、調査委員會ノ答申ト違ッテ居リマス點ガ一ツアリマスカラソレヲ申シマス、ソレハ此答申ノ方ニ依リマスルト云フト字音假名遣ノ方ハ文語ニモ口語ニモ均シク使フコトニナッテ居ル——適用スルコトニナッテ居リマス、所ガ國語假名遣ノ方ダケハ口語ノ文章ニ限ッテ適用スル、文語ノ文章ニハ適用シナイト云フコトニナッテ居ル、是ニモ勿論理由ノアルコトデアルト認メルノデアリマスケレドモ、併シ萬止ムヲ得ナイトコロノ事情ガナカッタナラバ此國語假名遣ト雖モ口語文語共ニ同一ノ假名遣ニ致シタイト考ヘルノデアリマス、文語體ノ文章ト云フモノハ最早廢滅ニ向フト云フヤウナ場合デアリマシタナラベ、ソレハサウ云フ文章ニハ舊イ假名遣ヲ使ッテ置イテ差支ナイノデアリマセウケレドモ、今ノ形勢ヲ觀テ見マスルト云フト口語體ノ文章ハ段々擴ッテ參リマスト同時ニ文語體ノ文章モ是ニハ種々變遷ハアリマスルケレドモ段々耳ニ近イ文章ニナッテ居ルコトハ事實デアリマスガ、尙ホ盛ンニ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ文語體ノ文章ヲ矢張讀ミ書キヲスルコトヲ小學校時

代ヨリシテ教ヘナケレバナラヌコトニナッテ居リマス、所ヘ方デアル、國ヲ愛フルト云フトコロノ至情ヲ以テ誠心誠意ニ
口語ノ方ハ新假名遣ヲ用ヰル、文語ノ方ニハ舊イ假名遣ヲ用 假名遣ニ就イテ御考ニナッタ次第デアルノデアル、ソレハ「問
ヰルト云フコトハ一ノ言語ニ對シテ二樣ノ假名遣ヲ充ダスコ 目一則」ト云フ文章ヲ見ルト云フト窺フコトガ出來ルト思ヒ
トニナリマシテ非常ニ複雜ニナラウカト思フノデアリマス、 マス、此御意見ハ大體ニ於テ正鵠ヲ得テ居ルモノト信ズルノ
此複雜ト云フコトニ關シマシテハ昨年ノ春貴族院カラ假名遣 デアリマス、尙ホ文部省ヨリ致シマシテ嘗テ吏員ヲ派遣致シ
ニ對シテ建議ガアリマシタ、其際ニ其建議ノ贊成者カラモ御 マシテ學校ニ就イテ假名遣ノ成績ヲ調ベタコトガアリマス、
批難ガアツタヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレデサウ云フ御 サウシテソレヲ版ニ致シマシタモノガアリマス、今日ハ其印
意見ヲモ參酌ヲ致シマシテ此案ハ口語ニモ文語ニモ國語假名 刷物ガ豫備ガアリマセヌノデ今印刷中デ配付スルコトガ出來
遣ヲ用ヰル、恰モ口語ニモ文語ニモ字音假名遣ヲ用ヰルト同 マセヌノハ殘念デアリマスガ、次回迄ニハ御覽ニ入レヨウト
樣ノ道リロニ致シタイト云フ考デアルノデアリマス、ソレガ 思ヒマス、假名遣ガ如何ナル程度マデ學生ノ頭腦ニ入ッテ居
國語調査委員會ノ答申ニ違フ緊要ナル點デアリマス ルカト云フコトヲ調ベタモノデアリマス、唯二三ノ例ヲ取摘
此假名遣ノ問題ハ詰ル所ハ大臣ノ御演說ニモ縷々アリマスル ンデ申上ゲマシタナラバ斯ウ言フ結果ニナッテ居ル、ソレデ
ガ、普通敎育ノ利害カラ起ッタコトデアリマシテ、是ニハ夙 九州ノ熊本縣ノ中學校デアリマス、餘程立派ナ中學校デアリ
ニ當局者等ニ於キマシテモ氣付イテ居ルコトデアルノデアリ マス、其中學ノ二年生デアリマスガ、「ヲトトシ」ト云フ言葉
マス、ソレデ今日御手許ヘ井上毅氏ノ「問目一則」ト云フトコ ヲ假名デ書表ハサシメタ、「一昨年」ト書クノデハナイ、「ヲト
ロノ御意見書ヲ配付ヲ致シテ置キマシタ、是ハ井上サンガ丁 トシ」ト假名デ書イテ見ヨト云ウテ試驗ヲサシタ、所ガ「ヲト
度文部大臣ノ御在職中デアツタト思フノデアリマスガ、自ラ トシ」ノ「ヲ」ヲ誤マル者ガ百人ノ中八十七人アッタ、唯十三人
筆ヲ執ッテ御記シニナッタモノト思フノデアリマス、サウシ ダケハ「ヲ」ヲ正シク書キマシタ、アレハ「ワ」「ヰ」「ウ」「エ」
テ時ノ國學者ニ御相談ニナッタモノデアル、彼ノ梧陰存稿ト 「ヲ」ノ「ヲ」デナケレバナラヌノデアリマス、其「ヲ」ヲ書イタ
云フ書物ニモ收メテアルノデアリマス、井上大臣ハ國文ノ發 者ガ百人ノ中十三人ニ過ギマセヌ、八十七人ハ誤ッタノデア
達ト云フコトニハ最モ思ヲ凝ラセテ力ヲ致サレタトコロノ御 リマス、ソレカラ顏ノ皺デアリマス、是レモ簡單ナ言葉デア

リマス、「シワ」ハ「ワ」ト書イテ「ハ」ト書イテハ往ケヌノデア シク書クコトノ出來ナカッタ者ガ尋常科ノ生徒百分比例デ百
リマス、「彼ノ「ワ」ヲ誤マル者ガ百人ノ中三十九人アッタノデ 人ノ中二十八人アリマシタ、又高等科ニ於テハ四十二人書ク
アリマス、頭ノ額デアリマス、「ヒタヒ」ノ終リニアリマスル コトガ出來ナカッタ、ソレカラ「繪」デゴザイマス、「繪」ハ「エ」
トコロノ「ヒ」デアリマス、アレハ「イ」デナクシテ「ヒ」ノ字ヲ ト書カネバナラヌノガ、ソレヲ書クコトノ出來ナカッタ者ガ
書カナケレバナラヌ、其「ヒ」ヲ書カナカッタ者ガ百人ノ中五 尋常科ニ於テ百人ノ中四十人、高等科ニ於テ三十八人アッタ
十八人アリマス、又「急用」、極ク普通ノ語デアリマス、「急用」 ノデアリマス、ソレデ斯ウ云フ現象ト云フモノハ若シ西洋デ
ヲ矢張假名デ書カシタトコロガ百人ノ中百人トモ此「キフ」ト アッタナラバドウカト考ヘテ見マスルニ西洋ノ中學二年デア
云フ假名ヲ書クコトガ出來ナカッタノデアリマス、御承知ノ ッテ敎師ト云フ「チーチャー」ト云フ、其「チーチャー」ト云フ
「急」ト云フ字ハ是レハ字音デアリマス、「キウ」ト書イテモ誤 字ヲ綴レナイ者ガドレダケアルカト思フト恐ラクハ中學二年
デアルシ、「キユウ」ト書イテモ往ケズ、「キフ」ト歷史的假名 ニナッテ「チーチャー」ト云フ綴リガ出來ヌモノハ殆ド一人モ
遣ニ依ッテ書クヨリ外ハナイ、所ガ「キフ」ト書イタ者ガ百人 ナイダラウト思ヒマス、又日本ノ中學生ニ致シマシテモ二年
ノ中一人モナカッタノデアリマス、又每日親炙シテ居ル敎師、 生ニモナッタナラバ「チーチャー」位ノ字ヲ綴レヌコトハナイ
其言葉ヲ假名デ書カセマシタトコロガ、之レヲ本統ノ假名遣 ダラウ、或ハ良イ學校デアッタナラバ一人モ間違ハズニ綴レ
ノ通リ「ケウシ」ト書イタ者ガ百人ノ中八十一人ハ誤ッテ十九 ルト思ヒマス、又西洋ノ小學ニ致シマシテ、其生徒ガ普通ノ
人ノミガ「ケウシ」ト本統ノ假名遣ヲシタ、ソレカラ御承知ノ 「繪」ト云フ字、西洋ノ「ピクチユア」ト云フ字デモ或ハ「大キ
東京高等師範學校ノ附屬小學校、アレハ先ヅ全國ノ模範小學 イ」ト云フ西洋語デモ書キ得ナイ者ガドレダケアリマセウカ、
校ニナッテ居ルノデアリマス、是レモ假名遣ノ成績ヲ試驗致 恐ラクハ極メテ少數デソンナ字ハモウ小學ヘ入ッテ二三年經
シマシタ、其結果ヲ印刷シテ御配付スル積デアリマス、其試 ツタナラバ間違ヘズニ綴レルダラウト思フノデアリマス、然
驗ニ依リマスト云フト丁度尋常科ノ生徒ガ二百七十人、高等 ラバ西洋ノ敎育法ガ良クシテ本邦ノ敎育法ガ宜シクナイカ、
科ノ生徒ガ百五十六人ニ就イテ試驗ヲ致シタノデアリマス、 ソレガ爲ニ敎授法ガ惡イカラ斯ウ云フ假名ガ書ケヌト云フ譯
其成績ヲ見マスルト「オホキナ」ト云フ言葉ヲソレヲ假名デ正 デアルカト思ヒマスルニサウデモナイ、是レハ矢張日本ノ假

名遣ト云フモノガ特別ニムヅカシイカラ書ケヌノデアラウト思フノデアリマス、唯假名遣ノムヅカシイト云フコトヲ證明スル點ヱナルダラウト思ヒマス、ソレデ高等師範附屬ノ成績ニ就イテ最モ奇ナル現象ガ一ツアリマスルガ、ソレハ魚ノ鯛デアリマス、アレハ「タヒ」ト書カナケレバナラヌ、「タヒ」ト云フノハ尋常一年ノ生徒ガソレヲ書キマスル場合ニ誤ツタ者ガ八十七人アル、十三人ダケハ「タヒ」ト書イタノデアリマス、所ガ八年ノ教育ヲ經タモノ高等四年ノ生徒ニ書カシメタ結果ハ百人ガ百人「タヒ」ト綴レ得タモノハナカツタノデアリマス是亦ドウ云フ譯デアルカ、マルデ事實顚倒スルヤウナコトデアリマスガ、是レハ說明ガ容易イト思フ、即チ尋常一年デハ書物ニ假名デ「タヒ」トアルノデス、或ハ先生ガ殊更ニ教ヘタトカ、兎ニ角假名バカリデヤル時代デアリマスカラ「タヒ」ト云フ言葉ヲ先ヅ少數ナガラ書キ得タノデアリマス、所ガ高等科ニナツテ見マスト始終漢字ヲ使ツテ居ルカラ「タヒ」ナドト云フ字ハ假名デ書カナイデ普通ノ漢字ヲ以テ書クコトニナツテ居リマスカラソレデ「タヒ」ノ假名遣ヲ忘却シタモノダラウト思ヒマス、却テ尋常一年ノ成績ニモ劣ル成績ヲ現ハシタルコトハソレデ分ルダラウト思ヒマス、即チ日本ノ假名遣ガ矢張非常ニソレヲ學習スルコトノ難イ特別ノ事情ガアルコトハ是レデ御分リニナルダラウト思ヒマス、先ヅ學校ハサウ云フ風デアリマスガ、又世間デ假名遣ノ工合ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトヲ取調ベテ見マスルニ新聞紙ハ御承知ノ通リ大體ニ於テ舊イ假名遣ヲ用ヰテ振假名ヲ致シテ居リマス、併ナガラ時事新報ノ如キ或ハ大阪ノ每日新聞ノ如キハ矢張大體ニ於テ發音的ノ假名遣ヲ振假名ニハ使ツテ居リマス、又衆議院ナドデ配付ニナリマシタトコロノ衆議院議員宿所一覽表ガアリマス、又貴族院議員宿所一覽表ト云フモノガアリマス、又貴族院デ矢張配付ニナリマシタトコロノ貴族院要覽ノ索引ガアリマスル、夫等ヲ拜見致シマシタガ皆發音的假名遣ニナツテ居リマス、又帝國大學ノ卒業生カラ成ツテ居リマスル學士會々員ノ氏名錄、是レハ何千人ト云フ人ノ團體ノ氏名錄デアリマス、普通發音的假名遣ヲ用ヰテ居リマス、最高等ノ教育ヲ受ケタトコロノ人ニモ便利デアルト見エテ發音的假名遣ヲ用ヰテ居ルノデアリマス、マタ今段々民間ニ出來マスルトコロノ字引類デアリマス、言葉ヲ以テ引クトコロノ字引デアリマス、ソレナドモ段々發音的假名遣ヲ用ヰルモノガ多イヤウナ傾向ヲ現ハシテ居リマス、又是レハマア外國ノ人ニ國語ヲ教ヘルノデアリマスガ、日本人ニハ關係ノ無イヤウナモノデアリマスガ、兎ニ角外國人ニ國語ヲ教ヘテ參リマス上ニ必要デアルガ爲デアリマセウ、韓國ニ用ヰテ居リマスルトコロノ小學讀本モ總テ表音的ニナツテヤツテ居リマス、又

臺灣ニ於テ嘗テ編纂ニナリマシタトコロノ國民讀本ト云フモノガアリマス、是レハ今用ヰテ居ルカドウカハ甚ダ迂濶デ承知致シマセヌガ、兎ニ角サウ云フモノモ總テ發音的假名遣ニナツテ居リマスガ、大體發音的原則ハ同ジデアリマス、又今日御手許ヘ配付シテ置キマシタ紫版ニシテ遞信省及統監府ノ告示デ指示サレテ居リマス郵便局ノ名前等ガ振假名ヲ附ケテ告示サレテアリマス、其例ヲ見マスルト矢張大體表音的假名遣ヲ用ヰテ居リマス、表音的假名遣ト云フコトハ別ニ文部省ハ「ハイカラ」デ斯ウ云フコトヲ始メタト云フ譯デハ決シテナイノデアリマス、古イ問題デ井上大臣ノ時分カラ既ニ當局大臣ノ考ヘテ居ラレルヤウナコトデアツテ敎育ノ必要ヨリ起ツタコトデアル、或ル世間ノ人々ノ考ヘマスルヤウニ唯「ハイカラ」デ斯ウ云フモノヲ作ル、或ハ羅馬字ヲ行ハセル準備トシテ斯ウ云フ假名遣ヲヤルノデアルト云フヤウナ說モアリマスガ、サウ云フコトハ決シテナイノデアリマス、敎育ノ必要ヨリ斯ノ如キコトヲ調査致シタノデアリマス、ドウカ斯ウ云フ事情ヲ篤ト御諒察ニナリマシテ詰リ舊イ道ヲ必シモ通ラヌデモ宜シイ、新シイ道ヲ通ツテモ宜イト云フヤウナ精神ヲ以テ此新シイ假名遣ヲ矢張敎科書等ニ用ヰ得ルト云フコトニ就イテ十分ノ御同情ヲ下スツテ御審議ニナルコトヲ望ムノデアリマス

尙ホチヨツト配付ヲ致シマシタモノニ就イテ申上ゲマスルガ、「新假名遣國語表案」ト云フモノヲ御手許ヘ差出シタノデアリマス、是レハ全ク唯圖書課限リノモノデ別ニ省議ヲ經タモノデハアリマセヌ、唯御參考ニ提出シタモノデアリマス、ト申シマスルノハ此新假名ノ國語ノ範圍ハ此諮問案ノ二章—第二章ハ即チ國語ノ假名遣、之ヲ見マスルト一見シタトコロデハ明白デアル、併ナガラ之レヲ段々實行致シマスル場合ヲ考ヘテ見マスルト云フト隨分疑ノ起ル場合ガアリマスルノデ動詞ノ活用及ビ單ニ動詞ノ活用ヨリ起ル「ハ、ヒ、フ、ヘ、ヲ」ト云ヘバソレデ明カナヤウデアリマスガ、詰リ動詞カラ起ツテ名詞ガ出來タモノモアリマス、夫等ニ就イテハ餘程考慮ヲ要スルコトガアルノデアリマス、此諮問案ハ例ヘテ言ヒマスト丁度法律案ノヤウナモノデアツテ、之レヲ實際ニ適用致シマストキハ矢張施行規則ガ法律ニ對シテ要ルヤウナ塩梅デ、實際ノ新假名表ト云フモノガ必要ニナツテ來ルダラウト思ヒマス、是ハ何レ又斯ウ云フモノガ若シ決定ニナリマスルナラバ國語調査委員會等ニ於テ——此會デナシニ國語調査委員會ニ於テ十分ナ御調ガ出來得ルコトダラウト思ヒマスガ、サウ云フモノデアリマスルカラ唯御參考ヲ願ヒタイ、若シ之ニ就イテ不都合ノ點等モアリマシタナラバ、ソレヲ伺フコトガ出來

ラ分ッテ居リマス、今主事ノ御説明ニナツテ居ル私モ承知シテ居リマスケレドモ、見モ角モ大規君ノ拵ヘタ辭書ニ依ツテ二萬九千今度ノ案ニ依ルト何千語ダケ鍵ヘラレルノデアリマセヌガ、二萬九千語ハ分ツテ居ルト云フコトハ分ツテ居ルト云フコトハ分ツテ居ルト云フコト

リマス、即チ教育ノ以外ニ此假名遣ノ效果ヲ及ボシテ或ハ專門ノ書物ニ就イテモ其他ノ事ニ就イテモ此假名遣ニ據レト云フ御趣意デナイト云フコトハ是レハ明瞭デアラウト思フノデアリマス、若シ其教育以外、而モ教育ハ小學中學、主トシテ小學ト云フモノニ依ッテ此假名遣ヲ一定シテ以テ兒童ノ就學上ノ便利ヲ圖ラウト云フノデアルナラバ、而シテ其趣意ガ此範圍ニ止マルノデアレバ別段ニ所謂歷史的ニ本統ノ假名遣ヲ用ヰテモ宜シイト云フ方法ヲ認ムルノ必要ガ實ハ私ニハ分ラヌノデアリマス、若シ是レガ或ハ一般ノ公文書ニ於テモ其他ノ書類ニ於テモ此假名遣ヲ用ヰルコトガ原則デアル、併ナガラ必シモ之レニ據ラヌデモ宜シイト云フコトナラ私ハ分リマスケレドモ、教育上兒童ノ便益ヲ圖ルト云フガ爲メニ此假名遣ヲ一定セラルルモノトシタナラバ何ガ故ニ許容ト云フコトヲ認メラルルノデアルカ、若シ又先刻御說明ニナルヤウニ文部省ニ於テ編纂セラルル國定教科書ニハ新シイトコロノ假名遣ヲ用ヰル、併ナガラ其他教科書ヲ書ク人ハ必シモ此新假名遣ニ據ラヌデモ宜シイ、矢張教科書トシテ編纂スルトコロノモノモ尙ホ所謂歷史的ノ假名ヲ使ッテ宜シイ、斯ウ云フコトデアルト云フト詰リ私ハ能ク存ジマセヌガ二種類ノ假名遣ガ矢張普通教育ノ間ニ事實用ヰラルルコトノ結果ニナリハシナイカト斯ウ思フノデアリマス、若シサウシタナラバ私ノ推測ガ誤ラナイトシタナラバ何故ニッノ假名遣ヲ混用スルト云フ趣意ヲ以テ許容ト云フコトヲ認メラルルノデアルカ、其處ガ私ハ一ツ分ラヌノデアリマス、ソレガ今ノ御說明ヲ伺ッテ私ノ了解ノ出來ナイ點デアルカラ御尋ネヲシタイノデアリマス、ソレカラ是レモ序デニ私ハ伺ヒタイノハ先刻「教師」トカ或ハ「繪」トカ云フヤウナオロ〳〵ノ例ヲ擧ゲテ段々御話ニナッタコトデアリマスガ、「教師」ト云フコトヲ假名デ書クノハ誠ニムヅカシイ、隨分誤マル者ガ多イノデアル、ケレドモ「チーチヤー」ト云ヘバ是レハ恐ラクハ西洋デハ誤マル者ハアルマイト斯ウ云フ比較ヲシテノ御話デアリマシテ此比較ハ私ハ間違ッテ居ルヤウニ思フノデアリマス、サリナガラ私ハ其事ヲ御尋ネスルノデハナイノデアリマスガ、此外國ノ事ヲ御調ベニナッテ居ルナラバ私ハ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ外國ノ例ヘバ獨逸國ニ就イテ見マスト云フト性ト云フモノガアル、名詞ニ就イテ男性アリ女性アリ中性アリ、其性ヲ區別スルト云フニ就イテハ私モ多少獨逸語ヲ習ッタ際ニ甚ダ困難ヲ感ジタノデアル、成程或所マデハ規則ニ依ッテ男性ト女性、主モニ女性ナドハ誠ニ解リ易イ、或範圍ニ於テハ解リ易イノデアルガ、其以上ハ唯無闇ニ記憶スルト云フヨリ外ニハ方法ガナイノデハナイカ又佛蘭西ニ於テ男性ト女性ト云フモノヲ區別シテ居ル、此區別モ或所マデハイロ〳〵學者ガ案出

シタトコロノ區別ノ標準ハアルノデアルケレドモ、併ナガラ其標準ニ據ッテ悉ク此區別ガ立ッ譯デモナイ、又動詞ノ支配スル格ト云フノカ「ケース」ト云フモノモ非常ニムヅカシイノデ、例ヘバ獨逸語ノ如キハ是レハ第二格ト云ヒマスカ、「ゲニチーフ」ヲ支配スル、是レハ「アクザチーフ」ノ動詞ト云フコトガアル、是等モ矢張實際上ニハ教育上子供等ハ餘程苦シムノデハナイカト自分ノ經驗カラ私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フヤウニ或ハ他ノ外國語ノコトハ私ハ能ク存ジマセヌガ、隨分アルノデアルカラ、又佛蘭西ノ例ヘバ「イラベー」ト云フカ、或ハ「イルザベー」ト云フヤウナモノデアル、仕舞ノ文字ヲ讀マナイ、唯後ヘ何カ來ル時分ニハクツ着クコトガアルヤウデアリマスガ、兎ニ角讀マナイ文字ガアル、此讀マナイ文字ヲ廢スルトカ云フヤウナ論カ佛蘭西ニアッタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、兎ニ角性ヲ覺エルト云フコトハ餘程困難デアル、此性ヲ覺エルト云フコトト若シ比較シタナラバ日本ノ假名遣ヲ覺エルコトノ難易ハ無論比較スルコトハ出來マセヌガ、若シサウ云フ難易ヲ以テ唯比較シテ見タナラバ教師ガ「チーチヤー」ニ當ルト云フヨリハ寧ロ假名遣ハ性ヲ覺エルトカ或ハ格ヲ支配スル動詞ヲ覺エルコトガ或ハ比較ニ於テハ近イコトデハナイカト思ヒマス、私ノ伺ヒタイノハ何レ日本バカリデハナイ、外國ニ於テモ或ハ兒童ノ教育上ニ就イテハ何カ簡便ニシロト云フヤウナ論モ或ハアルカモ知ラヌト思フノデアリマスガ、何カ外國デ斯ウ云フヤウナ點ニ就イテ兒童等ヲ苦シメヌヤウニ便宜ヲ與ヘルト云フヤウナ方法ヲ講ジッツアルコトデアルカドウカト云フコトヲ私ハ一ツ御尋ネシタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ序デニ伺ヒタイコトハ是レハ全ク私ハ存ジマセヌガ、所謂歷史的ノ假名遣ト云フモノハ國學者ノ間ニアッテ一定シテ居ルモノデアルカドウカト云フコトヲ私ハ知ラヌノデアリマス、窃ニ聞イテ居ルトコロニ依リマスト云フト或ル文字ニ就イテハ矢張必シモ說ガ一致シテ居ラヌヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、若シ說ガ一致シテ居ラヌトシタナラバ文部省ニ於テ此假名遣ヲ改定スルニ當ッテ所謂歷史的ノ假名遣トシテ正シイモノガ定ッテ居ルノデアルノカドウカ、是レハ若シ單ニ音ヲアテニシテ假名ヲ何處マデモ改定シテシマウト云フヤウナラバ敢テ歷史的ノ正シイ語ト云フモノヲ詮索スル必要ハナイカモ知レマセヌガ、或場合ニ於テハ所謂許容ト云フ私ノ了解シ兼ネル日本語彙ノ項目ノ下ニモ舊イ假名遣ヲ許シ又動詞ノ活用其他ノ點ニ於テ舊イ假名遣ヲ許シタナラバ文部省ガ見タトコロデ是レガ所謂歷史的ノ假名遣トシテ正シイモノデアルト云フコトガ御調査ニナッテ居ルカドウカ、若シ私ノ不案內ナコトデ、國學者間ニ於テ皆假名遣トシテ議論スル者ガナイト云

フコトデアレバ私ノ御尋ネスルコトハ何ノ益モ無イコトニナルノデアリマス、此三點ニ就イテ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○番外(渡部董之介君)　三ツノ御尋デアリマスガ一番終リカラ申上ゲタイト思ヒマス、國學者間ニ於テ從來假名遣ガ總テ一致シテ居ルカト云フ御尋デアリマシタト思ヒマスルガ是ハ隨分國學者間デ論ノ有ルコトモアルヤウデアリマスルガ、大体ニ於テハ殆ド歷史的ノ假名遣ト云フモノガ一定シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、無論ソノ一定シテ居ラヌノモアリマスルガドツチカト言ヒマスルト無論一定シテ居ル方ガ大多數デ、極ク少數丈ケガ一定シテ居ラヌカト考ヘマスソレデ許容以外ノ假名遣、從來ノ通リセネバナラヌト云フモノニ付テハ申上ゲル通リ大体一定シテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ從來ノ物ニ據ツテ從來ノ通リ書ク ト云フコトハ別ニ困難ヲ感ジテ居ラヌノデアリマス、今日マデ既ニ文部省デ教科書ヲ編纂シテ居リマス、舊イ假名遣、舊イ歷史的ノ假名遣ニ依ツテ書キマスニ左程困難ニ遭遇シタコトハ無イト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ外國トノ比較デアリマスガ是ハ御尋ハ御尤モデアリマシテ正確ニ當ハマルト云フ譯ニハ行キマセヌガコチラデ易イ言葉デモ向フデハ隨分六ヅカシイ綴リニナツテ居ル言葉モアリマス、向フデ易イノデモ日本デ六ヅカシイ綴リニナツテ居ルノモアリマスカラ一概ニ比較ハ無論出來ヌノデアリマス、唯々大体極ク普通ノ言葉デアルソノ普通ノ言葉ヲ西洋デハ誤ラナイ、日本デハ誤ルト云フコトヲ大体申上ゲマシタ、殊ニ字音ノ假名遣等ヲ本當ニ書クト云フ日ニナルト今少シ教育ガ進ミマスルト學校ナラ學校ト云フ字ヲ皆漢字デ書クト云フコトニナツテ居リマスカラ宜シイノデアリマスルガ、若シ是ガ皆ノ約束デ假名ヲ以テ字音等ヲ正シク書カネバナラヌト云フコトデアレバ西洋ナドヨリハ一層六ヅカシイカモ知レマセヌ、サウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、文部大臣ノ御演説ニモ西洋ヨリモ六ヅカシイ點ガ有ルト言ハレタカト思ヒマス、日本ニハ格トカ性トカ云フ區別ハアリマセヌ單ニ假名遣ヲ正確ニ……今漢字カラ來タ言葉ナドヲ正確ニ書クト云フ日ニナルト大体西洋ノ書キ方ヨリモ一層困難ガ有ルト思フ、ソレカラ許容ト云フコトニ付テチヨツト御尋ノ點ガ明瞭ニ分リマセヌデアリマシタガ、是ハ若シ許容ガ無ケレバ何處マデモ舊イ歷史的ノ假名遣、今ノ發音ト違ツテ居ル習ヒ惡イノヲ用ヰテ行カネバナラヌノデアリマス、許容ノ道ガ開ケル爲ニ發音的ニ書クコトガ出來ルト云フノデアリマス、許容ト云フコトハ他ノ國ニドウデアリマスカ能クハ知リマセヌガ、佛國ニ近年許容ト云フコトヲ致シタヤウデアリマス、ソレハ此許容ト云フ字ニ當リマスルカドウデアリマスルカ「トレランス」ト云フ言葉ガアリマス、サウシテ或書キ方ヲ斯ウ云フ風ニ書イテモ宜シイ、書クコトヲ許ス「オン、トレルラ」ト云フ言葉ヲ使ツテアリマス、文部省デ一般ノ敎育ノ爲ニ「トレランス」ヲ發令シテ居ルヤウデアリマス、尤モソレハ文法ノ事デアリマシテ餘リ綴リノ事ニハ關係ガ無イヤウデアリマスルガ、併シ全ク綴リニ關係ナイト云フ事デハ無イヤウデアリマス、一二ノ例ヲチヨツト拾ツテ見マスガ、「アントルクロアゼー」ト云フ語ハ元來「アントル」ト「クロアゼー」ノ間ニ「ハイフエン」ヲ入レルコトニナツテ居リマスガ、ソレヲ入レヌデモ宜シイ、ソレハ許ス、サウ書イテモ宜シイト云フノデアリマス、許容ト申スハ丁度サウ云フコトニ當ルカト思ヒマス、其他ニ舊來ノ物ヲ保存シテ置イテ同時ニ許容スルト云フコトヲ西洋デ致シタト云フコトハ承知致サナイノデアリマス

○九番(岡野敬次郎君)　私ガ御尋シタノト御回答ハ違ツテ居ルヤウデアリマスカラ他ノ點ハ措イテ許容ト云フ定義ニ付テ重ネテ御尋イタシマス、私ノ許容ト云フコトニ付テ御尋イタシタノハ斯ウ云フコトデアリマス、御説明ニ依ルト新道ト舊道ト二ツノ道ガアル、新道ヲ通ルモ正デアル舊道ヲ通ルモ正デアル、何レモ正當デアル邪道デ無イト斯ウ云フ御話デアリマス、サウスルト新假名遣即チ改訂ノ假名遣ヲ用ヰルモ正シイ、從來ノ歷史的假名遣ニ依ルモ正シイ、斯ウ云フ御論ト考ヘネバナラヌ、而モ御説明ニ依ルト文部省デ作ル方ノ敎科書ニハ新假名遣ヲ用ヰルガ併ナガラ小學中學デ用キル敎科書ガ必ズシモ新假名遣ニ依ラネバナラヌト云フノデハ無イノデ矢張リ歷史的ノ假名遣ヲ用ヰテモ差支ナイ、私ハ許容ト云フ文字ハドウデモ宜シイノデ、ソコハドウデモ宜イ、佛蘭西語デ何ト言ハウト御尋スルノヂヤ無イ、二樣ノ假名遣ヲ兩樣正シイモノト認メテ實際ニ於テ敎科書ニ二ツノ假名遣ガ併用セラレルコトニナツタナラバ則チ假名遣ノ爲ニ從來苦ンデ居ル害ヲ除イテ兒童ヲシテ容易ク簡便ナル假名遣ニ依ツテ學ブコトガ出來ルト云フ眼目ト牴觸スルコトハ無キヤト云フノガ私ノ御尋ノ骨子デアリマス、之ニ付テ外國ノ例ヲ御尋シタノヂヤ無イ、唯々兩方用ヰルコトニナツテ居ツテハ折角ノ假名遣モ半分ノ効果ヲ收ムルカドウナルカ或ハ半分マデモ至ラヌカ、兎ニ角一定スルト言ヒナガラ一定セヌト云フ結果ニナルト云フコトハ改正ノ趣意ト撞着スルコトハ有ルマイカト云フ疑デアリマス、其點ヲ御尋シタノデアリマス

○番外(渡部董之介君)　今ノ御話ニ依ツテ分リマシタガソレハ若シ一定スルコトガ出來タナラバソレニ越スコトハ無イト思ヒマス、何分長イ間ノ歷史ヲ經タ假名遣デアリマス、ソレヲ採ルノガ間違ヒデアルト云フコトハドウモ過渡ノ際ニ餘程

アリマス、併シサウ云フ傾向、ドウモ從來ノ歴史的ノ書キ方デハアリマセヌガドウゾ印刷ニシタ物カ何カ頂戴シタイ、篤ト考ヘテ見タイモノト存ジマスルカラ是ハ質問ニ合セテ私ノ希望ヲ申上ゲテ置クノデアリマス

○十八番(芳賀矢一君)　私ハ先刻主事ノ御說明ニ歴史的假名遣ト云フコトヲ用ヰラレマシタノデドウ云フ事カト考ヘテ居リマシタガ其後他ノ諸員カラ御質問デアリマシテ歴史的假名遣ハ極ツタモノデアルカト云フコトニ付テ主事ノ說明ガ私ニ分ラナイ、ソレデ他ノ御方ハ御分リニナツタト見エテ默ツテ御出デヾアリマスガ歴史的假名遣ト云フコトハ世間デハ廣ク用キテ居リマセウガ私ニハ分ラヌモウ一遍伺ヒタイト思ヒマスガ詰リ歴史的假名遣ト申シマスルト大問題デアラウト思フ、歴史的假名遣ガアッテ極ツタモノソレガ正當デアル、正シイ假名遣トカ云フ問題デモ出マシテソレヲ基トシテ行クコトデアリマスカ、ソコハ餘程疑ハシイト思ヒマス、歴史的假名遣ハ歴史上昔カラアル一定說ノ行ハレテ居ルノガ歴史的ト云フコトデアリマセウカ、ソレナラバ自分ノ見ル所デハ、昔ハ一定シテ居ラヌ始終文學ガ發達シテ居ルノデアリマス、其事ハ論ニナリマスカラ別ニ申シマセヌガ、ソレナラ或時代ニ國民一般ニ用キラレタカト云フト昔平安朝時代ニ用キラレタモノガアリマスガ、鎌倉中古ニナツテ一般ニ一ツノ假名遣ヲ用ヰラレタモノハ無イノデアリマス、國民一般總ベテ同ジ假名遣ソコデ實際問題ハ足リル考デアリマス

○十四番(伊澤修二君)　唯今外國ノ事ノ御尋ガ出マシタカラ私セチヨツト外國ノ事ニ付テ御調ベノ有ル丈ケヲ伺ツテ置キタイデスガ、先刻來主事ノ御說明デ見マスルト此發音假名ト稱シテ宜イデセウ、發音假名ニスル方ガ正體デアルト云フコトガ有ルノデアリマスガ、ソレハ唯今私ハ質問シヨウト云フ要領デハ無イ、是ハ又時ヲ得テ質問シヨウト存ジマスルガ外國ニ於テ發音假名ニ依ツテ居ル國ガ有ルヤ否、所謂言葉ト云フモノハ古代ノ形ト云フモノヲ何處デモ保存シテ居ルヤウニ考ヘル、先刻岡野君ノ御話デハ即チ獨逸語ガ古例ヲ使ヒ佛蘭西デモ無論サウダラウト思フデスガ苟クモ文明國ニ列スル者デ古體ト云フモノニ構ハズ唯々純然發音假名デ其國ノ國語ヲ書イテ居ル國ガアリマスルカドウカソレヲ一ツ伺ツテ見タイト思フ、御調ベガ出來テ居ツタラ伺ヒタイ

○番外(渡部董之介君)　ソレハ深ク知ラヌノデアリマスルガ唯々其一方ノ國ノ書キ方ガ發音ニヨリ近ク、一方ノ國ハヨリ遠イト云フコト位ハ承知シテ居リマス、例ヘバ獨逸デアレバ餘程發音ニ近イ、發音通リデアリマスカラアノ國ノ教育ハ大變ニ容易イト云ツテ英米等ノ人ガソレヲ羨ンデ居ルト云フ位ナコトハ始終承知シテ居ルノデアリマス、スツカリ發音通リニ致シテ居ル國ガ有ルカ無イカ、ソレハ承知イタサヌノデ

ヲ用キテ統一サレタト云フモノハ歴史上ニ無イノデアリマス、即チ實際ニ用ヰラレタモノガ無イノデアル、極ク古イ平安朝時代ノ或時代ニ行ハレタモノヲ除イテ其後ハ少シモ用ヰラレテ居ラヌ、實際上一般ニ用ヰラレテ居ラヌノヲ歴史的假名遣ト名ヲ附ケテ居ル、德川時代ニナツテカラ學者ノ研究、古學者ガ起ツテ或物ヲ極メタノデアリマスガ先刻モ岡野サンノ御質問モアリマシタ國學者一般ニ用ヰラレタカト云フト古學者間ニ用キラレタモノデアル、契沖アタリガ唱ヘ出シマシタガ其後眞淵アタリデハ間違ツテ居ル、本居先生ガ出テ大抵假名ハ極リマシタガ、本居ノ書カレタ物ニモ間違ヒハ少シヅヽ有ル、又平田ノ書イタノニモアル、本居ト同時代ノ上田秋成屋代弘賢ナドハ一向用キナイ、其說ハ愚ナ說トシテ寧ロ反對說ヲ唱ヘテ居ツテ國學者間一般ノ定說トナツタ譯デモ無イ、ソンナラ今ノ言葉ガ昔ノ假名遣デ分ルカト云フト昔ハ文獻ノ徵スベキモノガ少イカラ今日昔ノ假名遣ガドウカト云フコトハ分リマセヌ、ソレハ大槪先生ナドハ言海ヲ御拵ヘニナツタガ隨分自分ノ御考デ御極メニナツタノモアリマセウ、即チ或極ツタ歴史的假名遣ハ何處ニ在ルカ疑フノデアリマス、是ハ餘所ノ方デスガ御說明ヲ承リタイ、又ソレニ付テ御滿足ニナツタ岡野サンハドウ云フコトデ分ラレタカ分ラヌ、モウ少シ大問題ニナリマスカラ申シマスガ、平安朝時代ノ假名遣ヲ本

ト云フコトハ芳賀サント同ジク疑ヲ懷イテ居ルノデアリマス

○十四番(伊澤修二君)　私ハ先刻主事ノ御說明ニナツタコトデ一二未ダ解セヌコトガアリマスガ一般國民ノ意識ニ這入ツタモノトカ一般國民ノ意識ニ這入ラヌモノトカ斯ウ云フコトノ御說明ガアリマシタガ、其一般國民ノ意識ニ這入ツタ事ト云フハドウ云フコトカ我輩ニハ少シモ分リマセヌドウゾソレハ少シ分ルヤウニ御說明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○番外(渡部董之介君)　ソレハ一般國民ト云フコトガ六ヅカシイノデアリマスルガ先ヅ普通ニ敎育アル者ノ塊リヲ一般國民トシ以テ一般國民ヲ代表シ得ラレル積リデ言ツタノデアリマス、例ヘバ亘爾遠波ノ「は」ト云フヤウナモノハ丸ルデ發音トハ違ツテ居リマスケレドモ一般ノ人ハ間違ハズニ書クノデアリマス又「は」行動詞ノ語尾ノ如キモノヲ多クノ人ハ殆ド間違ハズニ書ク、小學校デ試驗シテ見マシテモサウ云フ言葉ニハ間違ヒガ少イノデアリマス、隨分六ヅカシイノデアリマスルガ少シ敎育スルト間違ハズニ書クノデアリマス、ソレカラ普通ノ手紙ノ文デモ例ヘバ「候はゞ」ト書キマス、是モ「わ」ノ字ヲ書カズニ「は」ト云フ字ヲ書イテ下ニ點ヲ打ツテ濁リ點ヲ打ツ、サウ云フ風ニ一般ノ人ガヤツテ居ルノデサウ云フノヲ國民ノ意識ニ這入ツテ居ルモノト假リニ名ヲ附ケタノデアリマス

○十四番(伊澤修二君)　主事ガ假ニ御附ケニナツタ名ト云フコトナラバ深ク伺フ迄モ無イノデアリマスケレドモ一般國民ノ意識ニ這入ツタカ這入ラヌカト云フコトハ心理學者ノ井上サンニ實驗デモ願ハナクテハ我輩ニハ何分解釋ガ附カナイ、主事ガ假ニ御附ケニナツタト云フコトデアレバソレデ承知シテ置キマス

○一番(子爵曾我祐準君)　チヨット伺ヒマスガ許容ト云フ字デゴザイマス、此許容ト云フ意味ト參考ニ頂戴イタシマシタ文法上許容スベキノ許容トハ御說明ニ依ルト多少違フヤウニアリマスガ如何デゴザイマスカ

○番外(渡部董之介君)　私ハ同ジデアルト始終思ツテ居リマスノデアリマス、例ヘバ文法上許容スベキノ許容案ニハ「コトナリ」(異)ヲ「コトナレリ」「コトナリテ」云々ト用ヰルモ妨ナシトアツテ「妨ナシ」ト云フ語ガ附イテ居リマス、此假名遣ノ案ニハ各條ニサウ云フ語ガ附イテ居ラヌデモ全體ニ妨ナシト云フ字ヲ緒言ニ書顯ハシマシタカラ之ヲ使ツテ宜シイ

○一番(子爵曾我祐準君)　文法ノ方モ使ツテ宜イト云フコトデゴザイマスガ、文部省デ使ツテ宜シイ丈ケヲ此通リ御書キナスツタト思ヒマスルガ、文法モ此通リニ一定ナスツタノデアリマスカ

ス、書物校デ書キマス、小學校デハ「ソンナ形ニ定メテハ居リマセヌ、ソレハ「カ」ト「トク」ト「わ」ヲ區別シテ仕舞フ許容ニシテアルガ本體トシテハ「カ」ト「トク」ト「わ」ヲ區別シテ從來ノ許容ニシタガツテ「カ」ト「トク」ト「わ」ヲ區別シテ書クノデアリマス、今度ノ國語調査會ノ決議ニ依リ「ヰ」ト「ゐ」トヲ區別シテ「ヰ」ト書キ「ゑ」ト「ゐ」トヲ區別シテ「ゑ」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ヲ」ト「お」トヲ區別シテ「ヲ」ト書キ「お」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ジ」「ズ」ト「ヂ」「ヅ」トヲ區別シテ「ジ」「ズ」ト書キ「ヂ」「ヅ」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ハ」ト「ワ」トヲ區別シテ「ハ」ト書キ「ワ」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ヘ」ト「エ」トヲ區別シテ「ヘ」ト書キ「エ」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ヒヤ」「ヒユ」「ヒヨ」ト「ビヤ」「ビユ」「ビヨ」トヲ區別シテ「ヒヤ」「ヒユ」「ヒヨ」ト書キ「ビヤ」「ビユ」「ビヨ」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ヰ」ト「ゐ」トヲ區別シテ「ヰ」ト書キ「ゐ」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ヱ」ト「ゑ」トヲ區別シテ「ヱ」ト書キ「ゑ」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ヲ」ト「お」トヲ區別シテ「ヲ」ト書キ「お」ト書クノデアリマス、ソレカラ「ヂ」「ヅ」ト「ジ」「ズ」トヲ區別シテ「ヂ」「ヅ」ト書キ「ジ」「ズ

○六番(岡野敬次郎君)　私ノ質問ニ對スル主事ノ御說明ハ私ノガ同時ニ兩樣用ヰラレルト云フコトガアルヤウニ解釋セラレル、若シ兒童敎育問題トシテ假名遣ヲ簡便ニシテサウシテ勞ヲ省クト云フコトノ趣意デアルナラバ寧ロ一定シタ方ガ目的ヲ達スルニ宜クハアルマイカ、色々議論ガ有ルカラ二ツ併セテ用ヰルト云フコトニナレバ矢張リ一定ト云フ目的ハ達セラレナイ姑息ノ案ニ過キナイ樣ニ自分ハ感ズルノデアル、寧ロ前ンデ此假名遣ヲ一定スルト云フコトノ意味ガ、人ガ用ヰル假名ヲ一定シテ仕舞フト云フノデハ無クシテ唯々敎育上ノ便宜ニ基イテ一定スルト云フニ過ギナイカラ其敎育ト云フ方面ニ於テハソンナ遠慮ヲセズニ一定シテ仕舞フガ宜クハ無イカ、ソコガ私ノ疑デアリマス、ソレデ廣ク及ボサザルノミナラズ唯敎育ト云フ方ノ問題ニ付テモ書クコトヲ遠慮シテサウシテ二ツノ假名遣ヲ併用スルコトヲ認メラレルト云フコトニナッテハ折角假名遣ヲ定メタ所デ兒童ノ敎育問題トシテ從來ノ面倒ヲ半分モ除クノ効果モ或ハ有ルマイカ、又文法ハ兎ニ角一定シテ仕舞ッタ方ガ目的ニ於テ適フモノデハ無イカト云フ所カラ許容制度ノ精神ヲ私ハ尋ネタノデアッテ私ノ質問ハ敎育問題ヨリモ他ニ廣ク及ボス方ガ宜イト云フ意味デ質問シタノデハアリマセヌカラ其事丈ケヲ三宅君ノ御質問ニ對シテ御答ヲシテ置キマス

○十四番(伊澤修二君)　私ハ未ダ質問シタイコトガアリマス

ルケレドモ、文部大臣ニ質問シタイコトガアリマス、今日承リマス所ニ依リマスト文部大臣ハ　皇后陛下女子高等師範學校ヘ行啓在ラセラレマスルノデ其方ニ出ラレテ、御出デニナラヌノデアリマスカラ、ソコデ今日ハ主事ニ質問ハアリマセヌ、時間モ大分移リマシタカラ願クハ此處デ今日ハ此會ヲ閉ヂマシテサウシテ次ニ大方文部大臣モ見エルデゴザイマセウカラ尙、質問ヲ續ケテ致シタイ、此事ヲチョット建議ヲイクシマス

〔「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○委員長(男爵菊池大麓君)　文部大臣ヘノ質問ハ別トシテモウ外ニ御質問ハ無イデスカ

○一番(子爵曾我祐準君)　有リマスガ今日ニ是非御聽キ下サラヌヤウニ……今日デ質問ハ無イカト云フコトニセズニ殘リニシテ頂キタイト思ヒマス

○委員長(男爵菊池大麓君)　兎ニ角質問ノ第一回丈ト……

○一番(子爵曾我祐準君)　私ハサウ願ヒマス

○委員長(男爵菊池大麓君)　四時過ギマシタカラ今日ハ散會シマスコトニ致シマセウ、サウスルト此次ハ矢張十二日ノ午後二時カラ會ヲ開キマス

午後四時十分散會

臨時假名遣調査委員會 議事速記錄（第二回）

明治四十一年六月十二日（金曜日）午後二時開議

○委員長（男爵菊池大麓君）　ソレデハ唯今ヨリ開會致シマス

○番外（渡部董之介君）　チョット申上ゲマスガ、唯今配付致シマシタ伊澤修二サンノ所謂「最近ノ國語問題ニ就キテ」ト云フ御意見書、是レハ三十七年ノ冬ニ御演說ニナリマシタノデアリマシテ、印刷ニ餘部ガアルカラ諸君ニ配付ヲシテ參考ニ供セラレタイト云フ御希望デアリマスカラシテ皆サンヘ御廻シヲ致シマシテゴザイマス、ソレカラ尙ホ今日配付致シマシタ蔓葛版等ニ就イテチョット申上ゲマス、前回ニ伊澤サンカラ歐羅巴ノ綴ノ改良等ニ關スル事情ガ分ツテ居ルナラバ取調ベテ報告ヲセヨト云フコトデアリマシタカラ多少取調ヲ致シマシテ分ル限リヲ紫版ニ致シテ此處ヘ差出シマシタ次第デアリマス、「歐米綴字改良事情」ト題シテ、是レハ御讀ミ下サルト分リマスガ、此中主モナルモノガ五六箇條アリマスル、先ヅ其一ツヲ申シマスルト矢張歐羅巴、亞米利加ニ於キマシテモ此綴字ノコトニ就イテハ發音的綴字ヲ主張スル者モアリマスシ、又語源的綴字即チ歷史的綴字トデモ申シマセウカ、即チ語源的綴字ヲ主張スルトコロノ人ガアッテ、古來論爭ガ絶エヌト云フコトガ分ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ歐米ノ語ニハ純粹ニ發音的ノモノガアルカナイカト云フ御問デアリマシタガ、ドウモ純粹ニ科學的ニ發音的デアルト云フ言語ハナイヤウデアリマス、併ナガラ伊太利デアリマストカ、獨逸デアリマストカ、イスパニヤノ言葉ニ於キマシテハ殆ド發音的デアル、殊ニ伊太利ノ如キハ殆ド發音的デアル、先ヅ是等ノ言語ハ若シ發音ト云フコトヲ理想ニ致シマスルナラバ其理想ニ一番接近シテ居ルトコロノ言語ヲ有ツテ居ル國デアルト云フコトガ分リマス、第三ニハ此發音的ヲ理想ト致シマスルナラバ其理想ニ最モ遠ザカッテ居ル言語ハ英吉利語デアル、佛蘭西語デアルト云フコトガ分リマス、第四ト致シマシテ獨逸ハ大體ニ發音的ノ言語ヲ有ツテ居ル、併ナガラ發音的デナイ部分モアリマスルノデ其部分ニハイロ〳〵ニ調査ヲシテ改良ヲ致シテ居ルト云フコトモ分ルノデアリマス、モウ一ツハ英吉利語、佛蘭西語共ニ發音ニ遠ザカッテ居リマスノデ此兩國ニ於テ種々ノ改良運動ガ古來起ッテ居リマス、併ナガラソレニハ反對論モアッテ、サウシテ改良ノ方カラ申シマスルト云フト此改良論ノ實行ガ甚ダ遺憾ノ狀態ニアルト云フヤ

ウナコトモ分ルノデアリマス、マア斯ウ云フコトガ此紫版デ分ルノデアリマスルガ、外國ノ綴ハ勿論日本ノ假名ノ綴トハ大イニ違ツテ居リマスルノデ我邦ノ例ニ之レヲスルト云フコトハムヅカシイダラウト思ヒマス、向フデヤツテ居ルカラ此方モヤラナケレバナラヌ、向フデヤラナイカラ此方デモヤツテハ往カヌト云フヤウナ關係ノモノデハナイト思ヒマス、唯參考ニナル、即チ歐米ニ於キマシテモ成ルベク此綴ト云フヤウナモノニ就イテハ之ヲ學ブガタメニ多クノ時間ヲ子供ニ費サセルト云フヤウナコトヲ避ケマシテ國語ノ實質ニ熟達サセルタメニ比較的不必要ナルトコロノ綴方ニ多クノ力ヲ致サセヌヤウニシテ成ルベク有益ナル事項ヲ學バシメル、國語ノ發達ヲ期シテ綴等ニ苦心ヲシナイデ國語ヲ學バシメルト云フコトニ非常ニ苦心ヲシテ居ルト云フコトガ分リマス、是レハ日本デモ斯ウ云フコトガ起リマシタノハ同ジ理由デアリマシテ期セズシテ東西一致ニナツタ譯デアルト思フノデアリマス、ソレカラ次ニ先日新假名遣國語表ト云フモノヲ配付致シテ置キマシタ、ソレニ就イテ其表ト嘗テ圖書課ニ於テ拵ヘテ高等教育會議員等ヘ配付致シマシタトコロノ假名遣對照語彙ト云フモノガアリマス、其語彙トノ關係ニ就イテ御尋ネガアリマシタカラ寧ロ是レハ此新舊假名遣對照語彙ト云フモノヲ皆サンヘ差出シテ御參考ニ供シタラ宜イト思ヒマシテ之レヲ差出シテ置イタノデアリマス、此對照語彙ハ御覽下サル通リ字音ノ言葉モ這入ツテ居リマスルシ複成語モ這入ツテ居リマスルシ、轉成語モ這入ツテ居リマスルシ、今度ノ假名遣案ニハ關係ノ無イトコロノ「ジ」ト「ズ」ト「ヂ」ト「ヅ」ノ假名ヲ含ンデ居リマスルトコロノ言葉モ這入ツテ居リマスカラ今度ノ假名遣表トハ餘程趣ガ違フノデアリマス、ソレデ如何ナル點ガ違フカト云フコトヲ分リ易ク致シマスタメニ「ア」ノ部ダケノ今度ノ表ニ這入ツテ居リマスル言葉ヲ拾ヒマシテソレニ赤丸ガ附ケテアリマス、極ク僅カニナリマス、赤丸ガ皆「ア」ノ部ダケニ附イテ居リマス、ソレデ對照語彙ト今度ノ表トノ關係ガ御分リニナルダラウト思ヒマス、ソレカラ前回ニ曾我子爵カラ御尋ネニナリマシタ許容ノコトニ就イテ尚ホ調ヲ致シマシテゴザイマス、是レハ此時ノ御尋ネハ文法上ノ許容ト假名遣ノ許容ト違ヒハシナイカト云フ御尋ネデアリマシタ、ソレニ就イテ尚ホ篤ク考慮ヲ致シマシタトコロガ、ドウモ實行ノ上ニ於キマシテハ此文法上ト假名遣トノ上ニ相違ヲ生ジテ來ルヤウデアリマス、文法ノコトハ語呂、語勢等ニ就キマシテ變化ヲ尊ブ性質ノモノデアリマス、デアリマスルカラ文法上許容ノ方ハ元トノ文法ニ較ベマスルト云フト前回申上ゲマシタ讐ノ舊道ニ對スルトコロノ新道ニ矢張似寄ツテ井ルト思フノデアリマスガ、併ナガラ少シ假名遣ノ關係ト違ヒマスノハ舊

道ト新道トハツキリ區別ガ付カナイ、唯舊道ガ市區改正デ擴マツタヤウナ鹽梅ニ擴マツタノデアリマス、サウシテ右ノ方ヲ歩イテモ宜シ、左ノ方ヲ歩イテモ宜シ、中央ヲ歩イテモ宜イト云フヤウナ關係ガ起ルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ「豆爾遠波ノ「ノ」ハ動詞助動詞ノ連體言ヲ受ケテ名詞ニ接續スルモ妨ゲナシ」ト斯ウ云フコトガ許容ノ一箇條デアリマスガ、ソレハ「學齡兒童ヲ就學セシムルノ義務ヲ負フ」ト云フヤウナ文章ニ就イテ申シマスナラバソレハ「セシムルノ」ト云フ「ノ」ト云フ所ガ許容ノ新文法デ、至極語呂ガ宜イト思ヒマスカラソレヲ教科書ニ使ヒタイト思フノデアリマスガ、モウ少シ言葉ガ伸ビマシテ「學齡兒童ヲ就學セシムルノ義務ノ勵行ヲ求ム」ト云フヤウナ若シ文章ガアリマシタトシマスルナラバ「就學セシムルノ義務ノ勵行ヲ求ム」トヤリマスルト「ノ」ガ重複シマスノデドウシテモ文章上、「上ノ就學セシムル」ノ下ノ「ノ」ハ省イタ方ガ宜イト云フコトニナリマス、即チ新文法ガ行ハレヌコトニ其場合ニハナルノデアリマス、又「馬ニ乘ル人」ト云フノガ古來ノ文法デアル、所ガソレガ「馬ニ乘ルノ人」ト云フト新文法ニナルノデアリマスガ、是レハサウ云フ場合モ隨分アルダラウト思ヒマス、「馬ニ乘ル人」ト言ハナイデ「馬ニ乘ルノ人」ト云フ方ガ文章上大イニ都合ノ好イ場合ガアル、サウ云フ場合ニハ使ヒマスガ、併ナガラ過去ノ時ニ馬ニ乘ツテ居ツタ人ト云フコトヲ表ハス、其場合ニ「馬ニ乘レルノ人」ト云フコトハドウモ餘リ出テ來サウニモナイノデアリマス、「馬ニ乘レルノ人」ト云フコトハ新文法デ差支ハナイガ、實行致シマス場合ニハサウ云フ例ハ餘程稀ナ場合デ起ラヌカト思ヒマス、又少シ趣ガ違ツテ參リマスル、而シテ佐行四段活用ノ動詞デアリマス、其動詞ヲ助動詞ノ「シ」ニ連ネ、「暮セシ」トカ「ハタセシ」トカ云フ場合デアリマス、此場合ハ前ニ述ベマシタ「ノ」ノ場合ト餘程違ツテ居リマス、餘リ語勢ニ關係シナイノデアリマス、例ヘバ「書ヲ讀ミテ日ヲ暮セシニ」ト云フヤウナ文章ガアリマシタトキニソレヲ「暮シシ」トヤルノハ舊イ文法デ「暮セシニ」ト云フノガ新文法デアリマスガ、此場合ニハ「暮セシニ」ト云フノガ普通ナノデアリマス、別ニ語勢ニモ關係シナイヤウデアリマスカラ、假名遣デ新假名遣ヲ用井マスルト同樣ニ矢張「暮セシニ」ト云フノヲ教科書ニ極ク普通ノ言ヒ方トシテ採用シタイト云フ考デアリマス、斯ノ如ク文法ノ許容ノ方ハ實行致シマス上ニ餘程區々ニナツテ參リマスノデアリマスガ、假名遣ノ方ノ許容ノ方ニ致シテ見マスルナラバ語呂語勢等ニ關係ガ無クシテ舊假名遣ニ由ツテ「タヒ」「コヒ」ト若シ書キマシタト致シマシテモ其發音ハ矢張「タイ」「コイ」デアル、所ガ新假名遣デアリマスルナラバ「タイ」「コイ」ト無論發音ノ通リデアリマス、ソレデ舊イ假名遣デ

書イタトコロガ發音ハ「タヒ」「コヒ」デアル、サウ云フ場合デハ一方ニ「タヒ」ト書キ、一方ニ「タイ」ト書クノハ餘程嫌ハシイコトデアリマスカラ此教科書ニ於キマシテハ詰リ發音的ノ假名遣ノ方ニ一定シタイ、假名遣ノ方ハ皆サウ云フ關係ニナッテ參リマスカラドウモ文法ノヤウナ工合デナシニドウシテモ一定スル傾キヲ有ツノデアリマス、ソレダケノコトヲチョット申上ゲテ置キマス

○十四番(伊澤修二君)　チョット唯今ノ外國ノ綴字改良ノ事ニ就イテ同ヒタイデスガ、書類ハ唯今受取リマシタバカリデゴザイマスカラ何レ篤ク拜見致シマセヌデハ其事ガ分リマセヌガ、唯其今チョット同フコトガ出來レバ同ッテ置キタイト思ヒマスルノハ例ヘバ此亞米利加デ綴字改良論ヲ企ツテ居ル、其企テタコトニ就イテ其綴字改良ノ爲メニ綴字ノ改マル言葉ノ數ハ幾ッ位アッタカ、ソレカラ獨逸デ例ヘバ綴字改良ヲシタト、其獨逸ノ場合ニハ幾ッ位アッタカト云フ其數ダケヲチョット同フコトガ出來レバソレヲ同ッテ置キタイト思ヒマス

○番外(渡部董之介君)　此處ニモチョット英吉利語ノ方ノコトハ書イテアリマスガ、タシカ二百語デアッタト思ヒマス、獨逸ノ方ハチョット分リマセヌガ、ソンナニ多クハナイカト思ヒマス

○十四番(伊澤修二君)　僅カ二語位デハアリマセヌカ如何デス

○番外(渡部董之介君)　二語ヨリハ多イト思ヒマス、先程申シマシタ通リ澤山デハナイガ唯サウ云フ運動ガアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレハ大體ニ英吉利語ハ獨逸語ニ較ベテ餘程多イノデアリマス、獨逸語ハ發音ニ一致シナイノガ少イデアリマスカラ自然ニ改良スル字モ少クナッテ來ヨウト思ヒマス

○二番(男爵松平正直君)　チョット御尋ネヲシタウゴザイマス、今御尋ネ申ス事柄ハ此案トナッテ出テ居ルノト少シ直接デナイヤウナ御尋ネヲ致シマスルノデアリマスルケレドモ、ソレハ御許シヲ願ヒマス、併シ假名遣ニ大ナル關係ガアル、外ノ事デモナイノデスガ此假名遣ノ改正ト云フコトガ世ノ中ニ生レマシタ以來種々ニ此一方カラ云フト誤解ト言ヒマスカ知リマセヌガ、一方カラ云フト杞憂ノ點ガアル、何ンダト云フト此假名ヲ一定改良ヲシテ而シテソレニ慣レタ時ニ羅馬字ヲ用キテ之レヲ改正スルト云フコトノ前提ナリ、斯ウ云フ疑ヲ生ジ或ハ又或部分ニ於テハ其方ガ宜イデハナイカト云フ議論モアルト云フヤウナ問題ハ大イニ聞エテアッタノデス、吾々共ハ專ラ其方面ニ向ッテハ實ニ心配ニ思ッテ居ッタ、萬一斯ノ如キコトガ眞相ナリトスルナラバ容易ナラザル問題デア

ル、マサカエサウデハアルマイト云ウテ心配ヲシマシタヤウナ次第デアリマスルガ、此案ニハサウ云フコトハアリマセヌカラ決シテサウデハアルマイト想像ハシマスガ、若シ或ハサウ云フ意味合モアルト云フコトデアルナラバ餘程其理由モ伺ッテ考モセニヤナラヌコトト考ヘマスルシ又ナイナラバナイデ大イニ吾々共ハ滿足ヲスル方ノコトデアリマスルカラ其邊ノ眞意眞相ノアル所ヲ隔意ナク御答下サルコトヲ希望致シマス、マダアリマスガ第一ニ是ダケヲ御尋ネ致シマス

○文部大臣(男爵牧野伸顯君)　唯今松平男爵ヨリ御尋ネデアリマシタガ、大體ノ方針ニ關係スルコトデアリマスカラ御答辯ヲ私カラ致シマス、此假名遣ヲ一定シテ置イテ他日羅馬字ヲ採用スルコトハナイカ、即チ羅馬字ヲ採用スル前提ト云フ意味デハナイカト云フ御尋ネデアリマシタガ、此國字ヲ改良シテ簡易ニスルト云フコトニ就イテハ一朝一夕ノ問題デナク御維新後間モナク此問題ハ起ッテ居ルノデアリマス、ソレハ勿論其起ル原因モアリ一方カラ云ヘバ理由ノアルコトト考ヘルノデアリマス、其國字改良ト云フコトハ今日ニ至ルマデ矢張社會ノ一部デハ唱ヘテ居ルモノモアリ即チ今日ノ時事問題ノ一ツト見テ宜シカラウト考ヘル、現ニ貴族院カラ先年建議ノトキモ國字國語國文ノ改良ト云フヤウナコトニ就イテモ希望ガ述ベテアッタヤウナ次第モアリマス即チ矢張是レハ社會ノ一部ノ思想ヲ現ハシテ居ルト云フ有樣デアルト見テ宜シカラウト思ヒマス、ソレデ此問題ト當局ノ關係ハドウカ當局ニ於テハ此問題ニ對シテ如何考ヘルカ、又如何ナル方針デアルカト云フコトハ是レハ述ベテ置ク必要ガアルト思ヒマス、今日ノ場合ニ於キマシテ責任アル大臣、若クハ文部省ニ於テ此國字ヲ改良スル爲メニ假名遣ヲ一定スルト云フ意思ハナイノデアリマス、今日ノ假名遣ノ案ヲ提出シテ御協議ヲ煩シテ居ルノハ全ク是レハ敎育上ノ關係カラデアッテ國字改良ノ問題トハ別ナ見地カラシテ提出シテアルノデアリマス、ソレデ何等ノ關係モ無イ、又責任者ニ於テ羅馬字ヲ採用スルト云フ意思ガアルカナイカト云フコトデアリマスガ、是レハ行政ノ事務トシテ扱フ上ニ於テ今日サウ云フ考ハ有ッテ居リマセヌ、此處ニ斷言致シテ置キマス、序デニ申述ベテ置キタイノハ國語調査會ト申ス機關ガ文部省ニアリマシテ、是レハ貴族院衆議院等ノ建議ナドノ結果デ出來タモノト私ハ記憶シテ居リマスガ、是レハ學者ノ集合シテ居ル委員會デアリマシテ專ラ學問的ニ諸般ノ事項ヲ調査研究シテ居ルノデアリマス其方ニ於テハ種々ナ問題ヲ掲ゲテ研究シッツアリ、既ニ研究ヲ終ッタモノモアリマスガ、マダ今後モ學問的ノ研究ヲスルト云フコトガアルノデアリマスガ、併ナガラソレハ此問題トハ今申ス國語國字改良ノ爲ニ此案ヲ出スト云フ關係ハナイノデゴザイ

マスカラ序デニ附加ヘテ置キマス

○二番(男爵松平正直君)　今大臣ノ御答デ相分リマシタガ、尚ホモウ一遍伺ヒタイノハ同ジ意味デアリマスルガ、今御話ノ出マシタ國語調査會ノ如キモ三十五年ノ決議ヲ見マスルト漢字ヲ全廢スルト云フ意味モアルヤウナ風モ此決議ノ中ノ條項ニ見エルヤウデアリマス、所ガ素ヨリ今日ノ御諮問ニハサウ云フ關係ハ毫モゴザイマセヌケレドモ、將來ノ御方針トシテハ漢字ノ全廢ト云フコトモ大ナル問題デアリマスガ、是レハ如何ナサル思召デアリマセウカ、吾々共ハ餘リ漢字ガ減リ過ギテ如何デアラウカ、モウ少シ漢字ハ御用キユナル方ガ宜イト思フ位ニ考ヘテ居リマスヤウナコトデアリマスルカ、此漢字ヲ將來ニ於テ用ユルヤ否ヤト云フコトニ就イテノ御考モモウ一應御說明ヲ願ツテ置キマシタラ大イニ滿足致シマス

○文部大臣(男爵牧野伸顯君)　當局者トシテ御答致シマスガ、漢字ヲ廢スルト云フ考ハゴザイマセヌ

○十四番(伊澤修二君)　前回ニ於キマシテ此許可即チ許容ト云フコトニ就キマシテハ委員ノ諸君カラモイロ〳〵御質問モアリ且又主事ヨリ御答辯モアリマシタヤウデゴザリマスガ、何分吾々ニハ未ダドウモ此許容ト云フコトガ胸ニ落チマセヌノデ今日ハ幸ニ大臣モ御見エニナツテ居リマスルコトデアリマスルカラ重ネテ明カニ伺ツテ置キタイト存ジマスル、此許容ト云フコトガ明カニナリマセヌト折角此處デイロ〳〵ト調モ致シ又議論ヲモ戰ハシマシテモ詰ル所殆ド水泡ニ歸スルヤウナ結果ニナリハシマイカト思ヒマスカラ、ドウゾ許容ト云フコトヲ明カニ一ツ御示シ下サイマシテ吾々ノ腹ニ十分落ルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、其分ラヌト云フ點ハ即チ私ノ分ラヌト云フ點ヲ申述ベマスルト云フト何處マデモ文部大臣ハ此度ノ新假名ト云フモノハ是レハ許容スルノデアル、本體ノ假名ト云フモノハ從來ノ歷史上ヨリ來テ居ルトコロノ假名ガ本體デアル、併ナガラ小學ニ於テハ文部大臣即チ文部省ガ國定教科書ト云フモノヲ編纂スル職權ヲ有ツテ御出デナサル、而シテ他ノ者ハ一人モ此小學ノ教科書ト云フモノハ編輯スルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマス、其出來ナイトコロデ文部省ガ如何ナル假名ヲ以テ御編纂ニナルカト云フト即チ許容ト云フコトノ新假名ヲ御用ヰナサル、斯ウ云フコトニ先般既ニ大臣ノ御言葉ニモ其意味ハアリマシタナリ又主事ヨリモサウ云フコトヲ承ツテ居リマスガ、サウ致シマスルトドウモ吾々ニハ是レハ許容トハ思ハレマセヌノデアリマス、即チ文部省ガ一ノ斯ウ云フ新假名ト云フモノヲ拵ヘテサウシテ之レヲ小學ニ強行セラルル、國民教育ニ強行セラルルノデアルカト云フコトニ事實成リハ致シハセヌカト思ヒマス、ドウゾ其點ヲ明カニ一ツ伺ツテ置キタイト斯ウ存ジマスルカラ

○文部大臣(男爵牧野伸顯君)　伊澤君ノ御尋ネニ對シテ果シテ御滿足ノ出來ル說明ガ出來ルカ甚ダ辛苦致シマスガ、許容ト云フコトニ就イテハ既ニ發會ノ節大略述ベタ通リノ次第デゴザイマス、今日ノ教科書ニ用キテ居リマスル假名遣ハ即チ學習上頗ル困難デアツテ教育上甚ダ難ナリトスルトコロデアル、段々敎ヘル必要ノアル學科ガ增加シ又最モ精細ニ敎ヘナケレバナラヌ大勢ニ赴イテ居ル際ニ此假名遣ノ爲ニ非常ニ苦ンデ居ル、多少ニテモソレヲ輕減スルト云フコトハ敎育上即チ國家ノ將來ニ就イテ利益デアルト云フ所カラ之レヲ簡易ニシタイト云フ考ヲ起シテ居ルノデアリマス、ソレデ即チ今用キテ居ル、是マデノ敎科書ニ用キテ居ル即チ先刻來歷史的ト云フコトニ話ガナツテ居リマスガ、假リニ其言葉ヲ用ヰマスト、歷史的ノ假名遣ト云フモノハ餘程困難デアル、ソレヲ何處マデモ用ヰルト云フ以上ハ今日ノ困難ヲ除クコトガ出來ナイ故ニ之レヲ簡易ニシテ敎科書ニ用ユルコトノ制裁ヲ得タイ、許シヲ得タイ、其程度ト云フモノニ就イテハ是マデイロ〳〵案モ出來テ居リマスルガ、今般御諮詢致シテ居ルノハ成ルベク普通世俗ニ用キラレテ居ルトコロト遠カラヌ範圍內ニ於テ即チ程度ニ於テ餘程淺イ程度ニ於テ我ガ假名遣ノ上ニ於テ多大ノ變更ヲ來サヌ範圍內ニ於テ稍々慣習ニ近キ範圍內ニ於テ新假名遣法ヲ制定シテ之レヲ用ユルコトノ權能ヲ得タイ、之レヲ用キルコトヲ許容スル、詰リ俗ニ言ヒマスレバ許シヲ得ル爲ニソレ〳〵ノ相當ノ手續ヲ盡サウト云フノデアリマス、ソレガ其結果ト致シテ國定敎科書ニ之レヲ採用スル以上ハ國民ニ之レヲ強行スルノニ當ルト云フ御話デアリマスガ、結果ト致シテハサウナラヌト云フコトハ私ハ申スコトガ出來ヌノデ、或ハサウナルカモ知レマセヌ、ソレデ假名遣法ヲ簡便ニスルト云フコトハモト〳〵多少現狀ニ變更ヲ加ヘルト云フノデアリマシテ、其結果ト致シテ此新假名遣法ヲ小學敎育ニ於テ行ヒ、隨ツテ國民敎育ニ於テ學ビ得タトコロノモノヲ世間一般ニ成人ノ後之レヲ用ユルト云フコトハソレハ勢ヒサウナルカモ知レマセヌ、併ナガラ先刻申ス通リ程度ニ於テハ餘程考慮ヲ費シタ積リデ非常ナ變革ハ加ヘテ居ラヌト云フ考デアリマスカラ強行ニナリハセヌカ、ソレハ見樣ニ依リマシテ敎育上ニ之レヲ用キタ結果強行ノ姿ニナラヌト云フコトハ反對スルコトガ出來ヌノデアリマス

○十四番(伊澤修二君)　唯今ノ大臣ノ御說明デ能ク其御趣意ハ了解致シマシタノデゴザイマス、果シテサウ云フコトデゴザイマスルナラバ是レハ矢張強行ニナルベキモノト云フコトノ大臣ノ御考モアリマスルヤウナリ吾々モ無論サウ見テ居リマスル、サウ致シマスルト甚ダ吾々ノ憂慮ニ堪ヘマセヌコトハ例ヘバ「コー」ト云フ音ハ皆「コウ」ニシテシマウ、斯ウ云フ

コトニナルノデアリマスルカラシテ、サウナリマスルト子供ニハ「コウ」ト云フノ外ハ「コー」ノ音ハ少クトモ小學デハ教ヘナイ、斯ウ云フコトニナリマセウ、サウシテ見マスルト例ヘバ歴代ノ天皇ノ御諡號ニ就イテチョット一例ヲ申シテ見マスルト「孝昭天皇」ト云フノハ是レハ子供ハ必ズ「カウセウ天皇」ト讀ムデゴザイマセウ何トナレバ「孝」ハ「コウ」デナクチヤナラヌ、ソレカラ「昭」ハ「シヨウ」デナクテハナラヌ、斯ウ云フコトデヤツテ居リマスカラ「カウセウ」トヨリ外ニハ讀ミヤウハナイ、ソレカラ「孝安天皇」ト云フノハ「カウアン天皇」、斯ウ讀ムコトニナリマセウ、「景行天皇」ハ「ケイカウ天皇」、斯ウ云フヤウナコトニドウモ讀メルホカナイコトニナリマセウト思ヒマス、斯ノ如キコトガ先ヅ御諡號ダケニ就イテドレダケ出來マスルカト云フト十七アリマス、即チ御歴代ノ中ノ天皇陛下ノ御名ガ讀メナイモノガ十七出來マス、即チ天皇ノ御名ガ讀メナイモノガ是レガ國民教育デゴザイマセウカ、私ハドウモ實ニ怪カラヌ話デナイカト存ジマス、ソレカラ又大臣ノミナラズ當局ノ方ニモ能ク御承知ノコトデゴザイマセウト思ヒマスガ、戸籍面ト云フモノハ女ノ名ハ假名デ書クヤウニト云フコトガ古クカラ是レハ古イ達カ何カガゴザイマシテ今日マデソレガ行ハレテ居リマス、戸籍面ヲ見ルト云フト女ノ名ハ皆假名デ書イテアリマス、私ノ知ツテ居リマスル者デ子供ヲ有ツテ居ル婦人ニモ「オコー」ト云フ女ガアル、「オコー」ト云フ名ハ「カウ」ト書イタ「オカウ」ナンデス、孝行ノ孝ノ字ハ皆「カウ」ト舊來書イテアル、「カウ」ト云フ女ノ名ハ澤山アリマス、ソレカラ「オキヨー」ナドト云フ名モ澤山アリマス、「オキヨー」ハ「オキヤウ」ト書イテアリマス、即チ京都ノ「京」ノ字「キヤウ」ト書イテアリマス、此子供ガ例ヘバ今ノ「オカウ」ト云フ人ノ子供ハ母ノ名ガ讀メナクナル、デアルカラ御母サンノ名ヲ「オカウ」ト斯ウ云フコトニナツテシマヒマセウ、ソレカラ「オキヨー」ト云フノハ「オキヤウ」トデモ讀ミマセウカ、實ニドウモ親ノ名モ讀メナイ、天子ノ御名モ讀メナイト云フモノガ國民教育デゴザイマセウカ、私ハ實ニ是レハ憂慮ニ堪ヘヌ話ト思ヒマス、是レハ文部大臣ニ御伺ヒ申ス次第デハゴザイマセヌガ、斯ノ如キ結果ニナルト云フコトハ私ハ此處ニ是非明言致シテ諸君ノドウゾ御耳ニ篤クト入レテ置キタイト思ヒマス、其母ノ名ノ讀メナクナル者ガ全國ニ何百萬人アリマセウカ存ジマセヌ

○委員長（男爵菊池大麓君）　伊澤君ニ申シマスガ今ハ質問ノ時期デアリマシテ論辯ニ移リマスト通告ガアリマスカラドウゾ其順序ニ……

○十四番（伊澤修二君）　ハハ左樣デゴザイマスカ、ソレデドウゾ文部大臣ガ御答ガ出來マスルコトナラバ斯ク致シテモ國

民教育ノ趣意ニハ悖ラヌト云フコトノ御答ガ出來マセウカ如何デゴザイマセウカ、ソレヲ伺ヒタイト存ジマス

○文部大臣（男爵牧野伸顯君）　御差支ナケレバ主事ヨリ述ベルコトニ致シタイト思ヒマス

○番外（渡部董之介君）　天皇ノ御諡號ガ此假名遣デハ子供ニ讀メナクナリハシナイカト云フコトニ就イテ例ヲ擧ゲテ第一ニ御尋ネニナリマシタヤウデアリマスガ、是レハ普通教育ニ於キマシテハ天皇ノ御名前等ハ漢字ヲ以テ教ヘルコトニナツテ居リマス、漢字デ「景行」ト書イテ矢張「ケイコウ」ト發音シテ教ヘルコトニナツテ居リマス、假名バカリ先キヘ出シテ教ヘル場合ハ殆ドナカラウカト思フノデアリマス、若シ又極ク初メニ漢字ヲ出サナイデ天皇ノ御名前ヲ教ヘマスル場合ニハ「景行」ノ如キハ矢張「ケイコウ」ト書イテ「景行天皇」ト云フ名前ヲ教ヘルコトニナルダラウト思ヒマス、尤モ今ノ御心配ハ「ケイカウ」トアルノニ遭遇シタトキニソレヲ「ケイコウ」ト始終見慣レテ居ツタナラバ讀ミ奉ルコトガ出來ヌト云フ御心配デアリマスガ、ソレナラバソレヲ讀マネバナラヌ場合ハ古書等ニ起リマセウガ、其古書ヲ讀ミ得ルヤウナ方便ト致シマシテ普通教育ノ上級ニ於テハサウ云フ是マデノ假名ノ表ヲ一ツ作ツテサウシテ教ヘタナラバソレデ目的ヲ達スルダラウト思ヒマス、此字音ニ致シマシテモ日本ノ假名ニ致シマシテモ唯讀ムダケノコトハソンナニムヅカシクナイノデアリマス、唯「コウ」ト云フノハ如何ナル文字ヲサウ書カネベナラヌノデアルカト云フ適用ノ工合ガムヅカシイノデゴザイマシテ、「カウ」ト書イテアルノヲ「コウ」ト讀マナケレバナラヌト云フコトヲ教ヘルノハ普通教育ノ上級ニ於テ教ヘルノハ容易イコトデアリマス、又サウ云フコトヲ教ヘル必要モ上ノ方デハアルダラウト思ヒマス、ソレデ詰リ「ケイカウ」ノ名稱ヲ讀ムトキニ「カウ」ト讀マナイデ「ケイコウ」ト讀メルヤウニ教ヘルニハソンナニムヅカシクナイト思ヒマス、ソレノミナラズ唯昔ノモノガ讀ムコトガ出來ヌト言ヒマスレバ　天皇ノ御諡號バカリデナシニ古イ言葉モ教ヘナケレバ昔ノ本ガ讀メヌ、國民教育トシテ昔ノ日本ノ書物ガ讀ムコトガ出來ヌデハ不都合デハナイカト云フコトニナリマスルト古イ言葉マデモ小學校デ教ヘナケレバナラヌカ、ソレハ教育ガ進ンデ來タトキノ場合ニ始メテ教ヘベキモノデアラウト思ヒマス、ムヅカシイ假名モ教育ガ進ンダ場合ニ古語ヲ習フト同樣ナ方法ヲ以テ習ツタナラバソレデ宜イカト思フノデアリマス、ソレカラ人名ノコトデアリマスガ、人名或ハ地名ト云フヤウナモノハ人ニ依ツテイロ〳〵ニ書クノデアリマス、ソレヲ一般ノ規則ヲ以テ必ズ斯ウ書ケト云フ譯ニハ往カヌノデアリマス、固有名詞ニ就イテハ例ヘバ「カウ」ト書イテ「コウ」ト讀ムノナラバソレヲ教ヘ

ルナラバ無論主事ニ於カレテモ、主事ハ殊ニ文部省デハ圖書課長モシテ居ラルルコトデゴザイマスカラ編纂ノ事ニハ其方ノ御責任モアルト思ヒマスガ、無論容易ク行カレル途ガアツタナラバ舊イ假名ヲ讀マズシテ行クノガ當リ前ノコトデアル、是非サウスベキモノデアルト斯ウ云フ御考デゴザイマセウカ、又ハ何處マデモ新シイ假名デ行カナクテハ外ニドウモ易クスル途ガナイ、斯ウ云フ御考デアリマセウカ、是レハ主事ニ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス

○番外(渡部董之介君)　今申上グマスル通リ書イタリ實行スル上ニムヅカシイノデアリマスガ、讀書キ共ニヤルコトニ就イテハ新シイ假名デヤリマスノデアリマスガ、上級ノ方ニナツテ或ハ古ク歌ヲ敎ヘルトカ或ハ「ヲ」ト「オ」ノヤウナ場合デ特別ニ書キ別ケナケレバ分ラヌト云フヤウナ御名前デモ起リマシタナラバソレハ矢張「ヲ」ト「オ」トヲ書キ別ケテ敎ヘテ宜カラウト思ヒマス、唯ソレヲドウ云フ發音ガ出ルカト云フコトヲ習フダケハ極ク容易イコトデアリマスカラ上級ノ方ヘ行ツタナラバ一應敎ヘテ然ルベキト思ヒマス

○一番(子爵曾我祐準君)　此許容ノコトデゴザイマスガ、今一應明カニ承ツテ置キタウゴザイマス、前回並ニ先刻大臣カラノ御說明ニ依リマスト第一項ハ試ミニ書變ヘテ見マシタナラバ如何デゴザイマセウ、「本案ノ假名遣ハ文部省ニ於テ敎科書檢定及ヒ編纂ノ場合ニ之ヲ用ユ但舊來ノ假名モ之ヲ用ヰルコトヲ許容ス」ソレト同ジ意味ニナルト心得テ宜シウゴザイマスカ御說明ニ依ルトサウ聽ヘマスケレドモ、今申シマシタ通リ此假名ヲ使用シテ舊來ノ假名モ之レヲ用ヰルコトハ構ハナイ許スト斯ウ書イタト同ジ意味ト心得テ宜シウゴザイマスカ

○文部大臣(男爵牧野伸顯君)　是レガ少シ違フヤウニ思ヒマス、此文字ニアル通リノコトデソレヲ許容スルト云フノデ在來ノ歷史的ノモノハ其儘デアルノデアリマス、之レヲ許容スルト云フノデアリマス、今ノ御話デアルト之レヲ用ヰテ在來ノモノヲ許容スルト云フ即チ言葉ノ上デ相違ガアルヤウニ思ヒマス

○一番(子爵曾我祐準君)　前回ニ主事カラ御答辯下サツタノヲ承リマスルト敎科書ノ檢定並ニ編纂ハ此新假名ヲ用ユル、斯ウ云フ御說明ノヤウニ承リマシタ、全ク左樣ニ承リマシタ、ソレデ言葉ヲ換ヘテ見マスト舊假名ヲ用ヰテモソレハ禁止ハシナイ、ドウモサウ云フコトニナル、唯今申シマシタヤウナコトニドウシテモナルヤウニ承リマシタガ、承リヤウガ惡イカ存ジマセヌガ事實ハ全ク今私ガ書直シテ見タヤウニ拜聽サレルノデアリマスガ、サウデゴザイマセヌナラバ今少シ御說明ヲ煩シマス

○番外(渡部董之介君)　少シ今ノ御話トハ違フヤウデアリマスガ、小學校ノ本デナリマスト御承知ノ通リ國定ニナツテ居リマス、所デ上級ノ方(行ツテ舊イ假名ヲ敎ヘルカモ知レヌ、或ハ古イ歌ヲ引イテ敎ヘル場合ニハ舊イ假名遣ヲ出シテ其儘敎ヘルカ知ラヌト云フコトヲ申シマシタガ、兎ニ角當リ前ノ文章、歌、新體詩等ニ致シマシテハ此許容ノ假名ヲ專ラ用ヰルト云フコトニナリマス、併シ中學等ノ本ニナリマスト文部省デ是レハ拵ヘル場合モアリマスガ、拵ヘルノガ本體デモナイノデアリマス、民間デ拵ヘル、民間ノ者ニ對シテ許容ノ假名ヲ必ズ用ヰヨ、檢定ニ出ルトコロノ書物ハ許容ノ假名遣ヲ用ヰヨト云フコトニナリマシタナラバ許容ノ新假名ガ正體デ舊イ假名ハ許容ニナルカモ知レマセヌガ、サウデナクシテ許容ノ假名ヲ檢定ノ書物ニ用ヰテ差出シテモ宜イト云フダケノコトデアリマス、初メカラ舊イ假名ヲ以テ書イテモ一向差支ナイノデアリマス、此方カラ舊イ假名デハ往ケナイ許容ヲ用ヰタ方ガ宜イト云フコトヲ初メカラ書物ヲ書ク者ニ命令致シマスルナラバ御說ノ通リデアリマス、其場合ニハ舊イ假名ヲ以テ是マデノ通リニ書イテモ差支ナイト云フコトニナルノデアリマスカラ少シ違フカモ知レマセヌ

○九番(岡野敬次郎君)　私ハ前回ニ許容ト云フ文字ノ性質ヲ御尋ネシタノデアリマスガ、唯今主事ノ御話ト文部大臣ノ許

容ノ御話トノ間ニ違ガアリハセヌカト私ハ思ヒマス、ソレデ御尋ネヲシテ見タイト思ヒマス、文部大臣ノ御話ニ依ルト許容ト云フノハ新假名遣ヲ用ユルコトノ權能ヲ得タイ、斯ウ云フ意味ニ過ギナイ、斯ウ云ヲ御話デアリマス、サウスルト文部省ガ教科書ノ編纂ヲ爲シ教科書ノ檢定ヲスル場合ニ於テ新假名遣ヲ以テヤルト云フコトヲ文部省ニ於テシタイ、文部省ガ其權能ヲ得タイ、斯ウ云フヤウニ聽エルノデアリマス、所ガ今主事ノ御說明ニ依ルトサウデハナイノデ文部省ハ新假名遣ヲ用ユルト極メテ置イテ、併ナガラ他人ノ作ツタトコロノ教科書ヲ檢定スルトキニハ新假名遣ヲ其モノニ用ヰテモ差支ナイノレヲ許容スル、斯ウ云フヤウニ聽ヘルノデアリマス、サウスルト文部省ガ權能ヲ得タイト云フノハ或ハ文部省ガ教科書ヲ檢定スルトキニ即チ他人ガ編纂ヲスル其場合ニ於テ新假名遣ヲ使ツテモ宜シイト云フノガドウシテ許容デアルカ、其處ガ私ニハ分ラヌノデアリマス、即チ文部省ガ權能ヲ得ルノト同ジク許容ト云フコトヲ權能ヲ得ルト解釋シテ教科書ヲ編纂スルトコロノモノガ即チ文部省ノ檢定ヲ乞フトコロノ教科書ヲ編纂スルニ當ツテハ自ラ新假名遣ヲ用ヰルノ權能ヲ得ルト云フノデアルカ其處カ許容ト云フ意味ニ就イテ少シ私ノ耳ニハ不明ニ聽ヘルノデアリマス、ソコデ依ホ續イテ私ハ同ジ一項ニ就イテノ御尋ネデアリマスガ、中學ノ教科書ヲ文部省ガ檢定スル場合ニ於テ悉ク所謂歷史的ノ假名遣デ來タ場合ニ於テ是レガ一ツモ間違ツテ居ラヌトシタナラバ文部省ノ見タトコロデ間違ツテ居ラヌトシタナラバ矢張之レヲ其儘ニ檢定濟ト云フコトニナサル方針デアルカ、或ハ新假名遣ニ改メルト云フコトヲ強制シナイマデモ新假名遣ニ改ムルノ方針ヲ以テ檢定セラルルノデアルカ、又ハ若シ同ジ教科書中ニ二樣ノ假名遣デ即チ一半ハ歷史的ノ假名遣ヲ用キテ一半ハ新假名遣ヲ用ヰルト云フ場合ニ於テ之レヲ文部省ハ如何ニシテ檢定セラルルノデアルカト云フコトヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス

○番外（渡部董之介君）　矢張大臣ガ御話ニナリマシタトコロト私ガ申上ゲタコトト別ニ違ハヌヤウデアリマスガ、今御尋ネノ所ハ詳シク分リ兼タカモ知レマセヌ、私ノ見ル所デハ曾ツテ我子爵ノ御尋ネニ對シテモ答ヘマシタ通リ文部省デ自ラ編纂致シマスルトコロノ本ニ就キマシテハ詰リ斯ウ云フ許シヲ得タラ新假名遣ヲ以テ書クコトガ出來ルノデアリマス、ソレカラ檢定ニ出テ參リマス書物ハ民間デ拵ヘル、其時ニ許容ノ新文法ヲ用キテ書キ得ルト云フノハ詰リ其著者ガ書キ得ルノデアリマスルカラ其場合ニハ著者ガ許シヲ得ルト云フコトニナルト云フ風ニ見テモ宜シイ、畢竟文部省ガ如何ナル形デ許容ノ事ヲ法令ニスルカ知レマセヌガ、斯ウ云フ法令ヲ作ルガ爲ニ民間ノ著書モ許容ノ文法デ書クコトガ出來ルコトニナルノデ

アリマス、檢定ニ出マシタ書物ヲ調ベマス上ニ於テ新シイ假名遣デヤツテ來タモノヲソレデ宜イト云フコトガ出來ルノハ詰リ矢張新假名遣ヲ許容スルカラデアル、文部省ガ許容ヲ受ケテ其爲メニサウ云フ尺度ヲ以テ民間ノ書物ヲ檢定スルコトガ出來ル、デアリマスカラ檢定ノ書物ニ就キマシテハ民間ノモノモ許容ヲ受ケルコトニナリマセウシ、文部省ノ檢定官モ矢張許容ガアルカラコソ其尺度ニ依ツテ書物ヲ調ブルコトガ出來ルト云フコトニナルト思ヒマス、ソレカラ舊假名遣デ出マシタトコロノ書物ガ檢定濟ニナルカドウカト云フコトデアリマスガ、是レハ無論檢定ニナリマスルノデ、之レヲ訂サシムルト云フコトハシナイノデ恰モ文法上許容ノヤウナモノデ、彼ノ許容ノ文法ヲ使ツテ書イテ參ヲヌモノモ差支ナイ、サウ云フコトハ咎メナイト、同ジコトニナルト思ヒマス、ソレカラモウ一ツノ御尋ネハ一半ヲ舊イ假名遣デ書イテ一半ヲ新シイ假名遣デ書イタラドウカト云フコトデアリマシタガ、ドウモサウ云フコトハ想像シ得ルカモ知レマセヌガ、實際ニハ起ラヌカト思ヒマス、サウ云フコトヲヤリマシタナラバサウ云フ書物ハ必ズ民間デ歡迎ヲサレマスマイ、凡ソサウ云フ事ニ就イテハ常識ヲ以テ著者ハ始終書イテ居ルノデアリマスカラ左樣ナ不體裁ナモノハ書クマイト思ヒマスカラ是レハ心配ハナイト思ヒマスガ、若シサウ云フ風ナ本デモ例ヘバ百頁デアルモノデ五十頁ダケ新假名遣デ後ノ五十頁ハ舊假名遣デ書クト云フコトガアレバ面白クナイト云フコトヲ注意スルコトハアリマセウ、併シソレヲ許容スルト云フコトニナリマシタ以上ハ——併シサウ云フ場合ガアルトシタナラバ檢定シテ差支ナイト考ヘマス

○九番（岡野敬次郎君）　私ノ一半ト云フノハ百頁ノモノヲ五十頁ト云フノデハナイノデス、兩方ノ假名遣ヲ用キテ新舊假名遣ヲ例ヘバ教ヘル方ガ宜イトカ、或ハ中學ニ進ムニハ尙ホ將來ニ於テハ舊假名遣ノコトモ知ツテ居ラナケレバナラヌト云フ意味合デ兩方ノ假名遣ヲ用キタリスルノデ、一行ノ中ニ一字ハ舊假名、他ノ一字ハ新假名ト云フ意味デ私ハ決シテ御尋ネシタ譯デハアリマセヌ、ソレデ兎ニ角サウ云フモノハ宜シイ、斯ウ云フ御說明ノヤウデアリマス、果シテソレガ文部省ノ趣意デアルカドウカ、又ソレガ宜シイカドウカハ又議論ガアリマセウガ、ソレハ議論ニナリマスカラ私ハ申述ベマセヌ、ソコデ斯ウ云フコトハ然ラバドウデアルカ、中學ノ第一年ニ於テ私ハ能ク科目ハ覺エマセヌガ、例ヘバ理科ノ教科書ト數學ノ教科書トイロ〳〵ナ教科書ガアリマセウガ其教科書中ニ於テ或モノハ新假名遣ニ由ツテ檢定セラレ、或ハ或モノハ舊假名遣ニ依ツテ檢定セラレテモソレハ差支ナイ、文部省モ同ジ級ニ同時ニ用キルトコロノ數十ノ教科書ニ於テ新假名

名遣ガ唯小學教育ノミノ問題デハナイ、小學教育ニ限ル問題デハナイ、斯ウ云フコトガ理由書ニモアリ、又御演說ニモナツテ居ル、又唯今ノ主事ノ御說明ノ如クニ大概漢字ニ隱レテシマウカラ要ラヌト云フナラバ何ガ故ニ問題ヲ小學教育ニ限ラヌノデアリマスカ、何故中學マデニ假名遣ノ問題ヲ及ボスノデアルカト云フ私ハ理由ガ分ラヌ、此假名遣モ唯小學教育ノ問題バカリデハナイ、中學教育ニモ矢張關係ガアルカラ之レヲ實行シタイト云フ私ハ御趣意ト解釋シテ居ルデス、然ルニ中學デハ殆ド關係ガ無イト云フナラバ此問題ノ範圍ヲ小學教育ニ止メテシマツテモ差支ナイト云フ結論ニナリハシマセヌカ、其處ガ私ハ分ラナイ、何故ソンナラバ中學マデノ教育問題ニソレヲスルカト云フ理由ヲ說明ヲ願ヒタイノデス

○番外(渡部董之介君) 當リ前ノ教科書ノ場合ニ於テハ小學校デハ新シクテ中學校デハ舊イ假名遣一點張デ差支ナイトモ考ヘラレルノデアリマス、併ナガラ中學校デ假名文ヲ書カセル場合モ偶ニハアルノデアリマスルシ、殊ニ動植物ノ細カイ名ナドニナリマスルト多ク漢字ヲ用キナイデ、所謂國民的デナイトコロノ假名遣ヲ使ハネバナラヌ、サウ云フ動植物ノ名ハ甚ダ少イ、斯ウ云フマア譯ニ文部省カ主事カ知リマセヌガ前ハ皆假名デ書クコトモアリマスカラサウ云フ場合ニ舊イ假名遣ヲ是非使ハネバナラヌト云フコト、サウシテ試驗等ノ場合ニ舊イ假名遣デ「カエル」ヲ「カヘル」ト書カネバ落第ニナルト云フコトデハ困ル、ソレデ又必ズ中學校デ「カヘル」ト云フコトヲ書クコトヲセナケレバナラヌトシテ教ヘルコトガ出來ルカト言ヒマスト、先日配付致シマシタ假名遣試驗成績表デモ分リマス通リ現ニ今日ハソレヲ教ヘテアリマスケレドモ、中學校デ矢張出來ヌノデス、字音假名遣モ國語假名遣モ舊イ假名遣ハ出來得ナイノデアリマス、出來得ナイノヲ無理ニ教ヘル必要ハナイダラウト思ヒマス、殊ニ「カエル」ノ如キ場合ハ小學校デハ「カエル」デ濟ンデ居リマシタガ、中學校ヘ行キマシタナラバ必ズ「カヘル」ト書カナケレバナラヌト云フヤウナコトハ必要ガナイ、又サウ云フコトデ聞違フコトモナイカラサウ云フ假名ハ教育ノ諸階級ヲ通ジテ同樣ニナルベキモノト私ハ心得テ居ルノデアリマス

○九番(岡野敬次郎君) 段々私ハ分ラナクナリマシタ、ト云フノハ中學ニ於テモ假名遣ハ餘程六ツカシイ、中學教育ニ於テ假名ヲ書ケト言ツテモ書ケナイ、ソレハ成績表ノ示ス通リデアル、斯ウ云フ唯今御說デアリマス、サウスルト假名遣ハ中學ニ於テ非常ナ六ツカシイ問題デアル、故ニ正シク書ク者ハ甚ダ少イ、斯ウ云フマア譯ニ文部省カ主事カ知リマセヌガ兎ニ角認メテ居ルノデアリマス、然ルニ教科書檢定ニ付テハ新舊二ツ用ヰテモ差支ナイ、而モ兩樣合セテ用ヰテモ差支ナイト云フ理由ト現在中學ニ於ケル假名遣ハ本當ニ書ケル者ガ

遣ニ由ルモノト、舊假名遣ニ由ルモノト併セテ用ヰテ教育シテモ差支ナイ、斯ウ云フ御趣意デアリマスカ、其處モ伺ヒタイ

○番外(渡部董之介君) ソレハ矢張差支ナイ見込デアリマスガ、文部省デ檢定致シマスノハ恰モ人ヲ試驗シマスルト同ジニ先ヅ是レナラバ判任官ナラ判任官、高等官ナラ高等官ニシテモ宜イト云フ免狀ヲ與ヘルト云フノト同ジコトデ、此本ナラ六十點以上ニナルカラ用ヰテモ宜イト云フ免狀ヲ與ヘルダケノコトデアリマス、ソレデ其等ノ書物ヲ用ヰマストキハ種々ノ事情ヲ考ヘテ甲ノ本ト乙ノ本ノ聯絡ヲ考ヘテ用ヰルダラウト思ヒマスケレドモガ、其處マデ當局ニ於テ心配スル必要ハナイカト思ヒマス

○九番(岡野敬次郎君) 私ニハ分リマセヌカラモウ少シ御親切ニ願ヒタイト思ヒマス、新舊兩方ノ假名遣ガ先ヅ以テ檢定ハ如何ナル意味デアルカト云フコトハ私ハ御講釋ヲ承ラヌデモ知ツテ居ル積リデアリマス、檢定ガ如何ナルコトデアルカト云フコトヲ私ハ言フノデハナイ、私ノ御尋ネハ同ジ中學ノ一年ナラ一年ニ於テ用ヰルトコロノ教科書デ新舊ノ二樣ノ假名遣ヲ矢張是レガ許ス譯ニナルノデアルカラソレガ教育上差支ノナイモノデアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネスルノデ、ドウ檢定スルカト云フコトヲ私ハ御尋ネシタノデハナイ同時ニ用ヰル教科書中新假名遣ノモノト、舊假名遣ノモノト兩方教科書トシテ檢定セラルル其檢定濟ニナツタトコロノ教科書ヲ中學ニ於テ用ヰル、ソレデモ差支ナイカト云フコトヲ私ハ教育上カラ御尋ネスルノデアリマスカラ其積リデ御答ヲ願ヒマス

○番外(渡部董之介君) 或ハ誤解シタカモ知リマセヌガ、今ノヤウナ御尋ネナラバ私ハ差支ナイト思ヒマス、若シ是レガ非常ナ過激ナ改正ナラバ大イニ差支ヘルト思ヒマス、一方ハ豆爾遠波或ハ動詞ノ語尾等ヲ悉皆發音的ニ改メルト云フヤウナ風ノ改正デアツタナラバサウ云フ假名遣ヲ書イタモノト然ラザル假名遣デ書イタモノト兩々生徒ニ接觸スルコトハ餘程不都合デアラウト思ヒマスガ、此位ノ程度ノモノナラバ少シモ差支ハナイト思ヒマス、是レハ先キニ申シマシタ通リ大體漢字ニ隱レルトコロノ假名デアリマス、殆ド漢字ニ隱レル假名デアリマス、中學以上ニナリマスレバ總テ斯ウ云フトコロノ假名ニ當リマスル言葉ハ漢字デ書イテアルノデアリマスカラ殆ド問題ニナラズニ、ドウ云フ假名デアルカト云フコトガ問題ニナラズニ濟ンデシマウノデアリマス、實際ハソレダケノコトデス

○九番(岡野敬次郎君) 私ハ尙ホ伺ヒタイノデスガ、此御諮詢ノ理由書ニ依ツテ見テモ、亦御說明ニ依ツテ見テモ、此假

少イト云フ事實トヲ如何ニシテ抵觸セシメナイヤウニ說明ナサルノデアリマスカ、ソレヲ伺フノデアリマス

○番外(渡部董之介君)　ソレハ御意見ノヤウニ思フノデアリマス、其方ガ宜イト云フ御意見ダト思ヒマス、即チ一定シテ仕舞ツタ方ガ……

〔岡野敬次郎君「意見デハアリマセヌ」ト述ブ〕

……ケレドモ是ハ大臣ノ御演說ニモ有リマスルシ私モ述ベタ通リデアリマス、歷史的ノモノデアツテソレヲ道路ニ譬ヘタナラバ舊道デアル、舊道ヲ是非今壞サネバナラヌ必要ヲ認メナイ丈ケノ理由ニ止マル

○九番(岡野敬次郎君)　私ハ意見デハ無イノデス、然ラバ意見ト混同セラレルトイケマセヌカラ純然タル質問ノ形ヲ以テ私ハ御尋ヲ致シマス、小學ノ一番上ノ級ニ於テ假名遣ガ六ツカシイト稍々同一ノ程度ニ於テ中學ニ於テモ六ツカシイ、殊ニ前回主事カラ御說明ニナツタ例等ニ考ヘテ見マスト小學ノ方ガ却ツテ假名ヲ書クノニ成績ガ良カツタ例モアル、中學ニ至ツテ却ツテ成績ガ惡クナツタト云フコトデアル、斯ウ云フ迄ニ御話ガアツタ、ソコデ小學ノ先ヅ一番上ノ級ト中學ノ一番下ノ級ト即チ小學ノ高等小學ノ繋ガル級トシテ御尋スルノデアリマス、兎ニ角ソノ繋ツテ居ル所デ小學ニ在ツテハ必ズ文部省自ラ敎科書ヲ編纂シテ居ル新假名遣ノミニ依ルノデ是ハ舊假名遣ヲ認メナイ、少シ經ツテサウシテ其上ノ中學ノ級ニ行クト兩方ノ假名遣ガ用ヰラレテ居ツテ而シテ敎育上モ差支ナイ、斯ウ云フ先ヅ御說明ニナルノデアリマス、假名遣問題ガ小學中學通ジテ極メテ困難ナル問題デアツテ成ル可ク之ヲ一定サセルコトハ敎育上必要デアルト云フコトヲ言ヒナガラ小學ノ上ノ處マデハ新假名遣デ文部省ハ殘ラズ敎科書ヲ編纂スルカラシテ所謂其權能ニ依ツテ新假名遣バカリヲ用ヰル、サウシテ中學ニ行クト兩方用ヰテ差支ナイト云フ理由ヲ伺ヒタイ、何故中學ト小學トノ間ニサウ云フ區別ヲ認メネバナラヌカ、同ジ困難ナル問題デアルト言ヒナガラ其間ニ何故差別ヲ立テルノカト云フコトヲ私ハ伺フノデ意見ヲ申スノデハアリマセヌ、ドウゾ此點ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○番外(渡部董之介君)　ドウモ御滿足ニナル丈ノ御答ヲスルコトハ出來ルカ、ドウカ疑ヒマスガ、中學校ノ方デアリマスルト之ヲ兩樣ニシテ置イテモ非常ニ憂慮スベキヤウナ結果ハ無イノデアリマスルシ、小學校デアツテ兩樣ニシテ置イテハ、國定敎科書等ニ於テ兩樣ニシテ置イテハ困ルト云フ事情モアルカラ詰リ其結果ノ方カラ差別ガ來ルダラウト思ヒマス

○六番(子爵岡部長職君)　チヨツト主事ニ伺ヒマスガ唯今九番カラ質問ニナリマシタ事ニ關聯シテ伺ヒタイノデアリマス、假リニ中學校ニ於テ一年級デ算術ト他ノ科學ノ敎科書、其例ヲ取ツテ伺ヒタイト存ジマスルガ算術ノ方デハ新假名遣ヲ用ヰテ居ル所ノ敎科書デアリ又他ノ方デハ舊假名遣ヲ用ヰテ居ルト云フヤウナ場合ニ同ジ生徒ニ向ツテ舊假名遣ヲ用ヰル所ノ書籍ニ依ツテ敎ヘル敎師ハ舊假名遣ヲ生徒ニ用ヰサセ又新假名遣ヲ以テ編製シタ敎科書ヲ依テ敎ヘル所ノ敎師ハ其生徒ニ新假名遣ヲ敎ヘテ用ヰサスト云フコトニナラウト存ジマスルガサウスルト同一ノ生徒ガ甲ノ敎師カラハ同日ニ朝八時カラ九時マデノ間ハ新假名遣ノ使ヒ方ヲ以テヤラネバナラヌ又九時カラ十時マデハ舊假名遣ヲ用ヰナケレバナラヌ又十時カラ十一時マデハ新假名遣ヲ用ヰネバナラヌト云フヤウナコトニナリハ致シマセヌカ、或ハ假令敎科書ハ舊假名遣デ出來テ居ツテモ生徒ハ新假名遣ヲ用ヰテモ差支ナイト云フコトニナルノデアリマスカ、ソコラノ事ハ如何ナモノデスカ伺ヒタイ

○番外(渡部董之介君)　今ノ御尋モソレカラ岡野サンノ御尋モ段々考ヘテ見マスト餘程理窟ノ御問デアツテ實際問題トシテハ左程憂フベキモノデハ無イト云フ感ジヲ持チマス、若シ日本ガ西洋デ「アルファベット」ヲ使ヒマスヤウニ假名ノ世ノ中デアリマシタナラバサウ云フ御心配ハ忽チ實ニナルト思ヒマス、或書物デハ「ガッカウ」ト書イテアリ或書物デハ「ガッコオ」ト書イテアルト云フコトデアリマスレバ直グニ差支ハマス、殊ニ字音ノ言葉ナドハ澤山ニ書物ニ出ルノデアリマスカラサウ云フコトハ皆假名デ書イテアリマスレバ御心配ノコトガ起ルト思ヒマス、一方ガ「ショー」ヲ「セフ」トカ「シャウ」トカ「ショウ」トカ云フヤウナ風ニ非常ニ區々ニナツテ生徒モ困ルデ有ラウ、敎師モ困ルデアラウト思ヒマスルガ、先程申シマス通リ上級デハ大抵漢字デ敎ヘテ居ルノデアリマス、學校トカノ字音ノ普通ノ言葉ニ致シマシテハ如何ニ考ヘマシテモ實際問題トシテハ御尋ノヤウナコトハ決シテ起ツテ來ヌノデアリマス、ソレカラ敎科書ニ古イ假名遣デアツテ若シ生徒カ之ヲ新シイ假名遣デ書イタナラバドウカト云フ御尋ニ對シマシテハ今申シマス通リ矢張リ實際問題トシテハ敎科書ニ漢字ヲ使フ、偶ニ兒童ガ敎科書ニ書イテ居ル通リニ本字ガ書ケナクテ、答案等ヲ假名デ書ク場合モ有ルカモ知レマセヌ、サウ云フ場合ニハ斯ウ云フノガ一ツノ新シイ假名遣トシテ許容ニナツテ居リマスカラソレニ落第點ヲ付スルト云フコトハ無イカト考ヘルノデアリマス

○二十三番(江原素六君)　チヨツト實際問題デアリマスガ、高等學校其他總テノ官立學校ヘ中學生徒ガ入校試驗ヲ受ケマス時ニ近頃國文デ非常ニ刻ネラレルノデアリマス、是カラ先キノ試驗ニ付テハサウ云フコトニ付テハ充分ナ實行ガ出來ル

ノデアリマスカ、若シ間違ツタ假名ト思ハレテ新假名ヲ使ツテ落第スルコトガアツテハ教育上迷惑シマスガソレハ一ツ御聞キ申シタイ、今一ツハ私ハ何時マデモ古イ事ヲ固守スルモノデハナク出來ル限リ文部省ノ御案ニ御同意ヲシタイノデアリマス、以前小學校ノ讀本ガ出來マシタ時分ニハ極メテ誤リ易イ假名ナドヲ單語ニ書顯ハシテ暗誦サセテ子供ハ僅カ一日カ半日デ能ク覺エマシタカラアノ時代ノ小學兒童ハ存外日本ノ固有ノ假名ニ熟練シテ居ルノデス、段々小學ノ內容ガ變リマシテ近頃ノ中學生徒並ニソレヨリ以上ノ生徒ノ國語假名遣ハ餘程劣ツテ來タヤウデアリマスルガソレラノ實際ノ調査ガ出來テ御出デナサイマスルカ、又今岡野博士ガ仰シヤツタ通リ我々ノ普通教育ハ日本人ニ教ヘルノデアリマシテ外國人ニ關係アリマセヌガ、私ノ學校ナドデハ折々外國人ガ參リ教ヘテヤル、所ガ岡野サンノ仰シヤツタコトガ實地ニ有リマス、ドウモ日本ノ本、數學ノ著述ト國語ノ著述ト漢文ノ著述、アラユル本ノ文法ヤ或ハ總テノモノガ違ツテ居ツテ、一册讀ンデ歐羅巴ノ本ノヤウニドレニモ應用ガ出來ナイデ所謂學ブノニ困ル或ハ外國人ハ困ツテモ樣ヒマセヌガ、矢張リ六ツカシイ程度ハ日本人モ幾分カ感ズルト思ヒマスガ、岡野サンノ仰シヤル通リ數學ノ本ダノ地理書ダノ歷史國文ダノ皆勝手次第ノ書方デアリマシタナラバ矢張リ多少ハマダ覺エルノニ困難ガアルカ知リマセヌガ、又日本ノ國語ヲ根柢カラ古イモノヲ壞シテ仕舞フト云フナラバ宜シウゴザイマス、一切今度ノ假名ト云フコトニナルナラバ宜シウゴザイマスガ、矢張リ日本人トシテハ從來ノ假名ヲモ知ラナケレバナラヌ、小學時代ニ於テ極メテ要點丈ケヲ教ヘル方ガ能ク覺エ易イガ、中學時代ニナツテ色々ナ外ノ學科ニ逐ハレツヽ、新規ニ日本ノ舊イ假名ノ法則ヲ或ハ文法ヲ覺エル方ガ六ツカシイカト云フコトハ普通ノ教育方面カラ考ヘテ見マスルト小學時代ニ幾分カサウ云フコトヲ心ノ底カラ記憶サシタ方ガ生涯覺エテ居リマシテ活用上確カデハ無イカト思ヒマスルガ、ソレラノ事ニ付テ私ハ一向經驗ガアリマセヌガ說明ヲ願ヒタイノデアリマス

○番外（渡部董之介君）　今ノ最初ノ御尋ノ試驗等ノ場合ニ、中學生徒カラ高等學校ニ生徒ヲ採ルヤウナ場合デアリマス、今ノ御尋ノ場合等ニシテ若シ此新假名遣ヲ使ツテ落第ニナルト云フヤウナコトガアリマシテハ不都合デゴザイマス、ソレハ無イヤウニ致ス考デアリマス、佛蘭西アタリデモ許容ト云フコトヲヤツテ居リマスルノデアリマスルガ、彼處アタリデハ文部省デ教科書ノ檢定ト云フコトハ無イヤウデアリマス、文部所管ノ學校デ試驗等ヲ致シマス際ニ、是丈ケノ文法ヲ以テ書イテ來テモソレヲ刎ネルコトノ無イヤウニセヨ、試驗等ノ場合ニ此文法ニ據ルト云フコトヲ許容セヨト云フコトヲ規定

シテアリマス、日本デハ教科書ニ許容シテ用ヰル位デアリマスカラ試驗ノ場合ニサウ云フ許容ノ文法或ハ假名遣ヲ使ツテ落第ニナルヤウナコトハ決シテサセナイヤウナ方針ニナルデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ古イ人、少シ年取ツタ者ト近頃ノ生徒ト假名遣ヲドツチノ人ガ能ク心得テ居ルカト云フコトノ試驗ノ成績デアリマス、ソレハ別ニ調ベタモノハアリマセヌノデアリマス、併シ想像イタシマスルト昔ノ人ガ舊イ假名遣ヲ餘計ニ覺エテ居ルト云フヤウナコトハ決シテ無イカト思ヒマス、寧ロ國語ノ假名遣ナドニナルト却ツテ今ノ人ノ方ガ小學校デ假名文トシテ教ハリマス、ソレニハ舊イ假名遣ガ書イテアリマスカラ矢張リ覺エ惡イモノデアリマシテモソレヲ教ヘラレテ居リマス、寧ロ若イ人ガ餘計ニ覺エテ居ルデハアルマイカ、昔ノ人ハ大臣ノ御演說ニモアリマス通リ、初カラ漢字ニ慣レテ居リマスカラ假名ノ事ハ今ノ書生ヨリモ却ツテ覺エテ居ラヌデハ無イカト、是ハ唯々想像デアリマスガ申上ゲマス、ソレカラ中學校ノ方ナドデ學科ニ依ツテ書物ノ文體ガ違フト云フコトノ御尋デアリマスガ、是ハ成ル可クナラバ一定ニナツタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、併シ檢定ヲ致スト云フコトニナリ又檢定ニハサウ細カイ點マデ取調ベルコトハ出來ヌコトニナツテ居リマス、大體ヲ檢定スル丈ケデ算術トカ理科トカ云フモノニナリマスルト文法假名遣等ノ細カイ點マデ調ベルコトハ致サヌコトニナツテ居リマス、或ハ統一ヲ缺イテ居ルカモ知レヌト思ヒマス、併ナガラマア非常ナ不都合デ無イ以上ハ多少ノ不統一ト云フコトハ免カレヌト思ヒマス

○二十三番（江原素六君）　私ガ御尋申シタイノハ古イ時代ト言ツタノハ私ノヤウナ天保時代ノコトヲ申スノデハ無ク學制頒布以來ノ小學讀本ノ變遷ガ度々アリマスガ、一時ハ日本ノ國語ニ對シテ興味ヲ持タセル爲ニ或ハ「カイ」ヲ「クワイ」ト書キ變ヘタリスルヤウナ風ニ間違ヒサウナ假名ヲバ正シク書カセルヤウナ單語ヲ以テ假名ヲ教ヘタコトモアリマス、ソレヲ非常ナ興味ヲ以テ教ヘマシテソレハ何時マデ經ツテモ働イテ尙進ンデ國語ヲ重ンジ研究シヨウト云フ希望ガ起ツタガ、近頃ノ教科書ハ一切サウ云フコトハ無クナリマシタ、其時代ノ人ト今ノ人トノ假名遣ニ對スル誤リノ程度ハドンナ譯デアルカ、ト云フコトヲ御聽キ申シタイノデアリマシテ、維新前ノ大學朱熹章句時代ノ教育ノコトヲ申シタノデハ無イノデアリマス

○番外（渡部董之介君）　私モサウ古イ人ノ事ヲ言ツタノデハアリマセヌ、唯々維新後ニナツテモ段々初カラ漢字ノ六ツカシイノヲ教ヘルノハ不都合ダ初ハ成ル可ク假名ヲ以テ日本語ヲ教ヘル方ガ宜シイト云フコトニ段々トナツテ、段々漢字ガ

減ツテ居リマス、矢張リ今申上ゲタコトハ御尋ニ適用シ得ルコト、思ツテ居ルノデアリマス、申上ゲル通リ精シイ調ベハアリマセヌ、殊ニ「クワイ」トカ「クワツ」トカ云フ音ハ明治三十三年以來廢シテ居リマス、尤モ「クワイ」ナドト使ツテモ宜イト云フコトニハナツテ居リマスルガ、併シ檢定ニ出マスル書物デモ使ツテモ宜イト云フ方ハ餘リ使ハナイデ矢張リ簡單ニナツタ方ヲ用キル傾キデアリマス、國定ニナツテカラ尚簡單ナ方ニ統一ヲ致シマシタカラサウ云フ特別ノ假名ニ付テハ今ノ人ノ出來ヌノガ事實デアラウト思ヒマス

○三番(淺田德則君) チヨット今、昔ノ小學時代ノ江原サン校ノ御尋ニナリマシタノガ分リ惡イ假名遣ト云フコトガゴザイマシタガ、元來此理由ノ最初字音ノ事ニ付テ改正ニナリマシタ時ノ目的ハ全ク此兒童ノ頭腦ニ六ツカシイ事ヲ注ギ込ムコトハ酷デアル、又ソレハ敎育上妨ゲガアル、斯ウ云フ所カラシテ起ツタヤウニ考ヘル、シマスルト今ノ小學時代ニ凡、ドレ丈ケノ所謂一般ノ意識ニ入リ難イモノガ國語デ有リマスカ、凡、ドノ位ノ文字ヲ敎ヘルコトニナツテ居リマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○番外(渡部董之介君) 今ノ御尋ハ餘程六ツカシイコトニナリマスルノデアリマスガ、唯々其尋常小學デ漢字ヲドレ丈ケ用キルカ、サウ云フ御尋デアリマスルナラバ尋常小學ノ四年ノ間ニ五百字モ敎ヘルコトニナツテ居リマス、尙ソノ外三百五十四字バカリアリマス、ソレハ漢字ノ脇ニ振假名ヲ致シマシテ覺エテモ覺エナクテモ宜イ、覺エル者ハ覺エタラ宜カラウト云フヤウナ精神ヲ以テ出シテアリマス、合セテ八百六十バカリニナリマス、併ナガラ今ノ御尋デアリマスルト字音ノ言葉、漢字カラ來タ所ノ言葉ガドレ丈ケ小學校デ敎ヘルコトニナツテ居ルカト云フ御尋ヲモ含ンデ居ルト思ヒマスガソレヲ今調ベテ居リマス、チヨツト御答ハ出來ヌノデアリマス、其方デアリマスルト餘程多イダラウト思ヒマス、ケレドモ小學校ノ始カラ蠟燭ト云フ言葉ナラ「ローソク」ト云フ風ニ今ハ假名デ敎ヘテ居リマス、ソレハ簡單ナ假名遣デ敎ヘテ居リマスガ、ソレヲ正シク書ケト云フト蠟ハ「ラウ」デアルカ「ロウ」デアルカト云フコトハ取調ベテ書カネバナリマセヌ、サウ云フコトハ困難デアリマス、唯々漢字ノ數丈ケハ分リマスガ、サウ云フ字音ヲ假名デ書イテ敎ヘテ居ルト云フモノハ澤山アリマス、ソノ言葉ノ調ベハチヨツト今附イテ居リマセヌ、追ツテ出來マシタナラバ御覽ニ入レマス

○三番(淺田德則君) サウスルト國語假名ハ凡五百バカリデスカ

○番外(渡部董之介君) 唯漢字丈ケデアリマス

○三番(淺田德則君) 例ヘバ鶯ヲ「ウグヒス」ト書クトカ、「大

ナル」ヲ「オホイナル」ト書ク、斯ウ云フ類デス

○番外(渡部董之介君) ソレモ出來テ居リマセヌ、今申上ゲタノハ漢字ノ例デアリマス

○三番(淺田德則君) 國語ノ方ハ

○番外(渡部董之介君) ソレハ出來テ居リマセヌ、甚ダ遺憾デアリマス

○十四番(伊澤修二君) 唯今チヨット主事カラ御說明ガ有ルト筈ダツタカトマツテ居リマスガ御說明ニナリマセヌカラシテ極ク不束ナ調ベデスケレドモ私ノチヨット調ベタモノガアリマスカラソレ丈ケ申上ゲテ置キマシテ宜シケレバチヨット申シタイト思ヒマス

○委員長(男爵菊池大麓君) 宜シウゴザイマス

○十四番(伊澤修二君) 私ガ調ベマシタノハ大槻君ノ著ハサレタ言海ニ據ツテ調ベタノデアリマス、言海ハ御承知ノ通リ三萬九千語餘アリマス、ソコデ其三萬九千語餘ノ中デ先キニ圖書課デ御調ベニナリマシタモノ、此案ノ前ノ訂正案デスソレニ據ルト七千三百七十七程變更スルコトニナツテ居ツタ、此度ハ「シ」ト「ヂ」、「ズ」ト「ヅ」、「カ」ト「クワ」ト云フ區別ヲ立テラレルト云フコトデ段々減リマシタ、減リマシタ結果ドレ丈ケニナツタカト云フト、先ヅ私ノ極ク疎漏ナ調ベデアリマスルカラ確實デアルヤ否ヤハチヨツト唯今シツカリトハ申上ゲラレマセヌガ五千七百語ハアリマセウト思ヒマス、其前ノトノ差異ハ唯々千六百七十七、即チ千七百バカリ今度減ツタ丈ケデアリマシテ、矢張リ凡、五千五百語ヲ下ラヌコト、思ヒマス、是ハ無論主事ノ方デ御調ベニナツタモノヽヤウニ概略ヲ調ベタノデハアリマセヌ、凡、三萬九千餘語ノ物ニ就イテ、サウシテ兎モ角モ推定ヲ下シタ數デアリマス、ソレ丈ケノ事ヲ唯今チヨット申シテ置キマスルガドウソ又主事ノ方デ精シイ御調ベガ出來マシタラ此次ニ伺ヒタイト思ヒマス

○一番(子爵曾我祐準君) 理由書ノ終リノ方デアリマス、終リノ二行目ノ「假名遣ノ如キハ敎育ノ階級ニ依リテ截然限界ヲ畫スベキニアラズ、加之何レノ階級ノ敎育ニ於テモ舊假名遣ヲ株守シ又ハ新假名遣ヲ强制スルコトナク新舊竝行セシメ自然ノ淘汰ニ一任スルヲ可トス」トアリマスガ、此自然ノ淘汰ト云フコトハドウ云フコトデアルカ、サウ云フ方針モ極メズ書物ヲ極メズ唯々人間ノ言フガ儘ニシテ置イタナラバ便利ノ宜イ樣ニ自然ノ淘汰ニナリマセウケレドモ、敎場ニ於テ書物ヲ持タセ書イタ物ヲ渡シテ敎ヘテ行ツタ自然ノ淘汰ト云フコトハドウ云フコトデアリマスカ、ドウモ是ハ餘程考ヘマシタガ自然ノ淘汰ト云フコトハ有リ得ラレヌ樣ニ思ヒマスガ敎ヘタ書物ノ通リニナツテ仕舞フヤウデアル

○番外(渡部董之介君) ソレハ小學校ノ方デハ或ハ無イカモ

知レマセヌ、併ナガラ中學校ノ方デアリマスルト澤山ナ千何百種ト云フ教科書ガ檢定サレテ、ソレガ種々ノ學校ニ配當サレテ居リマス、舊イ假名遣ヲ以テ書ク者モアリマセウ新シイ假名遣ヲ以テ書ク者モアリマセウ、區々ニナルノデアリマスルガ、ソレハ新シイ方ガ宜イト云フ人ガ段々多クナリマスレバ新シイ假名遣バカリデ教科書ガ出來テ仕舞フト云フ時代モ來ルカモ知レヌト思ヒマス、ソレガ自然ノ淘汰ノ積リデアリマス

○一番(子爵曾我祐準君)　ソレ以上ノ御說明ハゴザイマセヌカ

○番外(渡部董之介君)　小學校ノ方デハソレハ無イカモ知レマセヌ

○九番(岡野敬次郎君)　私ハ今一ツ願ツテ置キタイ、此諮問案ニ據リマスルト此案ガ實行セラレルト從來行ハレテ居ッタ文部省令ノ規定ト云フモノハ廢セラレルコトニナルノデスナ、廢セラレルト云フ事丈ケハ分リマスガ此案ヲ實行スルニ付テ如何ナル方法ヲ以テ實行セラルヽノデアルカ、文部省ノ內丈ケノ定メトシテ置カルヽノデハ有ルマイト思ヒマスガ、外ニ向ッテ之ヲ公表スルニ付テハ省令ノ形デヤラレルカ、勅令ノ形ノヤウナモノニナルノデアリマスカ、又ハ文部省ノ告示ト云フヤウナモノニナルノデアリマスカ、其公表ノ形式ヲ私ハ伺フノデアリマス

○番外(渡部董之介君)　唯今ノコトハ私モ一度御尋ショウト思ヒマシタ、餘程重要ナ問題ト考ヘマスデ今日此席デ御答辯ヲ煩ハサウトハ申シマセヌ、ドウカ此會期中ニ文部大臣ヨリ御極リノ處ヲ拜聽イタシタウゴザイマス、ドウカソレ丈ケ請求イタシマス

○委員長(男爵菊池大麓君)　如何デセウ質問モ一應盡キタヤウデアリマスル、尙、追々ト討論ノ進ムニ隨ッテ御質問ガ有ルナラバ御質問ナスッテ差支ナイト考ヘマスガ、兎ニ角質問ハ此處デ終リマシテ討論ニ移ッテハドウカト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○委員長(男爵菊池大麓君)　サウシマスルト討論ニ移リマス、通告ガアリマスカラ通告ノ順ニ依ッテ先ヅ最初ハ進行イタシマス、大槻君……

○二十二番(大槻文彥君)　時代ヲ經テ言葉ガ變ハレバ發音ガ變ハル發音ガ變ハレバ文字ヲ書變ヘルト云フコトハ自然ノ道理デゴザリマス、現在日本モ昔ハ其通リデ、奈良ノ京ガ山城

ヘ遷リマシテカラ發音ガ變ハリマシテ皆發音ノ儘ニ書キ變ヘテ居リマス、先ヅ「カキヤル」ヲ「カイヤル」、「白キモノ」ヲ「白イモノ」、「サキツコロ」ヲ「サイツコロ」、「キサキノミヤ」ヲ「キサイノミヤ」ト云フヤウニ「キ」ヲ「イ」ト書變ヘテアリマス、「マシテ況ヤ」ヲ「マイテ況ヤ」、「アラハシタマフ」ヲ「アラハイタマフ」、「寒ク」ヲ「久シク」ヲ「サムウ」ヲ「久シウ」、「タタミガミ」ヲ「タタウガミ」、「キミタチ」ヲ「キンダチ」、「アラム」ヲ「アラン」、「ユクラム」ヲ「ユクラン」、「カカフリ」ヲ「カウブリ」、「タマハル」ヲ「タウバル」、「ハシル」ヲ「ワシル」、「ハッカニ」ヲ「ワヅカニ」、「テミズ」ヲ「テウズ」、「ベカルメリ」ヲ「ベカンメリ」、「マヰヅル」ヲ「マウヅル」、「マヲス」ヲ「マウス」、「イカズテ」ヲ「イカデ」トカヤウニ總テ書變ヘテアリマス、斯ウ云フコトハ無數デアリマス、ドウシテ斯ウ云フコトガ起ッタカト申シマスト、自然世ノ中ガ忙シクナリマスルノデ發音ノ便利ヲ圖ル爲ニカウナッタト云フ說デ之ヲ音便ト申シマス、併シ又或學者ノ說ニハ世ノ中ガ段々開ケテ來テ禮儀ヲ尊ブ、——禮儀ヲ尊ブニ就イテハ容止ヲ繕フ、容貌ヲ崩サヌ樣ニスル「フキ」トカ「ウキ」トカ「ウェ」トカ云フ樣ナ音、或ハ「キ」「ク」ト云フ樣ナ音ハ唇ヲ餘計動カスノデ、ソレヲ避ケル爲ニカウナッタト云フ說デアリマス、何シロ王朝ノ世ノ中ニハ斯ウ云フ風ニ發音ガ變ハッテ來マシタノハ殘ラズ書變ヘテアリマス、皆樣御案內ノ通リ其頃ノ書物ヲ御覽ニナレバ皆其通デアリマス、是ハ王朝ノ盛ナ時、言文一致デアッタカラ此姿デアル、學者ノ理窟ノナイ世ニハ斯樣ニ自然ノ姿ニ變ハッタモノデゴザリマス

然ル所後三條帝ノ御代アタリカラシテ又發音ガ變ハッテ來マシタ、ソコデ發音ガ變ハリマスルト同時ニ一方ニ文章ハ固定シテ元ノ儘デ書キ話言葉ハ話言葉バカリ變ハルト云フヤウナ一種ノ風習ヲ起シマシテ、ソコデ文ト話ト別々ニナリ文章ハ學ンデ書カネバナラヌモノトナリ、是ニ於テ自然ニ假名遣ト云フモノガ起ッテ來マシタ、崇德帝ノ頃ノ藤原基俊ト云フ人ガ作リマシタ悅目抄、鎌倉ノ初メニ藤原定家卿ノ作リマシタ定家假名遣、是等ハ前ノ發音トハズット違ッテ居リマス、ソレヲ見マスルニ其頃ノ發音ノ儘ニ書イタカラ違ッテ來タノカト思ヒマスルニサウデハナイ、定家假名遣ノ中ニハ「ヲモムキ」ト云フトキニハ「ヲ」ト書クトカ「オモムク」ト云フトキニハ「オ」ト書クトカ「親子」ト熟語ニナルトキニハ「ヲヤコ」ト書キ、「親」トバカリノトキハ「オヤ」ト書クトカ斯ウ云フヤウナコトニナッテ居テ更ニ學理モ根據モナイモノニナッテ居リマス、所ガ此定家假名遣ト云フモノハ殆ド一定シマシテ、明治維新頃マデ此規則ガチヤント守ラレテ居リマシタ、シカシソレハ少數ノ京都ノ公家衆、堂上方ノ歌ヤ文ノ中ノ事デアッテ民間ニハ頓ト行ハレナカッタノデアリマス、ソコデ一方民間ヲ見マスルト

鎌倉室町江戸ヲ經テ明治ノ現在マデ假名遣ト云フモノハ全ク亂雜ナモノデ一定シタコトハ少シモナイ、ソレハ鎌倉以來ノ數百年ノ間ノ學者ノ作リマシタ書物或ハ小說淨瑠璃ノヤウナモノノ文ヲ御覽ニナリマスト能ク分リマス、殊ニ手紙ノ文ナドハ皆マチ〳〵ニナッテ居リマス、現在デモ手紙ノ文ノ東ヘ西ヘト云フ「ヘ」ニ「江」ノ字ヲ用ヰテ居リ、「左樣ニ候ヘドモ」ノ「ヘ」ニ「得」ノ字ヲ書キマス、是等皆發音ノ儘デアリマス又現在市街ノ暖簾看板ノヤウナモノヲ見マシテモ尾張屋ト云ヒ近江屋ト云ヒ、又ハ揉療治、泥鰌汁、鯨汁ナドト云フ、假名遣ハ皆マチ〳〵デ少シモ一定シテハ居リマセヌ、ソレデ居テドウカ斯ウカ通ジテ居リマス、現在デモ新聞紙ノ上ニ時事新報ノ字音ノ振假名、遞信省ノ告示ノ停車場ノ地名ナドノ振假名モ矢張發音ノ儘デ書イテアリ海軍ノ信號、電話ノ姓名帳ナドモ「オ」ト「ヲ」、「エ」ト「ヱ」ナドハ分ケマセヌデ一緒ニナッテ居リマス

ソレデ假名遣ヲ改定スルノハ國語ヲ亂ダストカ亂ダサヌトカ云フヤウナ說モゴザイマスガ、ソレガ何ヲ論據トシテ亂ダス亂サヌト云フコトヲ言フカト云ヒマスレバ是ハ元祿年中ニ難波ノ契沖阿闍梨ガ唱ヘ出シマシタ、村上天皇ノ天曆以前ニ出來タ書物ニアル假名遣ヲ採ルト云フ論據デゴザリマセウ此假名遣ガ、契沖ニ由ッテ初メテ世ノ中ヘ唱ヘラレマシタ、所ガ其頃此假名遣ニ非常ナ反對ガアリマシテ、所謂堂上ノ公家衆ノ定家假名遣ヲ守ッテ居ルモノナドハ無論ニ顧ミマセヌ、ソレデ矢張御維新頃マデ定家假名遣ヲ使ヒマシテ塙保己一ガ寬政年中ニ幕府ノ和學講談所ヲ建テマシタ時ニモ矢張定家假名遣デナケレバナラナカッタ位ノモノデ、トント此契沖ノ唱ヘタコトハ世間デハ用ヰマセンデシタ、併シナガラ民間ノ國學者ハ大分契沖氏ノ說ニ從ヒ始メマシタ、ソレハ此假名遣ニハ根據ガアル、其根據ト云フハ天曆以前ノ書物ヲ見マスルト小サイ方ノ「ヲ」ニハドノ書物ヲ見テモ「ヲ」ガ書イテアリマス、大キイ方ノ「オ」ニハドノ書物ニモ「オ」ガ書イテアリマシテ天曆以前ノ書物ニハ自カラ一定シテ居ル言文一致ノ世ニハ無論其等デアリマスガサウイフ一ノ論據ガアリマスルノデ是レガ學者ノ大層遵奉スルトコロニナリマシタ、併ナガラ契沖ノ唱ヘタノモ一方ニ定家假名遣ト云フヤウナモノガアッテソレガ杜撰デアルカラシテソレヲ改メヨウト云フカラ起ッタノデアッテ詰リ假名遣ト云フモノガアルカラソレヲ一ツ整頓シヨウト云フノデ別ニ假名遣ト云フモノヲ立テタノデ發音ノ儘ニ書ク ト云フコトガ自然ノ道理ト云フヤウナコトニハ少シモ考ヘガ及バナカッタノデアリマス、ソレカラシテ契沖ガ唱ヘマシタコトガ段々ニ行ハレマシテ契沖カラ七十年ノ後楫取魚彦ガ古言梯ヲ作リマシタ、是ハ天曆以前ノ書物ニ依ッテ一々假

名遣ヲ調ベタモノデアッテ、其外本居宣長ノ假名遣ノ書物ナドモアリマス、ソレデ斯樣ニ古書ヲ調ベマシテ假名遣ト云フモノノ穿鑿ガ段々進ンデ來マシテ天曆以前ノ假名遣ト云フモノハ略ボマア一定シタヤウナモノニナリマシタ、併シ矢張少數ノ國學者ノ中デバカリ用ヰラレテ世間一般ニハ決シテ用ヰラレテ居リマセヌデシタ、明治ノ初メニ政府デ學制ヲ布カレテ契沖說ノ假名遣デ敎科書ヲ作ラレマシタ其時ニ先刻ノ江原サンノ御話ノアッタ掛圖ヲ作ラレマシテ「イト」トカ「キド」トカ云フコトヲ敎ヘラレマシタ、ソレカラ敎科書ニハ常ニ天曆以前ノ假名遣ヲ使ヒマシテ、殊ニ新聞紙ノ上デハ明治ノ初メニ讀賣新聞デ鈴木田正雄ト云フ人ガ古言梯ノヤウナモノヲ座右ニ置キマシテ天曆以前ノ假名遣ヲ用ヰルヤウニナリマシテカラ新聞紙ガ大分之ニ從フヤウニナリマシタ、併シナガラ民間ノ多數ハ矢張依然トシテ亂雜デアリマス

ソレデ此假名遣ト云モノハ口デ「オー」ト云フノヲ「オフ」ト書キ「オホ」ト書キ「ヲウ」ト書キ「アフ」「ワウ」「ハウ」ト書ク斯ウイフヤウナノハ此諮問案ニモ澤山アリマス、實ニ煩雜ナモノデ先刻伊澤サンノ御話ニナッタ五千、七千位ハゴザイマセウ、ソコデ天曆以前ノ假名遣ニ從フトナリマシテモドチラダカ分ラヌ言葉ガアリマス、鯨ノ「チ」「可笑(カシ)」ノ「ヲ」「驕」ノ「オ」モ分ラヌ「用ヰ」ト云フ「ヰ」モ「ヰ」デアルカ「ヒ」デアルカ「俵」ノ「ヲ」

臺所デ物ヲ洗フニ用ヰル「タワシ」モ「ハ」カ「ワ」カ分ラヌ、是等ニハ學者ニ兩說ガアル、斯ウ云フノガマダアリマス、ソレカラ虫ノ「ゲヂゲヂ」ノ「ヂ」、泥鰌(ドヂヤウ)ノ「ヂ」モ「ジ」ダカ「ヂ」ダカ分ラヌ、狡猾ナコトヲ「ズルイ」ト云フモ、「ヅ」デアルカ分ラヌ、「泥棒」ナドモ「バウ」ダカ「ボウ」ダカ分ラヌ、斯ウイフヤウナモノガ澤山アル、天曆以前ノ假名遣ニ從フトシテモ天曆以前ノ書物ニ見エヌ語ガアッテ適從スルコトヲ知ラヌモノガ多イノデアリマス、然ルニ之レヲ發音ノ儘ニ書キマスナラバ更ニ少シモ苦勞ナク書カレマス

又假名遣ヲ一ツニシマスト同ジ發音ノ言葉ガ多クナッテ區別ガナクナルト申ス人ガアリマスガ、ソレヲ申シマスレバ天曆以前ノ假名遣ニシテモ同ジコトデ「猪」モ「井」モ「藺」モ「キ」デアリマス、「尾」「緒」「男」「小」皆「ヲ」デ「植エ」「飢エ」モ「エ」デアリマス此類ガ澤山アリマスカラ混雜スルト云フコトハ同樣デアリマス、同ジ言葉ガ二ツアッテ間違ヘサウナレバ人間ノ智慧ト云フモノガ自カラアリマス支那ニ金山寺ト云フ寺ガアリ徑山(キンザン)寺ト云ノガアリマスコレニ徑徑山、金金山(カナキン)ト符牒ヲ付ケテ言ヒワケマス、公侯伯子男ノ「コウ」ガ二ツアルト「キミ公」「ソロ侯」ナドト申シマス學校ニ「ワタクシリツ」(私立)「イチリツ」(市立)ト云フ是等ハ甚ダシイ例デアリマスガ斯ウ云フ風ニ混雜スル言葉ガアレバ自カラ人間ノ智慧デ工夫付ケル能ク

人ガ仁賢天皇、顯宗天皇御兄弟ノ御名前ノ弘計、億計ノ區別ヲ「クワンヅメ」ナドト言ッテ居ル人モアリマス、出羽奥州ニデ古事記ニハ一方ヲ「オホケ」ト書イテアリマス、ソレニ依レバ仔細ハナイ、詰リ大小ノ意味デアリマス

又或論者ニナリマスト極ク根本ニ立入ッテ現在ノ人ノ發音ヲ直スガ好イト云フ說ヲ唱ヘマス、是レハ迚モ出來ル譯デハゴザイマスマイ、「ヲ」ヲ「ウオ」、「ヂ」ヲ「ヂイ」ト云フヤウナ發音ヲ人々ニ出サセルコトハ迚モ出來ナイコトト思ヒマス、ソレデ「ジ」「ヂ」「ズ」「ヅ」ハ今、全國ノ人々八九分マデハ區別ガゴザイマセヌ、僅ニ土佐ノ國ト九州ノ端ノ人ノ發音ニ區別ガ少シバカリ殘ッテ居リマスガ、斯ウ云フ僻地ノ音ヲ用ヰルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、昨日渡部主事カラ御配賦ニナリマシタ、宮崎縣ノ小學校ノ試驗成績ノ中ニ發音ノ區別ガアルト云フ宮崎縣デモ「ジ」ト「ヂ」ガ違ッテ居リマスカラ、發音ニ區別ガアルト云フ地方モアテニハナリマセヌ

ソレカラ「カン」「クワン」、是レモ全國七八分出羽奥州、關東、東海道、五畿內、中國マデハ最早區別ガナクナッテ居リマス、ソレデ此「カン」「クヮン」ヲ區別スルト云フ地方ノ人モ確カニ正シク區別スレバマダシモデゴザリマスガ、越後ノ人ナドニ了解ヲ「レウクヮイスル」ナドト申シテ居ル人ガアリマシタ區別スルト云フ所ノ人ノ發音モアテニハナリマセヌ、ブリツキヘ食物ヲ詰メマス「鏘」コレハ英語デ「カン」デアリマス、ソレヲ「クワンヅメ」ナドト言ッテ居ル人モアリマス、出羽奥州ニ「ハ」「ヒ」「ヘ」ノ音ハナイ「フア」「フキ」「フエ」デアリマス、朝夕ノ發音ニコレヨリ外ハナイ、是レガ又日本ノ古イ發音デアリマスカラ是レモ正シイト言ハナケレバナラヌカラシテ右ノヤウナ「ヂ」「ジ」「ズ」「ヅ」「カン」「クヮン」ト云フヤウナ僻地ニ殘ッテ居ル音ヲ御採用ニナルヤウニナリマスレバ此「フア」「フキ」「フエ」ノ音モ採用シテ戴キタイト云フコトヲ申出ルカ知レマセヌケレドモ、是等ノ音ヲ用ヰルコトハ出來マスマイ、發音ノ區別ノアル所ノ區別ヲ無クスルノハ迷惑デアルト云フコトハ能ク人ガ申シマスガ、サウ申セバ反對ニ發音ノナイ所ノモノニ發音ノ區別ヲサセルト云フコトモ迷惑デアル、唯迷惑スル人民ノ多數少數ヲ考ヘナケレバナラヌ、ドウシテモ少數ノ所ハ犧牲ニ供セラレルト云フコトハ致シ方モアリマスマイ、又或ハ發音ノ區別アル所ハ地方限ノ學校ノ教授ノ上ノ手心ニ何ントカ宜シイ方法モアリマセウ、詰リ其邊ダケデハ「ジ」「ヂ」「ズ」「ヅ」ヲ書分ケテ手紙ナリ端書ナリヲ出ス、一方ニ區別ノナイ所ニ端書ガ來テ見タトコロガ唯「ジ」「ヂ」、「ズ」「ヅ」ト一ツノ音ニ二ツノ文字ガアルト思ッテ見レバソレデ、通ジナイコトハアリマスマイ

餘リ假名遣ノコトデ專門ニ立入リマスルコトハ止メテ置キマ

スガ、右ノヤウナ混雜ガアリマスルデ假名遣ハ發音ノマヽニ一定シタイト思ヒマス

明治ノ御代ノ人々ガ御互ニ話ヲシマシテ、一方ノ人ノ口カラ發スル聲ガ一方ノ人ノ耳ニ入リマシテソレデ意味ガ分ッテ居リマス、其發音ノ儘ノ言葉ガ即チ大日本帝國ノ言葉デゴザイマセウ、假名遣ヲ改メレバ國語ヲ亂ダスト申シマスレバ五千萬人ノ今日ノ日本人ガ國語ヲ亂シテ居ルト言ハネバナラヌ、日本ノ國語ヲ用ヰテ居ラヌト言ハネバナラヌ、ドウモサウ云フ道理ハナイト思ヒマス、人ニ生キ死ニガアル通リニ言葉ニモ生キ死ニガアル、活キテ居ル人ガ口ニハ活キタ言葉ヲ使ヒナガラ之レヲ書クトキニハ死ンデ居ル假名遣ヲ用ヰルト云フコトハドウモ當ヲ得ナイコトデアラウト考ヘマス

ソレカラ次ニ字音ノ假名遣ノコトヲ申シマス、此字音ノ假名遣モ數百年間殆ド亂雜デ更ニ一定シテハ居リマセヌ今日カラ百五六十年前延享年中ニ僧ノ文雄ガ磨光韻鏡ヲ作リ續イテ安永年中ニ本居宣長ガ字音假字用格ナドヲ作リ文化天保ノ頃太田全齋ガ漢呉音圖ヲ作リ萬延元年ニ白井寛蔭ガ音韻假名用例ヲ作リマシテ段々研究ガ進ミマシテソレ〳〵世間ニ發表サレテアリマス、是等ノ書物ヲ見マスルト字音ト云フモノハドウモ非常ニムヅカシイモノデ、アナタ方モ無論御覽デゴザイマセウ、私共ハ見レバ頭痛ガイタシマス、ソコデ又現在無意識ニ御互ガ平生此字ノ音ハ斯ウ云フ音デアルトシテ用キテ居ル音ニ字音假名遣ニ據リマスト非常ナ誤リガ澤山アリマス、貿易ナドノ輸出輸入、此輸ノ字ニ「ユ」ト云フ音ハ無イ、「シユ」デアル出モ出ルノ意ノ時ハ「シユッ」デアルガ出ストイフ時ハ「スキ」ノ音デ輸出ハ送リ出ス意デアルカラ「シュスキ」ト言ハヂバナラヌ、「シュスキ」(輸出)「シュニフ」(輸入)ガ何萬圓有ルナドト言ッテモ人ニ分ラヌソレカラ醫者ノ療治ノ「注射」ノ射ハ弓術ノ時ニハ「シャ」デアリマスガ、射ルト云フ時ニハ「セキ」ノ音ニナリマス、醫者ニ「チウセキ」ヲ賴ムナドト言ッテモ分ラヌ、直接間接ノ接ノ字ニモ「セッ」ノ音ハ無イ「セフ」ノ音デアリマス、ソコデ待ノ字ヲ附ケテ接待スルト言フニハ「セフタイ」トナッテ音便デ詰ルコトガアリマスケレドモ應接、直接、間接ノ時ニハ「オウセフ」「チヨクセフ」「カンセフ」ト言ハネバナラヌ、アナタト「チヨクセフ」ニ談判スルナドト言ッテハ分ラヌ、ソレカラ立ノ字モ「リッ」ト云フ音ハナイ「リフ」キリデゴザイマス、「リフハフ」(立法)ト云フ時ハ音便デ「リッパフ」ト云フモ宜シウゴザイマスガ、獨立自立ト云フ時ニハ「ドクリフ」「ジリフ」ト言ハネバナラヌ、雜ノ字モ「ザフ」ノ音ホカナイ、雜誌ト云フ時ハ宜イガ混雜ハ「コンザフ」ト言ハヂバナラヌ、飯ヲ食フコトヲ喫飯(キツパン)ト云ヒ烟草ヲ飲ムコトヲ喫煙(キツエン)ト云ヒマスガ、喫ニ「キツ」ノ音ハナイ「ゲキ」

デアリマス是カラ「ゲキハン」スル、或ハ「ゲキエン」ハ無用ナドト言ッテモ分ラヌ是等ノ須ガ澤山アル併シ是等ハスベテ日本ノ字音トシテ用ヰテ差支ヘナイ、今更改メルコトモ出來マセヌ、是ハ諸君モ御同感デゴザリマセウ、サウナリマスルト字音假名遣ノ規則ト云フモノハ先ヅ破レテ仕舞フ

諸先輩ガ定メタ字音ノ規則ニ依ルトシマシテモマダ決マラヌノガアリマス、烏帽子ノ烏ナドモ「エ」カ「エ」カドッチカ分ラヌサウ云フ分ラヌノモマダアリマス、又字音ニハ字ニ因ルト漢音ト呉音ト二ツアルノガアリマス、法ノ字ハ漢音デハ「ハフ」呉音デハ「ホフ」デアルカラ法律ト云フ時ニハ「ハフリツ」ト書キ法名ハ「ホフミャウ」ト書カネバナラヌ、尚ト云フ字モ漢音ハ「シャウ」呉音ハ「ショウ」デアリマスカラ高尚ナ教育ナドト云フ時ニハ「カウシャウ」デ一休和尚ナドト云フ時ハ「オショウ」トセネバナラヌ、是等ハ無數デ有リマス、ソレカラ平聲上聲去聲中ノ十一眞、十二文、十三元、十四寒、十五刪、一先又屑ハ「シヌ」「ブヌ」「グヌ」「カヌ」「サヌ」「セヌ」（舌ノ六韻ノ字音ハ「シヌ」「ブヌ」「グヌ」「カヌ」「サヌ」「セヌ」（舌内音）デ十二侵、十三覃、十四鹽、十五咸ノ四韻ノ字音ハ「シム」「タム」「エム」「カム」（唇内音）ト書カネバナラヌ、ダカラシテ「山」ハ「サヌ」「三」ハ「サム」ト書カネバナラヌ又「カイ」「タイ」「セイ」ナド云フハ「イ」ノ音デ「ルキ」トカ「スキ」トカ「ズ井」トカ云フ「ウクスツヌフムユルウ」ノ下ナノハ「井」ト書カネバナラヌデ非常ナ面倒ナモノデアリマス、ソレカラ同ジ「ショウ」ト云フ發音デモ「シャウ」「シヨウ」「セウ」「セフ」ガアリ同ジ「チョウ」ノ發音デモ「チャウ」「チヨウ」「テウ」「テフ」ガアリマシテ、ソレガ殘ラズ濁リマスト「ジョウ」ト云フ音ガ八通リニナリマス其外議案ニモ澤山見エマス通リ非常ナ區別ノアルコトデアリマス

ソレカラシテ能ク人ガ漢字音ハ覺エルニ左程ムヅカシク無イソレハ偏カ旁カガ同ジ形ノ字デアレバ大抵同ジ音ダカラ類推シテ覺エルコトガ出來ルト申シマスガ決シテサウデハゴザリマセヌ、先ヅ術ハ「シユツ」ノ濁リデアリマスガ、術ノ字ノ右ト左トヲ取ッテ眞中丈ケノ朮（をけら）ハ「チユツ」ノ濁リデアリマス、述ハ「シユツ」ノ濁リデ怵惕惻隱ナドノ怵ハ「チユツ」ノ濁リデ、同ジ怵ガ「イザナフ」ノ意トナレバ「シユツ」デ濁ラズ、同ジ怵ガ「クルフ」ノ意トナレバ「キツ」ノ音トナリマス、又辱ハ「ショク」ノ濁リデソレニ衣偏ヲ附ケテ褥（シトネ）トナルモ「ジョク」デアルガ同ジ衣偏ノ字デモ意味ガ變ッテ子供ノ着物ノ意トナルトキニハ「ヂョク」ニナル、ソレカラ寺ト云フ字ハ「ジ」デアリ侍モ「ジ」デアリマスガ、病垂ヲ附ケテ痔トナリ手偏ヲ附ケテ持トナルト「ヂ」ニナリ、待ハ「タイ」トナリマス、又女ノ字ハ「ヂョ」デアルガ「汝」ニナルト「ジョ」ニナリ徐ハ「ジョ」デアルガ除ハ「ヂョ」デアリマス、「裏」ハ「ジャウ」デ

アルガ女偏ニシタ孃ハ「ヂャウ」ニナリマス是等ハ土州ヤ九州邊ノ「ジ」ト「ヂ」ヲ區別シテ發音スルト云フ地方デモ一々書物ニ據ッテ其字毎ニ調ベナケレバ區別ハ出來マイト思ヒマス、其他、周ハ「シウ」デ調ハ「テウ」デ惆ハ「チウ」デ偸ハ「テキ」デアル、專ハ「セン」デ傳ハ「デン」デ轉ハ「テン」デ摶ハ「タン」トナル、毎ノ字モ「マイ」デアリマスガ海ニナルト「カイ」トナリ梅ハ「バイ」デ俤ハ「ブ」トナリマス、相ノ字ハ木偏ニ目デアリマスカラドッチヲ見テモ「モク」ト言ハネバナラヌガ是ガ「サウ」デアリマス、偏旁デ推シテ字音ヲ誤ルヲ百姓讀ト云ッテ人ガ嗤ヒマス類推ト云フコトハ危イ事デアリマス

字音ノコトモマダ申シタウゴザリマスガ專門ニ渉ルコトハ止メマス

ソコデ字音ヲ知ルニハドウシタラ宜イカト申シマスト詩ヲ作ルコトヲ學ンデ平上去入ノ百六韻ニ分屬スル文字ヲ知ル外手段ハ無イ、併シ人毎ニ詩ヲ作ラセルト云フコトハ迚モ出來ナイ又詩ヲ覺エタ所デ數千字音ヲ一々覺エルコトハ極メテムヅカシイドウシテモ字音ト云フモノハ如何ナ學者デモ字毎ニ其筋ノ書物ニ據ッテ引カネバナリマセヌ

支那ノ字音ヲ區別シテ何カ益ガ有ルカト言フニ「シャウ」ト云フ字モ澤山アリ「ショウ」モ澤山アリ「セウ」モ「セフ」モ澤山アリマスカラ目印ニモ何ニモナリマセヌ、支那人トノ通辯ニ使フ利益デモアルカト云フニ此儘デハ通辯ハ出來マセヌ、幾ラカ姿ニ似通ッタ所ハアリマスケレドモ決シテ此音デ通辯ナドガ出來ルモノデハアリマセヌ、區別ノ標準ニモナラズ、苦シンデ區別シテモ何ノ必要モ無イ

字音ト云フモノハ固ヨリ支那ノ原音デアルガ之ヲ書變ヘタ所デ差支ハアルマイト思ヒマス、英吉利ノ地名ニ「ウオーセスター」ト云フ處ガアリマスガ之ヲ「ウースター」ト發音シマス、日本デモ「ウースター」ト發音ノ儘デ飜譯シテ元ノ綴リニハ據リマセヌ亞米利加ノ川ノ名ニ「ミスシスシッピ」ト云フ處ガアリマス之ヲ「ミッシッピ」ト發音イタシマス、ソノ發音ノ儘ニ飜譯シテ少シモ差支ハナイ、「イングリシ」ヲ「イギリス」トシ「ホルランド」ヲ「オランダ」トスルモ常ノ事デアリマス、又西洋人ガ日本ノ言葉ヲ寫シマスニモ決シテ假名遣ニハ據リマセヌ發音ノ儘ニ寫シマス、ソレデ互ニ意味ノ分ラヌコトハアリマセヌ、要スルニ學者ガ大層骨ヲ折ッテ研究シタ漢字ノ字音モ世間ニハサッパリ行ハレテ居ラズ、相應ナ學者モ守ッテ居ラヌト云フコトハ明カデアリマス

詰ル處此處ニ一篇ノ日本ノ假名文ヲブッツケニ書イテ一字モ假名遣ヲ間違ヘナイト云フハ非常ナ學者デ無ケレバ出來ナイ、又此處ニ一篇ノ漢文ヲ出シテソレヘブッツケニ片端カラズツト字音ノ振假名ヲシテ一字モ間違ヘナイト云フハドウモ大變

ナ學者デ無ケレバ出來ヌコト、思ヒマス

斯樣ナ次第デアリマスカラ國語假名遣モ字音假名遣モ古イ所ニ據ラセルト云フコトハ非常ニ難イコトデアラウト思ヒマス、半端ノ教育トナツテ何ノ益モナイ、ドウシテモ御改メニナルベキモノト思ヒマス、サウシテ書クニハ發音ノマヽニ書クガ古イ書物ヤ其他ニハ「コウ」ト云フ音ヲ「カウ」ト書キ「ショウ」ト云フ音ヲ「セウ」ト書イテアルノモアルトソレ〳〵ニ教ヘルヤウニスレバヨロシイ、書クト讀ムトニハ自ラ難イ易イガゴザリマス

今日ハ臺灣朝鮮滿洲其外ヘモ日本ノ言葉ヲ弘メネバナラズ、又外國人ニモ學バセネバナリマセヌ、ソレニ發音ト文字トガ變ハツテ居ルト云フコトハドウモ不都合デハアルマイカト思ヒマス

昔ノ通信ハ早追駕籠カ飛脚デアリマシタ、ガソレガ今デハ汽車、電車、電信、電話ニナツテ居リマス然ルニ通信ノ第一ト云フ文字文章ハ明治四十一年ノ今日マデ少シモ手ガ附カズ昔ノ駕籠飛脚ノ儘デ居リマス、何事モ改良スル我邦ガ知識ヲ傳ヘル唯一ノ道具ヲ舊トノ儘ニシテ少シモ手ヲ着ケヌト云フコトハ甚ダ當ヲ得ナイ不思議ナコトヽ考ヘマス

ソコデ古イ假名遣ハ中等教育高等教育ニハ無論學バセネバナラヌ、先ヅ幾千萬有ル古イ書物ヲ讀マセネバナラヌ、又歌ヲ咏ムトカ古イ姿ノ和文ヲ書クトカ云フ人國語ヲ研究スル人ニハ又迚モ教ヘ切レルモノデハゴザイマセヌ、小學ノ生徒デハ無イ教員ガ出來マイト思ヒマス、ダカラ殆ド覺エ切レナイ半熟半端ノ教育トナツテ何ノ益モナイ、ドウシテモ御改メニナルベキモノト思ヒマス、サウシテ書クニハ發音ノマヽニ書クガ古イ書物ヤ其他ニハ「コウ」ト云フ音ヲ「カウ」ト書キ「ショウ」ト云フ音ヲ「セウ」ト書イテアルノモアルトソレ〳〵ニ教ヘルヤウニスレバヨロシイ、書クト讀ムトニハ自ラ難イ易イガゴザリマス

勿論デ假名遣ガ新タニナレバ古イ假名遣ハ衰ヘル氣味ニナリマセウカラ益々之ヲ奬勵シテ教育ヲ維持シナケレバナラヌ、斯ク申ス私ナドモ已レ一個ノ專門トシテハ天曆以前ノ假名遣モ研究イタシマセウ鎌倉室町江戸時代ノ假名遣モ研究イタシマセウ、ソレハ國語ノ上ノ專門ノ事デアツテ必要ナコトハ論ズルマデモアリマセヌガ唯々世間普通ノ者ニ施行スルト云フコトハ今ノ世ノ中ニハ如何カト思ハレマス、詰リ日本ハ丁度伊太利ノヤウナモノデ伊太利人ハ羅甸人ノ子孫デアリマスガ現在ハ新シイ言葉ニナツテ居リマシテ古イ言葉ハ羅甸語トシテ研究シテ居リマス、我ガ日本モサウ云フ工合ニイタシタイト思ヒマス、今ハ各國ノ言葉サヘ研究スルト云フ時デアリマスカラ己ガ國ノ古イ言葉、假名遣ハ無論之ヲ研究セヌバナラヌ、高等教育ニハ無論ノ話デアリマス、サウシテ字引ノ中ノ言葉ノ語源ヲ記ス處ニ古イ假名遣ヲ書イテ置キマスレバ何時マデ經ツテモ滅ビル氣遣ハアリマセヌ

右ノ次第デアリマスカラ假名遣ハ今ガ改良スベキ丁度好イ時デアラウト思ヒマス、尚改良ノ程度ニ至ツテハ御協議ノ上デアリマスシ、尚又原案ノ逐條ニ至ツテ述ベルコトガゴザイマセウ先ヅ愚見ハ是丈ケデゴザイマス

○委員長（男爵菊池大麓君）　モウ四時半過ギマシタカラ今日ハ是デ散會シマシテ、次ハ十九日ニ集會イタシマス

午後四時三十分散會

臨時假名遣調査委員會 議事速記錄 （第三回）

明治四十一年六月十九日（金曜日）午後二時二十分開議

○委員長（男爵菊池大麓君） ソレデハ唯今ヨリ開會致シマス

○番外（渡部董之介君） 此處へ出シテ置キマシタ蒐翁版摺ノ一ツ申シテ見マスルト獨逸ノ改正ハ單ニ理窟デヤツタト云フノデナクシテ餘程是レハ實際ノ問題トシテ實用ノ便宜ヲ考ヘテヤツタト云フコトガ分ルカト私ニハ考ヘラレマス、其一例ヲ申シテ見マスルト、御承知ノ「エレファント」象ト云フ字デアリマスガ、是レハ英吉利デモ「エレファント」ト申シマスルシ、佛蘭西デモ「エレファン」、獨逸デモ「エレファント」ト言ツテ英獨佛同ジ語ヲ用ヰテ居ルヤウデアリマス、而シテ此字ノ起源ハ希臘「ヘブリユー」邊カラ參ツタ語ノヤウデアリマス、ソレデ英語モ獨逸語モ佛蘭西語モ皆是レマデ（Elephant）ト綴ツタノデアリマス、所ガ獨逸ノ改正ノ際ニ於テ此「エレファント」ト云フ語ハ是レハ元トハ外國ノ語デアルケレドモ最早十分ニ獨逸化シテ居ル語デアル、故ニ元ノ音ニ關セズ、元ノ起リニ關セズ語源ニ關セズ ph ハムヅカシイカラ f ニ改メル、即チ（Elefant）ト書クヤウニナツタノデアリマス、サウシテ哲學ナドト云フ（Philosophy）サウ云フヤウナ所ニモ ph ガアルノデゴザイマスガ、是レハ又獨逸語バカリデナシニ外ノ國デモ（Philosophy）矢張 ph ト使ツテアツタ、所ガ其ル

ヒノ所ハ獨逸ニ於テヒト改メルコトハシナイヤウデアリマス、是等ハ餘程趣味ノアル所デアルト思フノデアリマス、日本アタリデ此綴ヲ改正致シマストキニモ餘程取捨スベキ所以ガ分リハシナイカ、其參考ニナリハシナイカト思フノデアリマス、夫カラモウ一ツ伊澤サンカラシテ豫テ小學校ノ初級ニ於テ尋常ノ三年マデ位ニ字音ノ言葉ガドレ位表ハレルカ調ベテ貰ヒタイト云フ御請求ガゴザイマシタ、又前回ニ此席上ニ於テ淺田サンカラシテ矢張三年位マデニ字音及ビ國語ノ假名遣ノ困難ナモノガドレ位表ハレルカト云フコトヲ調ベテ貰ヒタイト云フ御請求モアリマシタカラ、取調ベマシテ此假名遣取調表ト云フモノヲ差出シマシタ、是レハ此初メノ凡例ニモアリマスル通リ今度ノ諮問案ニ依ツテ改ムベキトコロノ言葉ヲ蒐集シタノデアリマス、但シ少シ御斷リヲ致シタイノハ諮問案ノ逐條會議ノ時ニモ申述ベル筈デアリマスガ、諮問案ノ或事柄ニナリマスルト其解釋如何ニ依ツテ語ノ範圍ニ伸縮ミガアルカト思フノデアリマス、併シソレハ極ク少數デアリマスガ、解釋ノ廣イト狹イトニ依リマシテ少シ此表ニアリマスルトコロノ語ヨリ餘計ニ語ガ變ルコトニナルカト思フノデアリマス、ソレハ字音ノ方ニハアリマセヌデゴザイマスガ、國語ノ方ニハサウ云フノガアリマス、解釋如何ニ依ツテ加減スベキトコロノ語ガアルノデアリマス、例ヘバ「位」ト云フ語、「田舍」ト云フ語、「札」ト云フ語、「錄」ト云フヤウナ語、即チ「位」ハ發音デハ「クライ」ト申シマスルガ、假名ノ方デハ「クラヰ」ト書カナケレバナラヌ、又「田舍」トハ「イナカ」ト發音シマスガ、ソレハ「キナカ」ト書カナケレバナラヌ、是レハ其表ニハ省イテ置キマシタ、若シ解釋如何ニ依ツテハ是等ノ語ガモウ少シ改ムベキ言葉トシテ加ハラナケレバナリマセヌ、此表ハ一ヨリ六マデノ假名遣取調表トアリマスガ、六卷マデヲ尋常三年間ニ用キマスノデアリマスカラ尋常三年位マデノ假名遣ノ改ムベキモノハ大抵是レデ御分リニナルト思ヒマス、モウ一ツ申シマスガ、伊澤サンガ亞米利加ニ於テ綴字改良ノ事ガ議會ノ問題トナツテ、サウシテ頓挫シタヤウナコトガアル、ソレニ就イテ米國大使館ヘ御尋ネニナツテ大使館員カラ答ヲ斯ノ如ク得タカラシテ之レヲ參考ニシテ呉レト云フコトヲ文部大臣ニ御申出ニナリマシタ、英文デアリマスガ、ソレヲ飜譯シテ御參考ニ供シタイト云フ考デ之レヲ飜譯致シマシタ、是レモ御覽ニ供ヘマス、ソレダケノコトヲ……

○十四番(伊澤修二君)　チヨツト伺ヒタイデスガ今日ハ文部大臣ハ御出席ガアリマセヌデスカ

○番外(渡部董之介君)　チヨツト申上ゲマスガ、文部大臣ハ高輪御殿ノ御陪食ヲ仰付ツテ少シ遲レルカラト云フコトデアリマス

○二十一番(藤岡好古君)　私ハ意見ヲ述ベタウゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(男爵菊池大麓君)　宜シウゴザイマス

○二十一番(藤岡好古君)　私ハ此文部省ノ假名遣ニ對シテ反對ノ意見ヲ述ベマスガ、就イテハ此日本語ノコトハ五十音圖ニ依ツテ說カンケレバ分リマセヌカラ五十音圖ノ組立ヲ概畧御話ヲ致シマス、日本語ノ五十音圖ニ依ツテ組織シテアルト云フコトハ是レハモウ誰モ異議ノ無イ言語ノ上ニ證據ノアル說デゴザリマスガ、五十音圖ト云フモノハ古來傳ツテ居リマスモノガイロ〳〵ニ亂レテ居リマシテ其正當ナ音圖ト認メラレルノハ先ヅ一ツモナイト云フテ宜シウゴザリマス、ソレハ何故正當ノ音圖デナイカト云ヘバ、今日ノ言語或ハ古言日本語ト云フモノニ照シテ音圖ニ合セテ見ルト亂レテ居ル圖ハ日本語ノ正シイ言葉ニ合ヒマセヌカラ、正シイ音圖ト云フモノデナイト云フコトガ分リマス、私ノ師匠ノ堀秀成ガ蒐メマシタモノハカリデモ十七八種ゴザリマスルソレニ古イ所カラズツト今日ニ至ルマデ私ガ見出シマシタモノヲ合セマスルト二十通餘ゴザリマス、先ヅ正シイ音圖ト云フモノハ一ツモナイト云ウテ宜イ位ナモノデアリマス、ソレヲ今日音義ノ學問ノ開ケマシタ眼ヨリ見テ是レガ一番正シイ古言ニ合フ圖デアルト云フモノヲ堀秀成ガ作リマシテ、ソレニ依ツテ說キマストテ「ラリルレロ」ト「アイウユオ」ガ下ニ付カヌト上ニ立タヌトノ此二ツヲ除キマスト云フト二千二十五言トナリマス、是レハ九九、八十一ニナリマス、丁度九ツ組合セマスルカラ一度「アイウユオ」ニ「カキクケコ」ヲ組合セマスルト云フト二十五言ニナル、其二十五言ヲ一章トシテ八十一章ニナリマス、八十一章デ二千二十五言ト云フ言語ガ出テ參リマス、ソレデ言語ト云フモノハ此二千二十五言ニ限ルノデ、ソレカラ其外ニアルノハ一音デ言詞ニナル、例ヘバ「火」ト云フ、或ハ着物ヲ着ルナント云フ「着」、ソレカラ「蚊」ナント云フ一音デ言詞ニナル是レモ「アイウユオ」ガ一音デ言詞ニナツタ例ハ有ユル古書ヲ調ベテモ決シテアリマセヌ、「カキクケコ」以下デ「ラリルレロ」ガアリマセヌ、阿行良行ハ一音デ言語ニナツタ例ガアリマセヌ、此二行ヲ除クカラ四十言トナル其四十言ハ、唯一聲デ言詞ニナツテ居リマス、「詞」ニモ「ハタラキコトバ」ニモ「言」ニモナツテ居ル、言ノ字ハ體言、詞ノ字ハ用言ニ充テ、

御話致シマス、此一音デ言詞ニナルモノガ四十言ゴザリマス、夫ヲ日本語ハ平上去三聲ヲ以テチヤント言別ケテアル、入聲ハ日本語ニハゴザリマセヌ、是レハ何誰モ御存知ノ通リデアル、ソコデ二千二十五言ト四十言ニ三ヲ掛ケマスルト現在活用シテ居ル日本語ノ數ガ出テ參リマス、其總數ニ三ヲ掛ケテ見マスルト云フト上ル聲ト平ナル聲ト下ゲル聲ト此三通リデ言語ヲ言別ケテアリマス、漢字ノ四聲ヲ借リテ言ヒマスレバ先ヅ入聲ガナイバカリデ平上去ノ音聲ガ揃フ、上ル聲、平ナ聲、下ル聲ハ總計六千百九十五言ヨリ言語ト云フモノハゴザイマセヌ、ソレハ今日有ユル古書ヨリ詮索シテ私ノ師匠ガ調ベ出シタルモノガ約ソ三千四百二十八言ゴザリマス、三千四百二十八言今現存シテ居ル詞ニ未ダ見出サヌ詞ガ私ガ見出シタノモ餘程ゴザリマスカラ先ヅ三千五百言位ハ確ニアルト見テ宜イト思ヒマス、シテ見マスト、六千百九十五言ヨリ三千五百言ト云フノダカラ、引去ルト二千六百九十五言今日傳ツテ居ラヌ、滅ビテ居ルト見テ宜イノデアリマス、サウ云フ通リ此五十音圖ト云フモノハ日本語ガ自然ニ五十音ニ依ッテ組立テラレタモノデアリマス、決シテ人作ヲ以テ是レガ出來タモノデゴザリマセヌ、自然ニ出來タ證據ハ古來カラ傳ツタ圖ニ一定ノ圖ト云フモノハ一ツモナイ、今日通用シテ居ル「アカサタナハマヤラワ、イキシテニヒミイリキ」ト云フ順ノ圖ガ初メテアレガ正シイ圖トナリマシタ、ソレハ自然ノ言語ニ合セテ自然ニ正シクナツタノデ誰ガ之レヲ調ベテ正シクシタ、誰ガ作ツタト云フモノデハナイノデゴザイマス、是レハ有ユル書物ニアリマセヌ、デ五十音ノ元トノ本音ト云フモノハ何デアルカト云フト、「アイウユオ」ノ五音デアル、「アイウユオ」ノ本音ハ何デアルカト云フト「ウ」ノ一ツデアル、悉曇デハ「ア」ヲ本ト立テタノハ是レハ大キナ間違デ今日ハ確ニ「ウ」ガ本デナケレバナラヌト云フコトニ極ツテ居リマス、何故「ア」ガ本音デ無イ間違ダト云ヘバ人ハ母親ノ體内ヘ孕ツテ初メテ此世ニ生レテ出テ小兒ノ身體ニアルトコロノ元氣ト空中ノ大氣ト同物デアルカラソレニ誘ハレテ聲ヲ發スルノデ、内カラ發スル外カラ誘フ作用デ開ケテ居ル口ガ聲ヲ出シテ來ルノデアルカラ「ウ」ノ聲デナケレバドウシテモ出マセヌ、「ア」ト云フノハ口ヲ開イテシマウタ後ニ初メテ出ル音デアルカラ「ア」ト開タノハ誤リデ「ウ」ト云フノガ是レガ正シイ、「アイウユオ」ノ「ウ」ノ音ガ一番母音五ツノ中デ本トナル、ソレカラ「クスツヌフムユルウ」ノ此九音ト云フモノハ父音ト假ニ名付ケレバ父ノ音ト云フノデアリマス、其「クスツヌフムユルウ」ハ「ク キウエヲ」ノ「ウ」デ結ンデアル、此「ウ」ハ昔ハチヤント差別ガアッタノデアル、夫ガ千二三百年此方既ニ古事記、書紀ヲ編輯スル時分ニ漢字ノ渡ツタ時分ニ既ニ此「ウ」ノ音ガ一

ツニ看做サレテ、和行ノ「于」ハナクナッテ居ル、又字ガ支那ノ字ニ「ア行」ノ「ウ」ノ音ニ當ツル字ガ誠ニ少イ、堀秀成モ研究シテ見タトコロガ「有」ト云フ字ガ正シク當ル、其「有」ノ字ノ上ヘ字冠ヲ付ケタ「宥」モ是レモ正シク當ル、此二字ヨリ「アイウユオ」ノ「ウ」ェ當ル音ハナイト云ウテ韻鏡ノ上カラ調ベテ堀ハ此字冠ニ有ト云フ字ヲ用井テヲリマス、今マデ「アイウユオ」ニ使ウテ居ッタ「宇」ノ字ハ「ワ井ウエヲ」ノ「于」ニアテテ宜イ、ソレハドウ云フ區別（クベツ）カト云ヘバ「アイウユオ」ノ「ウ」ハ「ウーッ」ト舌ヲ伸バシテ舌ノ上ヲズット偏セズ、ユガマズ、眞直ニ進ンデ行クノガ「アイウユオ」ノ「ウ」デアリマス、ソレカラ「ワキウエヲ」ノ「于」ハ舌ヲ縮メテ息ヲ咽喉ヘ引クヤウナ考デ發音スルノガ「ワ井于エヲ」ノ「于」「于ッ」ト息ヲ引取ルトキノ「于」ノ聲ガ「ワキウエヲ」ノ「于」デアル、ソレハ古言ノ上ニチヤント證據ガアル、漢字ガ渡ツタ時代カラ無クナッテ古事記、書紀、萬葉ニモ其差別ガアリマセヌ、然ルニ言語ノ上ニハ明カニ其證據ガ殘ッテ居ル、ソレデ「アイウユオ」ト「クスツヌフムユルウ」此十四音ガ日本ノ音聲原音ト云フモノデ、元ノ聲デアル、是ヨリ日本語ニハナイ、外ニ聲ノ原ニナル者ハナイ、ソレガ「ク」ノ父ノ音ト「ア」ノ母ノ音ガ交合リテ「クア」ニナル、此發音ノ仕方ハ「ク」ノ音ヲ呼ブヤウニ口ノ形ヲシテ「ア」ノ音ヲ呼ブヤウニ「アー」ト開ク ト「クア」ト云フ音ガ出來ル自然ニ「クア」ガ「カ」ニナリ「クイ」ガ「キ」ニナリ「クエ」ガ「ケ」、「クオ」ガ「コ」、「スア」ガ「サ」、「スイ」ガ「シ」、「スエ」ガ「セ」、「スオ」ガ「ソ」ニナル、サウ云フ順ニ發音シテ行ッテ三十六音ト云フモノガ「カサタナハマヤラワ、キシチニヒミイリ井、ケセテネヘメエレエ、コソトノホモヨロヲ」ノ三十六音ノ聲ハ單純ノ聲デハナイ、皆父母ノ音ガ交合リテ初メテ發シタ音デアル、夫故五十音圖ノ中デ似タ音デ紛ハシイ音ハ「アイウユオ」ト「ヤイユエヨ」ト「ワイ于エヲ」ト、ソレカラ「ハヒフヘホ」ガ下ヘ付ク時ニ紛ハシクナル、紛ハシクナルガチヤント發音ガ根底カラ違ッテ居ル、例ヘバ「アイウユオ」ノ「イ」ハ「イイー」ト云フ自然ノ「イ」ノ音デアル、「アイウユオ」ノ「オ」ハ「オー」ト云フ自然ノ「オ」ノ音デアル、「ユ」モ矢張サウデ自然ノ單純ノ「ユ」デアル、ソレガ「ヤイユエヨ」ノ「エ」ニナルト「ユエー」ト云フ音ガ出テ來ル、總テ此言語ノ音ノ意義ト云フモノガ父ト母トノ聲ノ象ガ其名付ケル言語、物名ノ義ニナッテ居ル、此理ガドウシテモ動カヌ道理デアル、是レハ古言ニ合セ音ノ象ト比較シテ見ルトチヤント嵌ッテ行クノデ是レガ動カヌ說デアリマス、ソレデ「ユ」ノ音ヲ父音ト致シマスカラ「イ」ハ「ユユ」ト云フ音デ「ユ」ヲ帶ビテ言フ、「ワキウエヲ」ノ「ヲ」ハ「ウヲ」ト云フ音デアル、ソレカラ「ワキウエヲ」ノ「エ」ハ「于ユ」ト云フ音デアル「越後」

（ウ冫チゴ）ナドト云ウテ「ウ」ヲ帶ビテ言フ、「ユ冫」デモナケレバ「冫」デモナイ、其發音ヲ正シクスレバ、日本人モ今日ト雖モ正シク敎ヘレバ出來ルノデアル、又此音ガ世界中自然ニナケレバナラヌ音デアル、物ノ名ニモ人ノ名ニモ自然ニアル言デ詞ニナッテ居ル、ダガ「アイウ冫オ」ニハ決シテナイ、ソレカラ活語ニナラヌ、活用ハ臣下ニ屬スル音聲デナケレバ働カヌ、君主ハ自ラ働キハセヌ、活用語ニ「アイウ冫オ」ノナッタ例ガナイ、夫カラ詞ノ中下ニ附カヌ、必ズ上ヘハ附クガ中ヤ下ヘ附クトフット何時ノ間ニカ脫ケテシマウ、附ケレバ附カヌコトハナイガ自然ニ脫ケルカ他ノ音ヘ轉ッテ働イテ「アイウ冫オ」ノ音ガナクナッテシマウ、其例ヲ言ヘバ「高天原」ト云フノハ「タカアマノハラ」、「長雨」ヲ「ナガメ」、「河合」ヲ「カハヒ」、「手洗」ヲ「タラヒ」ナドト云フノガ是レハ「ア」ノ音デアル、「吾家」ヲ「ワギヘ」、「吾妹子」ヲ「ワギモコ」、「明石」ヲ「アカシ」、「高砂」ト書イテ「タカサゴ」ト讀ム、「イ」ノ字ガ脫ケテシマウ、「尾上」ヲ「ヲノヘ」、「山上」ヲ「ヤマノヘ」、「池上」ヲ「イケノヘ」ト云フヤウニ「ウ」ガ脫ケテシマウ、ソレカラ「アイウ冫オ」ノ「オ」ガ脫ケル例ハ「風ノ音」ヲ「カゼノト」、「太織」ト云フ着物ガアル、太キ絲デ織ルアレヲ「フトリ」、「陸奥」ヲ「ミチノク」ト云フ、例ヲ擧ゲレバ幾ラモアリマスガ、ソレハ煩シウゴザイマスカラ唯例ヲ一、二引イタノデアル、

其外ニ濁音ニナル音ハ必ズ開口音ニ限ル、外ノ合口音ハ濁音ニナラヌ、然ルニ「アイウ冫オ」ハ開口音デアリナガラ決シテ濁音ニ變ズルコトハナイ、是レハ外ノ聲トハ一種變ッタ性質ヲ有ッテ居ル、ソレカラ歌ヤ文章ノ字餘リニナッテモ「アイウ冫オ」ノ音ハ決シテ耳立タヌ、先ヅ歌ハ三十一文字ガ當リ前デアリマスカ、其三十一文字ガ三十六字アル歌ガアル、「有磯海の沖津しほあひにかつくあまの息もふきあへす物をこそおもへ」是ハ一句ニ五字七字七字七字ト五句ニ別レテ居ルノガ短歌デアリマスガ、其一句々々ニ一字ヅヽ、餘ッテ居マスカラ三十一文字ガ三十六文字ニナル、ガ耳立タヌ、「有磯海ノ、沖津シホアヒニ、カツグアマノ、イキモ吹キアヘズ、物ヲコソオモヘ」ト云ウテ些トモ耳立タヌ、「アイウ冫オ」ノ音デナイ外ノ音ヲ是レヘ加ヘタラ耳立ッテ歌ニナラヌ、ダガ「アイウ冫オ」ハ此通リ中ヘ挾ンデモ決シテ耳立タヌデ障ルコトハナイ、古今集ニ「アイウオ」ノ四音ヲ字餘リニ使ウタ歌ガ百九十九ゴザイマス、ダガ有ユル古言ニ「冫」ノ音ガ字餘リニナッタ例ガナイ、是レハ學問上ノ話ニナリマスカラ詳シクハ申シマセヌガ、「冫」ノ音ハ古今集ヤ何カノ歌ニ字餘リノ中ニ入ッタ例ハアリマセヌ、古今集ハ正シイ歌集デアリマスガ、百九十九首アリマシテ其中ニ「アイウオ」ト云フ字餘リノ例ハアリマス、「冫」ノ音ノ字餘リノ例ハ一ツモゴザイマセヌ、ソレカラ「アイウ冫オ」ガ此外ノ音デ間ニ合セルコトガアル、ソレハ何故ト云フト「イアラシ」五十嵐ト書ク文字デアリマス、五十嵐ヲ「イガラシ」ト云フ、此「アカサタナ」ト云フ順ノ聲ガ運ンデ行ク證據ト云フモノハ若シ「アイウ冫オ」ノ音ノ「ア」ハ言詞ノ下ヘハ附カヌ例デ自然ニ音調ガ附カヌ、人ガ附カヌト定メタノデハナイ、自然ニ聲ガ附カヌ、附カヌカラ隣リノ「カ」ノ音ニ轉ジテ「アイウ冫オ」ノ代理ヲサセル、五十嵐ト書イテ「イアラシ」ト訓マンケレバナラヌノヲ「イガラシ」ト訓ム、ソレカラ此上ノ言葉ノ音ニ使ウテ「ヤレユイヨ」ニ「ア」ヲ「ヤ」ニ働カス例ガアリマス、「待合」ヲ「マチヤヒ」一寸人ヲ待合ハセル待合デスナ、待合ハアレハ皆普通「マチヤヒ」ト云フ、「アヒ」トハ言ハヌ、ソレカラ消防ナドノ組合ハアレハ「クミアヒ」デアルガ「クミヤヒ」ト云フ、サウ云フ風ニ下ヘ附カヌ、「戰」ヲ「タテアヒ」ト云フ、楯ヲ突合ハセル、楯突クナント云フコトヲ今日俗言ニモ普通言フデス、「戰ヒ」ト云フコトヲ「タテヲ合ハセル」ソレヲ「カ」ノ音ニ移シテ「タテカヒ」、「羽ヲ交セルノヲ「羽交締」ト云フ、アレヲ「ハガヒ」ア」ヲ「カ」ニ轉ジテ言フ、連合ヲ連レ合フ、夫婦ナラ夫婦「ツレアヒ」、鳥ナラ夫婦揃ヘタノヲ「一番」ツガヒ」ト云フ「レ」ヲ省イテアル、「ラリルレロ」ノ音ハ言ハレナイ、是レハ一番卑シイ音ダカラ意義ナク附イタリ離レタリスル例ニナッテ居リマス、ソレカラ

五十音ノ正シイコトハ「カキクケコ」ハ自カラ聲ノ形ガ男ノ姿ニ似テ居ル、「マミムメモ」ハヤサシクアッテ女ノ姿ニ似テ居ル、古言ガ「カキクケコ」ヲ男ノ名トシ、「マミムメモ」ヲ女ノ名トシテ男女ヲ呼ビ別ケル ニ此二ツノ語ヲ以テ呼ビ別ケテアル、神漏岐命(カムロキノミコト)、神漏美命(カムロミノミコト)、伊弉諾尊(イサナキノミコト)、伊弉册尊(イサナミノミコト)、男ヲ彦(ヒコ)ト言ヒ女ヲ姫(ヒメ)ト云フ、翁(オキナ)ト云ヒ媼(オミナ)、少男「ヲグナ」ト云ヒ少女「ヲミナ」ト云、男「ヲトコ」ト云ヒ女「ヲトメ」ト云、如此「カ行」ト「マ行」デ男女ヲ言ヒ別ケテアル、夫カラ物音(モノオト)ニナルト聲ガ「カキクケコ」「タチツテト」『サシスセソ』ハヒフヘホ」此「カキクケコ」ト「タチツテト」ハ物音ノ重イ音、「カン」「キン」「クン」「ケン」ト云フ石カ金ノ音ニナル、「タンチンツンテン」ト云フノハ絲竹ノ音、大皷ノ音、三味線ナドノ音ニナル、ダカラ「カキクケコ」ト「タチツテト」ノ物音ヲ入混ジルノハ間違ッタト云フノデ俗ニ頓珍漢ト云フ「トン」ト「チン」ナラ宜イ、ソレハ「タチツテト」デアッテ「ツン」トカ「テン」ナラバソレデ宜イガ、ソレニ「カン」ガ入ルト太行ト加行ノ音ガ入混ッテシマウ、音ガ違フノデアリマス、ソレカラ物ノ輕イモノ、細イ物ノ音ハ「サシスセソ」デ「サーサー」ト音ガスルソレハ細イ物、「サシスセソ」ハ「スー」『サー』ト云フ聲ガ細カク出ル、「ス」ノ音ハ細カイ音デ鋭イモノ、鋭イモノハ必ズ細イ、細イモノハ細カイ道理デ「ス」ノ音ハ——父ノ音ハ細カイカラソコデ「サシスセソ」ノ音ハ皆細カイモノニ使フ、細波(サヾナミ)、細石(サヾレイシ)、細栗(サヾグリ)、笹ナント云フノハ細カイ葉ガ生ヘルカラ笹、ト云フヤウニ古言ニ皆細カイモノニ使ウテ居ル、ソレカラ「ハヒフヘホ」ノ方ハ是ハ同ジ輕イ音デモ薄イ紙ノヤウナモノ、平ナモノニ使ッテアル、「ハラ〳〵」『ヒラ〳〵』ト云フ、斯様ニ物ノ音ニナッテ居ル、物音トシテ佐行太行ハ輕イ、加行太行ハ重イ、五十音圖ト云フモノハ如此日本語ニ付イテ働(ダラ)クモノデアル、ソレカラ「阿行ト加行」、此「阿行」ノ次ニ何故「加行」ガアルト云フト是レハ日本バカリデハナイ、支那モサウデ、私ハ西洋ノ學問ハ出來マセヌガラ西洋語ヲ研究シテ比較スルコトハ出來マセヌガ、支那ノ聲モ矢張サウデ、「ア」ノ音ト「カ」ノ音ト相通ジテ居ル、朝鮮ナドモ矢張サウデアリマシテ例ヘバ「カレ」ト云フノヲ「アレ」ト云フ、「カレアレ」ト通ス、「カナタ」ト云フノヲ「アナタ」ト云ヒ、「カバフ」ト云フヲ「アバフ」ト云フ、「アバヒ、カバヒ、ガナラヌ」ト俗言ニモ言ヒマスガ、是レハ古言デアル、ソレカラ字音ノ例ヲ云フト「押」(オス)ト云フ字デアルガ、呉音「アフ」ト云フ音デ「狎」モ同音デアル、ソレガ漢音「カフ」ト云フ、「ア行」ガ「カ行」ニ轉ル、ソレカラ「蛙」是レハ「ア」ト云フ音ダガ、「カ」ト云フ音モアル、漢字音モ五十音圖ハ天然自然ノモノダカラ支那ノ聲モ矢張日本ノ聲ト同ジ格デ五十音圖ニ依ッテ活用イテ居ル、ソレカラ「タ行」

ト「ナ行」ガ親シク寄ッテ働ク、例ヘバ「頂(イダダキ)」ノコトヲ「イダキ」トモ言ヒ、「イナダキ」トモ云フ、「ハタススキ」トモ云ヒ、「ハナススキ」トモ云フ、「オトコ」ヲ「オノコ」トモ言フ、古言近言トモ矢張其音便ニ依ッテチャント規則正シク働イテ居ル、「タチツテト」ト「ナニヌネノ」ノ音ガ相通ウテ居ル、漢字ハ日本ノ言語ニ關係ノアル譯ハナイガ、ソレハ五十音ハ天地自然ノ聲ダカラ支那ノ人間モ西洋ノ人間モ決シテ此例ニ漏レルコトハアリマセヌ、西洋語ヲ比較シタラ此通リ行クニ違ヒアリマセヌ、内藤ノ「内」ト云フ字、「内」ハ「漢音ダイ」トモ「呉音ナイ」トモ言フ、「男(オトコ)」ト云フノヲ漢音デハ「ダン」ト云ヒ呉音デハ「ナン」ト云フ、ソレカラ「納」ト云フ字ヲ出納(スイタフ)ト云フ「タフ」ト云フ、「ノフ」トモ「ナフ」トモ云フ、「ヲサムル」ト訓ム「太行タチツテト」ト「奈行ナニヌネノ」トガ漢字音マデ一ツニナッテ居ル、ソレカラ「波行ハヒフヘホ」ニ「麻行マミムメモ」コレガ同樣ニ接近シテ通ッテ居ル、是レハ誰モ知ッテ居ルガ、「新治筑波」ト云フ「ニヒバリ」ヲ「ニヒマリ」ト云フ、「セマキ」ヲ「セバキ」ト云フ、「カタムク」ヲ「カタブク」ト云フ斯ウ云フ例モ幾ラモアル、字音モ矢張サウデ、「萬歲」ノ「萬(バン)」ハ「バビブベボ」ノ「バ」、ソレヲ呉音デ云フト「マンザイ」ト云フ、漢字音モ其通リ日本語ト同ジヤウニ働イテ居ル、「枚」ヲ「呉音マイ」トモ「漢音バイ」トモ云フ、「望(ノゾム)」ト云フ字ヲ「漢音バウ」トモ「呉音マウ」トモ云フ、字音デモ斯ウ通ッテ居ル、是ニ由ッテ見テモ五十音圖ノ正シイコトハ言語ノ上ニチャント具ハッテ居ル、ソレカラ「夜行ヤ」ノ音ト「良行ラ」ノ音ト通ッテ居ル、「アヤタフト」ヲ「アラタフト」ト云フ、「オモハル」ヲ「オモホユ」子供ナドハ殊ニ「ラリルレロ」ノ音ハ言ヘマセヌ——言ヘマセヌカラ大概四ツ五ツノ子供ハ「ラリルレロ」ヲ「ヤレユイヨ」ト言ウテ居ル、鹿兒島ノ人ガ「ラリルレロ」ヲ思フヤウニ發音ガ出來ヌコトハナイガセヌコトニナッテ居ル、「ラリルレロ」ハ卑シイ音デアル、何故ト云フト卷舌ト云フ音デナケレバ「ラリルレロ」ハ出ヌ、夫レ故ニ五十音ガ皆發音ヤウニナリ一番後デナケレバ「ラリルレロ」ハ發音ガ出來ヌ、舌ノ働キガ自由ニナッテ後ノコト、子供ナドニハ言ハレヌ、古言ガ皆「トラル」ヲ「トラユ」ト云ッテ「ル」ヲ「ユ」ニ代用シテ居ル、ソレカラ「トル」ト云フコトヲ子供ニ言ハセルト「トユ」ト云フ、「見ル」ヲ「見ユ」「伯父サンガ來ル」ト云フノヲ「伯父サンガ來ユ」ト云フ、是レハ「ヤレユイヨ」ト「ラリルレロ」ハ相通デ、直キ隣リデアルカラ通ッテ居ル、今日事實其通リデアル、ソレニ日本語ハモウ是レハ誰モ知ッタコトデアルガ、一段ノ活用(ヘダヲ)、上二段ノ活用、下二段ノ活用、變格ノ活用シテ居ル「カキクケコ」トカ「サシスセソ」トカ彼ノ五十音圖ノ通リ書カム、「カキ」「カク」「カケ」ト活用テ居マス、ソレデ五十音圖ガ日本ノ

言語ノ上ニ具ツテ居ルコトガ論ヨリ證據デアル、ソレデ音調ノ上カラ調ベテ見ルト古クハ皆四段ノ活用デアルヤウニ考ヘラレマス、古言ヲ調ベテ見ルト、調ノ上カラ自然ニ下二段トカ上二段トカ一段トカ活用テ來タヤウニ思ハレマス、四段活用ガ本デ音調ノ上ヨリ良行ガ屬キ一段二段ノ活用ニナリソレデ「ヤ行」ノ活用デ云ヘバ「オレ」「オユ」「オユレ」、年ヲ取ルノ「老」ノ「レ」ハ「ヤ行」ノ「レ」デ決シテ「アイウエオ」ノ「イ」デモナケレバ「ワキウエヲ」ノ「井」デモナイ、此間大槻先生ガ日本語ハ時ニ依ツテ變遷スルト云フコトヲ仰シヤツテ、變遷スルヤウナコトガアルカラ今度ハ假名ヲ變ヘテモ宜イト云フ御說デアツタガ、是レハ私ハ甚ダ先輩ヘ對シテ失禮ダガサウ云フ道理ハナイト思ヒマス、何故ト云フト日本語ハ其時代ニ依ツテコノ些カノ語尾ノ變化ヤ或ハ其音調ノ上カラ言語ガ反對ノ義ニ近イヤウナツタリシタ例ハナイデモナイガ是ハ僅カナモノ、數千言ノ中ニ一ツ二ツ、大概ノ音ハ唯語尾ノ變化、俗言ト雅言トノ變遷デアルノデ、決シテソレモ勝手放題ニ變リテ居ラヌ、ミナ悉ク音圖ノ規則ニ依ツテ規則立ツテアル、俗言ト云フモノハドウ云フ譯デ俗言ニナリ、卑シイ言葉ニナルカト云ヘバ、倹約主義カラナル、一口ニ分ルヤウニ云フト倹約主義カラナル、ソレハドウ云フ譯カト云フト、例ヘバ「アケ」「アク」「アクル」「アクレ」ト云フ下二段活用ヲ「アケル」ト「ク」ヘ來ズニ倹約シテ橫ッ飛ニ「ル」ヘ來ル、五十音圖ノ經緯ヲ正シク活用スベキヲ橫ニ筋違ニ來ル、ソレガ俗言、俗言ハ皆筋違ヒニナツテ居ル、例ヘバ「オイ」「オユ」「オユル」デ正シイノダガ、ソレヲ「オレル」ト云フ「ユ」マデ來ズニ倹約シテ途中カラ橫ッ飛ニナツテシマウ、是ハ有ユル音便ダノ俗音ダノノ活用ハ斯樣ニナツテ居ル、夫カラ音便デ語尾ノ違フノハ幾通アルト云フト先ヅ私ノ考デハ六ツヨリナイト思フガ、夫ヲ細カク調ベルト今ノ筋違ニナツテ働クガ一ツ、鼻音ト云ウテ「ン」ト鼻ヘ拔ケルノデ二ツ、ソレカラ「ッ」ト促音ユナルソレデ三ツ、其音自己ノ韻ニカヘルノデ四ツ、宥韻ニカヘルノデ五ツ、五十音圖ノ一段ヨリ三段ニ轉ルノデ六ツ、其俗言ヲ調ベテ見ルト先ヅ自己ノ韻ニカヘル言語ノ例ヲ言ウテ見レバ「オキテ」ト云フノヲ「オキ」ノ「キ」ヲ省イテ韻ノ「イ」ニ以テ來テ「オイテ」ト云フ、「字ヲ書キテ」ヲ「書イテ」ト「サシテ」ヲ「サイテ」、是レモ「シ」ノ韻ノ「イ」ニ直グ行ッテシマッテ「シ」ヲ言ハヌ、矢張節約シテ省イテ行ク、是ガ「近クナル」ヲ「近ウナル」、「遠クナル」ヲ「遠ウナル」、「能ク知ル」ヲ「ヨウ知ル」、「早ク行ク」ヲ「早ウ行ク」トナル、夫カラ鼻音ノ例ヲ調ベテ見ルト、鼻音デモ促音デモ附ケヌデモ宜イ所ヘ俗言ニナルト附イテ居ル、所謂語勢カラ附イテ居ル「豐後國」ト云フハ「ブゴ」デアル、ソレヘ「ン」ヲ附ケテ、「ブンゴ」ト云フ、「備後」ハ「ビ

ゴ」デ宜イノヲ「ビンゴ」ト云フ、中央ヲ「マナカ」ト云フノガ雅言デアル、夫ヲ「ン」ヲ附ケテ「マンナカ」ト云フ、「件ノ如シ」ヲ「件ノ如シ」、「罷出ル」ヲ「マカンヅル」ト云フ、「慮」「オモヒハカリ」ヲ「オモンバカリ」、「藏人」ヲ「クランド」、「商人」ヲ「アキンド」、ソレカラ促ル音ノ例ヲ云フト「備中」ト云フノヲ「ビッチウ」、酒ノ畑ヲスル「德利」ヲ「トックリ」ト云フ、「セック」ト云フノヲ「セッック」ト云フ、夫カラ「リ」ヲ「ッ」ト云フ例ハ「祝詞」ヲ「ノット」、「取リテ」ヲ「取ッテ」、「去リテ」ヲ「去ッテ」、「借リテ」ヲ「借ッテ」ト云フ、是ハ「リ」ヲ「ッ」ト云フ音便ノ例デアリマス、夫カラ「ヒ」ヲ「ツ」ト云フ例ガアル、「思ヒテ」ヲ「思ッテ」、「追テ」ヲ「オッテ」、「笑ヒテ」ヲ「笑ッテ」、「食ヒテ」ヲ「食ッテ」、「拾ヒテ」ヲ「拾ッテ」、夫カラ總テノ俗言ハ「ウ」ノ響キニ響イテ行クノガ一番例ガ多イ、夫ハ何ダト云フト「神主」ヲ「カウヌシ」是ハ自分ノ「ウ」ノ韻ヘ響イタヤウデアリマスガ、「神」ハ「神主」デアル、「神主」ヲ「神主」ト云ヒ、「神主」ヲ又「神主」ト云フヤウニ、「神戸」ガ「神戸」、「疊紙」ガ「疊紙」トナツテ「疊紙」、「オミナ」ガ「オムナ」トナツテ「オウナ」トナル、是ハ「ミ」ガ「ム」ニ轉ジテ「ム」ヲ「ウ」ノ韻ニ云フ俗言ノ例、夫カラ「ヒ」ヲ「ウ」ト云フ例ハ「唐櫃」ヲ「カラウト」、「素人」ヲ「シラウト」ト云フ、「仕ヘマツル」ヲ「仕ウマツル」、「貴キ」ヲ「トウトキ」、「弟」ヲ「オトウト」、「妹」ヲ「イ

モウト」ト云フ、斯ウ俗言モ皆法ガアツテ其例外ナ働キハ決シテシマセヌ、皆規則ガチヤント極ッテ居ル、ソレカラ言葉ヲ極ク卑シク言フト、「一段ノアカサタナハマヤラワ」ノ韻ヲ「二段ノエケセテネヘメレレエ」ヘ轉ジテ來ルト、歸ルヲ「ケヘル」、「御前」ヲ「オメヘ」『オメヘドウシタ』ナンテ極ク卑シクナル、「財布」ヲ「セイフ」、「二階」ヲ「ニケイ」、「大工」ヲ「デイク」、「大皷」ヲ「テイコ」、斯ウ云フ風ニ卑シイ詞ニナル、五十音圖ニ依ツテ一段ノ上ノ方ノ音ハ尊クナリ、三段ノ下ノ方ノ音ハ卑シイ詞ニナルコト、自然規則ニナツテ居ル、ソレカラ尊ムトキヤ正シク言フトキハ詞ヲ延ベテ言フ例デアル、是レハ古言ガ皆サウ云フ風ニナツテ居ル、天子樣ノ御上ニ對シ「天子樣ノ御弓ヲ御取ラシ」ト云フ、太刀ハ佩クモノデアルカラ「御佩カシ」ト云フ、言葉ノ短イノヲ延ベテ言フ、ソレガ總テ敬語ノ例デアリマス、俗言ハ延ベズニ短ク省略シテ言フノガ卑シイ言葉、延ベルノト約ムルノトデアリマス、ソレデ雅言ト俗言トノ區別ガ立ツテ居リマス、ソレカラ「ハ行」、「ワ行」下ヘ附ク言葉デ「ハ」ガ「ワ」ト間違ヒマス、ソレガ「ワキウエヲ」ノ「ワ」ノ言葉ハ唯十四ヨリゴザイマセヌ此外ハ「ハ」デアリマス、次ニ「ワキウエヲ」ノ「井」ト「ハヒフヘホ」ノ「ヒ」ト下ヘ附クトキ間違フ、「ワキウエヲ」ノ「井」ハ下ヘ附クノガ十五

言ヨリナイ次ニ上ヘ附ク「アヤ行」ノ「イヱ」ト「クキウエヲ」ノ「井」ハ十言、次ニ「ヤイユイエヨ」ノ「イ」ト「ワキウユヱヲ」ノ「エ」デ下ヘ附クトキノ「エ」ハ九言ヨリナイ、次ニ「ヤイユイエヨ」ノ「イ」ト「ワ井ウエヲ」ノ「エ」デ上ヘ附クトキニハ「ク井ウエヲ」ノ「エ」ノ言葉ハ十二言ヨリナイ、次ニ下ヘ附ク「ハヒフヘホ」ノ「ヘ」ト「ク井ウエヲ」ノ「エ」ト間違フハ「ワ井ウエヲ」ノ「エ」ハ九言ヨリナイ、次ニ下ヘ附ク「顔(カホ)」ダノ色ノ「青(アヲ)」ナドト云フハドツチダカ分ラヌ、ソレカラ「ホ」ト云フノガ多クテ「ヲ」ト云フノガ、「ワ井ウエヲ」ノ「ヲ」ヲ使フノガ唯十二言ヨリナイ、セヌわノ假字ヲ用キル言語ハ十四言デ、其他ハ皆はノ假字デ次ニ「アイウエオ」ノ「オ」ト「ワ井ウエヲ」ノ「ヲ」トハ是レハ有マス、例ヘバ十四言ノ初メニあわ(泡)ノ一ッ丈有レバ他ノ「ワキウエヲ」ノ方ハ少イト云ツテモ餘計アリマスガ、是レハ粟淡(アハヅ)等ハあはデアルコトガ解リマス

四十七言、詳シク別ケルト六十言ニナリマスガ、同ジ音ノ言詞ヲ合セマスルト四十七言ヨリアリマセヌ、次ニ「ジ」ト「ヂ」「ヅ」ト「ズ」ノ濁音ノ例ヲ言ヒマスト「チ」ノ濁音ト間違フノハ「シ」ノ濁音ノ方ガ二十九言ヨリナイ、「ヅ」ト「ズ」ノ方ハ十八言アリマス、以上通計百七十八言ヨリナイ、日本語デ假名ヲ違ヘルノガ百七十八言ヨリナイ、是レハ半紙一枚書イテ懐中シテ居ツテモ間違フ氣遣ハナイ、其外ハ「カ行」トカ「サ行」トカ「ハ行」トカト云フ働ノ詞デ小サナ語尾デ間違フノガアリマスガ、是レハ最モ紛ハシイノハ儘カシカゴザイマセヌ、紙數デ五六枚ナラ用便ガ足リマス、實ニ六ツカシイモノデアル、

ソレヲムヅカシイカラ廢メテシマウト云フノハ學バヌカラムヅカシイ、子供ナドニ覺エサセレバ僅カノ時間デ覺エマス、其ノ紛ラハシイ假字ヲ項ヲ分ケテ擧ゲルト次ノ如クデアリマス

○(は)〔は行〕
○(わ)〔わ行〕

此ハ下ニック假字デ有マスガはノ假字ハ多ク、わノ假字ハ少ナイカラ其少ナイ方ヲ心得テ居レバ容易ニシテ間違ガアリマセヌわノ假字ヲ用キル言語ハ十四言デ、其他ハ皆はノ假字デ有マス、例ヘバ十四言ノ初メニあわ(泡)ノ一ッ丈有レバ他ノ粟淡(アハヅ)等ハあはデアルコトガ解リマス

○あわ　泡　○志わ　皺
○かわく　乾　○さわぐ　騒
(○さわ〳〵　騒々　萬葉集四ニさゐ〳〵トモ云ヘリさわぐ、さわ〳〵同言ナリ)
○あわつ　周章　○たわむ　撓
○よわ　弱　○いわし　鰯　いハ夜行ノいニテよわしト同言ニテ弱ノ義ナリ
○くわゐ　烏芋　○こわづくり　強　聲作(コヱヅクリ)ナリ聲(コヱ)色(イロ)ヲこわいろト云フ例ナリ
○ことわり　理　○のわき　暴風

○くつわ　轡　○みわ　三輪

合十四言

○(ひ)〔は行〕
○(ゐ)〔わ行〕

此假字モは行ハ多クシテわ行ハ少ナイカラわ行ヲ擧テ置マス、此擧ゲマシタ十五言ノ初メニあゐ(藍)一ッ丈有マスカラ他ノ相、間、合、又貝顋ハあひ、かひデアルコトガ解リマス

○あゐ　藍　○あぢさゐ　紫陽花
○志ほさゐ　潮騒　○なゐ　地震
○くわゐ　烏芋　○なまゐ　澤瀉
○うなゐ　髫髪　○くれなゐ　紅
○かたゐ　乞食　○くらゐ　位
○とのゐ　宿直　○もとゐ　基
○ひきゐ　率　○まゐる　參
○もちゐ　用　今用ひト書クハ誤ナリ

合十五言

○(ゑ)〔あ行〕
○(ゐ)〔わ行〕

此ハ上ニック假字ナリ和行ノゐノ上ニック假字ハ一音ノト共ニ十言ヨリ有マセヌ、其他ハ皆阿行夜行ノいデ有マス、いノ假字ハ稜威(いつ)、勇(いさむ)、嘖(いかる)、勢(いきほひ)ナド猶澤山有マス

○ゐ　居　○ゐ　堰
○ゐる　饗　○ゐや　禮
○ゐのこ　豕　○ゐざり　膝行
○ゐもり　蝘　○ゐなか　田舍
○ゐさらひ　醫　○ゐせき　堰堺

合十言

○(延)〔夜行〕
○(ゑ)〔和行〕

此ハ下ニック假字ナリ夜行ニハあ延(落ルコト汗(アセ)、血(チ)、花、實(ミ)ナド)い延(平癒)おぼ延(覺)き延(消)等澤山アレドモ和行ノゐハ九言ノミナリ

○う植　○う飢
○す据　○す末
○こ聲　○つ杖
○ゆ故　○つくゑ机
○ともゑ巴

合九言

○(ゑ)〔夜行〕
○(延)〔和行〕

此ハ上ニック假字ナリ、和行ノゐハ十三言ノミニテ其他ハ夜行ノ延ト知ルベシ

○ゑ　　飯
○ゑゐ　犬
○ゑみ　笑
○ゑぐ　惑星ハ烏宇ノ小サキノナリ
○ゑぐし　酸
○ゑうべ　吐
○ゑのこ　豕

○ふ　　彫物
○ふるう　彫刻
○ふひ　　酔
○ふなぐ　喋
○ふとり　屠児
○ふらゝ　嘘

○合十三言

○(へ)〔波行〕
○(え)〔和行〕

下ニヒツク延ノ假字ハ九言ノミニテ其他ハ凡ベテ延ノ假字ナリ

○ひ延　神
○ひこ延　笛
○ひこ延　会楽ノ管
○ぬ延草　假草
○ぬ延　鍋
○かも延　鵜飼
○あこ延　距　和名抄ニ雞雄屋有鉄也トアリ

○ひ延　杉
○ひ延とり　鵜

○合九言

○(ほ)〔波行〕
○(を)〔和行〕

下ニをトツク假字ハ十二言ノ外ニ其他ハ皆ほノ假字ナリ

○あを　青
○かをる　薫

○いを　功
○うを　魚
○ゑを　姿
○とを　十
○みを　水脈
○みをを　楫

○いをを　竿
○たをり　嶺ノ山ノ鞍ヲイフ
○たをやめ　婦人
○とをゝ　申
○とをす　申

合十三言

○(ゑ)〔阿行〕
○(を)〔和行〕

ゑ、をノ假字ハ両方トモ多クアルガ中ニ、をノ方ガ少シ、因テ少ナキ方ノをノ假字ヲ舉グレバ、四十八言有マス、其他ハ、ゑノ假字デアリマス

○を　(雄)(小)(尾)(緒)(脈)(嬢)
○をか　岡
○をがむ　拝
○をさ虫　尺蠖
○をけ　桶
○をこづる　誘
○をさむ　(収)(治)
○ををさ　兎
○ををく　尊

○をし　可笑
○をがし　羨
○をさ　招
○をこ　尾籠
○ををた　(長)(経)(禅)
○ををめ　寡女
○ををだこ　雑子
○をし　(食)(驚愕)

○(お)〔阿行〕
○(と)〔和行〕

お、とノ假字ハ両方トモ多クアルガ中ニ、とノ方ガ少シ、因テ少ナキ方ノとノ假字ヲ舉グレバ、四十八言有マス、其他ハ、おノ假字デアリマス

○と　(雄)(小)(尾)(緒)(脈)(嬢)
○とか　岡
○とがむ　拝
○とさ虫　尺蠖
○とけ　桶
○とこづる　誘
○とさむ　(収)(治)
○ととさ　兎
○とさく　尊

○とし　可笑
○とがし　羨
○とさ　招
○とこ　尾籠
○ととた　(長)(経)(禅)
○ととめ　寡女
○ととだこ　雑子
○とし　(食)(驚愕)

○(そ)〔佐行〕

ぞ、じノ假字ハ両方トモ可ナリ有マスガ、ぢノ假字ハ少ナキ方ナレバ、ぢノ方ヲ舉グマス、其他ハ、ぢノ假字ト知ルベシ

○あぢ　主
○うなぢ　項
○たのがぢ　各自
○ぢ　雉
○くぢる　抉
○ぢみ　蜆
○つゝぢ　蹲蹈
あらし(嵐)のし也

○なまぢ　同
○うぢ　蜻
○かたぢけなし　忝
○くぢく　挫
○ぢまる　縮
○そしゝ　脊肉
○つゝおと　(頭毛)(旋風)
○なまぢひ　怒
○ねこじ　掘
○はじかみ　薑
○ぢ　富士
○まじなひ　禁厭
○まじろく　瞬
○むじな　貉
○共じもの　犬自物　鹿自物

○(ぞ)〔佐行〕

ぢ、じノ假字ハ両方トモ可ナリ有マスガ、ぢノ假字ハ少ナキ方ナレバ、ぢノ方ヲ舉グマス、其他ハ、ぢノ假字ト知ルベシ

○あぢ　主
○うなぢ　項
○たのがぢ　各自
○ぢ　雉
○くぢる　抉
○ぢみ　蜆
○つゝぢ　蹲蹈
あらし(嵐)のし也

○なまぢ　同
○うぢ　蜻
○かたぢけなし　忝
○くぢく　挫
○ぢまる　縮
○そしゝ　脊肉
○つゝおと　(頭毛)(旋風)
○なまぢひ　怒
○ねこじ　掘
○はじかみ　薑
○ぢ　富士
○まじなひ　禁厭
○まじろく　瞬
○むじな　貉
○共じもの　犬自物　鹿自物

等ノ、じ。ぢ。の也(かじか)鮸ト川〝鹿〟ト二種アリ（鮸ハ川魚ニテ鹿ニ似タリ川鹿ハ蛙ニ似テ鹿ニ似タレバ鹿ノ名ヲ付ケハゼニ似タリ

○ぢ　　飯
○ぢゐ　犬
○ぢゑ　笑
○ぢく　惑星ハ烏宇ノ小サキノナリ
○ぢくし　酸
○ぢうべ　吐
○ぢのこ　豕

○づ　　彫物
○づるう　彫刻
○づひ　　酔
○づなく　喋
○づとり　屠児
○づらゝ　嘘

○合十三言

○(へ)〔波行〕
○(え)〔和行〕

下ニヒツク延ノ假字ハ九言ノミニテ其他ハ凡ベテ延ノ假字ナリ

○ひ延　神
○ひこ延　笛
○ひこ延　会楽ノ管
○ぬ延草　假草
○ぬ延　鍋
○かも延　鵜飼
○あこ延　距　和名抄ニ雞雄屋有鉄也トアリ

○ひ延　杉
○ひ延とり　鵜

○合九言

○(ほ)〔波行〕
○(を)〔和行〕

下ニをトツク假字ハ十二言ノ外ニ其他ハ皆ほノ假字ナリ

○あを　青
○かをる　薫

○いを　功
○うを　魚
○ゑを　姿
○とを　十
○みを　水脈
○みをを　楫

○いをを　竿
○たをり　嶺ノ山ノ鞍ヲイフ
○たをやめ　婦人
○とをゝ　申
○とをす　申

合十三言

○(ゑ)〔阿行〕
○(を)〔和行〕

ゑ、をノ假字ハ両方トモ多クアルガ中ニ、をノ方ガ少シ、因テ少ナキ方ノをノ假字ヲ舉グレバ、四十八言有マス、其他ハ、ゑノ假字デアリマス

○を　(雄)(小)(尾)(緒)(脈)(嬢)
○をか　岡
○をがむ　拝
○をさ虫　尺蠖
○をけ　桶
○をこづる　誘
○をさむ　(収)(治)
○ををさ　兎
○ををさく　尊

○をし　可笑
○をがし　羨
○をさ　招
○をこ　尾籠
○ををた　(長)(経)(禅)
○ををめ　寡女
○ををだこ　雑子
○をし　(食)(驚愕)

○(お)〔佐行〕

ぞ、じノ假字ハ両方トモ可ナリ有マスガ、ぢノ假字ハ少ナキ方ナレバ、ぢノ方ヲ舉グマス、其他ハ、ぢノ假字ト知ルベシ

○あぢ　主
○うなぢ　項
○たのがぢ　各自
○ぢ　雉
○くぢる　抉
○ぢみ　蜆
○つゝぢ　蹲蹈
あらし(嵐)のし也

○なまぢ　同
○うぢ　蜻
○かたぢけなし　忝
○くぢく　挫
○ぢまる　縮
○そしゝ　脊肉
○つゝおと　(頭毛)(旋風)
○なまぢひ　怒
○ねこじ　掘
○はじかみ　薑
○ぢ　富士
○まじなひ　禁厭
○まじろく　瞬
○むじな　貉
○共じもの　犬自物　鹿自物

等ノ、じ。ぢ。の也(かじか)鮸ト川〝鹿〟ト二種アリ（鮸ハ川魚ニテ鹿ニ似タリ川鹿ハ蛙ニ似テ鹿ニ似タレバ鹿ノ名ヲ付ケハゼニ似タリ

○ぢ　　飯
○ぢゐ　犬
○ぢゑ　笑
○ぢく　惑星ハ烏宇ノ小サキノナリ
○ぢくし　酸
○ぢうべ　吐
○ぢのこ　豕

○づ　　彫物
○づるう　彫刻
○づひ　　酔
○づなく　喋
○づとり　屠児
○づらゝ　嘘

○合十三言

○(へ)〔波行〕
○(え)〔和行〕

下ニヒツク延ノ假字ハ九言ノミニテ其他ハ凡ベテ延ノ假字ナリ

○ひ延　神
○ひこ延　笛
○ひこ延　会楽ノ管
○ぬ延草　假草
○ぬ延　鍋
○かも延　鵜飼
○あこ延　距　和名抄ニ雞雄屋有鉄也トアリ

○ひ延　杉
○ひ延とり　鵜

○合九言

○(ほ)〔波行〕
○(を)〔和行〕

下ニをトツク假字ハ十二言ノ外ニ其他ハ皆ほノ假字ナリ

○あを　青
○かをる　薫

○いを　功
○うを　魚
○ゑを　姿
○とを　十
○みを　水脈
○みをを　楫

○いをを　竿
○たをり　嶺ノ山ノ鞍ヲイフ
○たをやめ　婦人
○とをゝ　申
○とをす　申

合十三言

○(ゑ)〔阿行〕
○(を)〔和行〕

ゑ、をノ假字ハ両方トモ多クアルガ中ニ、をノ方ガ少シ、因テ少ナキ方ノをノ假字ヲ舉グレバ、四十八言有マス、其他ハ、ゑノ假字デアリマス

○を　(雄)(小)(尾)(緒)(脈)(嬢)
○をか　岡
○をがむ　拝
○をさ虫　尺蠖
○をけ　桶
○をこづる　誘
○をさむ　(収)(治)
○ををさ　兎
○ををさく　尊

○をし　可笑
○をがし　羨
○をさ　招
○をこ　尾籠
○ををた　(長)(経)(禅)
○ををめ　寡女
○ををだこ　雑子
○をし　(食)(驚愕)

○(お)〔佐行〕

ぞ、じノ假字ハ両方トモ可ナリ有マスガ、ぢノ假字ハ少ナキ方ナレバ、ぢノ方ヲ舉グマス、其他ハ、ぢノ假字ト知ルベシ

○あぢ　主
○うなぢ　項
○たのがぢ　各自
○ぢ　雉
○くぢる　抉
○ぢみ　蜆
○つゝぢ　蹲蹈
あらし(嵐)のし也

○なまぢ　同
○うぢ　蜻
○かたぢけなし　忝
○くぢく　挫
○ぢまる　縮
○そしゝ　脊肉
○つゝおと　(頭毛)(旋風)
○なまぢひ　怒
○ねこじ　掘
○はじかみ　薑
○ぢ　富士
○まじなひ　禁厭
○まじろく　瞬
○むじな　貉
○共じもの　犬自物　鹿自物

等ノ、じ。ぢ。の也(かじか)鮸ト川〝鹿〟ト二種アリ（鮸ハ川魚ニテ鹿ニ似タリ川鹿ハ蛙ニ似テ鹿ニ似タレバ鹿ノ名ヲ付ケハゼニ似タリ

○ぢしか　牝
○ぢしく　教
○ぢそ　(嘘)(嬬)
○ぢそ　(老翁)(祖父)
○ぢぢなく　臆病
○ぢぢこ　男
○ぢぢこめ　少女
○ぢぢどり　媒鳥
○ぢのゝべ　戦慄
○ぢはゝ　(総)(尾張)
○ぢみな　婦女
○ぢめく　叫
○ぢゝ〳〵　時々
○ぢづち　蛇
○ぢゝり　撓

○ぢね　晩稲
○ぢし　(情)(愛)
○ぢそ　(彼)(往)
○ぢそかくる　彼誰
○ぢつゝ　現世
○ぢつゝ日　前日
○ぢどる　踊
○ぢの　斧
○ぢば　伯母
○ぢひ　(錐)
○ぢみなし　女郎花
○ぢゆ　疼
○ぢろ　(居)(折)
○ぢゝ　唯
○ぢゞな　童子　老翁老女

女ハ阿行ノ假字ナリ

○ぢぜる　脱　書紀ニ望見テョメリ

合四十六言

郷別スレバ六十言トナレドモ同音同義ノ言ハ合ハセテシタ

○(ち)〔多行〕

タルナラムカ古言ニハ見當ラズ

合二十九言

○づ〔多行〕

○ず〔佐行〕

づずノ假字ハずノ方少ナシ、故ニずノ假字ヲ擧ゲタリ、此外ハづノ假字ト知ルベシ

○うず　髻華　○おずき　強

○かず　數　○さず　疵

○くず　葛　○さずき　假肢

○すゝ　鈴　○すゝき　鱸

○すゞし　涼　○すゞめ　雀

○すずろ　不覺　○たゝずむ　彳

○なずらひ　准　○ねずみ　鼠

○みゝず　蚯蚓　○もず　鵙

○ゆはず　弭　○うすずまり　蹲

合十八言

以上通計百七十八言

サテ此私ノ云音義學ノ說ヲムヅカシイモノノヤウニ誰モ御聽キニナリマスガ、誰デモ自然ニ發シテ居ルトコロノ音聲ヲ研究スルコトダカラ直キ誰デモ出來ル、物ヲ言ハヌ人ハナイ、物ヲ言フ學問ナレバ誰ニモ出來ルノデアル、ダカラ私ガ物知リラシク師匠ノ說イタコトヲ言ヒマスノハ、私ノ考デハゴザイマセヌ、是レハ矢張國學ノ學祖四大人、國學者ノ先輩ノ說ヲ私ノ師匠ガ蒐メテ大成シテ、是レナラ動カヌ說トナツタノデ、私ガソレヲタダ御取次シテ御話スルダケデアリマス、堀秀成ハ一生不幸ニシテ世ニ知ラレズ、世ニ用ヰラレズ、著書ヲ形見トシテ空シク高松ノ田舍デ死ンデシマヒマシタ、今年デモウ二十年モ過ギマシテゴザイマス、死ンデ今日其說ガ世ノ中ニ些カ知ラレルコトハ、實ニ私ノ喜ブコトデアリマス、幾ラ此假名ヲ違ヘヨウ、一緒ニシタイカラト云ウテ、天地自然ノ音韻ヲ人間ノ力デソレヲ直サウト云フ、斯ンナ無理ナコトハゴザイマスマイ、「アイウエオ」、「ヤイユエヨ」、「ワヰウエヲ」ト自然ニ言ヒ別ケルコトガ出來ル、自然ノ聲其自然ノ聲ガ自然ノ通リニアルモノヲ、人ガ相談シテ極メテ、自然ニ背クト云フ道理ガドウシテアルベキデハナイ、縱令訂シタトコロガ、ソレハ事實言語ノ上ニナクナスコトハ決シテ出來マセヌ、ソレハ何故出來ヌカト云フト古言カラ近言ヲ調ベテモ其通リニ是レハ「アイウエオ」ノ聲デアル、是レハ「ヤイユエヨ」ノ聲ダト事實今日御互ガ使ウテ居ル言葉ガサウナル、「ア行」ノ例ヲ言ウテ見レバ先ヅ「オモ」ト云フコトハ古イ言葉デス、乳ヲ呑マシテ育テル母、乳母ノコトデス、ソレハ「アモ」トモ「オモ」トモ云フ、「欠伸」ト

云フコトヲ「オクビ」ト云フ、是レハ俗言デス、古事記ニ塗二母乳汁一者トアリ萬葉集ナドニ「乳母」ト云フ字ヲ書イテ「アモ」トモ「オモ」トモ讀マシテ居ル、息ヲ「オキ」ト云フ「息長帶姬命」ヲ「息長帶姬命」ト云フ神功皇后樣ノ御名デアル、字須賣命ト云フ是レハ押ノ強イコトヲ「オゾイ人」ト俗言ニ云フ、「アツカマシイ」コトヲ「オゾイ」ト云フ古語拾遺ニ於須賣トアリ「芋」ヲ「ウモ」トモ云フ「魚」ヲ「イヲ」トモ云フ鱗ヲ「イロコ」ト云フ、「ウダキ」ヲ「イダキ」ト云フ「僞」ヲ「ウツハリ」ト云フ、「何處」ヲ「ウヅコ」ト云フ「幼キ」ヲ「オトキナク」ト云フ「ヤレユエヨ」ノ例ヲ云フト「ヤツコ」ヲ「レツコ」、「アヤツ」「アレツ」、「生憎」ヲ「アレニク」ト云フ、「ユキ」ヲ「レキ」、「ユク」ヲ「レク」トモ云フ、「レマハル」ヲ「ユマハル」、「レルガセ」ヲ「ユルガセ」トモ云フ、「レメ」ヲ「ユメ」ト云フ「オレ」ヲ「オユ」、「ミエ」ヲ「ミユ」ト活用スルコレラハ皆ヤ行デアリマス、「ワ非ウエヲ」ノ例ヲ云フト「ヲナナク」ヲ「ヲノノク」ト云フ、「キヤナシ」ヲ「于ヤナシ」ト云フ、「キヤマウ」ヲ「于ヤマウ」、「于サギ」ヲ「ヲサギ」ト云フ、「于ツツ」ヲ「ヲツツ」ト云フ、今日用ノ言語ガアヤワ三行ニ活用シテヲル然レバ小學校カラ子供ニ敎ヘレバ何ノコトハナク發音ガ出來ル、斯ウ云フ日用ノ言語ニ活用シテ居ルヲ今假字ヲ無クシタカラト云ウテ音聲ガ此通リ別カレテ居ル、ソレデ此音聲ト云フモノハ世ノ治亂ニモ人心ニモ關係スルコトガナカナカ容易ノモノデナイ、歷史上大概當時ノ言語ヲ比較シテ研究シテ見タラ世ノ治亂モ分ルト思ハレマス位ナモノデアリマシテ、此人品ノ卑シイ尊イモ言語ニ依ツテ分ル、此言語ハ實ニ大切ナモノデアル、國ノ品位ノ高イ低イ所謂「カヘル」ヲ「ケヘル」ト云フヤウニ皆ナツタナラバ人格ノ高イカ低イカハ直キ分ル、人格ニモ人心ニモ關係ヲ有ツコトガナカ〳〵容易ナコトデハナイ、ソレヲ少數ノ人ガ寄集ツテ議定ヲスルトカ勝手ニ定メルト云フコトハ思ヒモ依ラヌ天理ニ背クト私ハ斷言シテハ甚ダ失禮トハ思ヒマスガ、私ハサウ存ジマス、又日本ノ言語ト云フモノハ天地開闢以來今日ニ至ルマデ相續シテ吾々ニ及ンダノデアリマス、吾々子孫ニ是レカラ幾百千年傳ヘルカ知レヌ言語デアリマス、神代ノ天ト云ヒ地ト云ヒ花ト云ヒ雪ト云ヒ些トモ今日日用ノ言語ト違ツテ居ラヌ、今御話シタ通リ五十音圖ニ照シテ調ベテ見ルト雅言デモ俗言デモ根據ガアル、語尾ノ變化スル所モ皆規則ガアツテ五十音圖ニ依ツテ活用シテ居ル、ソレガ自然ノ道理デ人ノ力デ左右スルコトガ出來ルモノデハナイ、ソレヲ人力デ議定スルモノト思フノハマダ調査ガ足ラヌ故デアル國ノ言語ト云フモノハ其國ノ何ヨリ大切ノ獨立ノ基礎デアル本原デアル、我ガ日本ハ神代ヨリ今日マデ皇統一系一節ノ糸ヲ引イタ如クアルカラ日本語ノ神代ヨリ今日マデ音便ニ依ツテ些カ變化ハ

アレドモ言語ノ本體ハ些トモ變ラナイ、音便モ皆此五十音圖ニ依ツテ言ウテ居ルカラ其時代ニ依ツテ訂シテ見タラ後世雅俗近古ノ言語ハヨクワカリマス假字遣ハムヅカシイモノカト云ヘバムヅカシイモノデハナイ、日本語ノ假名遣ハ僅カ百七十八言ヨリナイ、ソレヲ子供ニ覺エサセルト云フコトハ何ノコトハナイ、自然ニ是レハ生レタ儘發音スルモノデアルカラ五十音圖デ正シクサヘ教ヘテ居レバ自然ニ覺エル、尚ホ言ヒタイト思ヒマスルガ、餘リ長クナリマスルシ、皆此席ニ御出ナサル方ハ朝野ノ名士吾々ノ如キ者ガ此席デ斯樣ナコトヲ申スノハ實ニ失禮デゴザイマスガ、熱心ノ餘リニ甚ダ過言ニナツタコトハドウゾ御容赦ヲ願ヒマス、マダ言ヒタイコトハアリマスガ後ニ申シマス

○七番、矢野文雄君）　私ハ大體此文部省改正案ニ贊成ノ方デアリマス、併ナガラ除外例ヲ置イテ贊成シタイ、大體改正案ニ贊成ノコトハ大槪君ナドガ充分御述ベニナツタヤウデアリマス私ナドガ云フ餘地モ無イヤウデアリマスケレドモ一口ニ申シマスルト私ナドノ考デハ總テ人間ハ進化シテ行ク、我々ノ今日ノ身體モ隨分進化シテ居ル、外形ハ衣食住其他總テノモノガ變遷スル、世ノ忙シクナルニ隨ツテ廻ル所ヲ筋違ヒニ行クノガ人間ノ常デアリマス、其進化スル法ヲ以テ事ヲ敏捷ニ捗取ルト云フコトハ世ノ中ノ事ガ總テ能ク行ツテ居ル立國ノ基礎ハ強チ言葉ヲ眞直ニ言フノト少シ敏捷ニ言フノトデ彼是スル程ノコトモアルマイ時勢ノ要求ハ大體ハ文部省ノ改正案ニ贊成ノ方デアリマス、併ナガラソレニ付テ私ハ除外例ヲシテ贊成ヲシタイ、ト言ヒマスノハ小學ノ尋常三年若クハ四年マデハ此改正ニナリマス所ノ新體ヲモ私ハ用ヰヌ方ガ宜イカト思フ、即チ發音體デ行キタイト思ヒマス、先ヅ小學讀本ノ事柄デ申シマスレバ一卷カラ六卷若クハ八卷位マデ、發音體デ總テヤリタイト思ヒマス凡、八ツ九ツ十ト云フ位ノ子供ハ未ダ何モ考ノ無イ子供デアリマス、ソレニ向ツテ改正ノ假名遣デモガ私ハ少シ無理ナ方デアラウト思ヒマス、例ヘテ言ヒマスルト「太郎ガ顏ヲ洗ヒマス」ト云フ言葉ガアル、ソレヲ改正案ニ據ルト矢ツ張リ顏ヲ「カホ」ト書カネバナラヌ「洗ヒマス」ヲ「洗ヒマス」……當前ハ「イ」ト書カシテ宜イノヲ「ヒ」ト書カネバナラヌ之ヲ七ツカ八ツカ、九ツ十位ノ子供ニ向ツテ敎ヘタ所デカツ〳〵「顏」ハ「オ」ト云フケレデモ「ホ」ダ「洗ヒ」ハ「イ」ト云フケレドモ「ヒ」ダト云フコトハ記憶スルカモ知レマセヌガ敎師ガソレナラ何カ少シ一行カ二行ノモノヲ書イテ見ロ、ソノ時ニ「カオ」ト云フノハ書キ易イデスケレドモ「カホ」ト書キ「洗ヒ」ヲ「洗ヒ」ト書クト云フコトハ實際試シテ見ルト難澁ノヤウデアリマス、凡、子供ノ發達スル時ニハ少シク心ニ理解スベキコトヲ敎ヘヌト工合ガ惡イヤウデアリマス、例ヘバ

四ト四ト合セテ八ニナルト云フコトハ大變理解シ易イケレドモ今五十音カラ是ハ「カオ」ト云フノダケレドモ音調ガ通ウテ「カホ」ト書カネバナラヌ、ソレカラ「アライ」ダケレドモ之ヲ「アラヒ」ト書カネバナラヌト云フコトヲ一々敎ヘルト云フコトハ餘程六ツカシイヤウデアリマス、或ハソレハ百人ノ中ノ二人カ三人俊秀ナ子供ハ覺エマセウ、又敎師ノ言ツタ通リ書ケト云フト新タニ書クコトモ出來ルカモ知レマセヌケレドモソレハ僅カニ一人カ二人デ先ヅ百人中九十七八人マデハ讀ム時ニハカツ〳〵讀ムヤウダケレドモ書ケト云ウタ時ニ又原案ノ「ハヒフヘホ」ノ動詞ノ活用ナドヲ書クコトハ出來ヌヤウデアリマス、ソコデ成ルベクハ此改正案ニ御極メニナリマスニ付テモ、尋常小學三年若クハ四年マデハ總テヲ發音體ニスル方ガ宜シクハ無イカト思フサウシマスト私ノ言フ案ニ從ヒマスト丁度世ノ中ガ三ツニナル姿デ可笑シウゴザイマスガ是モ必要仕方ガ無イト思ヒマス尋常三年カ四年マデハ發音デモ總テ言葉通リニ書カセル其上ニナツテ初メテ此改正案ヲ用ヰル、ソレカラ大和文藝、其他ニ關シタモノハ舊來ノ假名ヲ用ヰル、是ハ當前ダ我々ハ古文體ノモノガ好キデアルカラ自分カラ言ヘバ或ハ總テサウヤリタイト思ヒマスケレドモ隨分是カラ先キ國民ハ苦息、吐息ヲ吐カネバナラヌ時節ガ來ルデアリマスカラ敎育ニ付テモ總テ不急ナモノハ無イ筈デアリマスケレドモ、ソノ中悉ク一樣ニ不急トハ行クマイト思ヒマス、或モノハ急デアリ或モノハヨリ急デ有ルト云フコトガアルカモ知レマセヌ、其子供ナド又敎育ノ上ニ付テ此字音ノ六ツカシイ假名ヲ呑込マセ或ハ此假名書ノ六ツカシイチヨット覺エ惡イノヲ強ヒテ子供ニ敎ヘルト云フヨリハモソット有用ナモノヲ敎ヘタ方ガ宜カラウト思フ、ソレデ大和文藝ニ付テハ無論舊來ノ假名ソレカラ又之ヲ研究スル人ハ語原ノ由ツテ來ル所ヲ明カニシテ舊來ハ斯ク〳〵デアツタト云フ考證ヲ正シマスコトハ無論大切ナ學問デ我々モ貴ビ且好ム所デアリマスケレドモ、或場合ニ於テハ劃愛シナケレバナラヌト思ヒマス、ソノ劃愛ノ方カラ言ヒマスルト私ハ中學校ソレカラ高等小學校ニ於テ改正案ヲ用ヰルト云フコトハ贊成デアリマス、併ナガラ尋常小學三年若クハ四年ノ極ク頑是ノ無イ七歲八歲九歲十歲ト云フ子供ニ向ツテ此顏ハ「カホ」ト書キ「洗ヒ」ハ「洗ヒ」ト書クト云カ五十組デ普通ガ通フカラト云フコトヲ七ツ八ツノ子供ヲ捕ヘテ言フノハチヨット無理ナ話デアリマス、凡、法律ハ罰スルコトノ出來ナイ罰則ヲ作ル位ナラバ始カラ作ラヌ方ガ宜イ、子供ニ敎師ガ「洗ヒ」ト書イテ「洗イ」ト讀メト云ヘバドウカ斯ウカヤルヤウデアリマス、又之ヲ書イテ見ロト云ヘバ「洗ヒ」ト書クヤウデアリマスケレドモ、ソレヂヤ別段ノ文章ヲ出シテ例ヘバ二行デモ斯ウ言フモノヲ書イテ見ロト云フ

時ニハ其「顔」ヲ「カホ」ト書クベキ場合ヲ「カヲ」ト書カズニ「カホ」ト書キ「洗イ」ヲ「洗ヒ」ト書ク者ハ誠ニ少ナイ、ソレヲ無意識ニ覺エサセルト云フコトハ餘程害ガ有ルヤウデアリマス、サウシテ又全體言ヒマストト日本ノ文字ト云フモノハ他國語ヲ教ヘル時ニナルト改正案ハ大分這入リ易イ、ト云ヒマスノハ例ヘバ今小學讀本ヲ調ベマスト七ノ巻アタリハ文語ガアル其文語ノ中ニ例ヘバ「何カヲ摘取リテ甘キ汁ヲ」トアル、當前ノ口語體發音體デ言ヘバ「摘取ッテ甘イ汁ヲ」ト行クベキデアル、文語デハ儿帳面ニ「摘取リテ甘キ汁ヲ」ト云フ風ニヤッテ居ル斯ウ云フ段ニナルトモウ「ハヒフヘホ」ノ動詞ヲ教ヘマシテモ稍々呑込ムヤウデアリマス、ケレドモ口語體ニ至ッテハ成ルベク發音體デヤルコトニ致シマセウ、サウナルト棒引ガ宜イカ「オ」ガ宜イカト云フコトハ一ツノ問題デ私ハドチラデモ宜イ、私ノ大體ハ唯々尊常三年若クハ四年マデハ總テノ教科ヲ發音體デヤル、字音假名モ發音體デ行ク而シテ尊常四年アタリカラ初メテ改正案ノ假名ヲ用井ルケレドモ一方ノ大和文藝ソノ外ノ高等ノ學藝ニ至ッテハ舊來ノ假名ヲ用井語原ヲモ調ベ正シク書クト云フコトハ一種ノ貴ムベキ藝デアリマスカラ大體贊成ハ致シマスガ、此案ノ大體ノ贊成者ダ、併ナガラソレニ付テ尊常ノ三年四年アタリマデハ子供ノ發育上カラ教ヘ又罰スルコトノ出來ヌ法律ハ拵ヘテモ無駄ダト云フコトカラ此改正案ヲ御用井ニナルコトハ此際御遠慮ニナッタ

方ガ宜カラウ、口語體デヤッテサウシテ發音體デ書イテ棒引エナラウト或ハ「オ」ノ字ヲ用井テモ宜シイ、ト云フノガ私ノ大體デアリマス、尚委員長ニ御注意ニ申上ゲテ置クノハ私ノハ此案ヲ贊成スルニ付テノ一ツノ附加ヘノ發言デゴザイマスカラ將來此會ノ經過ニシテ文部省カラ御提出ニナリマシタ改正案ガ大體可決シタト云フ場合ニ至ッテハソレト附屬シテサテ小學三年四年マデモ之ヲ用井ルカ但シハ三年四年マデハ口語體ニシテ發音體デ書イテ是ハソノ上ニ用井ルカト云フコトノ御採決ヲ下スッテモ宜シイト思ヒマス、是ハ御注意マデニ申上ゲマス

○十四番(伊澤修二君)　今ノ矢野サンノ御演說ニ對シテ分ラヌ所ガアリマスカラ……

○委員長(男爵菊池大麓君)　伊澤サンハ何デスカ

○十四番(伊澤修二君)　私ハ今ノ矢野サンノ御演說ニ付テ伺ヒタイコトガアリマスガ、是ハ一々委員長ニ御斷リ申サヌトサウ云フコトハ申スコトガ出來ナイデスカ

○委員長(男爵菊池大麓君)　發言ノ通告ガアリマスカラ……併シ御質問ナラバ差支ナカラウト思ヒマス

○十四番(伊澤修二君)　チョット矢野サンニ伺ヒタイデスガ、矢野サンノ仰シャル發音體ト云フノハドウ云フヤウナモノデアリマスカ

○七番(矢野文雄君)　例ヘテ言ハバデス「太郎顏ヲ洗ヒ」トカ云フコトガ此小學讀本ニアルガ、文語デアラザルモノヲバ總テ口語體ト看做スノデアリマス

○十四番(伊澤修二君)　其口語體デ唯今ノ御話ノハ「孝」トカ何トカ云フコトハアリマセヌケレドモ、例ヘバ今ノ「親ニ孝行ヲスル」ト云フコトモアリマス、ソノ「孝行」ト云フノハドウ云フ風ニ御書キナサル

○七番(矢野文雄君)　棒引デモ宜シウゴザイマス、或ハ棒引ヲ止メテ「オ」ノ字ニ書イテモ宜シイ、棒引デモ宜シイ、總テ子供ガ話シテ話ス通リニ分リサヘスレバ……

○十四番(伊澤修二君)　話ス通リニ書キマスノデモ棒引デハ分ラヌカラ「オ」ノ字ニ書イタ方ガ宜シイト云フ……

○七番(矢野文雄君)　ソコハ私ハ固執セヌ、子供ニヤラスルト棒引ヲ便利ガル、私ハ便利ナ方ガ宜ラウト云フノデス併ナガラソレハ逐條議ニナッテ、若シ幸ヒニ其案ガ通ッテ棒引ヨリ「オ」ノ方ガ宜イト云フコトナラバソレハ爭ハナイ

○十八番(芳賀矢一君)　假名遣ノ問題ニ對シマシテ色々反對ノ御意見モ贊成ノ御意見モアリマス是ハ色々ノ事ニ關係ヲ持ッテ居リマシテ或ハ問題ニ對シテモ多少ノ誤解ト云フモノモアリ範圍モキチント極マッテ居ラヌヤウニ思ヒマスノデ、私ハ假名遣問題ヲバ教育問題トシテノ國語假名遣ト云フコトニ

付テ私ノ意見ヲ極メテ簡單ニ述ベテ見タイトオモヒマス、私ノ申シマスコトハ或ハ間違ツテ居ルカモ知レマセヌドウカシバラク私ノ教育問題トシテノ假名遣ト云フ意見ヲ御聽取ヲ願ヒマス、國語ノ假名遣ガ六ツカシイカラ改メヨウ斯ウ云フ論ガ一體近頃盛ンニ起ツテ居ル問題デ多年ノ宿題ノヤウデアリマス、文部省ノ當局ノ御方ガ此處ヘ出ラレマシテ說明セラルル時ニ何時モ其說明ヲ以テ答ヘラレマスガ私ハ是ハ少シ本未ヲ顚倒シタ話デハ無イカト思ヒマス、六ツカシイ理窟丈ケデ國語ノ假名遣ヲ改訂スルト云フコトハ果シテ正シイノデアリマセウカ、夫ハ寧ロ第二ノ問題デハアルマイカト思ヒマス六ツカシイカラ國語假名遣ヲ變ヘナケレバナラヌト云フコトニナレバ英語ナドヲ一體ヤラセルコトハ間違ヒカモ知レマセヌ國語ノ方ヲモウ少シ六ツカシクテモ骨ヲ折ツテヤラセロト云フ御意見モ出ルカモ知レマセヌト思フデアリマス、唯々問題ハ六ツカシイ六ツカシクナイト云フコトヨリモ寧ロ國民敎育トシテ必要デ有ルカ無イカト云フコトガ第一ノ問題トナラネバナラヌデハ無イカ、實際必要ナコトナレバドンナ六ツカシクテモ變ヘズニ敎ヘナケレバナラズ又不必要ナコトナラバドン〳〵變ヘテ宜シイデアラウ、其本末ガ少シ間違ツテ居ルノヂヤ無イカ、斯ウ思フノデアリマス、實ハ敎育社會ニ於テ、年來假名遣問題ガ問題ニナツテ居ルノハ六ツカシイカラ變ヘヨウト云フコトデハ無イ、本來後ロニ潛ンデ居ル問題ハ不必要デアルカラ改メヨウト云フコトガ第一ノ問題デアリマス、私ハサウ認メルノデアリマス、實ハ此問題ノ起リヲ私ガ御話申シマスト唯今御話ノ藤岡サンノ說トハ其間ニ徑庭ヲ生ジマスガ私ハ古イ假名遣ヲ以テ是ハ唯國學者ノ研究シタ假名遣ト認メル、學者ノ研究シタ假名遣ハ即チ平安朝ニ行ハレタ古イ假名遣デアリマス、ソレハ國民一般ニハ數百年來少シモ用ヰラレテ居ラナカツタ假名遣デアリマス、即チ其學者ガ唯々研究シタ假名遣ヲ文部省ガ明治初年ニ方リマシテ新敎育ヲ施スニ方ツテ國民一般ニ用ヰサセヨウトシタノハ抑々誤ツテ居ツタト思ヒマス、夫ガ第一ノ失策デアリマス、國民ガ用ヰテ居ラヌモノヲ國民敎育ニ施サウトシタノガ間違ヒデアル、社會ニ通用セヌ假名遣ヲ學校丈ケニ用ヰヨウトシタノガ間違ヒデアル、夫ガ即チ敎育社會ノ反對ヲ惹起シタ所以デアリマス、不必要ナモノヲ敎ヘヨウトスルカラ即チ要ラヌモノヲ覺エサセヨウトスルカラ、敎育社會デハ反對ガ起ルノデアリマス、敎育社會ニ於テ六ツカシイト云フ理由ヲ以テ國語假名遣ノ改訂ヲ要求シタコトハ私ハ無イト思ヒマス、若シ有レバソレハ非常ナ急激ナ論者デアツテ私等トハ少シ立場ガ違フノデアリマス詰リ實際社會デ用ヰテ居ラヌ假名遣ヲソレヲ學校デ時間ヲ潰シテ敎ヘルト云フコトガイカヌ、六ツカシイカラ止メヨウト云

フノデ無イ不必要ダカラ止メヨウト云フノデアリマス、問題ノ第一義ト第二義トハ明カニ區別スルコトガ必要デハ無イカト考ヘマス、是ガ第一ノ點デアリマス、第二ノ點ハ假名遣改正ト云フコトハ問題ヲ頻リニ西洋ノ綴字改正論ト結付ケテ考ヘル人ガアリマス、是ハ私ノ見方カラ見ルト大變違ツテ居ル唯今モ矢野先生ガ御話デアリマシタガ日本デハ即チ漢字ノ着物ト假名ノ着物ト兩方着テ居ルトコロガ西洋デハ全ク羅馬字ノ着物丈ケシカ着テ居ラヌノデアリマス、其綴方ト云フモノハ大人デモ子供デモ一定シテ居ルノデアリマシテ一般ニ行ハレテ居ルノデアリマス一般ニ行ハレテ居リサウシテ一定シテ居ルモノデアリマスカラ是ハモウ誰デモソレヲ變ヘルコトニナツタラ直グ直接ニ感ズルノデアリマス、影響ヲ受ケルノデアリマス即チ綴字ヲ一ツ間違ヒマシテモ西洋人ハ其恥辱ニナル、日本デ恰モ漢字ノ字書ヲ間違ヘテ書クヤウナワケデ手扁ヲ木扁ニ書イタリスルト無學ダト言ツテ嗤ハレマス、ソレト同ジク西洋デハ綴リヲ一ツ間違ヘテモ大變恥辱ニナルノデアリマス、所ガ日本デハ假名遣ヲ知ランデモ世ノ中ガ通ツテ行ケル軍人デモ政治家デモ商工業者乃至此處ニ御出デナサル新聞社ノ御方デモ學校ノ敎員デモ國語敎員デ無イ限リハ假名遣ヲ知ラヌ、知ラヌデモ世ノ中ハ通ツテ行ケル、是ハ藤岡サンナドカラ言フト大變間違ヒダト申サレマセウガ、何シロ世間デハサウイフ假名遣ヲ用ヰテ居ラヌノガ事實デアル、國語ノ假名遣ヲ知ルト云フコトハ殆ド專門家ノ事業ト認メラレマス、今日ハ澤山ノ書物ガ出版ニナリマシテ、實ニ汗牛充棟トモ申シマセウガ其中ニ假名遣ニ注意シタ書物ハ殆ト無イ、極メテ寥々タルモノト思フ、學術上ノ書物デモ娛樂ノ上ノ書物デモ均シク假名遣ニ注意シテ居ラヌ、所謂假名チガヒノ書物ガ每日新ニ出版サレテ每日新聞ニ廣告サレテ居ルソノ中デ文部省デ檢定ヲ受ケタ敎科書丈ケハ假名遣ガ正シイト云フコトニナツテ居ル、即チ此舊イ假名遣ト云フモノヲ文部省ガ明治初年カラ頻リニ學校カラ敎ヘタノニモ拘ラズ社會上ノ實際ニ於テハ少シモ行ハレテ居ラヌノデアリマス、此假名遣ヲ知ラナイ人々ガ集マツテ日本ノ社會ヲ形造ツテ居ルノデアリマシテコレガ日本ノ國家ノアラユル階級ヲ組織シテ居ルノデアリマス、ソレデモ國家ト云フモノハ間違ヒナク進ンデ行キマス、段々ト繁昌シテ行ツテ居ルノデアリマス、元來社會デ用ヰテ居ラヌカラ學校デ習ツテモ世ノ中ヘ出レバ直グニ忘レル學校ハ骨折損ノ草臥儲ケデアリマス、此樣ナ假名遣ヲ國民敎育ニ用ヰルノガ必要デアルカ無イカト云フコトハ即チ假名遣問題ノ一體ノ根本デアリマス、デアルカラ從來漢字ト云フモノヲ使用シテ居リマス、日本人ニハ假名遣ト云フモノハ全ク無視セラレテ居リマス今渡部サンノ言ハレタ漢字ニ隱レテ居ルト云フ

コトガアル、矢野サンノ言葉デ漢字ノ着物ヲ着テ居ル、ソレ故漢字ヲ知ツテ居ル大人ニハ假名遣ハ要ラヌノデアリマス、即チ言葉ノ語尾及送假名ト云フ所丈ケシカ要ラヌ、其他ノ細カイ處ハ要ラヌノデアリマス、其要ラナイニモ拘ラズ小學校デ子供ニ敎ヘヨウト云フノガ困ル、渡部主事ガ此前ノ話ニ下級ノ方デハ覺エテ上級ニナルト忘レテ仕舞フト云フコトヲ言ハレマシタガ是ハ當前ダト思フ、段々大キクナツテ漢字ヲ使フ、假名遣ノ要ラヌ社會ニ這入レバ丸ルデ知ラナクナル、文部省デ統計ヲ取ラレタ百ノ中デ八十丈ケハ間違ツテ居ル、二十丈ケ正シカツタト云フ統計表ヲ配ツタ、段々學校デ級ガ上ニ行ク程少クナツテ社會ヘ出テ百人集メテ假名遣ヲ解サヌ者ハ九十九人位アルト斯ウ云フ結果ニナル、ソレデアリマスカラ、西洋ニ於テノ綴字改正論ト云フモノトハ違フ、西洋デハ實際ニ行ハレテ居ルコトヲ改正シヨウト云フノデアリマス、日本ノ假名遣改正論ハ社會ニ行ハレテ居ラヌモノヲ止メヨウト云フノデ社會ニ行ハレテ居ルモノヲ止メルノトハ違ヒマス其區別ヲ知ラヌト直チニ西洋デ改正論ガ行ハレナイカラシテ日本デモ行ハレナイト考ヘル人モアリマセウケレドモサウ云フ譯デハナイ、今申ス通リ向フデハ行ハレテ居ルモノヲ改メル、コチラデハ居ラヌモノヲ止メヨウト云フノデアリマスカラ其點ハ御注意ヲ願ヒマス、又此間渡部主事ノ說明ニ據ルト古イ假名遣ヲ舊道ニ喩ヘラレテ今度ノ改正ノ假名遣ヲ新道ニ喩ヘラレタ此譬喩ハ私ハ其當ヲ失シテ居ルト思ヒマス、舊道ト云フ以上ハ澤山ノ人ガ通ツタモノガ舊道デアル所ガ古イ假名遣所謂平安朝ノ假名遣ハ人ガ通ツテ居ラヌ、現在ノ社會ヲ橫ニ見マシテモ歷史上カラ縱ニ見マシテモ此舊イ道ヲ通ツテ居ル人ハ極メテ少イ、實ハ鎌倉以後德川ノ始マデハ廢道デアツタノデ舊道デハアリマセヌ、即チ全ク一ツノ廢道デアリマシタ、ソレヲ德川ノ始ニナツテカラ契沖トカ春滿トカ賀茂眞淵ナド、云フ人ガ其荊棘ヲ闢イテ茲ニ舊イ道ガ有ルカラ通ラナイカト云ウテ通ツテ見セタ、所ガ此契沖ヤ眞淵時代マデハマダ「オ」ト「ヲ」ノ五十音圖ノ分ケ方ナドガアベコベニナツテ漸ク本居ノ代ニナツテ今ノ樣ニ極マツタノデアリマス、ソレデ國學者ノ連中ハ其跡ヲ履ンデ行キマシタガ國學者ノ中ニモ今時舊イ道ヲ通ル必要ハ無イト言ツテ通ラヌ人モアリマス、何シロ國學者ガ皆通ツタ譯デ無イ即チ漢學者ハ勿論ノ事、一般ノ國民ハ昔舊イ道ヲ通ラナカツタ、新井白石ハ國學ノコトニ付テ著述ヲシテ居リマスケレドモ白石ノ假名ヲ見ルト無茶苦茶デアル、室鳩巢ニシテモ貝原益軒デモ色々ナ著述ヲ世ノ中ニ出シテ居リマスガ其假名遣ハ決シテ舊イ假名遣デハナイ、平安朝ノ假名遣デハ無イ、勝手次第ニ書イテアリマス或處丈ケハ一般ノ道ヲ固ヨリ通ツテ居リマスガ古イ假名遣丈ケヤツ

タノデハ無イ、ダカラ折角七八百年來廢シタ廢道ヲ國學者ノ力デ興シマシタガ矢張リ其上ノ通行人ハ少カツタ、所ガソレヲ先刻申シマス通リ文部省デハ明治ノ始ニナツテ此道ガ宜カラウト是ガ一番根據ガアツテ學者ガヤツタ道ダカラ宜カラウト言ツテ國民全體ニ其道ヲ通ラセヨウトシタノガ抑々誤リデアル、世間ノ人ノ通ラヌ道ヲ學校デ通サウトシタカラ、世ノ中ノ人ノ步ク道ト學校ノ道トハ違フ、ソレダカラ幾ラ小學校デ敎ヘテモ世ノ中ヘ出レバ役ニ立タヌカラ忘レテ仕舞フ、社會デ必要デ無イモノヲ敎ヘラレテ而モ隨分學科ノ道ハ難儀ナ山坂ノアル道デスカラ詰リ學校ハ無駄骨ヲ折ツタコトニナルノデアリマスソレデ文部省ノ人達ガ是デハ詰ラヌト云フ敎育家一般ノ輿論ニ押サレマシテ此舊道ノ通行ヲ止メタラ宜カラウ、今度ハ別ニ新シイ道ヲ立テタラ宜カラウト云フコトニナツタノガ假名遣改訂案ノ由來デアリマス、ソレニハ新シイ新道ヲ全ク調イテ通ラウト云フ人モアリマスルシ又少シ位昔ノ道ヲ修覆シテ通ラウト云フ人モアリマス又元ノ學者ノ立タ古イ道ヲ追ウテヤツタノダカラモウ少シ之デヤラウデヤ無イカト云フ人モアリマセウ、ソノ古イノヲ變ヘテ新ラシクショウト云フ人モアリマス、之ガ爲ニ年來敎育者ヤ學者ガ騷イデ居ルノデアリマス併シ國民一般ハ假名遣ニハ冷淡ナ傾キデアリマス、國民ハ極メテ假名遣ニ冷淡デアツテ西洋ノスペル問題トモ同ジ問題トハ見ラレナイト思ヒマス、ソレデ何處マデモ舊イ道ヲ通ラウト云フ人ノ側ニ於テ最固執スル方ノ人ニ付テ申上ゲタイコトガアル、是等ノ論者ハ國學者ノ調ベタ古イ假名遣ヲ標準トシテ是ガ正シイモノデアルト斯ウ認メテ居ル、即チ古イ言葉ガ正シイ、唯今藤岡サンノ御說明ノ通リ昔ノ言葉ニ付テ段々學者ノ調ベタモノガアリマスルガ、ソノ道ガ正シイドウシテモソレヲ通ラナケレバイカヌ、ソコデ通ラナケレバ邪道ニ陷ルト云フ風ニ看做スノデアリマスルガ、是レガ果シテ正當デアリマセウカドウカ、世間ノ人ノ步ク道ト違ツテ居ル道デアツテ隨分覺エルニ六ツカシイモノデアリマスカラソレヲ何處マデモ敎ヘルコトガ必要デアルカ、縱ヒ正シイモノデアルトシテモ必要デアルカ必要デナイカト云フ問題ニナリマスガ果シテ正シイトシテモソレハ固ヨリ定家假名遣ノヤウナ獨斷的ノモノト同一ニ見ルコトハ出來マセヌカラ、古イ道ガ惡イトモ言ヘナイガ段々時代ニ依ツテ變ルモノダトイフコトハ、認メネバナラヌ、先刻藤岡サンガ色々發音ノ變遷ノコトヲ述ベラレマシタ、變遷ノ規則ニ依ツテ見マスレバ固ヨリ規則ニ依ツテ變遷スルコト丈ケハ認メマスガ、其規則ニ依ツテモ兎ニ角變遷スルト云フコトハ認メラレタ、其變遷ガ正シイモノデ變遷ヲバ間違ダト云フコトハ出來ナイ、サウスレバ其變遷シタ儘ニ變ヘルコトガ間違ヒトハイヘマスマイ、自然ニ變ツ

タモノトシマスルナラバ、自然ニ變ツタモノガ不正デアル誤謬デアルト認メルコトハ不當デハアリマスマイカ、昔ノ富士川ノ流レハ今ハ場所ガ變ツテ居ルト思ヒマスガ昔ノ富士川ノ流レガ正シク今ノ富士川ノ流レハ嘘ダト云フ人ハアリマスマイ、平安朝天暦以前ノ假名遣丈ケガ正シクシテ鎌倉以後ノハ嘘ダト云フコトハ決シテ言ヘナイ、若シ嘘デアルトイヘバ謠曲ノ文章ハ……謠本ナドハ日本ノ文學トシテ受取ラレナイ皆嘘ニナル其一例ヲ申シマスト例ヘバ斯ンナノガアル

戀しき涙ををちこち人に(東北)

是ハ涙ノ落ルト云フ所ト「をちこち人」ト云フノトノ掛言葉デアリマス、所ガ涙ノ落ルノハ「オ」デ「をちこち人」ト云フノハ「ヲ」デアリマス

誰にゆくへを遠江(景清)

是モ一方ハ問(トフ)デ一方ハ遠(トホ)デアリマス

身に白玉のおのづから(小督)

是モ玉ノ緒(ヲ)ト自(オノヅカラ)ト云フコトヲ掛ケタノデアリマス、是モ「ヲ」ト「オ」ト違ツテ居ル

花見車の八重一重、みえて櫻の色々に(右近)

八重一重三重ト云フ時ノ三重(ミヘ)ト見エ(ミエ)トガ掛言葉デアリマス、ソレハ違ツテ發音ニ變化ヲシタノデアリマス

いづくも敵と夕浪の立騒ぎつゝ舟子ども、えいや〳〵と夕汐につれて船をぞ出しける(舟辨慶)

是モ言(イフ)ト夕(ユフ)ト二ツヲ掛ケタノデアリマス、斯ウ云フ工合ニ同ジ發音ヲ利用シ掛言葉ヲ作ルコトハ日本ノ昔カラノ文學上ノ裝飾法デアリマシテ是ガ若シ平安朝假名遣カラ言ヘバ謠曲ノ假名遣ハ差向キ間違ヒト言ハナケレバナラヌ之ヲ間違ヒト取ルナラバ是カラ後ノ淨瑠璃ナリ謠曲ナリノ中ニ澤山ノ例ガアル、若シ間違ヒトスルナラバ是カラ以後ノ淨瑠璃ナリ小說ナリ俚諺、地口、落語斯ウ云フモノハ皆下等ナモノト仰シヤルカモ知レマセヌガ斯ウ云フモノガ非常ニ澤山、斯ウ云フヤウナ掛言葉ノ裝飾ヲ用ヒテ面白味ヲ起サセル、總テ後世ノ發音ノ變ツタ假名ノ上ニ其趣味ヲ築キ上ゲテ居ルモノガ多イ、先刻字餘リノ話ナドガ出マシタ、字餘リハ「アイウエオ」以外ニハ無イト言フケレドモ俳句ヤ、連歌ナドニナルト澤山字餘リガ出デ居ルノデアリマス、何處マデモ唯々平安朝ヨリ以前ノモノガ正シイ、ソレカラ後ノハ誤謬ダカラ何デモ平安朝ノ昔ニ返スト云フコトハ國學者ノ學問ノ態度トシテ言フベキコトデアリマスガ國民敎育ト云フ考、進歩シテ行ク國民トシテハサウ考ヘルベキカドウカト云フコトハ問題デアリマス、是等文學上ノ事柄ハ總テ國民ノ性情ノ發現シタモノト見ネバナラヌソレヲ數百年間國民ノ發展ト云フモノヲ度外スルコトハドウシテモ出來ナイ、能ク武士道ト申シマス、武

士道ハ日本ノ精髓デアルト言ヒマスガ、ソノ武士道ハ多クハ鎌倉以後ニ初メテ形式ヲナシタ、鎌倉以前ニモ根據ハアリマスケレドモ鎌倉以後ニヨリ成立ツタ、其武士道ヲ論ズル時ニハ鎌倉以後ヲ大事ニシテオキナガラ、假名遣ノ時ニハ鎌倉以後ハイカヌト云フノハ餘リ自分ニ都合ノ宜イ得手勝手ナ話デハナイカ、鎌倉時代ノ人ガ知ツタナラバ不平ヲ言フダラウト思ヒマス、元來國學者ト云フモノハ元ト〳〵鎌倉以後ノ獨斷的學風ニ反對シテ起ツタモノデアリマス是ハ申上ゲルマデモ無イコトヽ思ヒマス、此ノ如ク國學者鎌倉以後ノ獨斷的學風ニ反抗シテ起ツタ一種ノ復古學派デアリマス、丁度伊藤仁齋ガ古學ヲ唱ヘタ樣ニムシロソレラガ影響シテ起ツタ復古學デアリマス、ダカラ古學ヲ研究シテ古道ヲ明ラメルコトヲ主眼トシテ居リマス、隨ツテ鎌倉以後ノコトハ餘リ研究シナイノデアリマス、日本國ノ全體ヲ見ルト云フコトハ殆ド無カツタ、寧ロ日本國ノ起ツテ來タ本源ノ支那ヤ佛敎ノ感化、外國的文明ノ感化ガ及ボヌ時代丈ケヲ研究シテ居ツタ、是等ノ時代ハ寧ロ眼中ニ置カナカツタノデアリマス、サウ云フ風ナ人々デアツテ是等ノ人ガ泰斗ト仰ガレル本居宣長、平田篤胤ナドガ書イタ物ヲ見テモ即チ口語體デ書イタモノヲ見ルト假名遣ハ一向構ハヌ、本居大人ノ古今集ノ註釋ニ古今集遠鏡ト云フモノガアリマス、古今集ノ歌ヲ俗語デ解釋シテ居マスガ、ソレニハ假名遣ハ一向構ハヌ、即チ斯ウ云フコトガ緒言ニ書イテアリマス「此ふみの書るやう譯語のかぎりは片假名を用ふ、假字づかひをも正さず便よきにまかせたり」ト書イテアリマス、即チ宣長ガ俗語ヲ寫スノニ少シモ假名遣ノ事ナドニ構ハナカツタコトガ分リマス「逢フテ」「思フテ」ト書クカト思ヘバ「思ウト」『通ウト』ト書キ「ウワサ」「トヲノク」「カハリハセヌゾエ」ナド同ジ字ヲ「フ」ト「ウ」トニ書イテアリマス、所謂平安朝ノ假名遣ハ少シモ用ヰテアリマセヌ、一向無頓着デアリマス、但シ「ソウヂヤ」『コウヂヤ』ト云フ時ノ「ヂヤ」ハ「デアル」ノ約リダカラ「ヂ」ノ濁リダト云フコトハ本居宣長ノ緒言ニ書イテアリマスソレハ「ヂヤ」ニ極メテ居リマスガ、平田ハドウカト云フト篤胤ノ古道大意ヲ見ルト皆「ジヤ」ト書イテアル、俗神道大意ヲ見ルト「ヂヤ」ヱナツテ居ル、出定笑語ヲ見ルト「ジヤ」ト「ヂヤ」ガ交ゼコゼニ書イテアリマス、コレハ篤胤ノ講義ヲ門人ガ筆記シタモノデアリマス、古道大意ノ序文ニハ「此ハ能クコソ書取タレ」ト篤胤ガ褒メタト書イテアレバ篤胤先生ガ眼ヲ通サヌコトハ無イト思ヒマス、若シサウデアルト卷中ニ無數ニアル「ジヤ」ニ氣ノ附カヌ譯ハ無イ、又最モ假名遣ノ注意シテ無イノハ出定笑語デアリマス、之ヲ書イタ人ガ惡カツタノデアリマセウガ「オコル人ガアラフトイフコトハ」「ドフ考ヘテモマヅイハフデゴザル」「オマンマニモオカヅニ

モ」『マシテ交合ハセヌハヅジヤ」ナドノ類カ幾ラモアル、是等ハ皆間違ヒダ、「ユクサウナガ」「來タソウデアル」『右申スヤウナ』「士農工商トイフヤフナ」ノ如キモ同ジ言葉ガ同ヲ頁ノ中ニ於テ色々ニ違ツテ居リマス、是等ヲ見ルト本居、平田ノヤウナ先生達ハ古イ道ヲ唱ヘ古イ學問ヲ唱道シマシテ古イ所ヲ唱ヘタノデアルガ之ヲ通俗ニ宣傳スル時ニハ假名遣ナドハ一向頓着シナカツタモノト認メルノデアリマス夫故ニ是等ノ人々ガ若シ此委員會ヘ出ラレタナラバ恐ラク國民普通教育ノ爲トシタナラバ決シテ古イ假名遣ヲ主張シナカツタラウト認定スル譯デアリマス、然ルニ此古學ノ流ヲ酌ム學者ハ小學校ノ國民教育ノ上デ現在ノ言葉ヲ寫ス場合ニモ古イ假名遣デナケレバナラヌヤウニ言フノデアリマス而モソレヲ止メレバ直チニ國賊カ何カノヤウニ言ハレルガ此間承リマスレバ大槻先生ガ此會デ演說ヲナスツタ時ニ天誅ノ葉書ガ飛込ンダト云フコトデアリマス直チニ國賊呼リヲサレルノハ實ニ了簡ガ狹イ、本居宣長デサヘ假名遣ヲ正サズ便リヨキニ任セルト云フコトヲ言ツテ居ル、本居ガ聞カレタナラバ實ニ呆レテ仕舞フデアラウト思ヒマス元來國學者ノ古學ト云フモノハ鎌倉以後ノ獨斷的學風ニ反抗シテ起ツタ學問デアリマスカラ德川時代ニ於テハ時流ヨリ一步進ンダ見識ヲ標榜シタ學問デアリマスドウカ明治ノ御代ニ於テモ私ハ國學者トシテハサウ云フ人ガ有リ

タイト思ヒマス、然ルニ今申シマシタ古イ假名遣ヲ唱ヘル人ハ動々モスレバ是ハ固ヨリ此委員會ヘ出テ居ラレル方ニ付テ言フノデハアリマセヌガ世間ノ人ハ色々古道ト國家トヲ結付ケ皇室ト結付ケル者カ幾ラモアル、愛國心ノ上ニ關係ガアルト說ク、是ハ非常ニ一般ノ人ノ誤解ヲ招クコトデアリマス、假名遣ヲ知ルト知ラヌトデ動搖スルヤウナ愛國心ハ極メテ弱イト思ヒマス、此間コヽデモ孝昭天皇ノコトヲ「コウシヨウ」ト書クノカト伊澤先生ガ仰シヤツタガアレハ別ナ論デアリマスガ兎ニ角「カウセウ」ト書クノヲ「コウシヤウ」ト書イタ書キ方ノ違ヒニ依ツテ愛國心ニ多少ガ起ルト云フコトハドウモ私ニハ考ヘラレナイ、又愛國心ト云フモノニ付テイツテモ靖獻遺言ト云フモノハ假名デ書イテアリマスカ、日本外史ハ假名デ書イテアリマスカ、新論ハ假名デ書イテアルカト言ヘバ假名デ無イト云フコトハ明瞭デアリマス、維新ノ事業ハ決シテ古學者バカリノ手ニ成ツタモノデハ無イ、古學者ノ功モ多イノデアリマスケレドモ、假名遣ヲ知ラヌ人ノ力モ多カツタト思ヒマス、假名遣ガ何モ維新ノ事業ニ關係ハ無イ、何モ關係ガ無イトハ言ハレヌカモ知レヌガソレバカリデハ無イ維新ノ元勳中デ假名遣ヲ充分ニ知ツテ居ル者ガ何人アルカ、餘程危ナイ、歷代ノ文部大臣ト雖モ大抵ハ假名遣ヲ知ラヌ、此委員會ノ委員中ニモ失禮ナガラ

假名遣ヲ充分御存ジノ無イ御方ガ有ルダラウト思フノデアリマス、而モソレデ立派ニ國家ニ手柄ヲ御立テニナツタ功勞者ガ澤山有ルヤウニ思ヒマス、國家ガ單ニ古イ假名遣ノ爲ニ運轉シテ行クノデハ無イ、然ルニ此古イ假名遣ニ熱心スル人ハ古イ假名遣ヲ國民ニ敎ヘナケレバ國家ガ危クナルヤウニ考ヘマシテ學校デ敎ヘテモ社會ヘ行ツテ仕舞ヘバ忘レテ仕舞フ所ノ假名遣即チ千古ノ廢道ヲ興シタケレドモ通リ手ガ少ナイ、古イ假名遣ヲ皷吹イタシテソコヲ通ラナケレバ國家ガ危クナルト云フ風ニ說クノハ餘程妙ナ說ト思フ、國民一般ニ通用シナイ假名遣ヲ是非共國民ニ用ヰヨ、サウシナケレバ國家ガ危クナルト云フナラバ今日日本人ノ最大多數ハ國家ガ分ラヌ人ダ、維新ノ元勳モ歷代ノ文部大臣モ國家ノ分ラヌ人ト言ハネバナラヌト思ヒマス、國家ノ精神ヲ理解サセ、國民ヲ敎育スル仕事ト云フモノハ他ニモ澤山アリマス、單ニ國家ノ存亡ガ假名遣丈ケニ繫ツテ居ルト云フノハ私ハ一種ノ僻論ニ相違ナイト考ヘマス、所謂假名チガヒダケデ塡マツテ居ルヤウナ書物デモ國民ヲ感化スル力ガ十分アツタノデ又是カラモ有ルノデアラウト思ヒマス、ソレガ又國民ノ耳ニ通ズルノデアリマス、決シテ愛國者ハ古學者バカリニ限ツタ譯デハナイ我々假名遣ノ改正ヲ唱ヘマシタ所ガ決シテ天誅ヲ被ル理由ハ無イト思ヒマス、是ガ御注意ヲ願フ一ツノ點ト思フ、モウ一ツハ古學ヲ貴ブ人ハ動々モスレバ學問ト云フモノト敎育ト云フモノヲ混同シテ自分ノ研究シタ學問ト云フモノカラ推シテソレヲ直チニ國民敎育ニ用ヰヨウト云フ考デアルケレドモ高尚ナ學術ト普通敎育トハ固ヨリ別途ニ行カナケレバナラヌコトハ言フマデモ無イコトデ、契沖以來春滿、眞淵、宣長、篤胤ト云フヤウナ先生達ガ段々研究サレテ其學問ノ功蹟ヲ擧ゲタコトハ、我々非常ニ貴ビマスケレドモ此古學者ノ研究シタコトガ直チニ敎育ノ上ニ應用ガ出來ルカドウカト云フコトハ申ス迄モ無ク疑問ニ屬シテ居リマスソレヲ動々モスレバ混同スルコトガ又一ツノ假名遣改正ニ反對スル世間ノ論デアリマス、古イ言葉ヲ知ツテ居レハ直ク分ルヂヤナイカト云フコトデアリマスケレドモ古イ假名ヲ知ツテ居ル者ハ小學校ノ生徒ナドニ分ルモノデ無イ古イ言葉ノ變遷ナドヲ說明シ假名遣ヲ說明スルト云フコトガ出來ルモノデハ無イ、我々モ國學者ノ一人トシテ及ブ限リ古イ學問ノ研究ヲ重ネタイト思ヒマスケレドモ、我々專門トスル學問ヲ直チニ小學敎育ニ行ハウトスルノハ敎育問題ト學術問題トヲ混同シタノデ世間ノ人ハ動モスレバ其論ニ陷ル私ハ國學者ト云フ見地カラデ無ク敎育ノ問題トシテノ假名遣ヲ論ズルノデアリマス其點ニ誤解ガナイヤウニシテ貰ハネバナラヌト思ヒマス、是等ハ主トシテ國語假名遣ヲ論ヂタノデアリマスガ此事ハ固ヨリ字音假名遣ニモ應用ガ出來マス

ソレデ最後ニチヨツト字音假名遣ニ付テ一言シタイト思ヒマス、字音ハ當時ノ古イ日本化シタ漢字音ヲ昔ノ通リニ寫ストイフ方法デアリマス之ヲ今日ニ保存シ之ヲ今日ノ教育ニ施スト云フコトハ恐ラクハ滿場一致デ私ハ贊成スルコトニ御賛成ニナルコト、考ヘマス、私共ノ眼カラ見ルト隨分保守的デアッタ前ノ井上文部大臣デスラ其教育的價値ヲ疑ハレタ位デアリマス此事ハ書類ヲ貰ッテ見テ分リマシタ、夫程ノモノヲ國民一般ガ覺エテ何ノ役ニ立ツカト云フコトハ矢張リ一問題デアリマス支那人ヤ朝鮮人ト交際ノアル人ナラバ教育上便宜ニナルト云フ者モアルケレドモ日本國民、自國ノ六百萬人ノ兒童ヲ犧牲ニ供シテモ支那ヤ朝鮮ノ役ニ立テル必要ガアルカ、又ソレガ有ルナラバ夫ハ支那人朝鮮人ニ關係ノ有ル人々丈ケガ學ベバ宜イノデ其事ニ携ハル人ガ宜シイ、夫ガ爲ニ全國ノ學齡兒童ガ御附合ヲシナケレバナラヌト云フコトハ迷惑ナ次第ト言ハナケレバナラヌ是ハ字音トシテ私ノ考ノ一端デアリマス要スルニ私ガ假名遣問題ニ對スル考ハ不必要ダカラ止メロト云フノデ六ヅカシイカラ止メルトイフコトデハ無イ、必要ノアルモノナラバ六ヅカシクテモ之ヲヤラネバナラヌケレドモ社會ニ不必要ダカラ止メヨウト云フノデアリマス國民ガ何等使用シテ居ラヌ世間一般ノ人ガ通用シテ居ラヌ大人デモ知ラヌモノヲヤラレテハ困ルデヤ無イカ、其方ニ向ッテ寧ロ權能ヲ疑フノデアリマス、此古イ假名遣、平安朝ノ假名遣ヲ飽クマデ迄今日ノ社會ニ用ヰヨウト云フノハ私一己ノ見地カラ見ルト今日羅馬字ヲ直チニ用ヰヨウト云フ論ト同ジク極端ナ論ト思ヒマス、又私ノ眼カラ見ルト發音的ノ假名遣ヲソノ儘國民一般ニ直ジニ用ヰヨウト云フノモ極端デアラウト思ヒマス、唯々私ハ何處マデモ現今ノ社會ヲ標準トシテ現今ノ社會ノ慣用ヲ標準トシテ國民教育ハ行ッテユクベキモノト思ヒマス、古學者ノ假名遣ヲ用ヰヌカラト云ッテ國語ヲ破壞スルト云フ論ハ立タヌノデ若シ破壞云々ノ論ガ立ツナラバ今日社會ハ既ニ破壞シテ居ル、今日ノ一般ノ社會一般ノ圖書、書物デモ皆破壞シテ居ル今日ノ要路ニ立ッテ居ル人商工業者ニハ總テ破壞シタ國語ガ行ハレテ居ルノデアリマス、私ハ古イ語原ヤ古イ語ヲ調査シテ居ル學者ノ專門事業ニ付テハ非常ナ興味ヲ持ッテ居ル、ソレニ付テモ多少知識ヲ持ッテ居ルト自認シテ居リマスガ併ナガラソレヲ國民一般ニ負擔サセヨウト云フコトハ

私ニハ忍ビナイ所デアル、又教育者ハ是ハ決シテスベカラザルコトデアラウト繰返シテ申上ゲルコトデアリマス、即チ私ニ言ハセマスレバ文部省ガ國民間ノ通用如何ヲ問ハズシテ誤ッテ古イ假名遣ヲ明治ノ始ニ用ヰタト云フコトカラ色々誤解ヲ生ジタノデアル、私ハサウ云フ風ニ考ヘテ居ル、又此假名遣ハドウ云フ風ニ變ヘヨウカト云フコトハ色々說モアリマセウガ兎ニ角變ヘルト云フコトハ國民ガ使用シテ居ラヌカラ變ヘネバナラヌト云フコトハ確乎トシテ動カヌ根據デハ無イカト思ヒマス國民ガ使用シテ居ラヌモノヲ學校デ教ヘル必要ハ無イ、ダカラドウカシテ改正シナケレバナラヌト云フコトハ動カヌ其改正ノ程度如何ハ是カラ後ノ問題デアル、今日私ハ詰リ變ヘナイト云フ人ニ對シテ反對ヲシタノデアリマスルガマヅ其說ヲ倒シテ掛ラネバナラヌト云フ點デ反對シマシタガモット細カイ問題ニナッテ全ク發音的ニ變ヘテ仕舞フト云フ樣ナ問題ガ出タラ更ニ反對スルカモ知レマセヌ、今日ハ唯々私ノ立場トシテ假名遣問題ハドウシテモ改正シナケレバナラヌ學術問題トシテハ無ク教育問題トシテ變ヘナケレバナラヌト云フ趣意丈ケヲ申上ゲタノデアリマス固ヨリ文部省案其儘ヲ贊成スル譯デハアリマセヌ、兎ニ角改正スルト云フ一般ニ付テハ總テノ御方ガ小異ヲ捨テ、大同ヲ御取リニナッテ改正案ニ付テ御賛成アランコトヲ希望スルノデアリマス此前大槻

リマス、斯ウイフノガ私ノ論デアリマス、私ハソレガ假名遣問題ノ眞相ト思ヒマス、ソコガ分ッテ居ラヌトイカヌ、此假名遣ガ愛國心ト關係ガアルト云フヤウナコトデ世間ノ論ガ騷ギ或ハ專門教育專門學術ト普通教育問題トヲ混同シテ來ルト此問題ハ愈々複雜ニナッテ六ヅカシクナッテ來ルト思ヒマスガ私ハ簡單ナ極メテ明瞭ナ問題デアルト思フノデ、私ハ學問上ノ見地カラハ飽ク迄古學者ノ研究ヲ敬服イタシテ居リマス、ソレト同時ニ自分モ益々研究ショウト考ヘマスカラ研究ガ足ラヌガ爲ニ決シテ止メルト云フノデハ無イ、先刻藤岡君ノ御說ニ研究ガ足ラヌト云フヤウナ說ガアリマシタガ私ハ藤岡サンノ今日仰セラレタ平田篤胤珊秀成アタリノ唱ヘタ音義說ノアルコトモ知ッテ居リマス又ソノ中ノ說ノ或モノハ極メテ正確デアリ或ルモノハ誤ッテ居ルコトモ、學理ニ照シテ私ハ斷言スルコトデアリマス私共ハ調ベガ足ラヌカラ斯樣ナ論ヲ唱ヘルノデモ無イ古學者ノ研究ハ飽ク迄貴ビマスケレドモソノ古學者ノ研究シタ假名遣ヲ今日ノ慣習ニ反抗シテ一般ノ國民教育ニ施スト云フコトハ贊成ガ出來ナイノデアリマス即チ假名遣問題ハ學者ノ問題デ無ク通俗問題デアル教育問題デアルト看做サネバナラヌト思フカラデアリマス、即チ世間デ斯ウ云フ論ガアル文部大臣ハ假名遣ヲ極メル權能ガ有ルカ無イカトイフ論デス、是ハ西洋ノ綴字ノヤウニ一般ニ用ヰラレ

先生カラ細カナ點ヲ御述ベデアリマシタカラ私ハ申上ゲマセヌ大體假名遣改正問題ニ賛成ノ考ヲ述ベタノデアリマス

○二十五番(三宅雄次郎君)　チヨット芳賀サンニ御尋シマスガ芳賀サンハ明治ノ時代ノ國民ノ中ニ假名遣ニ付テ全ク極リヲ改メルカ改メヌカト云フ丈ケデ、何カ極マツタ所ガアルト云フ丈ケハ御認メニナツテ居ル譯デアリマスナ

○十八番(芳賀矢一君)　イヤサウデアリマセヌ、古學者ノ拵ヘタ假名遣所謂平安朝ノ假名遣ヲ文部省デ敎ヘテソレヲ一般ニ行ハセヨウトシタケレドモドウシテモソレヲ社會ガ認メナイカラ行ハレナイト斯ウ云フ論デアリマス

○二十五番(三宅雄次郎君)　今普通ニ使ツテ居ルト云フノハドウ云フノデスカ

○十八番(芳賀矢一君)　國民一般ニ假名遣ハ使ツテ居ラヌ、詰リ漢字ヲ使ツテ居ルカラ勝手ナ振假名ヲシテ居ル、國民一般ニ使ツテ居ルト云フコトハ認メナイ

○二十五番(三宅雄次郎君)　ドレモソノ間ニ無イ全ク無イト認メルノデアリマスカ

○十八番(芳賀矢一君)　學校ノ標準トシロト云フモノハアリマスケレドモ國民全體トシテハ注目シテ眼中ニ置イテ居ラヌ

○二十五番(三宅雄次郎君)　國民ハドノ邊ヲ標準ニスルカ……兎ニ角敎育ヲ受ケタ者デアリマスカ……

○十八番(芳賀矢一君)　少數ノ專門學者ヲ除イテ多クノ人ハ

イテ後ニ文部省デ施行シタニシテモ兎モ角敎育アリ古イ假名ノ所デ或極ツタモノガ成立ツ、唯々他ノ國トノ比較ガ少シ違フト云フコトデアツテ日本ニ何カ極マツタ所ガアル、ソノ極リヲ改メルカ改メヌカト云フ丈ケデ、何カ極マツタ所ガアルト云フ丈ケハ御認メニナツテ居ル譯デアリマスナ

○十八番(芳賀矢一君)　イヤサウデアリマセヌ、古學者ノ拵ヘタ假名遣所謂平安朝ノ假名遣ヲ文部省デ敎ヘテソレヲ一般ニ行ハセヨウトシタケレドモドウシテモソレヲ社會ガ認メナイカラ行ハレナイト斯ウ云フ論デアリマス

○二十五番(三宅雄次郎君)　今普通ニ使ツテ居ルト云フノハドウ云フノデスカ

○十八番(芳賀矢一君)　國民一般ニ假名遣ハ使ツテ居ラヌ、詰リ漢字ヲ使ツテ居ルカラ勝手ナ振假名ヲシテ居ル、國民一般ニ使ツテ居ルト云フコトハ認メナイ

○二十五番(三宅雄次郎君)　ドレモソノ間ニ無イ全ク無イト認メルノデアリマスカ

○十八番(芳賀矢一君)　學校ノ標準トシロト云フモノハアリマスケレドモ國民全體トシテハ注目シテ眼中ニ置イテ居ラヌ

○二十五番(三宅雄次郎君)　國民ハドノ邊ヲ標準ニスルカ……兎ニ角敎育ヲ受ケタ者デアリマスカ……

○十八番(芳賀矢一君)　少數ノ專門學者ヲ除イテ多クノ人ハ

寧ロ知ラズニ通ツテ行ケルカラ其假名遣ヲ認メナイ

○二十五番(三宅雄次郎君)　通ツテ行ケルト云フニハ何カ行ハレテ居リハセヌカ、其間ニ或規則ヲ見付ケルト云フコトハソレハ又專門家ノスベキ所デアリマス

○十八番(芳賀矢一君)　ソレハサウカモ知レマセヌガ、私ハソレハ行ハレテ居ラヌト認メマス

○二十五番(三宅雄次郎君)　丸ルデ規則ナシデアリマスカ

○十八番(芳賀矢一君)　西洋ノヤウニ假名遣一ツ違ツテモ恥辱ヲ受ケルト云フコトデハ無イガ假名遣ヲ丸ルデ知ラヌデモ世ノ中ガ通ツテ行ケルト云フ……

○二十五番(三宅雄次郎君)　ソレデハ程度問題トナサルノデアリマスカ、西洋デハ一ツ綴リヲ間違ヘテモ噓ハレルガコツチハ五ツカ十位マデハ許サレルト云フ譯デアリマスカ、コツチハドンナニ書イテモ差支ナイト云フ御意見デアリマスカ

○十八番(芳賀矢一君)　幾分カハ社會デモ物ニ依リ文字ニ依リ言葉ニモ依リマセウ……私ハ大體デ申上ゲルガ、幾ラカソレハ多クノ人ノ認メル所ガ有ルト思ヒマス

○二十五番(三宅雄次郎君)　ソレヲ御認メニナツテ居ルナラバ宜シウゴザイマス

○十四番(伊澤修二君)　一ツ伺ヒタイデスガ、兎モ角此問題ニ付テハ西洋デモ標準トスルモノハ辭書デアラウト思ヒマス、十八番ハ勿論專門家デアリマスルカラ如何ナル辭書ガ日本ニ重モニ行ハレテ居ルカト云フコトハ御承知デアリマセウ十八

居ルトカ行ハレテ居ナイトカ云フコトニ付テ何カ標準ガアルコトデアラウト思ヒマスガソノ御專門デアリマスカラ必ズ御研究ニナツタラウト思ヒマス、ドウ云フモノヲ標準ニナスツタノデアリマスカ

○十八番(芳賀矢一君)　私ガ今申上ゲタ所デ充分ニ申上ゲタ積リデアリマス

○十四番(伊澤修二君)　一向標準ハ分リマセヌ

○十八番(芳賀矢一君)　社會ヲ標準ニシタノデアリマス、今日一般ノ書物、アレハ所謂平安朝ノ假名遣カラ見レバ間違ツテ居ルソレカラ敎科書以外ノ物ガ間違ツテ居ル例ハ新聞紙ナドモ間違ツタ假名遣デ書イテ居ルガ世間デモ別ニ怪マヌ、ソレカラ學校ノ答案デモ高等文官試驗デモ此假名遣ノ答案ハドウスルカト云フコトヲ訴ヘテモ來ナイ、即チ社會一般ガ假名遣ノコトヲ認メテ居ラヌト云フヨリ外ナイソレ丈ケ明カナ標準ハ無イト思ヒマス、ソレハ西洋ノヤウニチヤント假名遣ガ綴リガ極マツテ居ル譯デハ無イト思ヒマス、ソレハ私ハ活キタ標準ガ一番正シイカト考ヘマス

○十四番(伊澤修二君)　一ツ伺ヒタイデスガ兎モ角此問題ニ付テハ西洋デモ標準トスルモノハ辭書デアラウト思ヒマス、十八番ハ勿論專門家デアリマスルカラ如何ナル辭書ガ日本ニ重モニ行ハレテ居ルカト云フコトハ御承知デアリマセウ十八

番ハ今日ノ世ノ中デ辭書トシテ受取ラレルモノヲ尚御考ヘ下スッテソノ辭書ニハ如何ナル假名遣ガ用ヰラレテ居ルカト云フコトノ御考ヲモ伺ヒタイ

○十八番(芳賀矢一君)　今日色々ノ字引ガ出來マスガ私ハ言葉ノ數ハ勿論今日デハ足リマセヌガ正確ナ基礎ニ取ッテ居ル我々ノ眼カラ見テ稍々完全ニ近イト思フノハ大槻先生ノ言海ダラウト思ヒマス、其言海ト云フモノハ古イ假名遣ニ依ッテ書カレテ居リマス併ナガラ大槻サンノ字引ガ引ケル人ハドレ丈ケアルカト云フコトヲ疑フノデアリマス、今日ノ日本人ニハアノ字引ノ引ケル人ハ少イ假名遣ヲ知ラナケレバ今日アノ字引ガ引ケナイ多クノ日本人ハ引ケナイト思ヒマス、ソレデアリマスカラ大槻先生ナドハ言海ノ著者デアリナガラ假名遣改正案ニ贊成ナサルト思ヒマス

○十四番(伊澤修二君)　サウデアラウト思ヒマス即チ大槻君ノ字書ト言ハレタノハ……而モ文部省デ拵ヘタ字書デアリマス

○委員長(男爵菊池大麓君)　御質問デアリマスカ

○十四番(伊澤修二君)　質問デアリマス、ドウゾ皆御聞キ下サイ、皆御聞キニナッタ後ニ御制止ニナルコトハ私ハ服シマス、ソレデ無論文部省ノ拵ヘタ字書デアル、即チ今度ノ國語改正ト云フモノヲ唱ヘ出シテ居ル所ノ文部省ノ仕事デアル、其文部省デアリナガラ此ノ如キコトヲ唱ヘ出サレルト云フコトニ付テハ大ニ原因ガ無クチヤナラヌコト、思ヒマスガドウ云フコトガ原因デアリマセウカ、我々ニ少シモ了解スルコトガ出來ヌ是ハ十八番デ御答ガ出來マセヌケレバ主事デモ御答ヲ願ヒタイ

○十八番(芳賀矢一君)　私ハ先刻其事ハチョト申シタ積リデアリマス即チ國民敎育トシテ國民ノ用ヰテ居ラヌ假名遣ヲ誤ッテ文部省デ用ヰタト認メマス、ソレダカラ今日改正スルノデアル、是ハ文部省ノ意見ト云フノデハアリマセヌ私一己ノ意見デアリマスガサウ認メマスト云フコトヲ申シマシタ、又大槻サンノ言海ヲ文部省デ作ッタノモ大槻サンハ普通敎育ノ爲ニ作ッタモノデハアルマイト私ハ考ヘマス

○十四番(伊澤修二君)　何レ又意見ノ時ニ申シマス

○委員長(男爵菊池大麓君)　森君

○八番(森林太郎君)　委員長閣下、私ハ約一時間以上デ無ケレバ述ベ切レマセヌ、今日ハ大分時間モ遲クナリマシタカラ

○委員長(男爵菊池大麓君)　ソレデハ今日ハ是デ散會イタシマセウ、次回ハ此次ノ金曜日ニ開キマス

午後四時散會

臨時假名遣調査委員會 議事速記錄

(第四回)

明治四十一年六月二十六日(金曜日)午後二時十分開議

○委員長(男爵菊池大麓君)　ソレヂヤ是ヨリ開會イタシマス

○番外(渡部董之介君)　御報告ヲ致シマス、御手元ヘ「敎育問題トシテノ假名遣」印刷物ヲ配付シテ置キマシタ、是ハ前回ニ芳賀サンガ御演說ニナリマシタアノ演說ノ要領ヲ芳賀サンガ御筆記ニナッテ又ソレヲ御印刷ニナッテ御出シニナッテ配付ヲシテ呉レト云フコトデアリマシタ、御配付ヲイタシマシタ、ソレカラ伊澤委員提出ノ肩書ヲイタシテ置キマシタ二ツノ紫版ハ是ハ伊澤サンカラシテ紫版ニシテ御手元ヘ廻スヤウニト云フ御請求デアリマシタカラ差出シマシタ、モウ一ツ伊澤サンガ此前外國人ニ托シテ御調ベニナリ參考ニショト云フコトデ御出シニナリマシタモノヲ前回ニ甚敷版ニシテ出シマシタ、ソレハ英語デ出來テ居リマシタノデ、ソレヲ飜譯シテ差出シマシタノデアリマスガ、其飜譯ノ中ニ少シク誤謬又ハ元ノ趣意ニ忠實デ無イヤウナ箇條ガゴザイマスカラ伊澤サンノ御注意モアリマシタカラソレヲ正誤表トシテ印刷イタシマシテ御手元ヘ差出シテゴザイス

○十四番(伊澤修二君)　チョット唯今ノ正誤ノコトデ申述ベテ置キマスガ、最初ノ方ノハホンノ譯シ誤リ丈ケノコトデアリマシテ一向別ニ申上ゲル程ノコトハゴザイマセヌガ、後ノ方ノ「頗ル廣ク」ト云フ字ヲ取リマシタコトデアリマス、ソノコトハチョット補足イタシテ置キタイト思ヒマス、ソレハ前回ニモ主事カラノ報告ガアリマシタ如ク是ハ米國ノ大使館ニ私ガ賴ミマシテ米國大使館デトッヅト云フ書記官ニ調ベサシテ呉レマシタ、ソノ時ニ今日ノ所謂英語問題ト云フモノハドウナッテ居ルカト云フコトヲ問ウタ所ガ今日ハ「ホワイトハウス」即チ白宮デ用ヰルト云フコトニハナッテ居ルケレドモ最早白宮デモ實ハ用ヰヌデアルト云フコトヲ言ヒマシタ、ソレハドウモ誠ニ緩リノ違ッタ風ニ書クト云フコトハ非常ニ六ツカシイモノデアッテ迚モサウ云フコトハ行ハレナイカラ、ソレデ兎ニ角白宮デ書クト云フコトハ言ッテ居ルケレドモ實ハ今日デハ白宮デモ用ヰテハ居リマセヌト云フコトヲ言ハレマシタ、ノデスカラ其趣意トハ「頗ル廣ク」ト云フコトハ大ニ違ヒマスカラ、夫故ニ私ハ其正誤ヲ要求シタノデアリマス、斯ウ云フ違ッタ事實ヲ書キ或ハ申上ゲテ諸君ノ御判斷ヲ誤ッテハナリマセヌカラソレ丈ケノコトヲ私ヨリ補足申上ゲテ置ク

ノデアリマス

○委員長(男爵菊池大麓君)　ソレデハ……森君……

○八番(森林太郎君)　私ハ御覽ノ通リ委員ノ中デ一人軍服ヲ着シテ居リマス、デ此席ヘハ個人トシテ出テ居リマスケレドモ、陸軍省ノ方ノ意見モ聽取ツテ參ツテ居リマスカラ、或場合ニハ其事ヲ添ヘテ申サウト思ヒマス、最初ニ假名遣ト云フモノハドンナモノダト私ハ思ツテ居ルカ、ソレカラ假名遣ニハドンナ歷史ガアルカト云フコトニ就イテ少シ申シタイノデアリマス、既ニ今日マデ大槻博士、藤岡君等ノヤウナ老先生、ソレカラ專門家ノ芳賀博士等ガ斯ウ云フ問題ニ就イテハ十分御述ベニナツテアリマスカラ、大抵盡キテ居リマス、ソレカラ當局ノ方デモ又調査ノ初メカラ此事ニ關係シテ居ラレル渡部君ノ如キハ詳シイ說明ヲ致サレマシタ、其外達識ナル矢野君ノ如キ方ノ議論モアリマシタ、又自分ノ後ニ通告ニナツテ居リマス中ニハ伊澤君ノヤウナ經驗ノアル人モアリマス、又其ノ他諸先生ガ居ラレル、然ルニ私ガ斯ンナ問題ニ就イテ此處デ述ベルト云フノハ誠ニ無謀デアツテ甚ダ烏許ガマシイヤウニ自分デモ思ヒマス、併シ私ハ少シ今マデ聽イタトコロト觀察ガ違ヒマスノデ、物ノ見ヤウガ違ツテ居リマスノデ、ソレヲ述ベテ置カヌト云フト、後ニ意見ガ述ベニクイノデアリマス、ソレユエ已ムコトヲ得ズ申シマス、一體假名遣ト云フ詞ハ定家假名遣ナドト云フトキカラ始マツタノデアリマセウカ、ソコデ此物ヲ指シテ自分ハ單ニ假名遣ト云ヒタイ、サウシテ單ニ假名遣ト云フノハ諸君ノ方デ言ハレル歷史的ノ假名遣即チ古學者ノ假名遣ヲ指スノデアリマス、而モ其ノ假名遣ト云フ者ヲ私ハ外國ノ Orthographie ト全ク同一ナ性質ノモノト認定シテ居リマス、芳賀博士ノ奇警ナル御演說ニヨルト外國ノ者トハ違フト云フコトデゴザイマシタガ、此點ニ於テハ少シ私ハ別ナ意見ヲ有ツテ居リマス、主モニ違フト云フコトノ論據ニナツテ居リマスルノハ外國ノ Orthographie ハ廣ク人民ノ用ヰルモノデアル我邦ノ假名遣ハ少數者ノ用ヰルモノデアルト云フコトデアリマス、併シサウ云フヤウニ假名遣ガ廣ク行ハレテ居ラヌト行ハレテ居ルトノ別ト云フモノハ、或ハ其ノ國ノ敎育ノ普及ノ程度ニモ關係シマス、又敎育ノ方向、ドウ云フ向キニ敎育ガ向イテ居ルカト云フコトニモ關係シマスノデアリマス、元來物ノ性質カラ言ツテ見レバ外國ノ Orthographie ト我ガ假名遣トハ同一ナモノデアル、同一ニ考ヘテ差支ナイヤウニ信ジマス、一體假名遣ヲ歷史的ト稱スルノハ或ハ宣告ヲ假名遣ニ與ヘルヤウナモノデアツテ私ハ好マナイ、一體假名遣ヲ觀ルニハ凡ソ三ツノ方面カラ觀察スルコトガ出來ヨウト思ヒマス、即チ一ハ歷史的ノ方面デアル、一ハ發音的即チ Phonetik ノ方面デアル、其ノ外ニマダ

語原的即チ Etymologie カラ觀ルト云フ見方ガゴザイマスケレドモ、是レハ先ヅ歷史的ト或ル關係ヲ有ツテ居ルヤウニ思ヒマス、一國ノ言葉ガ初メ口語デアツタノガ、文語ニナル時ニ、此ノ日本ノ假名ノヤウニ音字ヲ用ヰテ書上ゲルト云フサウ云フ初メノ場合ニハ、無論假名遣ハ發音的デアルニハ違ヒナイ、然ルニ其ノ口語ト云フモノハ段々變遷シテ來ル、一旦書イタモノガ其ノ變遷ニ遲レルト歷史的ニナル、ソコデ歷史的ト云フコトガ起ツテ來マス、ソレデアルカラ何ノ國ノ假名遣デモ保守的ノ性質ト云フモノヲ有ツテ居ルノハ無論デアル、日本ノモ同樣ト思ツテ居ル、サウシテ見レバ之ニ對シテ改正ノ運動ガ起ツテ來ルト云フコトハ無論ナノデアリマス、必然ノ勢デアリマス、又ソレヲ改正ショウト云フニハ發音的ノ向キニ改正ショウト考ヘルノハ是レモ亦必然ノ勢デアリマス、此側ノ主張ハ殊ニ大槻博士ノ御說ガ最モ明瞭ニ、最モ純粹ニ私ニハ聽取ラレマシタ、假ニ今日發音的ニ新シク或ル假名ヲ定メラレタト考ヘマセウ、サウシタナラバ此ノ新シイ假名遣ガ又問モナク歷史的ニナツテシマウノデアリマス、語原的ト申ス意味ヲ此處ニ說明シマスルト云フト、是レハ歷史的ト密接ノ關係ヲ有ツテ居リマス、外ノ國ノ Orthographie ヲ於テ語原的ト云フコトニハ一種ノ特殊ナ意味ヲ有タセテアリマス、一例ヲ以テ言ヒマスルト、國語ノ「スウ」ト云フコトハ之ヲ「スエ」ト云フトキニハ和行ノ「ヱ」ヲ書ク、是レハ獨逸ノ例デ言ヒマスト、獨逸デ「愛スル」ト云フ詞デ lieben ト云フ動詞ガアリマス、之レヲ形容詞ニスルト lieb トナリマス、ケレドモ「ブ」ノ字ヲ書カズニ「ブ」ノ字ヲ書イテアル、斯ウ云フ意味ニ假名遣ノ發音ト相違スル點ヲ、主モニ語原的ト外國デハ申シテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フ側ノコトヲ藤岡君ノ音義說ニ於テ五十音圖ニ照シテ御說明ニナツタノデアリマス、一體本會ノ狀況ヲ觀マスルト云フト、抑モ假名遣ト云フモノノ存在カラシテ疑ハレテ居ル、有ルカ無イカ有無ノ論、少クモ定ツテ居ルカ定ツテ居ラヌカト云フ定不定ノ御論ガアルノデアル、當局ハ兎ニ角極ツタ假名遣ト云フモノハアルモノダト御認メニナツテ居リマス、併シ芳賀博士ノ如キハ、三宅博士ニ御答ニナツタ言葉デ見ルト云フト、多少條件付デ假名遣ノ存在ヲ認メテ居ラレルケレドモ、殆ド極ツテ居ラヌト云フヤウナ風ニ御述ベニナツテ居ルヤウニ聽キマシタ、其ノ極ツテ居ラヌト云フノハ少數者シカ用ヰテ居ラヌト云フ意義デアツタヤウニ聽キマシタ、之ニ就イテハ私ハ後ニ又自分ノ意見ヲ申シマス、自分ハ假名遣ト云フモノハ、ハッキリ存在シテ居ルモノノヤウニ認メテ居リマス、契冲以來ノ古學者ノ假名遣ト云フモノハ、昔ノ發音ニ基イタモノデハアルケレドモ、今ノ發音ト較ベテ見テモ其懸隔ガ餘リ大キクハナイト思フ、

即チ根底カラ之ヲ破壊シテ新ニ假名遣ヲ再造シナケレバナラヌト云フ程懸隔シテハ居ラヌヤウニ見テ居リマス、凡ソ「有物有則」デアリマシテ口語ノ上ニ既ニ則ト云フ者ハ自然ニアル、此ノ則ト云フコトハ文語ニナッテ來テカラ又一層精シクナルノデアリマス、世界中デ最モ發音的ニ完全ナ假名ハ古イ所デハ Sanskrit ノ音字、新シイ所デハ伊太利ノ音字ダト申シマス、而モ我假名遣ト云フモノハ Sanskrit ニ較ベテモソンナニ劣ッテ居ラヌヤウナ立派ナモノデアッテ、自分ニハ貴重品ノヤウニ信ゼラレマスル、ドウカ斯ウ云フ貴重品ハ鄭重ニ扱ッテ、縱令ソレニ改正ヲ加ヘルト云フニシテモ、徐々ニ致シタイヤウニ思フノデアリマス、Max Mueller ノ言葉ニ「口語ニ頭絡ト轡トヲ加ヘテ文語ヲ作ッテ居ル」ト云ッテ居リマス、馬ノ頭ニ掛ケル馬具デアリマス、日本ノ文語ニ於ケル假名遣ト云フモノ、此ノ轡ハ決シテ朽テ用ニ堪ヘヌ樣ニナッテ居ルノデハナイ、マダ十分力ノアルモノダト云フコトヲ自分ハ信ジテ居リマス、ソコデ假名遣ノ歷史ニ付キマシテ自分ノ觀察ヲ異ニシテ居ル點ヲ二、三申シタイト思ヒマス、古代ノ假名遣、殊ニ延曆遷都前ノ假名遣ニ付キマシテ大槻、芳賀兩博士等ノ御論ガアリマシタ、其ノ大意ハ是レハ其ノ當時ノ國民普通ノ口語デアッテ、是レガ此頃出來タ出來タテノ假名デ發音的ニ書カレタモノデアル、國民ガ皆之レヲ用ヰテ居ル、丁度現狀ノ反對デアル、斯ウ云フ風ナ御論デアリマシタ、ソコデサウ云フ國民全體ガ用ヰテ居リマスル假名遣ニ、本當ノ存在權ガアルノデアル、今日ノヤウニ少數者ノモノニナッテハ、最早活キテ居ナイ、死物ニナッテ居ルト云フ風ニ聽取レマシタ、扨ソレカラ時ガ移ッテ次ノ期ニ入リマス、遷都後天曆マデト限リマセウ、是レハ古事記傳ニ斯ウ云フ境界ヲ立ッタノガ初メデアリマセウ、天曆マデ即チ十世紀頃デアリマス、此間ニ音便ガ生ヲテ來タト云フコトハ今マデノ御論ニモアリマシタ、此ノ音便ト云フ者ハ最早是レハ文語ノ衰替ノ現象デアル、其ノ事ハ本居アタリデモ「クヅレタルモノ」ト云フコトヲ云ッテ居リマス、衰替ノ現象デアリマス、併シ兎ニ角ソレガ直ニ發音的ニ寫サレテ居リマス、扨是迄ノ假名ハ國民ノ共有物デアル、此後ニハ少數者ノ使フモノニナッタト云フコトニ多クハ見ラレテ居リマス、併シ斯ウ云フ古イ時代ノ假名遣ガ果シテ國民一般ノモノデアリマシタカ、此問題ニ付イテハ外國ノ例ヲ較ベテ見マスト云フト、餘程疑フベキ餘地ガアルヤウニ思フ、Max Mueller 等ハ Dialect 即チ方言ト云フ詞ヲ斯ウ云フ所ニ用ヰマス、古代ニ於テハ何處ノ國デモ方言ハ澤山アッタ、其ノ中或ル者ガ勢力ヲ得テ、ソレガ文語ニナルト云フト、他ノ方言ハ勢力ヲ失フカラシテ、其ノ文語ノ爲ニ壓倒セラレル、斯ウ云フ風ニ認メテ居リマスルガ、或ハ我邦ノ

古代デモ文語ニナッテ居ル言葉ノ外ニ澤山ノ方言ガアッタノデハアルマイカト思フノデアリマス、サウシテ見ルト假名遣ハ既ニ出來タ初メカラ少數者ノ假名遣ヲ多數者ニ用ヰサセルモノデハナカッタラウカト云フ疑ガアリ得ルト思ヒマス、古イ拉甸語ノ如キハアレハ Latium ノ中ノ Roma ノ中ノ上流者ノ言葉デアル、ソレヲ Livius Andronicus ナドノ力デ文語トシテ、ソレヲ編成シテ、ソコデ拉甸語ト云フモノガ段々ニ歐羅巴全體ニマデ行ハレルヤウニナッタト論ジテ居リマス、或ハ日本ノモ初メカラソンナモノデハアルマイカ、サウシテ見ルト云フト、昔ノ假名遣ハ國民全體ノ用ヰタモノデアルカラ是レハ存在スル權利ガアルガ、今日ハ少數者ガ用ヰルカラサウ云フ權利ガナイト云フ議論ハ、或ハサウ疑モナイ事實トシテハ認メラレヌカトモ思フ、ソレカラ中世ニナリマシテ、次第ニ此ノ一旦定ッタ文語ノ衰替ヲ來シ、言葉ガ亂レル、ソレヲ正サウト思フ個人ノ運動ガ起ッタノデアリマセウ、先日モ御引キュナッタ藤原基俊ノ保延ノコロ即チ十二世紀ノ「悅目抄」ノ假名遣、初テ此ノ假名遣デ詞ノ上中下ニ置ク假名ト云フヤウナコトガ出テ來マシタ、次イデ所謂定家假名遣ガ出テ參リマシタ、定家假名遣ト云フノハ定家卿ガ「拾遺愚草」ヲ淸書サセルトキニ大炊介親行ト云フ人ニ之レヲ命ジタ、其ノ親行ガ書キ方ヲ定メタト云フコトニ傳ハッテ居リマス、世間ニ流布シテ井ル定家假名遣ト云フモノハ親行ノ孫ノ行阿ノ「假名文字遣」ニ據ルノデ、是レニハ種種ナ版ガアリマス、假名遣ト云フ語ハ一體其ノ邊カラ起ッタノデアリマセウ、此ノ定家假名遣ト云フモノヲ國語ノ變遷ニ伴ッテ發音的ニ作ッタモノダト云フヤウニ見タ人モ前カラアリマス、ケレドモドウモサウデナイヤウニ思フ、兎ニ角素直ニ發音ニ從ッテ作ッタモノデナイ、イロ〳〵ナ理屈ガアル、例ヘバ四聲ニ由ルト云フヤウナコトヲ盛ンニ說イテアリマス、此四聲ト云フモノニ依ッテ定メル定メ方ハ頗ルコジツケデハアルマイカト思ハレマス、芳賀博士モ獨斷ダト仰シャイマシタガ、餘程獨斷デゴザイマセウト思ヒマス、醫者ノ本ヲ見マスルト、中頃ニ陰陽五行ヲ以テ有ユル病氣ノコトガ說明シテアリマス、丁度ア、云フ氣持ガシマス、一體此中頃ノ定家假名遣ト云フモノヲ國語ノ變遷ト見ルベキデアリマセウカト云フコトガ問題デアリマス、一體國語ノ變遷ト云フモノハ無論口語即チ方言ニノミ有ル筈デアル、是レハサウデハナクシテ文語ダケノ一時ノ現象デアル、變遷ト云フコトヲ Mueller ハ二ツニ別ッテヲリマシテ、言葉ガ本當ニ生長スルノガ本當ノ變遷デアル、ソレカラ言葉ガ衰替シテ來ルノハ別デアルト云ッテ居リマスガ、無論生長ト云フコトハ口語ニシカナイノデアリマシテ、假名遣ニハナイノデアリマスカラ、サウシテ見ルト衰替現象デアルノ

ハ明白デアリマス、此ノ衰替ノ中デモ殊ニ定家假名遣ナドハ或時代ノ一ノ病氣ノヤウニ見ラレルノデアリマス、芳賀博士ハ少シ之ニ付イテ杞憂ヲ抱イテ御出デニナル、ソレハ若シ斯ウ云フ時代ノ中世ノ變遷ヲ認メナカッタナラバ、鎌倉以後ノ文學ガ度外視セラレハスマイカト云フノデアリマス、其ノ主モナル證據ハ所謂「イヒカケ」ガ證據ニナッテ居ル、是レハ私ハサウハ思ヒマセヌ、「イヒカケ」ト云フモノハ古代ハ少カッタノデアリマス、萬葉集アタリハ極ク少イ、「名ガ立ツ」ヲ「立田山」ニカケル等成程皆同音デアル、同ジ音デナケレバ「イヒカケ」ニナッテ居ナイ、然ルニ既ニ定家卿ヨリ前ニモ是レガ變化シテ來マシテ、變ッタ音ノ「イヒカケ」ガアル、俊成卿ハ逢ヒト云フ波行ノ「アヒ」ヲ草木ノ和行ノ藍ニ、其ノ外戀ヲ木居ニカケル、コンナ「イヒカケ」ガ出テ來マス、是レガ成程定家假名遣ノ出タ後ニハ愈々盛ンニナッテ來テ居リマスケレドモ、是レハ單ニ修辭上 Rhetorik 上ノ問題デアリマス、昔ハ同音ノ「イヒカケ」ト云フモノガアッタノニ、後世ニ至ッテ類音ノ「イヒカケ」ガ出來タト斯ウ認定スレバ、ソレデ足ッテ居ルノデアリマス、之ニ付テ何カ後世ノ人ガ極マリヲ付ケヨウト思フナラバ、上カラカカッテ居ル假名ニ書クカ、下デ受ケル方ノ假名ニ書クカト云フコトヲ極メテ置キサヘスレバ、其位ナ規定ヲ書方ニ設ケタナラバ、之ヲ認メテ置イテ一向差支ナイ、類音ノ「イヒカケ」ガ新ニ修辭上ニ出來タト思ヘバ何ノ差支モアリマセヌ、ソレカラ定家假名遣ト云フモノハ、是レハ少數者ノ用井タモノデアルト云フコトニナッテ居リマス、之ニハ多少異議ヲ挾ミ得ルカモ知レマセヌ、北朝ノ文和、北朝ノ年號ニ文和ト云フノガアリマス、十四世紀ノ頃、彼ノ文和ノ頃ニ權少僧都成俊ガ萬葉集ノ奥書ヲシマシタ、ソレニ「天下大底守彼式、而異之族一人而無之」、「彼式」ト云フノハ定家假名遣デアリマス、一人モ之レニ從ハヌ者ハナイト云ッテ居リマスケレドモ、併シ此ノ天下ト云フノハ詰リ教育ノアル或ル社會ヲ指シタノデアリマセウカラ、成程定家假名遣ヲ國民全體ガ用井タト云フコトニハナルマイ、是レハ多分少數デアリマシタデセウ、ソレカラ古學者ノ假名遣ガ出テ來マス、前ニ申シマシタ成俊ノ萬葉集ノ奥書ナドヲ見マスルト云フト、既ニ假名遣ノ復古ヲ企ッテ居リマス、自分ノ古イ假名遣ヲ使フノヲ「僻案」ダト云ッテ謙遜シテ居ルケレドモ、兎ニ角古イ假名遣ニ由ッテ假名ヲ施シタ、ソレニ次イデ契沖ノ「和字正濫抄」、コレハ元祿六年ノ序ガアリマス、十七世紀ノ頃デアリマス、是等ガ先ヅ復古ノ初リデアリマシテ、其ノ後ノ歷史ハ私ガ此處デ述ベル必要ハアリマセヌ、芳賀博士ハ之レヲ Renaissance ダト云ハレマシタ、成程適當ノコトト思ヒマス、丁度西洋ノ復古運動ト同ジ性質ヲ有ッテ居ルヤウニ思フ、此

319543

ノ復古ノ假名遣ハ勿論發音的ニ改正シタノデハアリマセヌ、若シ定家ノ假名遣ガ國語ノ變遷デアッタナラバ夫ヲ元ヘ戻サウトスル此ノ復古運動ト云フモノハ、非常ナ不道理ナモノニ違ヒナイ、併シ前ニ申シマス通リ定家假名遣ト云フモノハ一時ノ流行病デアッタカラ、ソレヲ治療シヨウト思ッテ和學者ガ起ッタノダラウト私ハ思フ、尙ホ進ンデ考ヘマスルト云フト、發音的ノ側カラ見ルト、定家假名遣ヨリカ、復古ノ假名遣ノ方ガ餘程發音的ナヤウニ認メラレマス、此ノ古學者ノ假名遣モ、勿論諸君ノ御認メニナッテ居ルヤウニ少數者ノ用ユシカナラナイノデアリマス、ソンナラ其ノ他ノ一般ノ人民ハドウシテ居ッタカト云フト、或ハ定家ノ式ニ從ッタト認メルト人モアリマセウ、或ハ何ニモ據ラズニ亂雜ニ書イタト云フコトモ認メラレマセウト思ヒマス、斯ウ云フ統計ハ殆ド不可能デアリマス、無論定家ノ假名遣デ書クト云フ人ハ物語類デモ讀ムトカ、北村季吟ナドガ作ッタ「湖月抄」トカ、ア、云フ物デモ讀ンデ居ル人ノ上デアッテ、其外ハ矢張亂雜デアリマセウ、又漢學ノ方ニ主モニ力ヲ入レル人ハ假名遣ナドハ構ハヌト云ッテ亂雜ニ安ンジテ居ッタノデアリマセウ、併シ是等ガ多數ノモノニ行ハレナイト云フノハ敎育ノ方向、若ハ其ノ普及ノ程度ニ依ッテ定マルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、ソコデ假名遣ヲ排斥スルト云フコトハ極ク最近ニ起ッテ參リマシタ、斯ウ云フ運動ニモ例ノ陳勝吳廣ノヤウナモノガ早ク前カラアルノデアリマス、既ニ南朝ノ藤原長親即チ明魏法師モ假名ハ心ノ儘ニ書ケト云フコトヲ云ッテ居リマス、ソレカラ極ク近クナリマスト、澤山サウ云フ例ガアリマス、漢學者ノ帆足萬里先生、彼ノ人ハ嘉永五年ニ歿シマシタ、彼ノ人ノ「假字考」ト云フモノニ斯ウ云フコトガ書イテアリマス、「今ノ世ノ假名遣ト云フモノハ正理アルモノニアラズ、久シク用井ナレヌレバ、強テ破ランモ好カラヌ業ナルベシ、其ノ掟ニタガヒタリトテアナガチュ病ムベカラズ」是レハ許容說ノ元祖トモ言ヘマセウ、ソレカラ井上文雄ト云フ先生ガアリマス、明治四年ニ歿シマシタガ、此ノ人ノ「假字一新」ト云フ本ガアリマス、是レモ假名ハ心ノ儘ニ書ケト云フノデアッテ復古ノ假名遣ヲ排斥シマシテ、却ッテ定家ノ方ニ荷擔シテ居リマス、ソレカラ井上毅先生ノ字音假名遣ノコト、是レハ當局ガ此席デモ御引用ニナッテ居ル、斯ウ云フヤウナ沿革ヲ經テ來テ、サウシテ今日ノ假名遣改正ノ問題ガ出テ參リマシテ、頗ル堅牢ナ性質ノ運動ニナッテ來タヤウニ思ヒマス、先ヅ斯ウ云フ沿革ダト自分ハ思ッテ居リマス、是レカラ少シク自分ノ意見ヲ述ベヨウト思ヒマス、最モ私ガ感歎シテ聞キマシタノハ大槻博士ノ御演說デアリマシタ、引證ノ廣イコトハ固ヨリ、總テ御論ノ熱心ナル所、丁度彼ノ伊太利ノ Renaissance

レドモ、國民中ノ精華デアルトモ云ハレル、斯ウ云フ意見ヲ推擴メテ人民ノ共有ニ之レヲシタイト斯ウ云フヤウナ議論ガ隨分反對ノ側カラハ立ち得ルト自分ハ信ジマス、兎ニ角多數者ノ用ヰル者ニ限ツテ承認スルト云フ論ニハ同意シマセヌ、夫ニ當局始メ諸君ハ假名遣ノ有無ヲ論ズルト共ニ、假名遣ニ正トカ邪トカ云フコトハナイト仰シヤツタヤウニ聽キマシタ、渡部主事ノ御說明ハ私ハ初メノ日ニ遲レテ出マシテ半分シカ聽キマセヌケレドモ、大變精密ナ說明デアリマシテ、其ソレハ斯ウデアルト云フヤウニ、先刻リマデモラレマシテ有ユル方面ノ防禦ヲシテ居ラレマス、恰モ其ノ老巧獄ヲ斷ズト云フ樣ナ工合、或ハ Sophist ノ論トデモ云フ樣ナ工合ニ、大變巧ミニ出來テ居リマシテ、御苦心ノ程ヲ察スルノデアリマス、是レモ十分ノ尊敬ヲ拂ツテ聽キマシタケレドモ、是レモ同意ハ出來ナイノデアリマス、一體正邪ト云フコトヲ說キマスルハ甚ダ聽苦シイコトデアリマシテ、所謂芳賀博士ノ言ハレタ愛國說ナドニモ關係ヲ有ツテ來ル、一體道義ノコトナドヲ口ニスルコトハ聽苦シイ、口デ忠義立ヲスル程卑シイコトハアリマセヌ、哲學者ノ Theodor Vischer ガ云ヒマシタコトニ das Moralische versteht sich von selbst トカ云フコトガアル、道義上ノコトハ言ヲ俟タナイ、コレヲ口癖ニ Vischer ハ

カト思フノデアリマス、芳賀博士モ此ノ正邪ニ就イテ御論ガアリマシテ、河ノ流ノ比喩ヲ御引キニナリマシタ、河ノ流ガ今日流レテ居ル處ハ昔カラ流レテ居ル處デハナイ、必ズ河流ノ方向ハ變ツテ居ルダラウ、サウ云フ變遷ノ如ク此ノ假名遣ノ事モ考ヘネバナラヌト云フヤウニ言ハレマシタ、丁度 Mueller ノ書イタモノニ矢張同ジヤウナ譬ガアリマス、言語ヲ河ニ譬ヘテアリマス、言語ハ流水ノ如キモノデアツテ必ズ變遷スル、ソコデ之ヲ文語トシテ固メテシマフト云フト、池水ノヤウニナツテ腐ル、ソレガ腐ツテシマフト云フト、初メ排斥セラレタ方言ガ何處カニ殘ツテ居ツテ、下行水ト云フヤウナ風ニ、何處カニ殘ツテ居ツテ、ソノモノガ何時カ頭ヲ持上ゲテ革命的ニ新シイ文語ガ起ツテ來ル、斯ウ云フ譬ヲ引イテ居リマス、故ニ此ノ池水ノヤウニ文語ガ腐ラナイヤウニ假名遣ヲ訂スノハ必要デアリマスケレドモ、一旦文語トナツタモノハ是レハ法則デアル、正シイモノデアルト云フコトヲ認メテ宜シイカト思ヒマス、Mueller ハ同ジ工合ニ又他ノ譬ヲ使ツテ居リマス、土耳古王ハ子供ノ時ニ遊友達ガアルト云フト、自分ガ位ニ即クト友達ヲ絞殺シテシマフ、自分ガ一人デ權ヲ握ル、併シ言葉ハ或ル方言ガ勢力ヲ得テ文語ニナツテモ、同時ニ其ノ附近ニ行ハレテ居ツタ方言ガ皆殺サレテハシマハナ

以テシテモ宜シカラウト思ヒマスケレドモ、其ノ文語ニ定ツテ居マシタ、ソンナコトデアル、併シ國運ノ消長ガ言語ニ關係ヲ有チ又言語ノ精華タル文語ニ關係ヲ有ツテ居ル、隨ツテ假名遣ニモ關係ヲ有ツテ居ルコトハ明白デアリマス、獨逸ノ如キハ新假名遣ノ運動ガ盛ンニ起リマシテ學校等デ隨分廣ク用キルヤウニナリマシタケレドモ、Bismark ノ生涯、公文書ニダケハツヒ〳〵新假名遣ヲ排斥シ通シタ、アヽ云フ深遠デアリマスカラ何カ深イ考ガアツタカモ知レマセヌ、當局ノ御說明ニ倫理ニハ正トカ邪トカ云フコトガアルケレドモ、假名遣ニソンナコトガナイト云フヤウナコトモアリマシタ、ケレドモ倫理ダツテモ矢張變遷ハ始終アルモノデ、吾々ガ仇討トカ復讐トカ云フコトニ對シテドウ云フ倫理上ノ判斷ヲ有ツテ居ツタカト云フコトハ、今日ト前ト較ベレバ大變ナ違デアリマス、倫理ニ於テドンナ Authority ヲモ認メナイトナリマスルト云フト、終ニハ善惡ノ標準ガナイト云フヤウナ驚ギニナリマス、私モ假名遣ニ絕對的ニ正邪ガアルトハ云ヒマセヌ、併シ前ニモ申シマス通リ口語ニソンナ變遷ヲ致シマスケレドモ、文語ニ變遷ト云フコトハナイノデアリマス、衰替現象デ變ツテ來ルノデアリマスカラ、口語ノ變遷ヲ何時モ見テ居テ、其ノ中固ツタ所ヲ拾ヒ上ゲテ、假名遣ヲ訂シテ行クト云フ儀ナコトナラバ、漸ヲ以テシテモ宜シカラウト思ヒマスケレドモ、其ノ文語ニ定ツテ居マシタ、ソンナコトデハナイケレドモ、國民中ノ少數デハアルケレドモ、此波動ハ餘リ廣クハ世間ニ及シテ居ナイニ違ヒナイ、併シ契冲以來ノ諸先生ガ出テ來ラレテ假名遣ヲ確定シヨウトセラレタ運動ニ、之レニ應ズルモノハ、

時代ノ Savonarola ノ說敎デモ聽イタヤウナ感ガシマシタ、私ハ尊敬シテ聽キマシタ、併シ其ノ御說ニハ同意ハシマセヌ、少數者ノ用ヰルモノハ餘リ論ズルニ足ラナイ、多數ノ人民ニ使ハレルモノデナケレバナラヌト云フノガ御論ノ土臺ニナツテ居リマス、併シ何事デモサウ云フ風ニ觀察スルト云フト、恐ク偏頗ニナリハスマイカト思フノデアリマス、政治デ言ツテ見テモ多數ニ依レバ Demokratie 少數ナラバ Aristokratie ト云フ者ガ出テ來マス、此ノ頃ノ思想界ニ於イテ多數ノ方カラ、多數ノ方ニ偏シテ考ヘマスルト云フト、社會說ナドモソレデアリマス、ソレカラ之レニ反動シテ極ク少數ノモノヲ根據ニシテ主張スル Nietzsche ノ議論ナドモアル、之レニ據ルト多數人民ト云フモノハ茶溜ノ肥料ノヤウナモノデアル、其中ニ少數ノ役ニ立ツモノガ、丁度美麗ナ草木ガ出テ來テ花ガ咲クヤウニ、出テ來ルト云フ樣ナ想像ヲ有ツテ居ル、少クモ此ノ假名遣ヲ少數者ノ用ニ供スル者ダト云フ側カラ之レヲ排斥シマスレバ、其ノ反對ノ側ニ立チマスルト云フト、斯ウ云フ風ニ言ヘルカト思ヒマス、一體古來假名遣ト云フモノハ少數ノモノデアツタカモ知レマセヌ、又近世復古運動ガ起リマシテ、此波動ハ餘リ廣クハ世間ニ及シテ居ナイニ違ヒナイ、併

イ、何處カニ活キテ居ル、活キテ居ツテソレ等ガイツカ革命運動ヲ起ス、斯ウ云フ風ニ言語ノコトヲ觀察スルガ宜シイト、斯ウ云ツテ居リマス、兎ニ角土耳古ノ王ガ王ニナレバ、ソレガ一ツノ正統ナ王デアル、今ノヤウニ腐敗シテ來テ革命的ナコトガ出テ來ルト云フコトヲ防グニハ、新シイ貴族ヲ作レバ好イ、新華族ヲ作ルヤウニシテ、ボツ〳〵腐ラナイヤウニシテ行カバ宜シイカト思ウ、口語ノ廣ク用キラレテ來ルヤウナモノヲ見テハ之レヲボツ〳〵引上ゲテ假名遣ニ入レル、サウ云フヤウニ楫ヲ取ツテ行クノガ一番好イ手段デハアルマイカト思フノデアリマス、私ハ正則ト云フコトヲ認メテ置キタイノデアリマス、トコロガ古イ假名遣ハ頗ル輕セラレテ、一體ニ Authorities タル契沖以下ヲ輕視スルト云フヤウナ傾向ガゴザイマスガ、少數者ガシテ居ルコトハ詰ラヌト云ヒマスト云フトドウデモウ、一體倫理ナドデモ忠孝節義ナドヲ本當ニ行ツテ居ルモノハ何時モ少數者デアル、ソレガ模範ニナツテソレヲ廣ク推及ボシテ國民ノ共有ニスルノデアリマス、少數者ノシテ居ルコトニモウ少シ重キヲ措クノガ宜シイカト思フ、古學者ナドノ Authority ハサウ云フ風ニ排斥セラレルト同時ニ、單ニ井上毅先生ノ字音假名遣說ハ殆ド金科玉條トシテ立テラレルヤウデゴザイマスガ、アレモ餘リサウ其ノ結構ナ御論デハナイカト思フノデアリマス、一體漢字ヲ假名ニ書クノハ「易キニ由ル」ノダト云フノガ井上毅先生ノ議論デアリマス、併シ假名ニ書クノハ易キニ由ルト云フノヲ本ニスベキデハアルマイカト思ヒマス、何處ノ國デモ國語ノ中ニ外國ノ語ガ入ツテ來テ國語ノヤウニナル、ソコデ日本デハ漢語ガ國語ニナル、其ノ道中ノ宿場ノ樣ニナツテ、假名デ書イタモノガ行ハレルノデアリマス、中ニ全然國語ニナツタノモアル、誰モ知ツテ居ル文ノ「フミ」錢ノ「ゼニ」ノ類デアル、中ニハ消息「セウソコ」ナドト云ツテ是レモ殆ンド假名デ通用スル國語ノヤウニナツテ居ル、サウ云フ字ハ假名遣ヲ廢シテ「シヨウソコ」ト書イテハ分リニクイコトニナツテシマヒマス、其ノ外井上先生ノ今ノ支那音ニ引當テテノ御論ト云フモノモ餘リ正確ナモノデハナイカト思フ、要スルニ正ダトカ邪ダトカ云フコトガ絕待的ニ假名遣ニアルトハ申シマセヌケレドモ幾分カ正シイ側ト云フコトガアルダラウト思ヒマス、西洋語ノ Orthographie ノ orthos ハ正ト云フコトデアリマス、正シク書ク法ヲ Orthographie ト云フ、詞ナドト云フヤウナモノモ人ノ思想ヲ表出スルモノデアルカラ、正シイト云フ詞ヲ用井ルノデアリマス、正シイト云事ハ言ヘルト思フ、ソレカラ此ノ正ト邪トノ關係ト云フコトニ連係シマシテ街道ノ譬ト云フモノガ頻リニ本會ニ於テ行ハレテ居ル、昔ノ假名遣ハ舊街道デアル、其處ヘ持ツテ行ツテ發音的ノ新シイ假名遣ガ作ラレル、是レハ便利ナル橫道デアル、何モ舊イ街道ヲ正道トシテ便利ナ新シイ假名遣ヲ邪道トスルコトハナイト云フノデアリマス、此ノ話ハ少シク自分ノ見ル所デハ事實ニ違ツテ居ル樣デアリマス、決シテサウ云フ便利ナ新シイ道ガ出來テ居ラナイノデアリマス、例之バ「ツクエ」ト云フ詞ヲ見マシテモ、此ノ子音ニ當ル「ウ」ト云フ音、是ガ響カナイノデアリマス、其ノ響カナイノヲ發音的ニ書クナラバ、誰ガ書イテモ「ツクエ」ト阿行ノ「エ」ヲ書イテ居ル筈デアリマス、ソレナラバ新シイ道ガ出來テ居ル譯デ、ソレヲ認メテヤツテモ宜シイ譯デアリマス、併シ實際人ノ書イタノヲ見マシテモ机ノ「エ」ハ阿行ノ「エ」ヲ書イタリ、和行ノ「エ」ヲ書イタリ、波行ノ「ヘ」ヲ書イタリ、有ユル假名ヲ使ツテ居リマス、サウシテ見ルト人民一般ハ田トモ云ハズ畠トモ云ハズ、道ノナイ所ヲ縱橫ニ步イテ居ルノデアリマス、實ニ亂雜極ツテ居ル、ムチヤデアリマス、ソコデ若シ文部省ニ於テ新シク發音的ニ訂シテ行キマシテ阿行ノ「エ」ヲ書ケト云フ新道ヲ開キマストト云フト、サウスルト今度ハ道ガ二條出來マス、人民ハ又二條ノドレニモ由ラズニ縱橫ニ田畠ヲ荒シテ步クカモ知レナイト思フ、却テ問題ハ複雜ニナツテ來ル、サウ云フ關係ハ獨リ此ノ假名遣ノミデハアリマセヌ、文法豆爾乎波ニモゴザイマス、例之ハ文部省デ許容ニナツテ居リマス「得セシム」ト云フ豆爾乎波ガアル、アレハ「得シム」ト云フ詞デアル、併シ口語デハ決シテ「得シム」モ「得セシム」モナイ、口語デハ「得サセル」斯ウ云ツテ居ル、「得サス」ト云フ詞ニナツテ居ル、ダカラ口語ノ變遷即チ言語變遷ニハ何ノ關係モ無クシテ「得セシム」ト云フ詞ガ生ジテ來タ、何故生ジテ來タカト云フト、是レハ言語ノ變遷デハナイ、是レハ文盲カラ生ジ來タノデアル、「得シム」ト云フ詞ヲ知ラナイ人ガ「得セシム」ト云フ詞ヲ書イタ、例ノ惡口ノ歌ニ「伊勢ヲカシ江戶モノカラニ京キコエシシトセシトハ天下通用」ト云フ間違ヲヒヤカシタ歌ガアリマス、丁度アヽ云フ譯デ一時流行シテ來タノデアリマス、斯ウ云フコトハ又豆爾乎波バカリデハナイ漢字ニモアリマス、私ハ勿論何ニモ知ラナイ、漢字モ知リマセヌ、併シ模糊ナドト云フ語ハドノ新聞ヲ見テモ「モ」ノ字ガ米ヘンニナツテ居リマスガ、アレナドハ木ヘンダト云フコトデアリマス、斯ウ云フノヲ一々變遷ダト認メテ來ルト今度ハ新シイ漢字マデモ拵ヘナケレバナラヌコトニナツテ來ヨウカト思ヒマス、兎ニ角私ハ今便利ナ新道ガ出來テ居ルト認メルノハ觀察ヲ誤ツテ居ルノデハナイカト思フ、ソレカラ街道ノ比喩ニ對シテ芳賀博士ハ又別ナ比喩ヲ出サレマシタ、舊イ街道ハ是レハ街道デハナイ、廢道ニナツテシマツテ居ルノデアル、荊棘ガ一杯生エテ居ツテ、ソレヲ古學者連ガ刈除イテ道ニシヨウト思ツタケレドモ、人

民ハ從ツテ行カナイ、斯ウ云フヤウナ比喩ヲ出サレマシタ、私共ノ立場カラ見ルト云フト、此ノ假名遣ハ昔モ或ハ國民ノ皆ガ行ツタ道デハナイ、初メモ或少數者ノ行ツタ道デアラウ、ソレガ段々ニ大キイ道ニナツテ來タノデアル、縱令中頃定家假名遣ガ出マシテ、一頓挫ヲ來シマシテモ少シ荊棘ガ生エマシテモ、荊棘ヲ刈除イテ、元トノ道ヲ擴ゲテ國民ガ皆歩ムヤウナ道ニスルト云フコトガ、或ハ出來ルモノデハナイカト云フヤウナ、妄想カモ知レマセヌケレドモ、想像ヲ自分ハ有ツテ居リマス、何處ノ國デモ言語ノ問題ニ付イテハ、國語ヲ淨メヨウト云フコトヲ一ノ條件ニシテ調査ヲスルノデアリマス、其ノ國語ヲ淨メルト云フ側カラ行キマスト云フト、此ノ假名遣ノ道ヲ與スノガ一番宜シイカト思フ、元ノ假名遣ヲ與シテ、其ノ中ヘ新シイ假名モ採用スル、ソレニハ先ヅ舊街道ノ荊棘ヲ除イテ人ノ善ク歩ケルヤウニシテヤリマス、ソコヘ持ツテ行ツテ文明式ノ Macadam 式ノ築造ヲショウトモ Asphalt ヲ布カウトモ、何レデモ宜シイト云フ考デアリマス、ソレカラ街道ノ比喩ト共ニ許容ト云フコトガ先頃カラ問題ニナツテ居リマス、此ノ許容ト云フノハ Tolérance ダト云フ說明ヲ聽キマシタ、例之バ國デ定ツタ宗敎ガアリマシテ、人民ガ外ノ宗敎ヲ信ジテモソレヲ許容スル、ソレガ Tolérance デアル、Tolérance ト云フコトヲ使ハレル場合ハ多クハ何カ正則ナモノガ先キヘ認メテアル、正則ノモノガナクテ Tolérance ト云フコトハアリマセヌ、彼ノ亘爾乎波ノ許容ニナリマシタトキナドハ、マダ元ノ語格ヲ正則ニシテアル、ソレニ背イテ居ルト亘爾乎波ヲ許容スル、斯ウナツテ居リマス、「得セシム」ハ正則デアル、「得セシム」ハ許容スルト云フノデアリマスカラ、趣意ハ能ク分ツテ居リマス、此ノ比例ガ假名遣ニナツテカラ狂ツテ來マシタ、元ノ假名遣ヲ正則ニシテ發音的ニ新ニ作ル假名遣ヲ許容スルナラ宜シイ、然ルニ發音的ニ新造スル分ノ假名遣ヲ正則ニシテ、敎科書ニ用ヰルノデアリマスト、ソレハ許容デハナイ、之ニ就イテハ度々諸方カラ議論ガアリマシタ、少シ野卑ナコトヲ申シマスルケレドモ、此度ノ假名遣ニ於ケルトコロノ許容ト云フコトハ、稍々トンチンカンダト思フノデアリマス、此ノ許容ニ就キマシテ、ドウモ私共ノ見ル所デハ、世間ニ便利ナ道ガ出來テ居ルカラ許容スルト云フ其ノ便利ナ道ガ出來テ居ルト云フ御認定ガ、稍々大早計デアル、早過ギル場合ガ、多イヤウニ思フノデアリマス、例之バ「得セシム」ト人ガ書イタトコロガ、ソレヲ直ニ採上ゲテ是レガ言語ノ變遷デアルト云ツテ、是レガ便利ナ新道デアルト云ツテ、御認メニナツテ御許容ニナル、ソンナ必要ハナイカト思ヒマス、文盲ノ人ガアツテ「得シム」ト云フ語ヲ知ラナイデ「得セシム」ト書ク、決シテ「得シム」ガ不便ダカラ「得セシム」ニシ

ヨウト云ツテ書クノデハナイノデアリマス、サウスルト新聞ヤ小說デモサウ書ク、ソレガ媒介ニナツテ次第ニ擴ガル、是レモ古ビガ着イテ一ツノ歷史的ノモノニナレバ、誤謬カラ生ジタ詞デモ認メンケレバナラヌノデアリマスケレドモ、ソレヲ急イデ認メルコトハドウモ宜シクナイカト思ヒマス、例之バ氣ノ狂ツタ人ガアツテ道モナイ所ヲ奔リ、衆人ガ附イテ行ク、直ニソレヲ是レガ道ダト云ツテ、大勢ガ附イテ行クカラ道ダト云ツテ直ニソレヲ道ニスルト云フノハ、少シ其ノ仕事ガ面白クナイカト思フ、間違ヲ人ノスルノヲ跡ヲ追駈ケテ歩イテ居ルヤウニ、吾々ノ立場カラ見ルト見エルノデアリマス、斯ウ云フ工合デ行キマスト、例ノ漢字ノ間違ナドモ、ドウカスルト流行ツテ來ル、其ノ跡ヲ追駈ケルト云フト、新シク嘘ノ漢字ノ辭書ヲ作ランケレバナラヌ、嘘字盡ヲ作ルコトエナリハセヌカト思ヒマス、何處ノ國デモ國語ノコトヲ調ベルトキニハ、國語ヲ淨メルト云フコトヲ運動ノ土臺ニシテ居リマス、ソレニ反シテ斯ウ云フ風ナ仕事ヲシマスルノハ國語ヲ濁スノデアリマス、勿論初メ誤カラ生ジマシテモ、前ニ申シマスル通リ、時代ヲ經テ古ビガ着イテ自然ニ新シイ國語ノヤウニナツタト云フ場合ニハ、無論ソレヲ取ルベキデアリマス、丁度華族ノ御仲間ニ新華族ガ出來テ來ルヤウナ譯デアリマス、ソレハ國語ノ歷史ニモ先例ガアル、例之バ「アラタシ」トヨウト云ツテ書クノデハナイノデアリマス、サウスルト新聞ヤ小說デモサウ書ク、ソレガ媒介ニナツテ次第ニ擴ガル、是レモ古ビガ着イテ一ツノ歷史的ノモノニナレバ、誤謬カラ生ジタ詞デモ認メンケレバナラヌノデアリマスケレドモ、ソレヲ急イデ認メルコトハドウモ宜シクナイカト思ヒマス、例之バ氣ノ狂ツタ人ガアツテ道モナイ所ヲ奔リ、衆人ガ附イテ行ク、直ニソレヲ是レガ道ダト云ツテ、大勢ガ附イテ行クカラ道ダト云ツテ直ニソレヲ道ニスルト云フノハ、少シ其ノ仕事ガ面白クナイカト思フ、間違ヲ人ノスルノヲ跡ヲ追駈ケテ歩イテ居ルヤウニ、吾々ノ立場カラ見ルト見エルノデアリマス、ソレニ反シテ斯ウ云フ工合デ行キマスト、例ノ漢字ノ間違ナドモ、ドウカスルト流行ツテ來ル、其ノ跡ヲ追駈ケルト云フト、新シク嘘ノ漢字ノ辭書ヲ作ランケレバナラヌ、嘘字盡ヲ作ルコトエナリハセヌカト思ヒマス、何處ノ國デモ國語ノコトヲ調ベルトキニハ、國語ヲ淨メルト云フコトヲ運動ノ土臺ニシテ居リマス、ソレニ反シテ斯ウ云フ風ナ仕事ヲシマスルノハ國語ヲ濁スノデアリマス、勿論初メ誤カラ生ジマシテモ、前ニ申シマスル通リ、時代ヲ經テ古ビガ着イテ自然ニ新シイ國語ノヤウニナツタト云フ場合ニハ、無論ソレヲ取ルベキデアリマス、丁度華族ノ御仲間ニ新華族ガ出來テ來ルヤウナ譯デアリマス、ソレハ國語ノ歷史ニモ先例ガアル、例之バ「アラタシ」トナル、斯ウ云フノハ是レハ口語ノ變遷ニ基イテ新シイ語ヲ認メタノデアリマス、ソレカラ同ジ許容ニナツテ居ル亘爾乎波ノ中デモ「セサス」ヲ「サス」ニスルヤウナコトハ、是レハ口語ノ方デ久シク一般ニ行ハレテ居ル、斯ウ云フノハ是レハ認メテ宜シイ、ソレカヲ種々ノ漢語ノ字音ニ就キマシテ、間違ノ例ガ今マデモ引カレテ居リマスガ、例之バ畜生ト云フノハ本當ハ「キウシャウ」ダト申シマス、サウ云フノハ「チクシャウ」ト云フ國語ト認メテ宜シイ、新シイ語デ言ヒマシテモ、輸出ヲ「ユシユツ」ト云フ、此ノ位ニ固マツテ來レバ國語ト認メルノニ異議ハナイノデアリマス、併シ餘リ早マツテ認定ヲシナイデ、少シヅヽ徐々ニ認定ヲスルノガ至當ナ方法デアラウト思フノデアリマス、サウ云フヤウニ私ハ少數ノ人ガ用ヰテ居ツテモ其ノ少數ノ人ガ國民ノ精華トモ云フベキ人デアルナラバ、其ノ用ヰテ居ルモノヲ廣ク國民ニ及ボスト云フコトヲ圖リタイト云フ考デアリマス、此考ニ付イテ最モ芳賀博士ナドノ御說ハ衝突ヲ來タスノデアリマス、芳賀博士ハ必要不必要ト云フコトヲ論ゼラレマス、多數ノ用ヰテ居ラヌモノヲ多數ニ強付ケル必要ハナイト云フノデアリマス、サウ云フコトヲスル權能ハ文部大臣ニアルカドウカ疑ハシイト、斯ウ言ハレルノデアリマス、芳賀博士ノ總テノ御議論ハ實ニ達識ナ御議論デアッテ、感服シ

テ居リマス、併シ此ノ必要不必要ノ論、文部大臣ニサウ云フ權能ガアリヤ否ヤト云フ御論ニハ、少シ私ハ同意ガ出來ナイノデアリマス、言語ノ變遷ハ口語ノ上ニアリマス、ソレハ自然ニ行ハレテ行ク、文語ノ方ニナリマスト云フト、是レハ人工ノ加ツタモノデアル、假名遣モ同樣デアル、併シ文語ニナッテカラ初メテ言語ハ完全ニナル、言語ガ思想ヲ十分ニ表ハスト云フコトガ初メテ文語ニナッテカラ完全ニナル、假名遣ハ其ノ文語ノ方ノ法則デアル、若シ我邦ノ假名遣ガ廣ク人民間ニ行ハレテ居ナカッタナラバ、ソレハ教育ガ遍ク行ハレテ居ラヌ爲メデアラウト思フノデアリマス、ソコデ丁度昔初メテ假名ガ出來タトキニ、ソレヲ使フコトヲ當時ノ政府ガ人民一般ニ施シ得タ如ク、今日ノ文部大臣ガ假名遣ヲ一般ニ教ヘラレルト云フコトハ正當ナル權利ト思フ、權利デハナイ、義務デアル、教ヘナケレバナラヌノデアルト思フ、之ニ反シテ文部大臣ヲ始メ教育ノ任ニ當ッテ居ルモノハ、間違ッタコトヲ、正則ニ背イタコトヲシテハナラヌカト思フ、昔ノ話ニ羅馬ノ Tiberius 帝ガ或ル時話ヲシテ語格ヲ間違ヘタ、サウスルト傍ニ聽イテ居タ Marcellus ト云フ人ガ、今ノハ違ッテ居ルト批難シテ云ッタ、サウスルト Capito ト云フ人ガ聽イテ居ッテ、帝王ノ口カラ出タ言葉ハ立派ナ拉甸語デアルト斯ウ云ヒマシタ、サウスルト Marcellus ノ云フニハ、成程帝王ハ人民ニ羅馬ノ公民權ヲ與ヘルコトハ出來ヨウ、併シ新シイ言語ヲ作ルコトハ出來ナイ、斯ウ云ッタト云フ、正則ニ反イタコトヲスルト云フ權能ハ帝王ト雖ドモナイ、コレガ必要不必要ノ論ノ外ニモウ一ツ論ガアリマス、假名遣ヲ國民一般ニ行ハウト云フコトハ不可能デアルト云フ論ガアリマス、此ノ方ノ側ハ大槻博士ノ御論ノ中ニアリマシタ、其ノ中ノ最モ有力ナル論據トシテ仰シヤルニハ、斯ウシテ委員ガ大勢居ルケレドモ委員ノ中デ一人デモ假名遣ヲ間違ヘナイモノハナイト云フノデアリマシタ、實ニ其ノ通リデアリマシテ、自分ナドモ始終間違ヘマスケレドモ、間違ッテ居テモ、間違ッタコトハ人ニ聽イテ訂シテ行カウ、子供ニデモ間違ッテ居ナイコトヲ教ヘテヤッテ、少シデモ正則ノ方ニ向ケヨウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、當局ニ於テハ不可能トマデハ申サレマセヌケレドモ、困難ダト云フコトハ申サレテアリマス、是レハ一般ニサウ言ッテ居リマス、困難トナレバ程度問題デアッテ不可能デハナイノデアリマス、現ニ當局ニ於テハ假名遣ニモ人ノ意識ニ入ッテ居ル部分ト意識ニ入ッテ居ナイ部分トガアルト云フコトヲ言ッテ居ラレル、其ノ意識ニ入ッテ居ル分ハイタハッテ存シテ置イテ、意識ニ入ッテ居ナイモノヲ直スト、斯ウ云フ御論デアリマス、併シ或ルモノハ意識ニ入ッテ居ルト云フコトヲ

認メルト云フト、未ダ意識ニ入ッテ居ラナイ部分モ或ハ仕方ニ依ッテハ意識ニ入リ得ルモノデハアルマイカト思フ、扨古學者ガ假名遣ノコトヲヤカマシク論ジテ居ルノニ、例之バ本居ノ遠鏡ノ如キ、口語デ書ク段ニナルト、決シテ假名遣ヲ應用シテ居ラヌト云フコトヲ、假名遣ヲ一般ニ普通語ニ用ヰルノハ不可能デアル或ハ困難デアルト云フ證據ニ引カレマスケレドモ、是レハ少シ性質ガ違フカト思フ、古學者達ハ文語ト云フモノハ貴族的ナモノノヤウニ考ヘテ居リマスカラ、ソコデ貴族ノ階級ヲ極ク嚴重ニ考ヘマシテ、例之バ印度ノ四姓カ何カノヤウニ考ヘマシテ、ズット下ニ居ル首陀羅トカ云フヤウナ下等ナ人民ハ、是レハ論外ダ、斯ウ云フ風ニ見テ居リマスカラ、所謂俗言ト云フモノヲ卑シンダ爲メニ、俗言ノトキハ無茶ナコトヲシタノデアリマス、若シ假名遣ヲ俗言ニ應用スル意ガアッタナラバ、所謂俗言ヲ稍ヶ重ク視タナラバ、アンナコトハシナカッタラウト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ芳賀博士ガ、若シ本居先生ナドガ今在ッタナラバ決シテ假名遣ヲ國民ニ布クナドト云フコトハ云ハレナイダラウト云ハレルノハ、同意ガ出來兼マス、本居先生ガ今在ッタナラバ、必ズヤ國民ニ假名遣ヲ教ヘヨウトシタダラウト思ヒマス、本居先生ノミナラズ堀秀成先生ノ如キモ、是レハ死ナレテカラ間モアリマセヌケレドモ、若シ今日居ラレタラ矢張假名遣ヲ國民ニ行ハウトシタデアラウト思フ、明治ノ初年ニ文部省デハ假名遣ヲ小學校ニ使用シマシタ、此ノ結果ニ就イテモ私ハ見方ヲ異ニシテ居ル、タシカ江原君デアリマシタカ、存外此ノ假名遣ハ兒童ニ歡迎セラレタト云フコトヲ言ハレマシタ、私モ其ノ時ハマダ半分子供デアリマシタ、確ニ歡迎シタノデアリマス、若シ彼ノ時ノ文部省ノ方針ガ確定シテ動カズニ今日マデ繼續セラレテ居ッタナラバ、或ハ餘程人民ニ廣ク假名遣ガ行ハレテ居リハスマイカト思フ、稍々上ノ學校、中學以上ニナッテ假名遣ヲ誤マル例ヲ頻リニ擧ゲラレテ、ソレヲ以テ困難若クハ不可能ノ證明ニシヨウトセラレマスケレドモ、是レハ周圍ニ誤ガ多イ、新聞紙ヲ讀ンデモ小說ヲ讀ンデモ、皆亂雜ナ假名遣デアル、目ニ觸レルモノガ皆違ッテ居ルノデアリマスカラ、縱令學校ダケデドウ教ヘテモ誤マルノデアリマス、併シ明治初年カラ今日マデ若シ假名遣ヲ正シク教ヘルコトヲ努力セラレタノデアルナラバ、餘程新聞記者ヤ小說家ニモ假名遣ヲ知ッテ居ル者ガ今日ハ殖エテ居マシテ、新聞ヤ小說ガ正シイ假名ヲ多ク書クヤウニナッテ居ハスマイカト思ヒマス、サウシタナラバ中學以上ノ人ナドハソンナニ間違ヘズニ書キハスマイカト思フノデアリマス、ソレカラ然ラバ假名遣ヲ若シ國民ニ教ヘヨウトスルナラバ、ドウシタラ好イカト云フ其ノ方法手段デアリマス、是レハタシカ黑澤

翁麿アタリノ工夫デアリマセウカ、少數ノムヅカシイ假名カラ敎ヘテ行クト云フト、後トノ容易シイノハ自然ニ分ルト云フ方法ガアリマス、今日デモ假名遣ヲ敎ヘル人ハ、大抵サウ云フ手段ヲ執ルヤウデアリマス、一種ノ記憶法ノヤウナモノデアリマス、斯ウ云フ記憶法デアリマスガ、是レナドヲ猶研究シタナラバ、敎ヘル方法ハ今日ヨリモ一層完全ニ出來得ルカト思フノデアリマス、假名遣ノ困難ト云フコトニ就イテハ主トシテ字音假名遣ノコトガ擧ゲラレテアリマス、此ノ字音ノコトハ洵ニ困難ナ問題デアリマシテ、古イト云ツテモ是レハ十八世紀デアリマスルガ、僧文雄ノ「塵光韻鏡」カラ以來、本居ノ「漢字三音考」ト「字音假名遣」、文政中ノ太田全齋ノ「漢語音圖」、現存シテ居ラレル木村正辭先生ノ「漢語音圖正誤」、先ヅ斯ウ云フヤウナ系統デ、字音ノ研究ガシテアル、大槪先生ノ仰シャッタ通リニ實ニ是レハ頭痛ノスルヤウナ本デアリマス、詩ヲ作ツタコトノナイ者ナドニハ所詮覺エラレヌト云フ御論ハ尤モニ聽キマシタ、併シナガラ是レモ其ノ極ク困難ナ部分ハ殆ド大槪博士ノ御演說ノ中ニ網羅シテアッタヤウニ思フ、兎ニ角一場ノ御演說デ困難ナ部分ハ網羅シ得ラレルノデアリマシテ、其ノ外ハ割合ニ容易シイノデアリマス、此ノ字音ノ假名遣ニ對スル、之ニ處スル道ヲ考ヘマスニハ、漢語ガドノ位日本化シテ居ルカト云フ程度ヲ研究スル必要ガアリマス、先刻申シマス通リ全ク字音ガ國語ニ化シテ居ルノガアル、ソレカラソレニ亞ギマシテ、「文」「錢」ノ外ニ、アヽ云フ類ノ之ニ準ズベキモノガアリマス、例之バ「天地」ト云フコトハ「アメツチ」ヨリカ「テンチ」ノ方ガ行ハレテ居ル、是位ニ日本化スレバ是レハ國語ト見ナケレバナラヌ、ソレニ反シテ所謂漢字ニ隱レテ居ル字音ト云ヒマスルモノハ、日本化シタ程度ノ極ク低イモノデアル、字音ニ隱レテ居ルカラ之レヲ改メルコトハ容易ダト云ツテアリマスルケレドモ、字音ニ隱レテ居ル程ナラバ改メナイデモ宜シイカモ知レナイト云フ一方ニハ理由ガ立チマス、ソコデサウ云フ日本化シテ居ル程度ノ低イモノハ除イテ、十分日本化シテ居ルモノヲ小學等ニ敎ヘルト云フコトニナリマスルト云フト、字數ガ自然ニ限ラレルコトニナル、其ノ少數ノ字數ナラバ字音假名遣ト雖ドモ敎ヘラレルカト思フノデス、ソンナラ久シク音ノ訛ツテ居ルモノハドウスルカ、例之バ今ノ「輸出」ガ「ユシユツ」ニナッテ居ルト云フヤウナコトデアリマス、斯ウ云フノハ「ユシユツ」ト云フ新國語ト認メマス、是レハ音デナイ訓ダト思ヘバ宜シイノデアリマス、是レハ字音トシテノ取扱ヲ停止スレバ宜シイノデアリマス、然ラバ未ダ字音ノ考ヘラレテ居ラヌモノハドウスルカ、大槪先生ハ烏帽子ノ「烏」ハ「エ」デアルカ「エ」デアルカト云フ疑ヲ御引キニナリマシタ、斯ウ云フコトコソ國語調査會ト云フヤウナ所デ定案ヲ作ツテ、兎ニ角一ツノ案ヲ作ツテソレヲ公認セラレルコトガ必要デアルカト思フノデアリマス、併シ困難ハ獨リ字音バカリデハナイ、國語ノ假名遣ニモアリマス、此ノ場合デハ殊ニ少數ノムヅカシイ假名カラ敎ヘルト云フ手段ヲ研究シテ、其ノ方法ヲモウ少シ完全ニ作レバ、假名遣ヲ廣ク敎ヘルコトガ出來ヨウカト思ヒマス、諮詢案デハ「動詞ノ活用カラ出テ居ル假名」ト云フモノダケヲ保存スルコトニナッテ居リマスルガ、其ノ御趣意ハ至極結構ナ御趣意ト思ヒマス、併シ實際ノ案ニ表ハレテ居ルトコロハドウモ用意周到デナイヤウニ思フノデアリマス、例之バ和行ノ假名ヲ以テ言ッテ見マスルト「居ル」ト云フ語ハ假名遣ヲ存シテ置ク、是レガ名詞ニナッテ、例之バ坐ニ居ル「位」「圓居」「芝居」ト云フ假名ニナルト阿行ノ「イ」ニナルヤウニ思ハレル、又「据ウ」ト云詞デモ「スウ」ト云フ假名遣ガ存シテアル、「ツキスエ」ノ「ツクエ」又「イシズエ」ノ「エ」ニナルト、是レハ阿行ノニナッテシマフ、斯ウ云フコトガアッテ見ルト云フト、ドウモ境界ガハッキリシナイヤウニ思ヒマス、ドウモ此ノ案ハ未ダ十分熟シテ居ルマイカト思ヒマス、敎育圓トカ云フモノノ意見ト云フノガ、此ノ頃新聞ニ出テ居リマスガ、大イニ參考スベキコトガアルヤウニ見受ケマス、大體ノ論ハ私ハ取リマセヌケレドモ、此ノ諮詢案ニ對スル敎育圓ノ意見ト云フモノ

會ト云フヤウナ所デ定案ヲ作ツテ、兎ニ角一ツノ案ヲ作ツテソレヲ公認セラレルコトガ必要デアルカト思フノデアリマス、併シ困難ハ獨リ字音バカリデハナイ、國語ノ假名遣ニモアリマス、此ノ場合デハ殊ニ少數ノムヅカシイ假名カラ敎ヘルト云フ手段ヲ研究シテ、其ノ方法ヲモウ少シ完全ニ作レバ、假名遣ヲ廣ク敎ヘルコトガ出來ヨウカト思ヒマス、諮詢案デハ「動詞ノ活用カラ出テ居ル假名」ト云フモノダケヲ保存スルコトニナッテ居リマスルガ、其ノ御趣意ハ至極結構ナ御趣意ト思ヒマス、併シ實際ノ案ニ表ハレテ居ルトコロハドウモ用意周到デナイヤウニ思フノデアリマス、例之バ和行ノ假名ヲ以テ言ッテ見マスルト「居ル」ト云フ語ハ假名遣ヲ存シテ置ク、是レガ名詞ニナッテ、例之バ坐ニ居ル「位」「圓居」「芝居」ト云フ假名ニナルト阿行ノ「イ」ニナルヤウニ思ハレル、又「据ウ」ト云詞デモ「スウ」ト云フ假名遣ガ存シテアル、「ツキスエ」ノ「ツクエ」又「イシズエ」ノ「エ」ニナルト、是レハ阿行ノニナッテシマフ、斯ウ云フコトガアッテ見ルト云フト、ドウモ境界ガハッキリシナイヤウニ思ヒマス、ドウモ此ノ案ハ未ダ十分熟シテ居ルマイカト思ヒマス、敎育圓トカ云フモノノ意見ト云フノガ、此ノ頃新聞ニ出テ居リマスガ、大イニ參考スベキコトガアルヤウニ見受ケマス、大體ノ論ハ私ハ取リマセヌケレドモ、此ノ諮詢案ニ對スル敎育圓ノ意見ト云フモノニハ宜シイトコロガアルカト思ヒマス、又國語ノ假名遣デ未ダ考ヘテナイモノ、例之バ「クヂラ」カ「クジラ」カ、「タハラ」カ「タワラ」カト云フヤウナコト、是レモ先刻ノ字音ト同ジク、斯ウ云フコトコソ國語調査會ナドデ研究セラレテ其ノ結果ヲ公認セラレタラ宜シイカト思ヒマス、兎ニ角字音ニモ國語ニモ假名遣ニ困難ハアリマスケレドモ、凌グベカラザル程ノ困難ハナイヤウニ思ヒマス、ソコデ自分ノ意見ヲ尙ホ約メテ申シマスレバ次ノ通リデアリマス、第一ニ假名遣ハ成程性質上カラ保守的ナモノデアル、併シナガラ發音的ノ側カラ見テモ大ナル不都合ガアルモノトハ認メナイ、夫故ニ敎科書ナドデハ矢張假名遣ノ正則トシテ之ヲ用キラレタイト云フ、此點ハ陸軍省モ一般ニ其ノ意見デアリマス、第二ハ假名遣ハ發音的ニ改メルト云フコトヲ爲シ得ルモノデアル、政府ハ極ク愼重ニ調査シテ漸ヲ以テ改メラレルガ宜シイ其ノ時ニハ國語ヲ淨メルト云フコトヲ顧慮シテ、徐々ニ直サレタイ、斯ウ云フノデアリマス、ソレカラ次ニ第三ニ此ノ假名遣ヲ直スニ先立ツテ、國語ニモ字音ニモ假名遣ノ未定問題ガアルカラ、サウ云フコトハ學者ノ團體ニデモ命ジテ兎ニ角定メサセテソレヲ公認セラレタイ、斯ウ云フノデアリマス、ソコデ此ノ諮詢案ト云フモノハドウモ未ダ熟シテ居ラヌヤウニ思フ、尙ホ附ケ加ヘテ申シタイ意見ガアリマス、ドウカ政府ニ於テハ純粹ニ發

音ニヨル國語ノ書キ方ト云フコトヲ、一層深ク研究セラレテ、丁度西洋デ發音學者、Phonetik ノ學者ガイロ〳〵研究シテ居ルヤウニ國語ヲ成タケ完全ニ發音的ニ書クト云フ方法ヲ研究セラレタイト斯ウ思フノデアリマス、ドウモ唯今改正案ニナツテ居ル發音的ノ假名ト云フモノハ發音的デナイ所ガアルヤウニ思フ、矢野君デアリマシタカ、斯ウ言ハレマシタ、「カウ」ダノ「コウ」ダノ「カフ」ダノ「コフ」ダノヲ「コウ」ト書ク、ソレヲ矢張發音的ニ「コオ」ト「オ」ノ字ヲ書イタ方ガ宜シイト云フコトヲ言ハレマシタガ、御尤モト思ヒマス、古イ催馬樂ナドニ阿行ノ母音ヲ後ヘ添ヘテ書イタヤウナ例ガアルカト思フ、是レナドハ寧ロ發音的デ書クト云フ側カラハ「コウ」ト書カズニ、阿行ノ「オ」ヲ使ツテ「コオ」ト書イタ方ガ宜シイヤウニ思ヒマス、其ノ外發音ノ必要ナル研究ノ他ノ例ヲ言ヒマスト、外國ノ語ヲ書クトキニ英語デ云フ「アル」ト「エル」ナドハ別々ニ表ハサレナイ、是レナドモ何カ符號ヲ以テ表ハスコトガ必要デアル、サウナレバイトロノ音ヲ別々ニ表スコトガ出來ルト思フ、サウ云フ發音的ニ國語ヲ完全ニ書ク法ヲ十分研究シテ置カレルト云フト、其中カラドレダケノモノヲ採ツテ假名遣ニ入レルト云フトキノ基礎ニナラウト思フ、サウ云フ元帳ヲ作ツテ置イテソレカラ靜ニ改正ヲシタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ申シテ置キタイノハ、小學ナドノ教育ニ新シイ發音假名ヲ教ヘルト云フコトハ是レハ混雜ノ原因トナル、ソレハ教ヘナクテモ宜シイト云フコトデアリマス、是非小學校ノ初メカラ假名遣ハ正シイ假名遣ヲ教ヘルガ好イ、教科書ハ正則ノ假名遣デ書イテヤリタイ、ソコデ子供ニ自身デ何カ書カセル、書カセル段ニナルト云フト或ハ發音的ニ書クカモ知レヌ、其ノ時ニ發音的ニ書イタノヲ誤トシナイ、ソレヲ認メテヤル、コンナ時ノ教員ノ參考ニハ今云ツタヤウナ發音的ノ書キ方ノ調査ガ出來テ居ツタナラバ、ソレヲ使用スルコトガ出來ルダラウ、發音的ニ書イタノヲ、ソレヲ誤ニハ勘定シナイ、斯ウシテ行キマス、サウスルト云フト一向差支ナイ、是レガ本當ノ許容デアル、是レナレバ許容ト云フ詞ハ正當ニ用ヰラレテ居ルノデアリマス、ソコデ目ニ觸レルモノハ悉ク本當ノ假名遣ニナツテ來ル、斯ノ如クニシタナラバ、段々小學校カラ中學校ニ行クニ從ツテ假名遣ヲ覺エルダラウト思ヒマス、大略斯ウ云フ意見デアリマス

○十八番(芳賀矢一君)　チヨット聞漏シマシタカラ御質疑イタシマス、森サンノ御趣意ハ主トシテ文語ニ付テ御述ベデアリマスガ、小學校デ矢張リ口語ヲ教ヘル時ニ昔ノ假名遣ヲ口語ノ方ヘ應用シテヤラウト云フ御考デアリマスカ

○八番(森林太郎君)　サウデアリマス

○一番(子爵曾我祐準君)私ハ森サンノ演說ノ中ニ席ノ工合ガ悪イカ聞落シマシタガ、陸軍デ何ト仰シヤイマシタカ

○八番(森林太郎君)　陸軍デハ正則ノ假名遣ト稱シテ居ルモノヲ一般ニ用ヰタイ、サウシテ教科書類ハ總テソレヲ以テ書イテ貰ヒタイ、斯ウ云フ意見デアリマス

○一番(子爵曾我祐準君)　御一個ノ意見ナルノミナラズ陸軍省モ其意見デアリマスカ

○八番(森林太郎君)　サウデス

○十四番(伊澤修二君)　私ハ少シ細カイ意見ヲ述ベタイト存ジマシテ實ハ少シ調ベマシタモノナドヲ特ニ主事ノ方ニ請ヒマシテ印刷シテ貰ヒマシテ諸君ノ御手許ニ既ニ出テ居リマスデ、ソレ故ニ成ルベクナラバ諸君ノ御覽ニナツタ後ニ致シタイト存ジテ居リマシタノデゴザイマスルガ、併シ今日ハ丁度鎌田君ガ通告ヲ御取消ニナツタト云フコトデモアリ且又段々夏期ノ休業モ迫ツテ參リマシテ隨分委員ノ方ノ中ニモイロ〳〵御差支モ出テ來ルヤウデゴザイマスカラ私ハ今日ハ極ク其大體ニ就キマシテ申述ブルコトニ致シタイト思ヒマス、或ハ他日機會ヲ得マシタナラバ少シク細カイ意見モ申上ゲタイト思ヒマスガ、兎モ角モ今日ハ極ク大體ニ就イテ申上ゲル心得デアリマス、ソレニ就キマシテハ先ヅ第一ニ私ハ誠心誠意ヲ以テ自分ノ愚見ヲ申述ベマシテ文部大臣ニ大イニ御反省ヲ乞ヒタイト思ヒマス、ソレガ爲メニ甚ダ失禮デハゴザイマスガ、此文部大臣ノ先頃吾々ニ御演說下サレマシタ其草稿ヲ根據ト致シマシテソレニ就イテ申述ベマスルデゴザイマス、私ハ元來賤ニ此修辭ノ方ニハ熟セヌ者デゴザイマスカラ或ハドウモ甚ダ御耳觸リノコトモ出來マスカモ知レマセヌガ、併シ直情ニ申述ベマスルカラドウゾ其處ハ何分御寬恕下サレンコトヲ偏ヘニ願ツテ置キマス

此文部大臣ノ御演說ノ先ヅ冒頭デゴザイマス、冒頭ニ「假名遣ノ問題ハ其性質學問上ニ亘リ又何人ノ日用文ニモ直接關係アルヲ以テ之レヲ判斷スルハ隨分面倒ノコトニ屬ス」、斯クムヅカシキ問題ナルガ爲メ當局者ハ廣ク有識ノ方々ノ審査ヲ請フコトヲ切望シタル結果吾々モ出タト斯ウ云フコトガゴザイマスルガ、之レニ依ツテ見マスルト云フト此文部大臣ノ御諮問ト云フモノハ學問上トアリマスルノハ即チ此諮問ハ小學校ヨリ始メテ中學校專門學校大學ニマデ至ルコトハ申スマデモナイコトト思ヒマス、何人モ日用文ニモ直接ニ關係ガアルト申セバ、是レハ無論吾々ノ日々用ヰテ居ル文書ノコト、子供ノ書ク日記帳カラシテソレカラ新聞雜誌ノコトナリ、又ハ法律命令ノコトナリ勅語勅令ノコトナリ總テヲ是レハ含ンデ居ルモノト、斯ウ云フコトニ吾々ハ見ルヨリ外ハナイト思ヒマス、然カシテ見マスレバ是レハ實ニムヅカシイ問題デゴザイマス、實ニムヅカシイ問題デアル、ソレデ吾々ハ之レヲ審査ス

ル責ニ當ツテ居ル譯デゴザイマス、若シ此審査ガ誤リマシタナラバ文部大臣ト責ヲ共ニセニヤナラヌコトニナラウト存ジマス、ソレ故ニナカ〳〵是レハ容易ニ自分等ノ誠ニ淺薄ナル智識トサウシテ僅カナル經驗トヲ以テ之レニ御答ヘスルコトハ文部大臣ガ困難ダト仰シャルヨリハ一層困難ヲ感ジマスノデゴザイマス、ガ併シ之レヲ又後ノ方ヲ讀ンデ見マスルト云フト、ドウモサウ云フヤウデヤナイラシイヤウニ見エマス、唯其小學校ノ教授ダケノコトデアツテ、ソレカラ殊ニ此教科書ノ編纂ト云フコトガ迫ツテ居ルカラト云フヤウニ後ノ方デハ見エテ居リマス、前後ドウモ私ハ是レハ貫徹シテ居ラヌト思ヒマス、ソレデ此事ニ就キマシテハ先頃來隨分イロ〳〵御質問モゴザイマシタ、御質問ガアルニ拘ラズマダ其御答ヘニナラヌコトモアリマスルシ若シ吾々ガ御答スルノハホンノ文部大臣ノ御參考マデニ今此處デ述ベルノデアツテ、ソレカラ是レハ例ヘバ勅令ヲ以テ公布セラルルト云フヤウナコトデアリマスレバ尚ホ是レハ内閣ニモ出マシテ御評議ニナツタ上其上樞密院ニモ御諮問ニナツテ出ルモノデゴザイマセウカラサウ云フコトナラ餘程吾々ノ責ハ輕イト申シテモ宜シイト思ヒマス、トコロガ若シサウデナクシテ吾々ガ若シ是レガ最終ノ審判者デアルトシタナラバ是レハ實ニ由々シキ大事デゴザイマシテ私共ハ迚モ此責ニハ任セラレマイト存ジマス、併シ此事ニ就イテハ不日文部大臣カラシテ御答ガアルト云フコトヲ承ツテ居リマスカラ何レ其時ニ判明スルコトデハゴザイマセウト思ヒマスカラ誠ニ遺憾ナガラ此御諮問ノ御趣意ト云フモノハ前後徹底シテ居ラヌト斯ウ私ハ第一ニ認メテ居リマス、ソコデ其次ニ參リマスト云フト原案ヲ御配付ニナツテ關係ノ書類モ御渡シニナリマシテ居ルカラシテ篤ト見ロト云フ斯ウ云フコトデゴザイマシタカラ、私ハ總テ見マシテゴザイマス、總テ見マシタ所ガデス、參考トシテ出サレタ所ノ書類ト云フモノハ失禮ナガラ誠ニ粗雜デ殆ド信ズルニ足ラヌト存ジマス、ソレハ一々此處ニ私ハ自分ガ調ベタモノモゴザイマスカラシテ此處デ申述ベテモ宜シウゴザイマスルケレドモ、ソレモ餘リニ錯雜致シマスカラ、其一斑ハ私ガ今度調査致シマシテ諸君ニ御覽ヲ願ツテアリマスル紫朋ヲ御覽下サレマシタナラバ先ヅ御分リニナラウト存ジマス、ソレ故ニ唯今ハ私ハ諄々シクハ申上ゲマセヌ、何故斯ウ云フコトデアルカ、私ハドウモ甚ダ了解ニ苦シム、素ヨリ當局ノ御方ガ骨ヲ折ツテサウシテ親切ニ拵ヘラレタ原案デアツタナラバ斯ノ如キコトハドウモ無サウナモノデアルト思フ、例ヘバ此字音表ノ如キモノヲ以テ見マシテモ或ル人ノ言フノニハ是レハ唯棒引假名ノ棒ヲ廢メテソレヘ持ツテ往ツテ「ウ」ノ字ヲ加ヘテ出シタモノデアルト斯ウ云フコトヲ言フ人ガアリマス、或ハドウモサウ

カモ知レヌ、私ハ先ノ棒引假名ト一々較ベテ見マセヌカラソレハ確トハ存ジマセヌケレドモ、或ハサウデアルカモ知レマセヌ、サウデアラウカト云フノハ例ヘベ此字音ノ表ノ中ニモ字音ニナイモノガ澤山這入ツテ居リマス、「ミョウ」ト書イタ「ミョウ」ト云フモノハ一字モアリマセヌ、字音ノ「ミョウ」ト書イテアル「ミョウ」ト云フ字ハ一字モナイ、ソレニモ拘ラズ今度ノ所謂許容ト云ウテ新定セラルル所ノ假名ニハ「ミョウ」ト云フモノヲ標準トシテアル、許容ドコロデハナイ、全ク無イモノヲ拵ヘタノデアリマス、サウ云フ類ヲ數ヘマスルト云フト少ナカラヌ數ガアリマス、ソレデ先ノ棒引假名ニハ成程「ミョ」ト書イテ棒ガ引イテアツテ今度ノニハ「ミョ」ト書イテ「ウ」ノ字ガ書イテアル、ダカラシテ是ハ唯棒引假名ガ世間デ隨分非難ガ多クテ面倒デアルカラシテ兎モ角モ棒ヲ引イタダケ取ツテシマッテ「ウ」ノ字ニシタラ治マルダラウ位ナ御考デヒヨツト出來タノデハナイカト思フ、是レハ餘リニ失禮カハ知リマセヌガ私ハ直情ヲ申セバ隨分サウ思ヘルト存ジマス、サウ云フコトデ誠ニ此關係書類ト云フモノヲ折角御下付ニハナリマシタケレドモ殆ド信用ガ私ニハ出來ラレマセヌノデス、サウシテ次ニハ「是ニ於テ本官ハ何故ニ假名遣問題ガ起ツタカ开ガ解決ニ迫ツタ事情ト云フコトヲ申ス」ト仰シャッタノデソレカラ「假名遣問題ノ發生シタノハ明治維新ノ結果トシテ百般ノ制度文物ガ革新シタル際教育法モ大イニ變更セラレタ時ニ胚胎シタルモノト存ズル」、斯ウ書イテゴザイマス、是レハドウモ誠ニ遺憾ナガラ極ク御詮議ノ屆カヌコトデアルト存ジマス、ソレデ假名遣問題ハト云フカラシテ或ハ廣ク假名遣問題ヲ御指シニナツタト云フコトナラバソレハ聞エマス——ソレハ聞エマスケレドモ今日所謂假名遣問題、吾々ガ即チ呼出サレテサウシテ調査シテ居ル所ノ御諮問ニナツテ居ル假名遣ト云フモノハサウデハナイノデアリマス、其事ヲ私ハ少シク申述ベテ置カウト思フ、既ニ此森八番委員ナドカラシテ先刻モ詳シク御話ノゴザリマシタ通リ明治維新ノ時ニハ是レハ復古ノ國勢トシテ所謂王政復古ノ時代デアツテ、サウシテ復古ノ假名ト云フモノガ彼ノ時ニ先ヅ確立セラレタト言ツテ宜イヤウナ有樣デアツタ、ソレデ此時代ニ出來マシタ所ノ文部省デ出來タモノヲ見マシテモ又教育ノ上ニ施シテ往ッタ所ノ跡ヲ見マシテモ總テ所謂正則假名ト云フモノデ、來テ居リマシタノデアリマス、決シテ彼ノ時代ニ於テ今日申スガ如キ一種ノ變ナ假名遣ナドヲ主張シタ者ハナイ、舊幕ノ時代ニハ成程「ケウ」ト書イテ「キャウ」ト讀マセルトカ「セウ」ト書イテ「シャウ」ト讀マセルトカ草双紙ニ書イタヤウナ亂雜ナ假名遣ハアリマシタケレドモサウ云フモノハ總テ一新シテサウシテ明治ノ所謂

革新復古ノ時ニハ立派ニ正シイ假名ニナッタノデアリマス、ソレカラ然ル後ニデス、先ヅ明治十二年頃マデハ其方針デ來タ、所ガ明治十五六年カ十七八年頃ニ至ッテ所謂假名遣問題ガ起ッテ、一方ニハ假名ノ會デハ月ノ會ガ出來、雪ノ會ガ出來ルナドト云フノデ大槻文彦君ノ如キハ隨分假名ノ會ノ錚々タル人デアッタ、頻リニ此假名ヲ保存セラレタ一人デアッタノデアリマス、私共ハ却ッテ羅馬字會ナドニ加入シテ居ッタ位ナコトデアッタノデアリマス、兎モ角モ假名ノ運動ノ起ッタノハ明治十七八年頃デアッテサウシテ一方ニハ私共ハ隨分國語ト云フモノハ何時マデモ停滯シテ居ルト云フト腐敗スルカラ先刻ノ森サンノ御話ノ如ク矢張新規ノ元素ヲ入レネバ往ケヌト云フコトデ其方ヲ奬勵シタノデアリマス、隣席ニ居ラルル上田君ナドハ能ク其事情ハ知ッテ居ラレル、ソレデ上田君ナドガ西洋ニモ行カレ、ソレカラ今ノ假名ノ會ノ影響トシテ一時ハサウ云フ論モ起ッタケレドモ亦モウマルデ其羅馬字會モ消滅スル、ソレカラ假名ノ會モ消滅シテシマッタ、其內ニ所謂西洋高橋健三君ガ內閣ノ官報局長ヲシテ居ラレタ時ニ假名遣法ト云フモノヲ出サレテアル、ソレニ依ッテ今日ノ速記法ニ用キル口語ト云フモノガ書カレテ居ル、サウ云フコトハ御承知ガナクテハナラヌ、此方ノ專門ノ方ハ——ケレドモ此間ノ三宅君ノ御質問ニ對シテハマルデ何ンニモナイト云フヤウニ私ハ言葉ハ發音ノ通リニ出來ナクテハ往ケヌノト云フヤウナ極端論ヲ始メタノデアリマス、ソレガ即チ今日ノ吾々ニ此處ヱ御授ケニナッタ所ノ假名問題ノ起リデアリマス、決シテ其明治ノ改革ト共ニ——革新ト共ニ起ッテ來タナドト云フ問題デハナイノデアリマス、明治ノ革新ノ時ニ何故ニ此正則ノ假名ガ行ハレルニ到ッタカト云ヘバ無論王政復古デ契沖初メ復古說ヲ唱ヘテサウシテソレガ大イニ勢力ヲ有ッテ獨リ言葉ノ上デハナク總テノ政治上ニ復古ノ勢力ガ加ハッタ結果トシテ其時代ニ此假名ト云フモノハ確定セラレテ決シテ何處ニモ何モ無イト云フヤウナコトハ唯暴論ト言ハザルヲ得ナイ、實ニ暴論ニハ、驚キ入ルデス、ソレデ其後ニ至ッテモ矢張リ明治ニ定メタ所ノ假名ト云フモノガチヤント傳ッテ居ル、今日或ル一派ノ學者達ヲ除ク外ハ皆用キテ居ル、何處デモ例ヘバ議會ニ於ケル所ノ所謂口語ト云フベキモノハ先ヅ議會ノ速記ト言ハナクテハナラヌ、議會ノ速記ハ何ニ依ッテ書クカト云フト是レハ明治二十二三年頃ト思ヒマス、——明治二十一二年カ

仰シッタヤウニ聽イタガ、或ハ私ノ聽誤リデアッタカ知ラヌガサウ云フモノガチヤントアルデス、ソレカラシテ今日ノ法律命令ナドヲ書クノハ皆是レハ其極ッタ假名遣ガアリマス、尤モ新シク定ッタ所ノモノハ昨年ノ秋頃デゴザイマセウカ、昨年ノ夏頃カ秋頃デゴザイマシテ即チ貴衆兩院ノ事務局トソレカラ法制局トノ合議ニ依リマシテ一ツノ假名遣即チ送リ假名竝ニ其他ノ方法ヲ協定シタモノガチヤント出來テ居リマス、吾々ガ今日法律勅令トシテ遵奉シテ居ル所ノモノハチヤントサウ云フ根據ガアルモノデアル、是等ヲ而モマルデ、何ンユモナイト仰シャッタナラバ何デゴザイマセウカ、殆ド日本ノ國ニ居ル方デハナイト思フノデス、斯ノ如キコトハ事實デアリマスカラ私ハ申上ゲマス——事實デアリマス、若シ御疑ヒガアリマスナラバ御取調ベュナッテ御覽ニナッタナラバ分ル話デアリマス、ソレデサウ云フ譯デ出來タノデアリマス、抑モ此假名遣問題トカ或ハ國語問題トカ云フモノハ一國ノ革新トカ革命トカ云フ時ニコソ行ハレベキモノデアッテ平時ニ於テ或學者ガコッ〳〵何カ言ッタトカ誠ニ根據ノナイヤウナコトヲ饒舌ッタトカ云フコトデナカ〳〵行ハレルモノデヤナイ、其證據ハデス、——其證據ハ即チ此御配付下スッタ此獨逸正字法改良ノ事、之レヲ一覽スルト分リマス、是レハドウシテ一體此獨逸ノ正字法改良ハ行ハレタカト云ヘバ是レハ私ヨリモモウ諸君ガ專門デ能ク御承知ノコトデゴザイマセウケレドモ、千八百七十一年ニ獨逸帝國ノ即チ獨逸聯邦ヲ統一シテ獨逸帝國ガ建テラレタ其獨逸帝國ノ統一ノ策トシテ第一ニ言葉ヲ統一セニヤナラヌ、ト云フコトカラシテ初メハ北獨逸ダケデアッタモノガ段々南獨逸ニモ及ビ遂ニハ獨逸各聯邦ヲ統一シテ行クガ爲ニ斯ノ如キモノガ出來タノデアリマス、獨逸デアルトエライコトノヤウニ思ウテ、斯ウ云フモノマデ下サレル、誠ニ有難イガ、日本ノコトハドウデスカ、日本ノ明治維新ノコトハ御承知ガナイノデスカ、ドウデスカ、明治維新ノ仕事ハ即チソレト同ジコトデアル、些トモ異ッタコトデハナイ、明治維新ノ時ニ既ニ日本ハ出來テ居ルノデアル、ソレヲ殊更ニ打壞サウト云フノハ何事デゴザイマセウカ、實ニ驚キ入ッタル話ト言ハザルヲ得ヌノデアリマス、是レダカラシテ此獨逸語ハ即チ斯ノ如キ結果ヲ有ッタ、併シ此ヅーデントカ云フ人ノ辭書ガドノ位ニ行ハレテ居ルカト云フコトハ私ハ信ジ得ルコトガ出來マセヌ、實地ヲ知リマセヌカラ、併シ此處ニ立派ナ先生方ガ御出シニナッタカラシテ、是レハ信ズルニ足ルモノダラウト思ヒマス、信ズベキ價値ノアルモノダラウト思フ、ケレドモ、亞米利加ハドウデス、亞米利加ノ例ヲ見ルト亞米利加ハ大統領ガ行政上ノ力ヲ以テサウシテ此所謂改良假名ト云フモノヲ實行シヤウトシタ、所ガ第一ニ反對ヲ

受ケタノハ司法部カラ反對ヲ受ケタ、ソレカラ第二ニハ立法部ノ反對デ到頭大統領ローズベルトノ力ヲ以テシテモ行フコトガ出來ズニシマッタノデス、ソレデ更ニ玆ニ殊ニ注意スベキコトハ大統領ノ力ヲ以テカラニ行ウタニ拘ハラズ教育者ハ皆改良假名ニハ反對デアル、即チ此書イタモノヲ御覽ニナリマシテモ紐育竝ニボストン當リノ教育局ハ反對ヲシテ居ル、日本ノハドウデゴザイマセウカ、教育者ガ初メソウ云フコトヲ言ヒ立ッテ、教育者ノ論トソレカラ語學ノ先生ノ論トデ今度ノ假名ガ出來タト云フ御話デアル、教育者ト云フモノハ——國家ノ教育ト云フモノハ今日現在ノ國家ノ必要ニ應ジテ其國家ニ必要ナル人間ヲ拵ヘヨウト云フノガ國民教育ノ本旨デアリマス、然ルニ棒引假名ヲ教ヘタリ或ハ斯ンナ一種ノ妙ナ假名ヲ拵ヘタリ、——拵ヘタノデハナイノデセウ、今度ノ假名ハ拵ヘタトモ言ヘマセウケレドモマア假リニ斯ウ云フモノニ極メタイ……シマシタナラバ今日ノ國民ノ必要ニハ應ズルモノデハナイト云フコトニナラウト思ヒマス、ダカラ若シ日本ノ教育者ガ斯ウ云フコトヲ主張シタトスレバ實ニ不忠實ナル教育者ト言ハザルヲ得ヌト思フ、併シ此點ニ就イテハ芳賀君ガ此間縷ニ感服ナコトヲ仰シャッタニ、ソレハ教育者ガムヅカシイトカ或ハ誰ガムヅカシクテモ必要ナモノナラ教ヘルガ宜イ、ケレドモ不必要ダ、此點ニ至ッテハ芳賀君ガ間違ッテ居ル、決シテ不必要デハナイ、今日吾々ガ支配セラレテ居ル所ノ國語デアル、國語ノ假名遣デアリマス、最モ必要ナモノデアル、ダカラシテ若シ教育者ガサウ云フコトヲ言ッタナラバソレハ教育者ノ心得違ヒデアル此棒引假名ニナッテカラ教育者モ生徒モ大變ニ喜ンダト云フコトガ後ノ方ニ見エマスケレドモ教育者ハ喜ンダラウト思ヒマス、或ル教育者ハ今マデノヤウナ面倒ナ事柄ガナクシテ唯棒ヲ引ッ張ッタナラバソレデ往ケルカラ誠ニ樂ナ話デアル、教育者ハ喜ンダラウト思ヒマス、ケレドモ決シテ生徒ハ喜ビハシマセヌ、生徒ガ卒業シテ出タ後ニ、新聞一枚碌々讀メナイコトニナッテシマウノデ誰ガ喜ビマセウカ、中學校ヘ往ケバ中學校デムヅカシイ假名ヲ教ヘラレナケレバナラヌ、小學校デ棒ヲ引ッ張ッタ假名ハ樂デアッタラウケレドモ中學校ヘ行ッタナラバ直キ困難ニナル、誰ガ喜ブ者ガアリマセウ、ダカラ決シテ此處ニ書イテアリマスルコトハ誠ニ私ハ遺憾ナガラドウモ甚ダ信ズルコトノ出來ナイ場合ガ隨分少ナクアリマセヌ、ソレデ此終リニアリマスル所ノ明治三十三年ノ小學校令施行規則改正ノコトカラシテ後ノ高等教育會議ニ諮ハレタコトナドハ是レハ先頃私ガ二三年前ニ演說シタモノヲ印刷シタノデアリマシタノデソレハ諸君ノ御手許ニ廻ッテ居リマスカラシテソレデ御承知下サルコトデアラウト思ヒマスカラ今ハ

述ベマセヌ、ソコデ一番終ヒニ昨四十年三月貴族院ヨリ假名遣改正ニ關シ建議スルトコロガアッタト云フソレヲ先ヅ斟酌シテサウシテ先ヅソレトハ遠カラナイ原案デアルト斯ウ云フコトニ書イテゴザイマスガ隨分遠ウゴザイマス、決シテ遠クナイコトハナイ、ソレダケノコトハ事實デゴザイマスカラ私ハ此處デ申述ベテ置クノデアリマス、ソコデ此字音假名遣ヲ改正シタ結果國語假名遣モ之レニ倣フ實況ヲ生ジテ來タ、其事ハ先頃來參考ノ爲ニ下スッタ書物ナドニモ其事ガ出テ居リマスガ、全ク此字音假名遣ヲ變ヘタ其結果ト云フモノハ國語界ヲ亂シタト云フ外ハゴザイマセヌ、全ク亂シタノデアリマス、數年前ノ中學校ノ生徒デアッタナラバアンナ間違ヒハシマセヌ、文部省ハ斯ノ如キ擧動ヲシテソレカラシテ假名遣ナドト云フモノハ尊重スベキモノデハナイト云フコトヲ示シタガ爲メニ中學ノ生徒ヤ何カハ斯ンナ馬鹿氣タムヅカシイモノハ廢メテシマッタガ宜イト言フヤウナコトデ皆是レハ滅茶々々ノ事ヲ書クヤウニナッテ來タノデス、誰ガ之レヲ亂シタノデアルカト云ヘバ文部省自ラガ御亂シニナッタノデアリマス、明治三十三年棒引假名ヲ御出シニナッタ爲メニ斯ノ如ク亂レテ來タノデアリマス、先頃ノ參考書ト云フモノハ文部省ノ明治三十三年ノ棒引ノ假名ガドレ程ノ害ヲ國語界ニ與ヘタカト云フコトヲ御示シニナッタニ過ギナイ、斯ウ云フコトニ私ハ認メテ居リマス、而シテ一番後ニアリマス、許容——此許容ト云フコトニ就キマシテハ先頃來度々質問モゴザイマシテマダ實ハ其質問モシッカリ極ッテハ居リマセヌ、マア何レ此事ニ就イテハ尚ホ此發布ノ形式ヲ御示ニナルト共ニ御說明モアラウト思ヒマスカラ今日ハ是レハ私ハ述ベマセヌ、ソレデ「今度ノ許容ト云フノハ而シテ原案ノ新假名遣ハ簡單デアリマシテ世間デ通常人ノ用キル所ト甚ダ近イモノト信ジマス、尤故之レヲ學ブニハ別ニ骨ノ折レルコトハナイト存ジマス、尤モ假名遣ト發音トヲ成ベク一致セシムル大體ノ精神ニ至リテ前ノ國語調査會ノ案ト其趣旨相悖ルコトハアリマセヌト思ヒマス」斯ウ云フコトデアリマスガ國語新假名遣ハ世間ノ人ノ普通、用キテ居ルモノトハ遠ウゴザイマス、決シテ近クハナイノデゴザイマス、例ヘバ新聞デ申シテ見マスルト今日最モ廣ク行ハレテ居ル最モ勢力ノアル新聞ハ即チ正則ノ假名ニ依ッテ居ル、先ヅ報知新聞ハ殆ド一字モ誤ラヌ位ニ正則ノ假名ヲ以テヤッテ居ル、萬朝報モ殆ド誤ラヌ程ニヤッテ居ル、其他ノ新聞ハ多少誤リハゴザイマセウケレドモ要スルニ先ヅ正則假名ニ依ッテヤッテ居ル其上ノ誤リト認ムベキモノト思フ、唯此處ニ一ッ不思議ナノハ時事新報ガ昨年カラ俄ニ「ウ」字假名ヲ使フ、棒引假名ニ代ヘルニ「ウ」字假名ヲ使フ近來ニ至ッテ「ウ」字假名ニ改正シタノガ毎日新聞是レガ「ウ」字假名ヲ使

ルデハゴザイマセヌガ一々ソノ度ニ反駁スルトカ辯護スルコトニナッテ參レバ果テシガ無イコトニ隨分ナリ兼ネナイノデアリマス、ソレデ當前ノ議事規則デハサウ云フコトハ一般ニ許シテ居リマセヌ、併シ諸君ニ於テサウ云フコトモ此會デハ許スト云フコトニナレバ許シマスガ當前ノ議事規則ニ據ッテ行クバソレハ議長トシテハ差止メナケレバナリマセヌ

○二十二番(大槻文彦君)　私ガ說ヲ變ジタヤウニ御話ガアリマシタガ決シテサウデアリマセヌ

○一番(子爵曾我祐準君)　如何デゴザイマス、ソレモ程度問題デゴザイマセウガ、至當ナ辯解ヲサレルコトハ御許シニナッタ方ガ便利デヤゴザイマセヌカ

〔「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○委員長(男爵菊池大麓君)　許シテ差支ナイト云フノデゴザイマスカ

〔「異議アリマセヌ」ト呼ブ者アリ〕

○委員長(男爵菊池大麓君)　ソレヂャ宜シウゴザイマス

○二十二番(大槻文彦君)　「かなの會」ニ月ノ部雪ノ部ト云フガアリマシタ、月ノ部デハ古イ假名ヲ使フ、雪ノ部デハ發音的假名ヲ使フト云フコトニナッテ、私ハ月ノ部ニ居リマシタガ併シ自分ノ說ハ必ズシモ古イ假名遣ヲ用キルト云フノデハアリマセヌガ其部ニ居リマス人ノ約束ニ從ッテ居リマシタ、ソレガ爲ニ部中ノ人カラ憎マレタコトモアリマス、是ハ其頃ノ「かなの會」ノ人ニ御聽キニナッテモ分リマス、尤モ大抵死マシテ今殘ッテ居ル者ハ無イ、雪ノ部ノ人ニ御聽キニナレバ分リマス、決シテ說ヲ二三ニスルデハゴザイマセヌチヨット辯明イタシマス

○十四番(伊澤修二君)　能ク分リマシタ

○委員長(男爵菊池大麓君)　モウ是デ通告順ハ終リマシテドナタデモ發言ナスッテ宜シイデゴザイマスガ、然ルニ時刻ハモウ既ニ四時半近クナッテ居ルカラ長イ御演說ナラバ此次ノ方ガ宜カラウト思ヒマス僅カ十分カ十五分位ナラバ唯今デモ宜カラウト思ヒマス……ソレデハ短イノハ無イモノト認メマシテ今日ハ是デ散會イタシマス

午後四時三十分散會

十三年ニモ此事ハヤッテハ居リマセヌ、全ク ノ初メテデゴザイマス、ソレデアリマスカラナカ〳〵輕々ニ私ハ御答ハ出來ナイト思ヒマス、ソレ故ニ私ハドウゾ文部大臣ニ於カレマシテモ能ク一ッ御熟考ヲ下サレマシテサウシテ此原案ノ儘デハ私共ハ到底是レハ贊成スルコトガ出來ヌト思ヒマス、ソレデスカラシテ若シ適切ナル御考案ガ立チマシタナラバ是レハ卒知ラズ唯今申上ゲマシタ通リノ次第デ遺憾ナガラ私共ハ是ニハ贊成スルコトガ出來ヌノデゴザイマスカラドウゾ大イニ御反省下サレンコトヲ偏ヘニ希望致シマス

○十八番(芳賀矢一君)　明治二十三年頃高橋健三君ガ拵ヘタ假名遣法ガ有ルト云フコトヲ仰シヤイマシタ、私ハ不幸ニシテ未ダ知リマセヌ、送假名法ト云フコトハ知ッテ居リマスガ假名遣法ト云フモノガアルコトハ知リマセヌ、送假名法ト假名遣トハ別ダラウト思ヒマス、送假名ガアルコトハ知ッテ居リマス、送假名丈ケノ問題トハ全ク違ヒマス

○十四番(伊澤修二君)　送假名ノ方デゴザイマシタ、全ク送假名法ノコトデアリマス

○二十二番(大槻文彦君)　チヨット先刻伊澤サンノ御話中ニ「かなの會」ノコトガゴザイマシタガ、「かなの會」ガ起リマシタ時ニ月ノ部雪ノ部ト云フモノガゴザイマシテ……

○委員長(男爵菊池大麓君)　大槻君此議事規則ヲ敢テ勵行ス

臨時假名遣調査委員會 議事速記錄 (第五回)

明治四十一年七月三日(金曜日)午後二時十分開議

○委員長(男爵菊池大麓君) ソレデハ唯今ヨリ會ヲ開キマス

○二十二番(大槻文彦君) 前回ノ質問ヲ——チヨット短イ質問ヲ致シタイト存ジマスガ……

○委員長(男爵菊池大麓君) 宜シウゴザイマス

○二十二番(大槻文彦君) 此前ノ文部省ノ高等教育會議ニ假名遣ノ改正案ガ出マシタ、其折委員ニ參列ニナリマシタ陸軍中央幼年學校長ノ野口坤之君、是レガ改正案ニ御賛成ニナツタト承ツテ居リマス、然ルニ此前ノ森君ノ御話ノ中ニ假名遣ハ改正シナイト云フノガ陸軍一般ノ望デアルト云フコトヲ伺ヒマシタガ、右ハ如何心得テ宜シウゴザイマセウカ、チヨツト御質問申上ゲマス

○八番(森林太郎君) 前回ニモ申シマスル通リ個人トシテ此方ヘ列シテ居ルノデアリマシテ代表者デナイノデアリマス、併ナガラ陸軍省ノ目下ノ意見、陸軍省ト申シマシテモ別ニ省議ヲ開イタ譯デハナイノデス、陸軍大臣ノ御意見ハ前回ニ申シタ通リデアリマス

○一番(子爵曾我祐準君) 嘗テ岡野君カラ御質問ニナリマシタ本案ノ發表形式ノコトデアリマス、私ハ本案ニ就イテ意見ヲ發表シマス前ニ此御答ヲ得タイノデス、ドウカ今日ハ……

○文部大臣(男爵牧野伸顯君) 御答致シマス、本官ノ見込デハ此案ヲ發表スル形式ハ勅令ノ方法ヲ以テ發表シタイト云フ見込デアリマス

○一番(子爵曾我祐準君) 今ノ御答ニ就イテ更ニ伺ヒマス、文部大臣ノ御考ハト申シマスルトソレハ勿論內閣ニ御相談爲サツタコトデ上裁ヲ經タモノデハアリマスマイガ、內閣ニ依ツテノ御相談ノ結果デアリマセウカ、其邊ヲ御伺ヒ致シマス

○文部大臣(男爵牧野伸顯君) 本官ノ見込ト申上ゲテ置キマシタ、サウ云フコトニ御承知ヲ願ヒマス

○一番(子爵曾我祐準君) 是レハハツキリシタ御答ヲ取ル必要ガアルノデス、ソレハ此緒言ニ「許可」ト云フ字ガアリマスガ、先達中ノ許可ノ意味デハナク許可ノ權能ガソレデ分ルノデアリマス、若シモ是レガ省令ニナレバ其許可ハ文部大臣ガ許可ノシテアル、若シモ是レガ勅令ナラバ文部大臣ハ許可サレル人デアル、ソレデ吾々ガ之ニ就イテ賛成スルニ就イテ

モ此案ヲ議スルニ就イテモ大變ナ關係ヲ有ツノデアル、許可ノシテト許可サレテトノ違ニナルノデアリマス、ソレデ私ハ之ヲ明確ナル御答ヲ得タイト云フコトハ嘗テ岡野君ノ御質問ノ出タトキ直チニ申シテ置イタ心得デアリマス、必ズ御記憶ニモアラウト思ヒマス、是レガゴザイマセヌト議論ヲスルニ餘程困ルノデアリマスカラ御考ト云ヘバモウ間違ハナイコト心得ハ致シマセウガ、此許可ト云フ字ハ先達カラノ許可ノ意味デハナクシテ許可ノ權能ニ就イテ大イニ關係スルカラ強ヒテ之ヲ伺ツタ次第デアルノデス、ドウカ間違ハナイコトト心得テ居リマス、ソレデ宜イデアリマセウト思ヒマスケレドモ尚ホ伺ツテ置キマス

○文部大臣(男爵牧野伸顯君)　此問題ニ付イテハ前々回ニ一二ノ委員諸君カラ御尋モアツタコトデ、勿論御參考ニナル必要ナコトト考ヘテ時日モ經過致シマシタ今日、私ガ此席デ申スノデアリマスカラ、輕々ニ申上ゲル話デハナイノデ、ドウゾ然ルベク御承知ヲ願ヒマス

○一番(子爵曾我祐準君)　意見ヲ述ベマス、本會モ次第ニ捗リマシテ最早採決ノ時期ニモ近付キマシタト思ヒマスニ依ツテ、私モ一言意見ヲ陳述致シテ置キマス、私ハ元來原案ニハ反對者ノ一人デアリマス、開會以來諸博士先生方ノ熱心ナル贊成ノ御論モアリマシタガ、寧ロ原案ヨリモ尚ホ大イナル改正ヲ希望シテハ御出デデハナイカト察セラルル程ノ贊成ノ諸君ノ御議論御演說、又該博ニシテ正確ナル御議論モ一々拜聽致シマシタガ、遺憾ナガラ未ダ私ハ自說ヲ變ジテ本案ニ贊成スルマデニハ參リマセヌノデアリマス、反對論者トシテハ前回ニ於テ又其前回ニ於テモ段々ゴザイマシタガ、殊ニ前回ノ森博士ノ御議論ハ最モ穩當ニシテ詳細ニ御說明ニナリマシテ深ク私共ノ贊成スルトコロデアリマス、勿論森博士ノ御說キニナリマシタ所ハ私共ガ言ハント欲スル所以上ヲ御言ヒ盡シニナリ、又私共ガ言ヒ能ハザル所マデモ說盡サレタ次第デアリマスカラ、私ハ之ニ蛇足ヲ加ヘルノ愚ヲ學ブデハアリマセヌ唯一言森博士ノ御議論ニハ大贊成デアルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、更ニ進ンデ申上ゲマスノハ唯今文部大臣ノ御答辯ニ依リマスト本案ガ若シ決シマスレバ勅令デ出ルト云フコトデアリマスガ、是ハ最モ喜ブトコロデアリマス、若シモ是レガ省令デ出ルト云フコトナラバ私ハソレニ就イテ大イニ不同意ノ意見ヲ述ブル積リデアリマシタ、縱令臨時ノ此會ヲ通過シ或ハ又國語調査會ヲ通過致シマシテ文部省ノ手ヲ離レテヨリ更ニ內閣ニ行キマシテ樞密院ノ議モ經ルコトデアラウト考ヘマス、サウシテ上裁ヲ請ハレテ發表ニナルコトト思ヒマスカラ吾々ノ責任モ輕クナル譯デアリ又事實ニ於テ樞密院マデ行ク日ニナリマシタナラバ少シ率然デハアリマスガ

此案ハ潰レルト云フコトヲ固ク考ヘルノデアリマスカラ御蔭デ吾々ノ素志ハソレデ達スルカト實ハ一面ニ考ヘルノデアリマス、元來本案ノ來歷ト云フモノヲ考ヘテ見マスト餘程私ハ奇態ナモノト考ヘルノデアリマス、ソレハ嘗テ御配付ヲ戴キマシタ書類ニ就イテ見マシテモ餘程奇妙ナ來歷ノヤウニ考ヘマス、文部省ハ非常ナル大英斷ヲ以テ非常ナル大改革ヲ加ヘラレタカノ如ク見エマス、殆ド國語ノ大革命ヲ企テラレタヤウニ見エルノデアリマス、或人ハ之ヲ大破壞トモ申シマシタ、然ルニ世間ノ物議ノ爲ニ再三改案ニナリマシテ其結果吾々ノ手ニ今日附セラレタトコロノ案ハ殆ド素志ヲ拋タレタデハナイカト思フノデアリマス、夫故ニ初メ大改革ヲ企テラレタ人方ノ爲ニハ定メテ反對ノ方ヨリモ大イナル御不平デアラウト思ヒマス、私共ガ反對スル方面デナクシテ尚ホ是レデハ少ナイト云フ方デ不平ノ議論ガ澤山出ヨウト思ウテ居リマス、縱シヤ出ヌニシテモ心ノ中ニハ必ズアラウト思ヒマス、夫故ユ唯今ノ案ハ天ニモ付カズ地ニモ付カズト云フヤウナ案ニナツタデハナイカト私ハ思フノデアリマス、若シ又何カ事情トカ行掛リト云フモノガアツテドウナリトモ形式ダケデモ宜イ、此案ヲ通サナケレバナラヌト云フガ如キ調子デ斯ノ如キ重大ナル問題ガ出ルヤウナコトニナリマシタナラバ——ナリマス筈ハナイト思ヒマスガ、萬々一サウ云フ風ナコトデ斯ウ云フ重大ナ案ガ出ルコトトナレバ實ニ恐ルベキコトデ忌ムベキコトデ私ハソレハ信ゼナイトコロノ一人デハアリマスガ、萬一サウ云フコトガアツタナラバ容易ナラヌコトダト唯杞憂ヲ有ツノデアリマス、本案ノ質問ニ就キマシテハ答辯ガ常ニ曖昧デアリマシテ一向要領ヲ得ナイノハ諸君モ御承知ノ通リデアリマス、是レハ決シテ答辯者ノ罪デナイ案其モノノ私ハ罪ト判定致シマス、何故ト云フニ緖言第一項ノ如キハ文面ニハ明カニ舊式ヲ本體トシテ新假名ヲ許容スルト明カニ書イテアル、是レハ誰ガ讀ンデモ緖言第一項ハサウシカ見エマセヌ、然ルニ實際ハ全ク正反對デ、之ヲ正反對ニ施行スルト斯樣ニ文部省ハ言ハレル何故ニ文部省ハ斯ノ如キ曖昧タル手段ヲ取ラルル必要ガアルカ、是レハ甚ダ疑フノデアリマス、是レハ自ラ欺キ人ヲ欺クガ如キ手段ヲ取ラナケレバナラヌノハドウ云フコトデアルカ斯ノ如キ所ヨリ考ヘマスト前ニ申シタル行掛リトカ事情トカノ爲ニ無理遣ニ此案ヲ形式ニテモ通サウト云フ御考カ、又或ハ書イタモノハ斯樣ニ書イテ置イテ事實ハソレヨリ違ツタ如キコトヲスルコトハ是レハ自ラ欺キ人ヲ欺ムクモノナリト評シテモ或ハ御迷惑ハナサルマイカト存ズルノデアリマス、本案ノ根源ハ何ダト云ヘバ生徒ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトデアリマシタ、初發ハ卒知ラズ今日デハ生徒ノ負擔ヲ輕減スルコトニナツテ居ル、其精神ニ於テハ誰モ異

議ハゴザイマスマイ、併シ其方法ニ至ッテハ甚ダ失當デアラウト思フノデアリマス、本案ニ依リマスルト、即チ説明ニ依リマスト生徒ニ新舊二樣ノ假名遣ヲ併用サスルト云フコトニナルノデアリマス、何年カノ後デアリマスカ小學校ノ第一年デハアリマセヌガ、何年カノ後ハ新舊兩樣ヲ併用スルコトニナリマス、其新舊兩樣ヲ併用スルコトガ果シテ生徒ノ負擔ヲ輕減スルト云フ其實ノ得タルト云フモノデアリマセウカ、果シテ其希望ニ副フノデアリマセウカ、却テ幼年ノ時ニ違ッタ假名ヲ教ヘ、所謂三ツ子ノ魂百マデモト云フ譯デ其記憶力ヲ混雜セシメテ却テ生徒ニハ迷惑ヲサスルモノデハアリマスマイカ、若シソレガ新假名遣ヲ以テ天下一般公私悉クニ用ユルト云フコトナラバ是レハ別論デアリマスガ、私ハ贊成ハスルカセヌカ知リマセヌガ、一般ニ新假名ニ悉クシテシマウト云フナラバ是レハ又御一論ト思ウテ考ヘマスガ、之ヲ子供ノ時ハカリ此假名ヲ使ヒ、大キクナレバ其假名ヲ使ハヌト云フガ如キ即チ新舊併用スルト云フガ如キコトハ甚ダ輕減スルト云フ實ニハ副ハヌダラウト思フノデアリマス、今日デハ又天下一般悉ク新假名ニスルト云フ勇氣ハ最早銷沈シテナイカノ如ク考ヘルノデアリマス、故ニ私ハ森君ノ御說ノ如ク生徒ノ最モ困難ヲ感ズルトコロノ字音假名遣、森君ハ字音假名遣デナク國字ノ假名遣モ仰セラレタカ存ジマセヌガ、私ハ字音假名遣ニ就イテノミデアリマス、字音假名遣ダケハ生徒ガ答文ヲ書クナリ何ナリニモ發音ダケノコトヲシタラバソレデ許スト云フ位ノ即チ許容ノ一則ヲ置ク位ガ是レガ實際行ハレ得ルトコロノ關ノ山デアラウト思ヒマス、又此位ノコトナラバ勅令ヲ依ラズシテ上裁モ仰ガズ又ハ勅令ニモ依ラズ省令位デ發セラレテモ妨ゲナイモノカト思ハレマス、ソレデ實ハ私ハ文部大臣ニ向ッテ勸告ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、本案ニ就イテハマダ十二分ノ御再考ヲ爲サル餘地ガアルト斯樣ニ考ヘルノデアリマス、マダ閣員大臣諸君ニ於キマシテモ之ニ就イテハ十分ノ御評議ヲ今一度爲サル餘地ガアラウト思ヒマスマイカ、若シ此際之ヲ撤回ナサルカ若クハ此議事ヲ御延ニナッテ案ヲ改メテ御出シナサルカ、或ハ又他ノ方法ヲ執ラレナサルカ、即チ撤回ナリ若クハ中止ナリ爲サッテ文部大臣幷ニ國務大臣ニ於テハ內閣ニ於テハ十分ノ御詮議ヲ爲サルコトヲ希望スルノデアリマス、サリナガラ尙ホ一ツ此處ニ願ガアリマスガ、希望ガアリマスノハ緒言第二ノ三十三年ノ棒引假名廢止ト云フコトハ是レハ一日モ早クシナケレバナラヌコト、思フノデアリマス、是レハ一日遲ケレバ一日ノ害ヲ天下少年學童ニ及ボス事實ガアリマス爲デアリマス、ソレデ餘程御再考ヲ願フト云フノハ三十三年ノ棒引假名デモ出ルトキハ當務者ハ是レハ一番宜イコトト思ウテ行ハレタニ違ヒナイ、併ナガラ天下公衆ニハ殆ド諸リナシニ或人ノ言ハレルニハ文部省ノ一種ノ局長等ガ秘密的ニ之ヲ出サレタト云フコトデアリマス、是レハ內閣モ碌々知ラナイ中ニ出サレタト云フ、斯ノ如キコトヲ爲サレタ後之ヲ行フ數年ナラズシテ大イニ惡カッタコトヲ文部省自身デモ發見サレテ即チ吾々ガ手ニ戴イテ居リマス此案ノ理由書ト云フモノガ大半棒引假名ノ誤ヲ自白シテ居ルノデアリマス、讀メバ必ズサウ見エル、大イナル失策デアッタト云フコトヲ自白シテ居ルノデアリマス、數年ヲ出ズシテ三十三年ノ假名遣ハ自分自ラ自白スルヤウナ有樣デアリマス、今度是レガ若シモ輕々ニ出マシタナラバ如何ナル迷惑ヲ來タスカ知リマセヌニ依ッテ、文部大臣ニ於テモ十二分ニ是レハ御再考ナサル餘地ガマダアルコトト信ジマスニ依ッテ私ハ今ノ說ヲ提出シタ譯デアリマス、之ヲ纏メテ申シマスト、私ハ全體此案ニ就キマシテハ森博士ノ反對論ニ全部贊成ヲ致スモノデアリマス、發布式ハ必ズ勅令ニ依ラナケレバナラヌモノト深ク信ズルノデアリマス、若シモ省令ニ依ッテ出ルヤウナコトガアッタナラバ大イナル是レハ越權ノコトデアル、大イナル不體裁ナコトデアルト固ク信ズルノデアリマス、右等ノ譯ニ依リマシテ——本案ハ第三ニハ右等ノ譯ニ依リマシテ文部大臣ニ於テハ十分ノ御再考ノ餘地ガアルト思ヒマスニ依ッテ撤回ナサルカ或ハ中止ナサッテ此案ヲ如何ニカ適當ナ處分ニ爲サルコトヲ希望スルノデアリマス、第四ニハソレト同時ニ三十三年ノ棒引假名ハ一日モ早ク御取消ニナルコトヲ希望スルノデアリマス、纏メテ申シマスレバ此四件デアリマス、私等ノ如キ一向文學ノ素養モナケレバ文字ノコトニ甚ダ不慣レノ者デ斯ノ如キ諸先生ノ前ニ文字ノ議論ニ就イテ申上ゲルハ烏許ガマシイ一人デゴザイマスケレドモ委員ノ一人ニ列シテ居ルニ依ッテ聊カ意見ヲ陳述致シマシタ

○十三番（伊知地彦次郎君）　私ハ此三回目ノ會議ヨリ列席ヲ致シマセヌノデ御說ノアッタコトハ承リマセヌガ、段々新聞ナドニ見マスルト大體ヲ窺フコトガ出來マシタガ、中ニハ海軍ノ側デハ反對デアルダラウナドト云フコトモ見エテ居リマス、本員ハ此假名遣ニ於キマシテハ頓ト心得ヲ有チマセヌ、ソレデ今諸博士方ノ御前デ何モ此事ニ就イテ申上ゲル說モ有チマセヌノデゴザイマスガ、我海軍ノ軍事上ヨリ申上ゲルダケノ事シカゴザイマセヌノデ、一應ハ海軍ニ於キマシテ此假名遣ガ如何ニ海軍デ其必要ガアルカト云フ問題ニ付キマシテチョット二三ノ論ヲ申上ゲマス、我海軍デハ報告命令其他通告等ニ至リマシテ書キマシタ物ニ於テハ頓ト此假名遣ナルモノハ趣味ヲ有チマセヌノデアリマス、矢張普通ノ命令報告訓令等ノ文字ニ依ッテ海軍ノ機關ガ通ジテ居リマスノデアリマス、サリナガラ此海上ニ於ケル軍事通信機關ニ於テハ大イニ

マスシ、又國語研究會其他ノ方面ヨリモ段々御意見モ答申ニナッテ居ルヤウデアリマス、段々外國ノ諸官衙ナドデモ此事ニ就イテハ現ニ研究シテ居リマスガ、現ニ伊太利ノ如キ墺太利ノ如キト云フモノハ通信上ニ非常ニ困難ヲ感ジテ居リマスノハ皆御承知ノ通リ墺太利ノ海軍ノ如キハ即チ三ヶ國ノ兵ガ居リマスノデソレヲ通信ニ綴リマスノニハ非常ニ墺太利海軍ガ困難ヲ感ジテ居リマス、即チ伊太利語ヲ用ヰ墺太利語ヲ用キ非常ナ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス、又伊太利ニ於キマシテモ北ノ人間ト南ノ人間トニ於テハ非常ニ困難ヲ感ジテ居リマス、現ニ二十三四年頃自分モ伊太利ニ於キマシテ其信號ノコトニ就イテ深ク注意ヲシテ見マスルニ大分北ノ方カラ南ノ言葉ガ異ッテ居リマスル爲メニ其一番海軍デ使フ所ノ通信ノ語ト云フモノハ非常ニ困難ヲ感ジテ居リマス、現ニ伊太利ノ如キハ新聞ガ北ノ方ト南ノ方ト異ッタ所謂羅馬語以外ノ新聞モ出テ居リマス、吾等外國人ニ向ッテ非常ニ困難ヲ感ジタコトモゴザイマス、其後ハ定メテ伊太利モ斯ウ云フ國語研究ナルモノニ就イテハ深ク研究ヲシテ居リマシタカラ今日ハ稍々羅馬語ナルモノニ一定シテ居ルコトトハ信ジマス、是等ノコトヲ考ヘマスレバ我國ノ如キ此假名遣ハ吾々共ガ子供ヨリ今日ニ至ルマデ未ダ曾テ假名遣ガ自由自在ニ使ヘマセヌコトヲ考ヘマスルト云フ此問題ハ將來誠ニ必要ナ問題ト考ヘマス、ソレデ希クバ此事ハ一ツノ我ガ歷史ノ上ニ早晩是レガドウトカ一定ノコトニナルコトヲ希望スルノミナラズ我ガ軍事上通信ノ機關ハ益々是レカラ他ノ遞信省其他ニ關係ヲ持チマシテ無線電信トカ無線電話トカ云フヤウナコトニ關係ヲ有チマスルノデゴザイマスルカラ是レハ本員ハ至極此改正ノ案ハ一日モ早カランコトヲ希望スルノデゴザイマス、併シ其內容ニ至リマシテノコトハ深ク私ハ申スダケノ研究ヲ積ミマセヌノデゴザイマスカラ是レハ各學者ノ御說ニ從ヒマスガ併シ兎ニ角我ガ今日ノ海軍ノ新兵ノ通信敎授ノ困難ナコトニ至ッテハ吳々モ御察シヲ願ヒタウゴザイマス、是レダケヲチヨット申上ゲテ置キマス

○委員長(男爵菊池大麓君)　諸君ニ御諮リヲシマスガ、藤岡君カラシテ辯明ヲシタイコトモアルシ、附加ヘテ言ヒタイコトモアルカラ再度ノ言論ヲ許シテ貰ヒタイト云フ御請求ガアリマシタ、ソレカラ伊澤君ヨリシテ同ジク學術上ニ說明ヲシタイコトガアルカラ許シテ貰ヒタイト云フ御請求ガアリマシタ、ソレカラ大槻君カラシテ先般辯明ハシタガ若シ更ニ辯論ヲ許サレルコトデアルナラバ本員モ辯論ヲシタイト云フ御希望ガアリマシタ、是レハ普通議事規則ノ上デハ勿論許スベキ關係デアリマセヌノデゴザイマスガ斯ノ如キコトハ成ベク十分ニ議論ヲ盡シタ方ガ宜シイノデアラウト思ヒマスルカラ諸

此假名遣ナルモノハ必要ヲ感ズルノデゴザイマス、ト云フノハ各鎭守府ニ新兵ヲ募リマシテ其新兵ノ中カラ通信兵ト云フモノヲ採用シマシテ其通信兵ニ海軍ノ命令報告等ノ言語即チ口語ヲ傳ヘテ之レヲ信號ニ綴リマス、ソレハ手旗信號ナリ無線電信ナリ普通ノモール信號ナリニ綴リマス、其時ニ非常ニ困難ヲ感ジマスノハ即チ方言デゴザイマス、此方言ナルモノハ新兵ニ募ラレテ殆ド海軍ノ用ヲ爲シマセヌ、ソコデ第一海兵團デ新兵ノ敎育ヲスル、九ケ月ノ間ト云フモノハ此假名遣即チ口語ヲ以テ通信ノ手旗ナリニ綴ルコトヲ敎ヘルノデゴザイマス、又此假名遣ガ三ツデ出來ル、例ヘバ「明日」トカ云フヤウナコトヲ二ツノ文字デ申シマスト云フト、「メウ」ナラ極ク速度ニ於テハ非常ニソレガ早ク出來ルノデゴザイマス、ソレデ總テ海軍ノ通信ハ速度ヲ尊ブガ軍事上ノ最モ必要カラ感ジマシテ此三十三年ノ文部省ノ小學訓令ニ出マシタ此假名遣ヲ以テ海軍ハ大イニ流用シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ頭腦ノ極ク薄弱ナル新兵ニ向ヒマシテ假名遣ヲ敎ユルコトガ甚ダ困難デゴザイマス、ソレデ例ヘバ「アウ」トカ「アフ」トカ「オウ」トカ「オフ」トカ斯ウ云フヤウナモノハ總テ從來ノ假名遣ニ依ッテ「オー」ト云フ二字ニ改メテ敎育シテ居リマス、ソレデ是レハ文部當局者ガ多年ノ敎育界ニ於テ誠ニ見童ノ敎育ノ上、尙ホ今後ハ國運ノ發達ニ對シテ此假名遣ナルモノヲ成ルベク一ツニ歷史的完全ヲ以テ、尙ホ此際一ノ簡單ナル法ヲ以テ兒童ノ知能ヲ發達シテ行カウト云フ御趣意ニ對シマシテハ我等軍人トシテ最モ贊成スルトコロデゴザイマス、況ンヤ我ガ通信ニ於テハ從來新兵ノ敎育ニ至ッテ非常ニ此通信機關ノ遲延スルコトヲ恐レルガタメニ一方ナラヌ敎育上ニ困難ヲ感ジテ居リマスカラ、此文部省ノ新例ニ依リマスルトコロノ假名遣ナルモノヲ兒童ガ小學ナドデ習ヒマシテサウシテ海軍ニ入籍シマシタトキニハ業ニ既ニ其假名遣ナルモノハ直チニ入營後ニ海軍ノ通信ヲ間違ナク通ズルコトガ出來ヤセヌカト云フ希望ヲ有ッテ居ルノデゴザイマス、尙ホ之レニ併セテ文部當局者ニ希望シマスノハ即チ各地方ノ方言ナルモノヲ希クバ我國一定ノ言葉ニ改メラレルコトガ我ガ海軍ノ軍事上、通信上非常ニ必要ヲ感ジマスル、ソレデ此問題ハ成程「リテラチユール」的且歷史的種々ナ事ニ關シテハドレ程ノ何ガアルカハ深ク考究ハ致シマセヌケレドモガ、段々ト御說ヲ承ッテ見マスルノニ之レテ何レカ我國ノ言葉ヲ有利ニ之レヲ國民ガ使ヒ別ケルコトノ歷史ハ先ヅ國民ガ何レカノ世ニカ有チマセヌケレバナリマスマイカト考ヘマス、是レハ歐羅巴人デモ段々歷史ヲ窺ッテ見マスルト此言葉ノサウ云フ歷史ハ確ニアルヤウニ考ヘマス、今ニシテ此假名遣ヲ文部當局者ガ此處マデ作ラレタナニト云フモノハ隨分多年ノ御實驗モアラウト考ヘ

君ニ御諮リシタ上デ別ニ御異議ガナケレバ許サウト思ヒマスガ如何デゴザイマセウカ

「異議ナシ〳〵」ト呼ブモノアリ

○委員長（男爵菊池大麓君）　ソレデハ右・三君ニ再ビ發言ヲ許スコトニ致シマス、尚ホ若シ此間ニ他ニ新シク御發言ヲ求メラレル諸君ガアツタナラバ其方ニ先ヘ發スル權ヲ與ヘテ置キタイト思ヒマスガサウ云フコトニシテハ……

「異議ナシ〳〵」ト呼ブモノアリ

○委員長（男爵菊池大麓君）　藤岡君

○二十一番（藤岡好古君）　私ハ此前一通リ自分ノ意見ヲ述ベマシテゴザイマシタガ、餘リ時間ガ移リマシタカラ言殘シマシタコトガゴザリマスルシ、又是マデ――此前申シマシタル中ニモマダ盡シテナイ所ガゴザイマスカラソレヲ再ビ御聽キヲ願ヒタイト思ヒマス、此世ノ中ノ進ムニ從ヒマシテ總テノ學問モ段々精シクナツテ來マスルノハ自然ノ勢デ、是マデハ日本語研究法ノコトハ大概ノ學者ガ等閑ニ致シマシテ國語ノ解釋ヲ尋ネマシテモマア賀茂眞淵翁ノ御說ノ、通略延約ト云フ四個ヲ以テ解釋ヲシテ居リマス、通ハ同音同韻ニ通ハシ、略ハ省ク、延ハ之レヲ延バス、約ハ約メル、此四通デ日本語ヲ解釋シテ居リマス、其例ヲ申シマスト「ヒル」ト云フコトハ「ハシル」ト云フコト、人間ガ朝起キルト一日忙シサウニ走歩クカラ「ヒル」ト云フ詞ハ「ハシル」ト云フコトダ、「ハシ」ノ二音ヲ約メマスト成程「ヒ」ノ音ニナリマス、是レハ所謂約タノデアリマス、ソレデ「ヒル」ヲ延ベルト云フト「ハシル」ト云フコトニナル、「ヨル」ハ「ヤドル」夜ハ皆人ガ臥テシマヒマス、ヤドツテ臥テシマウ、「ヤドル」ノ「ヤド」ヲ約メルト「ヨ」トナリマス、ソコデ「ヨル」ト云フ、斯ウ云フ解釋ヲシテソレデ宜イコトニシテ居リマシタ、然ルニ是レハ一言突込マレルト云フト返事ガ出來ナイ、ソンナラ「ハシル」ト云フ「ハ」ハドウ云フ義理、「シ」ハドウ云フコトダト、「ル」ハドウ云フコトダト言ツテ問詰メラレルト云ファトモウ解釋ガ出來ナイ、丁度能ウ約マル言葉ハ宜ウゴザイマスガ、例ヘバ「タミ」ト云フハ「タマモリ」ダ、「タマモリ」ト云フ言葉ヲ約メルト「タミ」トナル、「キミ」ト云フハ「クニマモリ」ダ、「クニマモリ」ヲ丁度此五十音圖デ約メルト云フト「キミ」トナル、ソレハ都合ガ好イ、大層尤ラシク聽ヘル、併ナガラ「ツバクラ」ト云フコトヲ約メルト「タカ」ニナル、「ツバ」ヲ約メルト「タ」トナリ、「クラ」ヲ約メルト「カ」トナルカラ「ツバクラ」ハ「タカ」ト同物ダト云フ解釋ガ出テ來ル、サウ云フ差支ガ起ツテ來ル、ソレデ此平田篤胤翁ガ初メテ此音義ト云フコトヲ考出サレマシタノデス、丁度同時代デアリマスガ、平田篤胤ヨリ前ニ鈴木朗ト云フ本居門人、是レハ漢學者デゴザイマス、此人ガ雅言音聲考ト云

フモノヲ書イテ出版シマシタガ、是レハ平田翁ヨリ前デゴザイマス、川北丹靈荒木田守訓北島守部大國隆正鈴木重胤ナドノ諸先生ガ種々ニ說カレマシタガドウシテモ平田翁ノ說トソレカラ鈴木朗、（世ニハ「ホガラ」ト言ヒマスガ、是レハ「アキラ」ト訓ムト井上賴圀ハ申シマシタ）ノ說ガ先ヅドウシテモ宜イト考ヘマス、ソレヲ伊勢ノ富樫廣蔭ト云フ人ガ研究シテ略ボ總テノ日本語ノ解釋ノ出來ルヤウニ致サレマシタ、其門人ノ堀秀成、即チ私ノ師匠デゴザイマスガ、是レガ多年研究シテ七十三カ條ニ發シマシタガ、發シマス年マデ此事ヲ研究シテ死分ノ皷膜ヘ響クノデアルガ「ウアーツ」ト云フ聲ニ聽ヘル、是ヌ前ニ書キ入レヲシ說ヲモ改メテ後ヘ遺シテ發シマシタ、其レハ事實何誰デモ御試シナサレバ分リマスガ、遠方デ大勢ノ說ニ依ツテ此日本語ヲ解キマスト云フト明カニ解ケマス、前人ガ騷イデ居ルガ、其聲ハ何ト騷イデ居ツテモ人ノ聲ハ空氣ニモ申シマシタ通リニ日本ノ此言語ノミナラズ世界中ノ言語ヲ破ツテ耳ヘ當ル時ハ「ウアーツ」ト云フ聲ニ聽ヘル、ダカラガ此五十音ノ中ノ範圍ヲ如何シテモ出ルコトガ出來ヌ、皆之ドウシテモ中央ニアル「ウ」ノ音ガ元デアル、其「ア」ノ音ハ顎ニ當リノボル「オ」ノ音ハ頤ニ當ツテサガル「ア」ノ音ト「オ」ノ音トハマルデ反對シテ居ル、日本語ガソレニ依ツテ組織シテアルガ、物ヲ上ヘ斯ウ上ゲルコトヲ「アグ」ト云フ、下ヘ置クコトヲ「オク」ト云フ、是ハ「アイウ⤴オ」ノ「オ」ト「ア」ト相對シテ下ヘ置クコトヲ「オク」ト言ヒ「オロス」ト云フ、同ジ兄弟デモ二人アルト前ヘ生レタノヲ「アニ」（兄）ト言ヒ「アネ」（姉）ト云フ其次ニ生レタノヲ「オト」ト云フ、「オト」（弟）ト云フ言葉ハ「アニ」ニ對シタ言葉、「オト」ト云フノヲ活用カシテ「オトナドト言ツテ居ルガ、人ハドウシテモ「アヽ」ト突然口ヲ開ク

ロフル」ト延ベテ言ヒ、又「オトル」トモ云フ、日本語ハ五十音ノ上カラ組立テ居ル、ソレハ有ユル古言ノ證據ヲ以テ見ルト云フトモウ其通リデアリマス、此五十音ト云フモノハ誰ガ書イタトナシニ自然ニ此通リノ圖ヲ成シテ昔カライロ〳〵是レハ錯雜シタ間違ツタ圖ガ世ノ中ニ多ク傳ツテ居リマスガ、正シク言ウテ見ルト今日ノ圖ノ通リニアル、ソレデ此聲ノ象ガ直ニ其物ノ名トナル、亞爾遠波ノ音義ヲ解釋スレバ「ハ」ト「モ」ノ義ガヨクワカリマス「ハ」ノ音ハ「フ」ノ音ガ元デ「フ」ノ音ハ合スル義、含ム義トナル、合シテ含ムモノ「ア」ノ音ハ「ア」トロヲ開クカラ其開ク象ガ直ニ其「ア」ノ音ノ義ニナツテ開ク義トナル、ソコデ「ハ」ノ音ハ合セタ物ノ開ク義ニナル、「ハ」ノ音ハソレデ解シテ行クト、例ヘバ鳥ノ羽デアル、兩方ニ開イテ働クモノデアル、故ニ之ヲ「ハ」ト云フ、合サツテ居ルモノガ開クカラ「ハ」ト云フ、ソレカラ「親ハ學者ダ」ト斯ウ云フ、「親ハ學者ダ」ト云フト、親ト子トヲ切放シテシマツテ子ハ無學ダト云フコトヲ言ハヌデモ分ツテ居ル、親子ハ一緒ノモノ、「親ハ學者ダ」ト云フト子ガ離レテシマツテ親ハ學者ダガ子ハ無學ダトナル、「親ハ賢イガ子ハ馬鹿ダ」斯ウ云フ風ニ二ツヱ分レテシマウ、ソレカラ木ノ葉ノヤウナモノデモサウデス、必ズ二ツニ斯ウ別レテ來ル、花モサウデス、花ハ合ウテ含ンデ居ル、ソレガ咲ク時ニパット開クカラソレデ「ハナ」ト云フ、斯ウ云フ言葉ガ付ク、春モサウデス、ソレカラ物

居リマスガ、今日ノ實際ノ言葉ニ照シテ見ルト俗言ニモ雅言ニモ殘ツテ居リマス、ソレヲ以テ見テモ天地自然ノ言語ハ正シクスルヤウニシテ小學校時代ニ音韻ハ正シク教ヘルヤウニシマセヌト、モウ年ヲ取ツテカラ直サウト言ツタツテドウシタツテ分リヤウハゴザイマセヌ、其教ヘルノガ面倒ノコトカラ云ヘバ唯此五十音サヘ發音ヲ正シク教ヘルコトヲ子供ニ導ケバ直キ出來ルコトデゴザイマス、ドウゾ小兒ノ間ニ教ヘタイト私ハ希望シマス文部省ヨリ小學校ニ此五十音ノ發音ハ皆文字モ書別ケ發音ヲ正シ別ケルヤウニ教ヘルヤウニシタイト云フ私ハ希望デアリマス、ソレデ音聲ノ事ハ多年私モ研究シテ居リマスガ、私ハ元來此東京ノ生レデアリマスガ、東京ハアツテ總テノ古事ヲ言葉ニカケテ語リマシタカラソレデ正シキ發音ヲ得マシタノデ、人民一般ガ勝手ニ書イタモノハ此聲ニ掛ケテ語ツテ音韻ヲ正シマセヌカラ正シクナイト思フモノガ段々調ベテ見マスト事實アリマス、是レハ實際サウデゴザイマス、先ヅ歌人ノ歌モ家集ニハ格ノ違ツタ歌ガアルガ、勅選集ニナリマスト古今 後撰 拾遺三代集以上ニハ格ノ外レタノハ一首モゴザリマセヌ、正シクナツテ居リマスソレハ能ウ唱ヘテ其音聲ヲ調和シテ見ルト云フト格ガ自然ニ合フノデアル、日本語ハ自然ノモノデ決シテ人爲デ之ヲ作リ固メタモノデハナイ、自然ニ人ガ正シク云ハネバドウモ耳障リニナルカラ耳障リニナラヌヤウニスルトチヤント格ガ合フ、斯ウ云フモノカラヌヤウニナリマス、假字遣ヲ正シクスレバドンナニ言語ガ亂レテモ五十音圖ノ道理ヨリドウシテモ外レルコトハナイノデアリマス、假字遣ノ日本語ノ上ニ大切ナルコトハ歷史上カラ調ベテ見マシテモ此阿行ノ「オ」ト和行ノ「ヲ」ナンゾガ丁度反對ニ使ツテアリマス、天子樣ノ御兄弟デモ億計皇子ト弘計皇子或ハ大碓命小碓命ト古事記ニアリマスガ、是レハ「オウスノミコト」デアル、小碓命「ヲウスノミコト」或ハ「オケツヒメ」「ヲケツヒメ」ナント云フ御同腹ノ御姉妹デアリナガラ「ヲ」ト「オ」ト言別ケテ御名ガ付イテ居リマスカラ昔ハ正シカツタニ違ヒナイ、昔正シクアツタノハ語部ト云フ學者ガアツテ總テノ古事ヲ言葉ニカケテ語リマシタカラソレデ正シキ發音ヲ得マシタノデ、人民一般ガ勝手ニ書イタモノハ此聲ニ掛ケテ語ツテ音韻ヲ正シマセヌカラ正シクナイト思フモノガ段々調ベテ見マスト事實アリマス、是レハ實際サウデゴザイマス、先ヅ歌人ノ歌モ家集ニハ格ノ違ツタ歌ガアルガ、勅選集ニナリマスト古今 後撰 拾遺三代集以上ニハ格ノ外レタノハ一首モゴザリマセヌ、正シクナツテ居リマスソレハ能ウ唱ヘテ其音聲ヲ調和シテ見ルト云フト格ガ自然ニ合フノデアル、日本語ハ自然ノモノデ決シテ人爲デ之ヲ作リ固メタモノデハナイ、自然ニ人ガ正シク云ハネバドウモ耳障リニナルカラ耳障リニナラヌヤウニスルトチヤント格ガ合フ、斯ウ云フ

道理ノモノデアリマス、其證據ハ古來昔カラノ總テノモノハ古イ所ハ所謂三代集アタリマデハ格ガ正シクナツテ居リマス、今ノヤウニ八千卷トカ文法トカ云フコトヲ調ベタモノハアリマセヌ、唯耳ニ聽キ口ニ之ヲ言フダケノコトニ依ツテ音韻ノ調和ヲ知ツテ、自然ニ正シクナル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、若シ之ヲ此ノ案ノヤウニ亂シテ學理ニモヨラズ例格ニモカマハズサウシテ行ケバ日本語ノ基礎ガ立ナクナツテシマヒマスカラ、音韻ハ何處マデモ正シクシテ發音スルヤウニ子供ノ間カラ教ヘルヤウニ致シタイト云フノガ私ノ最モ望ムトコロデゴザイマス、御退屈デゴザイマシタラウガ再度申述ベマシタ、失禮ノ言ハ御免ヲ願ヒマス

○委員長（男爵菊池大麓君）　伊澤君

○十四番（伊澤修二君）　少シ演說ガ長クナラウカト存ジマスガ御差支ゴザイマセヌカ

○委員長（男爵菊池大麓君）　宜シウゴザイマス

○十四番（伊澤修二君）　モウ一ツ御許可ヲ乞ウテ置キタイト存ジマスノハ大分表ノ上デゴザイマスルトカ或ハ又書イタモノヲ參考セニヤナリマセヌノデ此机デ立ツテ居リマスルトチヨツト不便ヲ感ジマスデゴザイマスカラ失禮デゴザイマスルガ椅子ニ腰ヲ掛ケテ申スコトヲ御許可ニナリマセウカ如何デスカ

○委員長（男爵菊池大麓君）　何デスカ

○十四番（伊澤修二君）　椅子ニ腰ヲ掛ケマシテ……

○委員長（男爵菊池大麓君）　宜シウゴザイマス

○十四番（伊澤修二君）　左樣デゴザイマスカ、ソレデハ御免ヲ蒙リマス、私ハ此前極ク大體ノ意見ヲ述ベマシテ文部大臣ニ大イニ御反省ヲ乞ウテ置イタコトデゴザイマシタ、併シ其前ニ當リマシテイロ〳〵不束ナガラ材料トナリマスルヤウナモノヲ調ベマシテ諸君ノ御手許ニモ出シテ置キマシテゴザイマスルカラ、ソレヲ御覽下サレマシタ後ニ一度機會ガアリマシタナラバ愚見ヲ申述ベマシテ諸君ノ御參考ニモ供シ、且又御贊同ヲモ得タイト云フ心得デアリマシタノデ、今日ハ再ビ此處ニ演說ノ許可ヲ得マシテ其愚見ヲ申述ベルニ至リマシタニ就キマシテハ、諸君ガ寬大ナル御考ヲ以テ御許シ下スツタコトヲ偏ニ謝シマスルデゴザイマス、デ此問題ハ文部大臣カラモ御演說モアリマシタナリ、又其他主事カラモイロ〳〵ト既ニ御話ガゴザイマシテイロ〳〵ナ所ニ諸問ニナリ、諸問ニモナッタ度毎ニイロ〳〵ナ風ニ變ツテ參リマシテ、何分今日デハ何處ガ本デアルカト云フコトニ大層迷ウテ居リマス、私ナドノ如キ隨分此問題ニハ從來關係ヲ幾ラカ有ッタ者デゴザリマシテモ、ドウモ甚ニ書類デモチヨット見ヌト云フト迷ウテシマツテ居ルコトガアリマス位デゴザイマス、夫故ニ先ヅ私

ハ從來ノ文部省令ヲ始メト致シマシテ之レニ關係ノアルモノヲ一通リ申シマシテ、サウシテ又問題ノ範圍ト云フモノハ何處ニマデ及ンデ居ルカト云フコトニ付第一ニ諸君ノ御注意ヲ惹キタイト存ジマス、此假名遣ノ改正ト申シマスルノハ單ニ字音假名遣ノミデゴザイマシタ、サウシテ且又小學校ニ限ッタノデゴザイマシタ、即チ明治三十三年ノ分ノハ全ク字音假名遣ノミデ國語假名遣ト云フモノニハ些トモ這入ッテ居ラナイ、且又小學校ニ限ッタノデゴザイマス、所ガ今度ノ諸問案ト云フモノハ進ンデ國語假名遣ニマデ這入リ込ミマシテ、且又之レヲ中學以上マデモ及ボスト云フコトニナリマシタノデゴザイマス、夫故ニ吾々モ實ニ重大ナ問題ト考ヘマシテ、是非是レハ勅令ヲ以テ發布ニナリタイト云フコトヲ豫テ望ンデ居リマシタノデゴザイマスルガ、今日ハ文部大臣ヨリ既ニ御明言ニナリマシテ聊カ安心ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、ソレデ此小學校令施行規則ト是レハ省令デゴザイマス、決シテ勅令デハナイノデアリマス、文部省令ノ第十四號、即チ明治三十三年八月二十日ノ文部省令ノ第十四號其第十六條ニ「小學校ニ於テ用フル假名及其字體ハ第一號表ニ、字音假名遣ハ第二號表ノ下欄ニ依リ、又漢字ハ成ルベク其數ヲ節減シテ應用廣キモノヲ選ブベシ、尋常小學校ニ於テ教授ニ用フル漢字ハ成ルベク第三號表ニ掲グル文字ノ範圍内ニ於テ之ヲ選ブベシ」、是レガ即チ抑々假名遣問題ノ根據トナッテ居ルモノデアリマス、而シテ其第十章ニ附則ト云フモノガアリマシテ、附則第一號表ト云フモノハドウ云フモノデアルカト申シマスト云フト、平假名及片假名ニテ五十音、濁音、次清音ヲ掲ゲマシテ、平假名ニ於テハ從來ノ變體假名ト云フモノヲ廢シテシマッタノデアリマス、片假名ニ於キマシテハ「キ」ト「ヰ」ノ二字ヲ「ネ」「キ」ニ改メタノデアリマス、ダカラ一號表ト云フモノハ先ヅ變體假名ヲ廢シマシテ、ソレカラ片假名デハ二字ダケヲ變ヘテシマッタ、斯ウ云フコトデアリマス、字數ニ於テハ一字モ之レニハ取除イタ所ハナイノデアリマス、ソレカラ第二號表ト云フノハ從來ノ字音假名遣ニ改定ヲ施シタケレドモ國語假名遣ニハ少シモ這入ッテ居リマセヌ、ソレデ此改定ヲ施シタ要領ハドウ云フモノデアルカト云フト、「キ」ト「エ」ト「ヲ」ト「クエ」デス、是ダケヲ廢シテシマヒマシタ、サウシテ「イ」ト「エ」ト「オ」ト「ケ」ニ改メ、又「クヮ」「グヮ」ヲ「カ」「ガ」「グ」ニ改メタ、ソレカラ又「ヂ」「ヅ」ヲ「ジ」「ズ」ニ改メルコトテ本則トシテ舊來ノ慣例ニ依ルモ妨ゲナイ、斯ウ云フコトニ致シマシタ、ソレカラ「アウ」「アフ」「オウ」「オフ」「ワウ」「ヲウ」等ヲ一括シテ「オー」ニシテシマヒマシタ、「オ」ノ下ニ棒ヲ引イタモノニシテ之レヲズット推シテ其外ノ字音モ皆所謂棒引假名ニ變ジタノデアリマス、是レハ即チ字音ノ

ミニ限ッテ居リマス、ドウゾ其事ハ御記憶ヲ願ヒタイ決シテ國語ニハ這入ッテ居リマセヌ、第三號表ト申シマスルノハ「一」「七」「三」「上」「下」ヲ始メ凡ソ千百九十程ノ漢字ヲゾロリト列ベタモノデアリマス、何ニモ意味モナイ、マア是レハ多分普通ニ用キラレル字ヲ千二百字位デアラウト見込ンデソレヲ列ベタニ過ギナイ、斯ウ云フモノデアリマス、ケレドモ細カニ調査スルト是レハ甚ダ少ナイ字數ト云ハネバナリマセヌ、ソレデ今日マデ即チ其法令ヲ以テ兎ヶ角モ此假名遣ト云フモノヲ改廢シタノハ全ク此外ニハアリマセヌ、全ク是ダケデアリマス、ソコデ此度假名遣改正ヲ必要トセラレタ理由ト云フモノハ如何ナルコトデアルカト云フト、文部大臣ノ御演說ニモゴザイマスル通リ從來教科書ニ用キテ參ッタ假名遣ハ通常ノ人ニハ頗ルムヅカシイ、ソレノミナラズ我國デハ漢字モ教ヘナケレバナラヌカラシテ我國ノ兒童ノ國語國文ヲ習フ其苦心ト云フモノハ確ニ他國ノ兒童ニ數倍スル、即チ非常ニムヅカシイ――ムヅカシイカラシテ是非是レハ改正シナクテハナラヌ、斯ウ云フ御趣意デゴザイマセウ、ソレデ夫レニ就キマシテハ渡部主事モ縷々ト述ベラレマシタガ、併シ渡部主事ノ述ベラレマシタコトハ曩ニ森委員ヨリ十分ノ御駁撃ガアリマシタノデ、今日私ガ繰返スダケノ必要ハナカラウカト考ヘマス、且又時間モゴザイマセヌカラ是レハ省キマス、又大概委員ガ御演說デ是レモ既ニ森委員ノ御駁撃モアリマシタガ此事ニ就キマシテハ後デ少々申上ゲル場合ガアラウト思ヒマス故ニ唯今ハ申上ゲマセヌ、ソコデ斯ノ如クムヅカシイト云フコトガ全體此問題ノ起ッタ根源デゴザイマスルカラ若シ是レガムヅカシクナク教ヘラレタナラバ決シテ斯ウ云フ改正ハ要ラナイノデハナイカト私ハ存ジマス、而シテ他ノ國ニ比シテ果シテ之レガ非常ニ困難デアルカドウカト云フコトハ是レハ專門ノ方々ニハ能ク御承知ノコトデアッテ、或ハ英語ニ比較スルトカ或ハ佛蘭西語ニ比較スルトカシマシタナラバ縱令其漢字ヲ學ブニ何分ノ困難ハアルトシテモ我假名遣ト云フモノハ決シテソンナムヅカシイモノデハナイ、餘程簡單ナモノデアルト云フコトハ極ク誠實ニ極ク公平ニ御考ニナルト云フトドナタニモ分ルコトデアリマス、既ニ此中ノ委員ノ專門家ノ御一人ノ如キハ決シテムヅカシイノデハナイト云フコトマデ明言セラレテ居リマシタ、私モ其點ニ於テハ誠ニ其委員ニハ同意デアリマス、決シテムヅカシイモノデハアリマセス、其ムヅカシクナイト云フコトヲ證明致シマスルタメニ私ガ甚ダ粗雜ナ資料デハゴザイマスガ、諸君ノ御手許ニ出シタモノガゴザイマスルカラ其表ニ依ッテ先ヅ一通リ申述ベテ見ヨウト思ヒマス、ドウゾ諸君ニ若シ御持合ガアリマスルナラバ御覽ヲ願ヒタイト存ジマスルノハ第一ニ文部省ヨリ參考トシテ

下附ニナリマシタ申發圖二十三號臨時假名遣委員會トアリマスル此表デアリマス、之レガ一ツト、ソレカラモウ一ツハ伊澤委員提出トアリマシテ「普通字音表」トアリマス、此二ツヲ若シ御持合デゴザイマシタナラバ御參考ヲ願ヒタイ

（伊澤委員提出）

普通字音表

發音	字音假名	發音	字音假名	發音	字音假名
イ	い ゐ	ヨ	よう えう えふ〔一〕	ヤウ	やう えう えふ〔一〕
エ	ゑ	ロ	ろう らふ ろう	ラウ	らう らふ ろう
オ	を	キョ	きょう きょう けう けふ	キャウ	きやう きよう けう けふ
ケ	け くゑ	ギョ	ぎょう げう げふ	ギャウ	ぎやう げう げふ
ゲ	げ ぐゑ	ショ	しょう しょう せう せふ	シャウ	しやう しよう せう せふ
オオ	あう わう おう〔二〕	ジョ	じょう じょう ぜう〔二〕	ジャウ	じやう じよう ぜう〔二〕
コオ	かう かふ こう こふ	チョ	ちょう てう てふ	チャウ	ちやう てう てふ
クヮ	くわう	チョ	ちょう でう でふ おう〔二〕	チャウ	ちやう でう でふ おう〔二〕
ゴオ	がう がふ ごう ごふ〔二〕	ニョ	にょう ねう によう〔三〕	ニャウ	にやう ねう によう〔三〕
ソオ	さう そう	ヒョ	ひょう へう ひよう	ヒャウ	ひやう へう ひよう
ゾオ	ざう ざふ ぞう ぞう〔二〕	ビョ	びょう べう	ビャウ	びやう べう
トオ	たう たふ とう	ミョ	みょう めう みやう めう	ミャウ	みやう めう
ドオ	だう どう	リョ	りょう れう れふ〔一〕	リャウ	りやう れう れふ〔一〕
ノオ	なう なふ のう	キュ	きゅう きふ	キュウ	きゆう きふ
ホオ	はう ほう はふ〔二〕 ほふ〔二〕	ギュ	ぎゅう ぎふ	ギュウ	ぎゆう ぎふ
ボオ	ばう ぼう	シュ	しゅう しふ	シュウ	しゆう しふ
モオ	まう もう	ジュ	じゅう じふ	ジュウ	じゆう じふ
ユウ	ゆう いう いふ	チュ	ちゅう	チュウ	ちゆう

ヂュウ	ぢゅう
ニュウ	にう にふ
リュウ	りう りゅう りふ
アン	あむ あん

右ハ大槻氏ノ言海ニ載セタル字音ヲ採リテ普通漢字音ト認メタルモノニシテ其音數スベテ百五音トナル之ヲ文部下附申發圖二十三號原案ノ音數百二十五ニ比スレバ二十音ノ減少トナル尚ホコレヨリ一字ノ外顯ハレザル字音十音ヲ省ケバ九十五音ニ過ギズシテ實ニ原案ヨリ三十音ノ減少トナルモノナリ

但シバポビノ半濁音ヨリ成レル字音ハ音便ノ外出デザルヲ以テ双方トモニ之ヲ算入セズ

ソレデ文部省カラシテ御下附ニナツタ原案ノ表ニ依ツテ見マスルト云フト、ドウモ非常ニ是レハムヅカシイヤウニ見エマス、非常ニムヅカシイヤウニ見エル、大層音ノ數ガ多クゴザイマシテ餘程ムヅカシイヤウデアリマス、ケレドモ能ク之ヲ精シク調ベテ見マスルト云フト、此中ニハ嘗テ日本ニ出タコトノナイ字音ナドガアリマス、先頃モ申シマシタガ即チ此「ミョオ」ト云フ發音ヲ「ミョウ」ト書イタ假名ト云フヤウナモノハ是レハ開闢以來日本ノ字音ニハナイノデアリマス、ソレデ唯今丁度隣席ノ十三番ノ御演說ノ中ニ例ヘバ「明日」ト云フノヲ海軍ノ通信ナドノ方デハ「メウニチ」ト書ク、「メウニチ」ト書ケバ簡單デ宜シイカラサウ云フ風ニスルト云フ御話ガゴザリマシタガ、一應私ハ御尤ト存ジマス、トコロガ十三番ハ文部省ハドウ云フコトノ案ヲ出サレタカト云フコトノ內容ハ十分御覽ガナカツタト云フコトデゴザイマスルカラ、此處デ私ガ申上ゲマスルガ、文部省ハ決シテ「メウ」ト云フヤウナ簡單ナ假名ヲ使フノデハアリマセス、文部省ハ却テ「ミョウ」ト云フ三字ノ假名ヲ使ツテ行カウト斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其「ミョウ」ト云フ假名ハ日本開闢以來無イ字音デアル、此隣席ノ仰シヤツタ「メウ」ト云フノハ舊來ノ假名遣、「ミヤウ」トカ「メウ」トカ云フハ舊來ノ假名遣ノ方ニアルノデ、此度諮問案デ以テ用キヨウト云フ假名遣ハソレトハ違ヒマスカラ、折角ノ御贊成ノヤウデアリマシタケレドモ、ドウモ全クソレハ反對ノ御結果ニナラウト存ジマスルカラチヨツト御注意ニ申シテ置キマスル、斯ノ如ク先ヅ其端カラシテ段々檢シテ見マスルト云フト、初メノ先ヅ「イ」ハ是レハ宜シウゴザイマス、ソコデ無イダケヲ申シマセウ、無イダケ申シマスルト「エ」ト云フ字音ハ一體ナイ、「衣紋」ナドト云フ「衣」ノ字ハア

レハ疑ノアルモノデ決シテ正シイモノトハ吾々ハ受取ッテ居ラナイ、ソレカラ「オ」ト云フ字音モアリマセヌ、ソレカラシテ一言此處デ申述ベテ置キマスルガ、私ガ此處ヘ普通字音表トシテ出シマシタノハ是レハ大槻委員即チ大槻文彦君ガ著サレタ言海ニ依リマシタノデアリマス、言海ニ依ッタト云フノハ何故デアルカト云フト、言海ト云フモノハ文部省ガ即チ此明治ノ初年ヨリシテ數多ノ學者ヲ掛ケテサウシテ作ッタモノデアル、サウシテ然ル後ニ大槻君ニ其原稿ヲ賜ッタモノデアリマス、ソコデ頗ル學者ノ精力ヲ集メタ結果トシテ彼ノ言海ト云フモノガ出來タノデアリマス、勿論大槻君ガ大イニ力ヲ盡サレタコトハ此處ニ申スマデモナイ話デアリマス、ソレデ其點カラ行キマシテモ言海ニ依ルガ適當ト認メマシタノミナラズ、又先頃專門家ノ即チ芳賀博士ニ斯ウ云フ問題ニ就イテ標準トスベキ辭書ハ何デアラウカト云フ質問ヲ發シマシタ時ニモ言海デアルト云フコトデアリマシタカラ、ソレデ其言海ニ依ッテ普通字音表ト云フモノハ調ベテ居ルノデアリマス、先ヅ言海ニ載ッテ居ル位ノモノナラバ是レハ普通ニ行ハレテ居ルモノト見テ宜カラウト思フノデアリマス、マダ漢學者トカ音韻學者トカ云フ人達ガ古物ヲ蒐メルガ如クニイロ〳〵ナル音韻ヲ引張リ出シテ來ルト、ソレモ少シハアリマスケレドモ、併シ今日ノ問題ハ教育問題デアリ、殊ニ小學ノ教育ニ關係ノアルモノデアルカラシテ、先ヅ此言海ニ出タダケノ字音ヲ以テ普通字音ト見テ宜カラウト云フ考デ此普通字音表ト云フモノヲ拵ヘタノデアリマス、ソレト照シテ段々ヤッテ見マスルト云フト、其次ニ「アウ」「アフ」「オウ」「ヲウ」トアリマスル中ノ「アフ」ト云フ字音ハアリマセヌ、ソレカラ「ヲウ」ト云フ字音モアリマセヌ、ソレデ文部省ガ、今度用井ヨウト云フ「オウ」ト云フ字音ハ唯一字シカナイノデアリマス、私ノ普通字音表ノ方ニ四角ノ中ニ一ノ字ヲ書イタノハ是レハ一字シカナイノヲ擧ゲマシタ、全ク無イノハ私ノ此表ニハ總テ省イテ居リマス、サウ云フ風ニ段々之レヲヤッテ來テ見マスルト云フト結局此終リニ私ガ書イテ置キマシタ通リニナリマス、即チ右ハ大槻氏ノ言海ニ載セタル字音ヲ採リマシテ先ヅ普通ノ漢字音ト認メタモノデアリマス、其音ノ數ハ總テ百五音ニナッテ居リマス、之ヲ原案ノ音ノ數、此文部省カラ下附ニナリマシタ字音數ニ比較スルト云フト、原案ニハ百二十五アルカラシテ私ノヲ之ニ比較スルト云フト二十音ダケ減リマス、ソレカラ尚ホ一字ノ外顯ハレナイ字音即チ[二]ノ字ヲ書イタダケノ字音十ダケヲ引キマスルト云フト九十五音ニナッテシマヒマスカラ實ニ原案ヨリハ三十音ダケ減リマスノデゴザイマス、是ダケデゴザイマシテモ百二十五音ノ中三十ダケ減ルト云フコトデゴザイマシタナラバ餘程是レハ原案ガ非常

ニムヅカシイ――ムヅカシイト云ウテ居ルニ拘ラズ其實ハムヅカシクナイト云フコトハ其一端ガ分ラウト思ヒマス、併シ此中ニハ「パポピ」ノ半濁音カラ成ッテ居ル字音ハ音便ノ外ニハ出マセヌカラ、日本ニハ音便ノ外ニハ半濁音ハ出マセヌカラシテ、私ノ表ニモ文部省ノ原案ノ表ニモドチラニモ是レハ數ヘテアリマセヌ、ソレデ斯ノ如キ結果ニナルノデゴザイマス、ソレカラ能ク委員ノ諸君モ言ハレマスルシ、又文部ノ當局者モ仰シャルニハ此字音ト云フモノハ學業ガ進ンデ來ルト云フト漢字ノ內ニ隱レテ仕舞フ、ソレダカラシテ是レハ殆ド不用デアルト云フコトヲ言ハレマシタ、是レハ一理アリマス――一理アリマスルガ併シナガラ隱レテシマウカラシテ一音ニ定メテ差支ナイト云フコトハ是レハ誤ッテ居ラウト思ヒマス、例ヘバ「コオ」ト發音スルノハ皆「コウ」ニシテシマウ、或ハ「ソオ」ト發音スルノハ皆「ソウ」ニシテシマウト云フヤウナ一音ニ定メルト云フコトハ決シテ此漢字ノ學習ヲ容易クスルモノデハナイ、却テ漢字ノ學習ヲ困難ニスルモノデアルト云フヤウナコトヲ一ッ御聽キュ入レタイト思フ、デソレニ就キマシテハ唯今御覽ヲ願ッタ私ヨリ出シタ紫摺ノ一枚マクッタ次ノ所ニ「字音檢索表」ト云フモノガアリマス、之ニ依ッテチョット御一覽ヲ願ヒタイ

字音檢索表（試製）

發音假名	字音假名	漢字
イ	いる	衣依　異以椅夷移〔硫〕〔貽〕
エ	えん	韋偉違圍緯　胃畏位委遺威維
	ふ	〔衣〕〔烏〕
オ	おん	會繪　惠衛穢〔烏〕
	を	○
ケ	け	汚汗
	くゎ	氣〔餘〕　卦罫　界井　化花華　快怪　袈假家　景懸捻
	げ	花
		下夏牙　外解　戲偈　〔見〕〔顯〕

ぐゐ　○
おう　應
あふ　押〔壓〕
あう　奧鷲鷄〔鳥〕
こふ　劫
コオ　甲鴨
かふ　口后　工功攻巧紅貢槓侯矦候控江鴻　公勾弘　拘苟　構購媾　洪興　厚後　薨
こう　孝考　交校狡絞　効〔績〕　更梗　佼抗航　幸睾　康庚慷　高膏〔嚆〕　行桁　岡綱鋼　告格　紺〔勘〕
かう　香向耕降　肛講

初メノ方カラマア見テ行キマシタトコロデ「イ」ト「キ」是レダケヲ今度一ツニシテシマヒマスルト、「イ」ノ下ニ書イテアルソレカラ皇后樣ノ「后」ノ字モ「コウ」デゴザリマス、ソレカラ「拘」ト云フ字モ、「苟」ト云フ字モ、皆「口」ト云フ字ガ入ツテ居ルノハ矢張「コウ」デアル、ソレカラ其次ニ「大工」ノ「工」ノ字、此「工」ノ字ヲ知ツテ居ルト、「功」「攻」「巧」ヨリ「鴻」ニ至ルマデノモノハ皆是レデ推シテ行ケルコトニナルデス、ソレデ其他モ是レデ御覽下サレバ御類推ニ難カラヌト思フ、「カウ」ノ方ノ例デアルト云フト例ヘバ「孝」モ「考」モ同ジク「カウ」、「交」モ「校」モ「狡」モ「絞」モ皆「カウ」デアルト云フガ如クニズツト類推ヲシテ見ルト云フト大變ニ漢字ハ學ビ易クナリマス、之レヲ若シゴタ〳〵ニ皆「コウ」ト云フコトニシタナラバソレコソ學ビニククナルノデアリマス、決シテ學ビヨイノデハナイノデアリマス、加之此後ニ支那語トノ關係ヲ

述ベマストキニ詳シク申シマスガ、「コウ」ト云フ方ノ字ハ必ズ「ウ」ノ合口音ヲ今日マデ存シテ居リマス、「カウ」ト云フ字ノ音ハ必ズ「ア」ノ開口音ヲ今日マデ存シテ居リマス、ソレハモウ決シテ間違ノナイコトデアリマス、此處デデス一ツ不思議ナ例ガアリマス、其中ニ一番終ニアリマスル「肛」ノ字ト「講」ノ字ハ是レハ全體「コウ」ノ方ニアリサウナモノデアリマス、「肛」ノ字ハ即チ「工」ト同ジク「コウ」ト云フ方ニアリサウナモノデアル、又「講」ノ字モ「構」トカ「購」トカ「媾」トカ云フヤウナ彼ノ中ニ一緒ニアリサウナモノデアルケレドモ、是レガ舊來「カウ」ノ方ニシテアル、言海ニモ矢張「カウ」ノ方ニシテアル、ソレハ何故デアルカト申スト云フト此「肛」ノ字ハ是レハ今ノ支那音ニスルト「カク」デアル、即チ「ア」ノ韻ニ屬シマス、「講」ノ字ハ「チヤク」矢張「ア」ノ方ニナル、外ノハ皆支那語ニスルト「ウ」ノ方ノモノニナツテ居リマスケレドモ、是レダケハ今日ノ支那音カラ照シテ見テモ「ア」ノ元素ヲ含ンデ居ルモノデアル、ダカラ決シテ是ハ間違デハナイ、モウ古來學者ガ實ニ誠實ニ熱心ニ忠實ニ斯ノ如キモノヲ存シテ來タト云フコトハ此一例ヲ見テモ誠ニ明カニ分ルト思ヒマス、ソコデ斯ノ如キコトノアルノミナラズ若シ之ヲ一音ニ定メルト云フト非常ニ困難ナ學ノ弊ヲ生ジマス、何故ダト申セバ同音異議ノ熟語ガ益々大イニ殖エテ來マス、ソレヲチヨツト申上ゲルト若シ此文部省カラ下附ニナリマシタ新舊假名遣對照語彙ト云フ、是レガ御手許ニアルナラバ御覽下サレバ、ソレニ就イテ申上ゲルト早ウゴザイマス、ソレノ第二卷ノ下ノ方ノ六十五頁ヲドウゾ御覽ヲ願ヒタイ、下ノ方ノ六十五頁ノ所ノ一番下ノ欄ニ「考」「甲」「劫」「乞」ト書イタ所ガアリマス、「考」ノ字モ「コウ」、「甲」ノ字是レモ「コウ」、其次ノ「劫」ノ字是レモ「コウ」ト書イテアル、ソレカラ「乞」ノ字「戀」ノ字、皆是レガ「コウ」ニナツテシマウ、所ガ舊來ノ音デ書クト「考」ト云フ字ノ方ハ「カウ」、「甲」ト云フ字ハ「カフ」、ソレカラ「劫」ノ字ハ「コフ」、ソレカラ「乞」ト云フ字ハ無論「コフ」ト斯ウ云フ風ニナツテ別カレテ居リマス、ソレデ之ヲ皆一緒ニシテシマウト云フトゴツチヤニナツテ餘程分ラナクナツテシマウ、成ルベク言葉ハ分化シテ行カナケレバナラヌ等ノモノデアル、ソレデスカラシテ支那語ノヤウナモノハ非常ニ同音ノ多イトコロノモノハ御承知ノ通リ四聲ヲツケル、四聲デハマダ足ラヌ所ハ南清ノ方ヘ行クト八聲ヲツケマス、平上去入ガ上平下平、上上下上、上去下去、上入下入ト云フ樣ニツケマス、廣東ニナルト十二聲ツケマス、上平、中平、下平、ナドト云フ風ニ十二ニ別ケマス、何故デアルカト云フト同ジモノガアルカラ成ルタケ別ケナイト他ノ人ニ分ラナイカラサウ云フコトニナツテ來ル、ソレデ日本ノハ夫程ニ複雜デナイカラシテセメテ書

イタ物ノ上デ分ルタメニハ書別ケテアッタ方ガ確ニ覺エ易イ、之ヲ一緒ニサレタトキニハ益々ムヅカシクナリマス、同音異義ノ字ガ大イニ增シテ來マス、ソレノミナラズ一體此「コウ」ト書イタノハ何處マデモ、「コーウ」デス、是レハ未來永劫「コオ」ニナリハシマセヌ、幾ラ行ツタッテ「コウ」ハ「コウ」デス、「コウ」「コウ」「コウ」幾ラ速ク言ツタッテ「コウ」デス、「コウ」ト「コオ」トハ違フ、決シテ「コウ」ト書イテ「コオ」ト云フ發音ハ出ヤシマセヌ、其處ニ至リマスルト寧ロ棒引假名ノ方ガ宜シイト云フ論モ出來ルカ知リマセヌ、又先達ノ矢野君ノ御話ノヤウニ「コオ」ト書ク方ガ宜イ、私共ハソレニ贊成ナノデス、發音假名ナラバ「コオ」ト書ク方ガ宜シイ、「コオ」ト云フヨリ外ニハ讀ムコトガ出來ナイヤウニスルガ宜シイ、ソレヲ「コウ」ト云フ字ヲ以テカラニ「コオ」ト云フ發音ノ字ヲ皆一律ニ變ヘテシマウト云フヤウナコトハ實ニ是レハ私ハ甚ダ考ノ無イコトデハナイカト思フ、ソレデソレカラ後ノ方ニ行キマスルト一々御覽ヲ願フモ煩シウゴザイマスカラ私ガ申シマスガ、例ヘバ「高言」ト「廣言」親ニ孝行スルト云フ「孝行」ノ字ト物ヲ出版スルトカ或ハ公ニ行フト云フ「公行」ノ字、是レガ同ジニナル、「香合」ト「皇后」ト同ジニナッテシマウ、「高山」ト「鎭山」トガ一ツニナル、「糀」ト「小路」ト是レガ一ツニナッテシマウ、「皇上」ト「工場」ト同ジニナッテシマウ、「香煎」ト云フ食フ物トソレカラ吾々ガ今使ッテ居ル二光線ト同ジニナッテシマウ、ソレカラ「高利」ト「氷」トソレカラ「小賣」トソレガ皆一ツニナッテシマウ、此類ノ同音異義又ハ語體ヲ破壞スルモノハ數ハ言海ニ載セタル言葉ノ中實ニ五千七百餘トナル如何ニモ驚クベキコトデアッテ此點ニ於テハドウシテモ是レハ不合理ト言ハザルヲ得ヌ、棒引假名ノ方ガ例ヘバ「氷」ト「小賣」ト區別スルト云フヤウナコトニ就イテハ寧ロ宜イト言ハザルヲ得ヌカト思フ程デアリマス、此「ウ」ノ假名ヲ使ヘバ漢字ナドヲ學ブコトガ易クナルト云フコトハ決シテ事實ニ於テアリ得ベカラザルコトデアリマス、ソレカラ又之ヲ一樣ノ字音ニ定メマスルト歷代ノ天皇ノ御諡號ガ讀メナクナリマス、ソレカラ母親ノ名ナドガ矢張讀メナクナリマス、ソレハ私ガ此處ニチョット書イテ置キマシタ表デ明カデゴザイマス

歷代　御諡號中讀ミ得可カラザル分

綏靖（スイゼイ）　孝昭（コウショウ）　孝安（コウアン）　垂仁（スイニン）　景行（ケイコウ）　安康（アンコウ）
推古（スイコ）　皇極（コウギョク）　聖武（ショウム）　陽成（ヨウゼイ）　圓融（エンユウ）　一條（イチジョウ）
近衛（コノエ）　後西院（ゴサイイン）　後水尾（ゴミズノオ）

其他畧ス

此表ノ「綏靖」「孝昭」「孝安」以下之ヲ御覽下サレバ片假名ニテ記シタル假名ダケガ讀メナクナルノデゴザイマスルカラシテ、是レハ直チニ御分リニナラウト思ヒマス、ソコデ或人ハ固有名詞ハ別デアルカラ固有名詞ダケハ別ニ敎ヘテモ宜イデハナイカト云フヤウナ說ヲ言ハレル、ソレハ成程一理アルコトデス、例ヘバ英語デ云フ「ロイド」ト云フノハ Lloyd ト書イテアルーヲ二ツ書ク必要ハナイケレドモソレガ二ツ書イテアル、ソレト同ヲ譯デ固有名詞ダケハ別ダト見テ宜イデハナイカト云フ御論ガアル、ソレハ一理アルコトデアルケレドモ、例ヘバ「孝昭」ト云フ場合ニ「カウ」ト云フ字モ使ヒ「セウ」ト云フ字モ使フト云フ事ハ決シテサウ云フ古代ノ一種ノ習慣カラ來テ居ルノデモナイ、今日新聞デアッテモ或ハ雜誌デアッテモ今日ノ普通文學ニ皆「孝行」ナドト云フトキハ「カウカウ」ト書イテアル、決シテ古代ノモノデアルカラシテソレダカラ普通敎育ノ本旨ト御認メニナリマスルカト云フコトヲ私ガ言ウタ覺エハナイ、多分芳賀君ノ御聽違デアッタカ又ハ其芳賀君ガ言ウタノハ私ノコトデハナカッタカモ知リマセヌ、確ニ伊澤君ト言ハレタヤウニ私ハ聽キマシタガ若シソレデアリマスレバアナタノ是レハ御間違デアリマスルカラドウゾ篤ト御考直シヲ願ヒタイ、斯ク申ス通リ讀メナクナルコトハ事實デアル、全ク讀メナクナルカラ其事ヲ私ハ事實ヲ申シタニ過ギナイノデアリマス、ソレカラ次ニ移リマシテ彼ノ文部大臣ノ御演說ニモ「現行法ニ依レバ國文ハ先ヅ假名ニ依ッテ之ヲ現ハスヲ以テ假名遣ガ小學敎育ノ初年ニ於テ敎フル國文ノ本則トナリ隨ッテ非常ニ大切ナルコトトナッタノデアリマス」トアリマス、其通リデアリマス、實ニ假名遣ハ大切ナルモノデアル、ソレダカラシテ初度ノ敎育ニ於テハドンナノヲ用キテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ論ハ私ハ贊成スルコトガ出來ナイ、最モ大切ナルモノデアル文部大臣ノ仰シヤル通リデアリマス、ソコデス正則ノ假名、即チ吾々ガ正則ト認メルトコロノ今日行ハルル假名ニ依ッテサウシテ初等ノ敎育ヲ行ッテ行ッタナラバドレダケムヅカシイダラウカト云フコトヲ私ガ文部大臣ニ質問シタ、天子ノ御名モ讀メナク、ソレカラ母ノ名モ讀メナイト云フコトヲスルノガ普通敎育ノ本旨ト御認メニナリマスルカト云フコトヲ私ハ質問シタ、決シテドッチニ書イタカラ愛國心ガアルノナイノトカト云フヤウナ說ヲ言ハレル、ソレハ成程一理アルコトデス、例ヘバ英語デ云フ「ロイド」ト云フノハ Lloyd ト書イテアルーヲ二ツ書ク必要ハナイケレドモソレガ二ツ書イテアル、ソレト同ヲ譯デ固有名詞ダケハ別ダト見テ宜イデハナイカト云フ御論ガアル、ソレハ一理アルコトデアルケレドモ、例ヘバ「孝昭」ト云フ場合ニ「カウ」ト云フ字モ使ヒ「セウ」ト云フ字モ使フト云フ事ハ決シテサウ云フ古代ノ一種ノ習慣カラ來テ居ルノデモナイ、今日新聞デアッテモ或ハ雜誌デアッテモ今日ノ普通文學ニ皆「孝行」ナドト云フトキハ「カウカウ」ト書イテアル、決シテ古代ノモノデアルカラシテソレダカラ普通敎育ノ本旨ト御認メニナリマスルカト云フコトヲ私ガ言ウタ覺エハナイ、多分芳賀君ノ御聽違デアッタカ又ハ其芳賀君ガ言ウタノハ私ノコトデハナカッタカモ知リマセヌ、確ニ伊澤君ト言ハレタヤウニ私ハ聽キマシタガ若シソレデアリマスレバアナタノ是レハ御間違デアリマスルカラドウゾ篤ト御考直シヲ願ヒタイ、斯ク申ス通リ讀メナクナルコトハ事實デアル、全ク讀メナクナルカラ其事ヲ私ハ事實ヲ申シタニ過ギナイノデアリマス、ソレカラ次ニ移リマシテ彼ノ文部大臣ノ御演說ニモ「現行法ニ依レバ國文ハ先ヅ假名ニ依ッテ之ヲ現ハスヲ以テ假名遣ガ小學敎育ノ初年ニ於テ敎フル國文ノ本則トナリ隨ッテ非常ニ大切ナルコトトナッタノデアリマス」トアリマス、其通リデアリマス、實ニ假名遣ハ大切ナルモノデアル、ソレダカラシテ初度ノ敎育ニ於テハドンナノヲ用キテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ論ハ私ハ贊成スルコトガ出來ナイ、最モ大切ナルモノデアル文部大臣ノ仰シヤル通リデアリマス、ソコデス正則ノ假名、即チ吾々ガ正則ト認メルトコロノ今日行ハルル假名ニ依ッテサウシテ初等ノ敎育ヲ行ッテ行ッタナラバドレダケムヅカシイダラウカト云フコトヲ調ベテ見タノデアリマス、ソレハ先ヅ第一ニ文部ノ當局者ニ乞ウテ小學敎育三年間ニ敎ヘベキトコロノ即

チ此ムヅカシイト認ムルトコロノ假名ノ數ヲ調ベテ御貰ヒ申シマシタ、即チ其調ガ出來マシタ、ドウゾソレヲ今度ハ御覽ヲ願ヒタイ、即チ文部省ヨリ下附ニナリマシタ「尋常小學讀本卷一乃至卷六假名遣取調表」ト云フ是レガ一ツ、ソレカラモウ一方ニハ是レハドウモ印刷ノ暇ガゴザイマセヌデシタカラ遺憾ナガラアナタ方ニ御配付ハシテ居リマセヌガ、私ガ此處ニ一ツ原案ヲ持ッテ居リマス

ソレデ此取調表ガドウ云フ風ニ出來テ居ルカト斯ウ見マスルト云フトマア初メニ國語、字音ト別ッテアリマシテソレカラ語ノ數、語ガ此處ニ種別シテアリマス、ソレカラ現レタル度數ト云フコトガアリマス、斯ウ云フ風ニシテソレカラ「キ」「イ」「エ」「エ」ト云フヤウナ風ニ列ベテアリマス、ソコデ此下ニ書イタ數字デス、此數字ハ何ガ現ハレテ居ルカト云フト本ノ中ニ此音ガ幾ツ出テ居ルカト云フ數ヲ是レハ現ハシタノデアリマス、是レデ見ルト大變餘計ノヤウニ見エルデス、先頃私ハ或新聞ヲ取ッテ見ルト新聞社ナニカモサウ誤ラレタモノト見エテ何百幾ツアルトカ書イテアリマシタ、所ガ是レハサウ云フモノデハナイ、此現レタ度數ト云フノハ初メニ新シイ音ヲ教ヘテソレカラ其後ニ之ヲ練習シテ記憶ヲ固メルガタメニ幾度モ〳〵ヤラスルモノデアル、ソレダカラシテムヅカシイ音ガドレダケ現レタト云フコトハ即チ初度ノ一回ヨリ外是レハ役ニハ立チマセヌ、併シ是レハ大變御丁寧ニ出來タモノト私ハ思フ、ソレデ初メニ現レタ初度ノ一回ダケヲ調ベテ見ルトドレ程ニナルカト言ヒマスト、サウスルト國語假名遣ノ方ノ音數ハ僅ニ十一デゴザイマス、僅ニ十一シカアリマセヌ、ソレカラ字音ノ方ノ音數ハ四十二アリマス、是レハ私ガ先ヅ多分誤ナカラウカト思ヒマス、併シ當局者ニ於テ尚ホ細カク御調ベ下サレバ誠ニ仕合ト思ヒマス、國語ノ音數ガ僅ニ十一、ソレカラ字音ノ音數ガ四十二、是レダケヨリアリマセヌ、ソコデ是レガソンナニムヅカシイモノデアルカドウダカ、マア即チ小學三年ニ教ヘルダケノ假名ガエライムヅカシイモノデアルト云フヤウニ御考ニナルケレドモ、ムヅカシイモノデアルヤ否ヤ、斯ウ云フコトヲ私ガ調ベテ見マシタ、サウスルト國語ノ部デハ唯「キ」ト「エ」ト「ヲ」ト此ノ三ツノ音ヲ教ヘルコト、是レガ一ツデス、ソレカラ第二ニハ「ハヒフヘホ」ノ音ガ一語ノ中ニ來ルカ又ハ末ニ來タトキニハ何時デモ「ワキウエヲ」ノ發音ヲスル斯ウ云フコトヲ教ヘレバ宜イデス、其外ニハ「カウ」「サウ」「マウ」是ダケデス、カウ」「サウ」「マウ」ハ「コオ」「ソオ」「モオ」ノ如クニ發音スルト云フコトヲ教ヘレバ宜シイ、ソレヨリ外ハアリマセヌ、唯ソレダケシカナイ、如何ニ能力ノ弱イ生徒ダト云ッテモ又ハ如何ニ不熟練ノ教員ダト云ウテモ此位ノ事ヲ教ヘルノニ困難デアルトカ非常ニムヅカ

シイトカト云ウテ訴フベキ價値ハナイト私ハ考ヘル、實ニ簡單至極ナ話デアル、ソコデ字音ノ方ハドウカト云フト、字音ノ方ハソレヨリハ少シムヅカシイ、先ヅ此「キ」「エ」「ヲ」ト「カウ」「サウ」「マウ」是ダケハ國語ノ方デ教ヘテアルカラシテ是レハモウ字音ノ方ノトキニハ關係無イモノト見テ宜シイデス、ソコデ專ラ字音ニナルノハ是レニ四ツノ類ガアッテ其第一ハ斯ウ云フ類デス、阿列ノ假名ガ「ウ」カ又ハ「フ」ニ連ナル時ハ各「オ」列ノ音ニ「オ」ヲ附加シタヤウニ發音スルノデアリマス、之ヲ實例ヲ以テ申シテ見マスルト、阿列ノ假名ト云フト「アカサタナハマヤラワ」ソレダケ、ソレニ「ウ」又ハ「フ」ガ加ハッタノダカラあう、(かう)、かふ、(さう)、たう、たふ、なう、なふ、はう、はふ、(まう)、やう、らう、らふ、わう、是ダケニナル、是ダケノモノヲ「オオ」「コオ」「ソオ」「トオ」「ノオ」「ホオ」「モオ」「ヨオ」「ロオ」「ヲオ」ト斯ウ發音スルト云フコトヲ教ヘタラ宜イ、五十音圖ガ一枚アッテサウシテ是ダケノコトヲマアチョット教ヘレバ世話ナイ話デアル、第二類ハミ「イ」列ノ假名又ハ「ユ」ガ「ウ」又ハ「フ」ニ連ナルトキハ其尾音ヲ「ウ」ニ發音スルコト、即チ「イ」列ノ假名及ビ「ユ」ノ場合ニハ「ウ」又ハ「フ」ノ附イタ仕舞ノ音ハ「ウ」ニ發音スルノダト斯ウ云フコトニ教ヘレバ宜シイ、ソレノ實例ヲ申シマスルト、「イ」列及ビ「ユ」ノ音ハ「ユ」ト「イキシチニリ」是ダケデス、ソレデ結ビ付イタ例ヲ云フト、ゆう、いう、いふ、きう、きゆう、きふ、しう、しゆう、しふ、ちう、ちゆう、にう、にふ、りう、りゆう、りふ、是ダケハ「ユウ」「キュウ」「シュウ」「チュウ」「ニュウ」「リュウ」ト斯ウ發音スルト云フコトヲ教ヘレバ宜イ、ソレダケノ話デアリマス、ソレカラ第三類ハ「エ」列ノ假名ガ「ウ」又ハ「フ」ニ連ナルトキ各「イ」列ニ轉ジテ之ニ「ヨオ」ヲ附シタヤウニ發音スルモノデアル、例ヘバ「エ」列ノ假名ト云フノハ「エケセテネヘメレ」デス、ソレヲ「イ」列ニ轉ズルカラ「イキシチニヒミリ」ニナル、ソレニ以テ行ッテ「ウ」又ハ「フ」ガ附イタノダカラえう、えふ、けう、けふ、せう、せふ、てう、てふ、ねう、へう、めう、れう、れふ、是レガ「イョオ」「キョオ」「ショオ」「チョオ」「ニョオ」「ヒョオ」「ミョオ」「リョオ」ノヤウニ發音スル、ソレカラシテ其次ノ第四類ハ「ヤウ」モ「ヨウ」モ「ヨオ」ト發音シテ「イ」列ノ假名ノ下ニ附シテ各々拗音ヲ發生スル、「イ」列ノ假名ト云フノハ「キシチニヒミリ」、ソレヘ以テ行ッテカラニ「ヤウ」又ハ「ヨウ」ガ附イタノダカラ、きやう、きよう、しやう、しよう、ちやう、ちよう、にやう、によう、ひやう、ひよう、みやう、みよう、りやう、りよう、是レガ「キョオ」「ショオ」「チョオ」「ニョオ」「ヒョオ」「ミョオ」「リョオ」ト、斯ウ云フ風ニ發音スル、是ダケノコトヲ教ヘレバソレデ濟ンデシマウ、ソレダカラシテ成程少シハムヅカシイ

ヤウデアルケレドモ、小學教育六ケ年間ニ此位ナコトヲ教ヘル位ハ何デモナイ、是レハ一體心力ノ鍛錬ノ爲ニ必要デアル、マルデ溫室デ育ッタ獨活ノヤウナ風ニボカ〳〵體バカリ大キクテモ頭ノ中ハ豆腐ノヤウデハ役ニ立タヌ、ソレダカラ教育ニハ鍛錬ト云フコトガ必要デアル、是位ノ鍛錬ト云フモノガ丁度好イ加減ナ鍛錬デアル、若シ佛蘭西語デアルトカ獨逸語トカ、獨逸語ハ比較的發音ハ易イサウデスケレドモ、英語デアルトカ云ッタモノナラ斯ンナ澤ノモノデナイ、僅カ二百カ三百ニ書ケルヤウナソンナ簡單ナモノデナイ、ソレハ諸君ノ御承知ノ通リノコトデアル、ダカラシテ是ダケノコトガ教ヘラレタナラバソレデ字音假名遣モ何ノコトハナク教ヘラレルノデアル、當ニ心力ノ鍛錬ニナルノミデハナク將來文學或ハ語學ヲスルガ爲ニモ必要デアル、文部大臣モ仰シヤッタ通リ幼時ノ教育ニ假名ハ大切デアルカラ初メカラ正シイモノヲ教ヘナケレバナラヌ、是シキノ艱難ニ耐ヘテ是ダケヲ學バシムルト云フコトガ將來ニ大利益ノアルコトデアッテ、最初ニ嘘ヲ教ヘテ置クト云フト生涯正シクナルコトハナイ、ソレハ丁度今日洋學バカリ幼少ノ時カラシテヤッテ外國ニデモ行ッテ居ッタ人ガ日本ニ歸ッテ來テ假名デモ見ルト云フト、非常ニムヅカシイヤウニ思ウテムヅカシイ〳〵ト云ウテ說ヤ廻ハル、ソレハサウダラウト思フ、私ハ實ニ御察シ申スデス、外國ニ行ッテ居ッテ橫文字バカリ見テ居ッタ人ガ日本ニ來テ初メテ漢字ヲ見タリ假名ヲ見タラ非常ニムヅカシイヤウニ御思ヒヤサルニ相違ナイケレドモ、私モ小學教育ニモ經驗ガアリ、師範教育ニモ經驗ガアルケレドモ、決シテ私ハ是位ノコトヲ幼兒ニ教ヘルコトハ少シモ無理ナコトデハナイト思ヒマス、眞實私ハサウ信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ終リニ第三號表ノ漢字ノ數ニ就イテモ大凡ソ千二百ト云フコトヲ極メタ時代ハ是レハ小學校ノ修業年限ガ四年ノ時ニ定メタモノデアリマス、ソレデ就學年限ガ四年ノ時デモ既ニ今日出來テ居ル國定教科書ノ如キハ漢字ノ足ラヌト云フコトガ一般ノ輿論デアリマシタ、考ノアル人モ、考ノナイ人モサウ殆ドミナ信ジテ居ルト云ッテ宜シイ位デアル、ソレダカラシテ無論是レハ增サナケレバナラヌ、是レモ教授法ガ少シ良ク出來タナラバ少シモムヅカシイコトデハナイト私ハ考ヘマス、是レハ最早ドウシテモ改メナクテハナラヌ時期ニ今日ハ達シテ居ルト云フコトノ前提ノ爲ニ私ハ今此處デ一言申シテ置クノデアリマス、甚ダ失禮デスガ、茶カ水ガゴザイマスナラバ……チヨット休息致シマス

唯今迄ニ小學ノ方ノコトヲ申シマシタガ、是レカラ進ンデ此假名問題ノ中等教育以上ニ關スル所ノ影響ニ就テ申述ベヨウト存ジマス、第一ニ此假名遣問題ト云フモノハ我國語ノ發達ヲ

圖ルコト且又外國語ノ基礎トシテ之ヲ研究セネバナラヌト云フコトヲ第一ニ申述ベヨウト思フノデアリマス、ソコデ今日迄ノ專門家ノ先生達ハ失禮デゴザイマスケレドモ國語ノ變遷ト云フコトヲ無論認メラレテ居ルコトハ吾々モ同ジデアリマスケレドモ、兎ニ角ニ國語ノ所謂退化ノコトヲ言ッテ進化ノ方ノコトヲ言ッテ居ラレナイ、森委員ノ言ハレタ即チ衰退ノルール漢字ノ中ニ假名ガ隱レルト言ハレル、恰モ漢字ノ衰龍ノ方ノ變遷ハ認メラレテ居ルケレドモ之ガ複雜ニ進ンデ行ク方ノ點即チ進化ノ方ハ一向認メラレテ居ラナイヤウデアリマス、例ヘバ「お」ト「を」、「ぢ」、「づ」ト「じ」、「ず」、「か」ト「くわ」、斯ウ云フ音ガ九州又ハ四國其他ニ存在シテ居ルト云フコトハ實ニ是レハ仕合ノコトデアリマスル、ダカラ之ヲ一般ニ傳ヘテ我國語ノ將來ノ發達ニ資スルコトガ言語學者トシテ忠實ノ話デハナイカト思フ、森委員ノ御說ニモ一寸ゴザイマシタガ矢張リ思ヒ或ル地方ニ隱レテ居ル音ハソレガ復タ世ニ出テ國語ノ進步ヲ爲スト云フコトハ是レハ眞理ト考ヘテ居リマス、ダカラシテ「お、を」、「ぢ、づ」、「か、くわ」ト云フヤウナモノガ存在シテ居ルナラバ之ヲ何レモ正シク教ヘテサウシテ國語ノ發達ヲ圖ラヌト云フト、我國語ノ如ク母韻ニモ乏シクソレカラ子音ニモ乏シイ國語ノ將來ノ發達ト云フコトハ甚ダ覺束ナイト思フ、例ヘバ獨逸語ニ致シマシテモ獨逸語ハ昔ハ羅甸語ヲ多ク使ッテ居ッタモノガ段々羅甸語ヲ廢メテ今日デハ獨逸語デ捲ヘヘタ語ヲ使フヤウニナッテ來タ、ト云フノハ是レハ獨逸ノ音韻ガ母韻ニ於テモ子音ニ於テモ餘程豐富デアルカラ大第ニ言葉ヲ捲ヘテ今日ノ獨逸語ガ發達シテ來タノデアリマシテ、此國語調査會抔ニ列シテ居ラル、諸君ハ一ト度ハ漢字ヲ廢止スルト云フ迄ニ堅ンナ議決ヲシナガラ、今日デハ假名遣ノ問題ニナルト漢字ノ中ニ假名ガ隱レルト言ハレル、恰モ漢字ノ衰龍ノ袖ノ下ニ隱レル如キ議論ヲセラルヽコトハ甚ダ私ハ不思議ニ考ヘル、ダカラシテ矢張リ眞實ノ日本語ノ發達ヲ圖ラレルナラバ成ル可ク今日存シテ居ル所ノ子音、ソレカラ母韻モ今ニッ位ハ認ムベキモノガアリマス、サウ云フモノヲバ發達セシメテ行クノガ實ニ國語學者ノ御責任デヤナイカト思フノデアリマス、故ニ私ハ斯ウ云フ音ヲ矢張リ教ヘルコトガ宜シイト思ヒマス、ソレモ決シテ六ケ敷イコトデハナイ、此位ノモノヲ教ヘルニハ中學以上ノ生徒ナレバ二週間アレバ私ガ御引受ケ致ス、決シテ二週間掛リヤシマセヌ、ソレカラ此音ヲ學ンデ置キマスト外國語ヲ學ブニ當ッテ非常ニ便利デアリマス、サウシテ外國語ヲ學ブノニ自分ノ本國ノ言葉ノ音韻ニ乏シイ所ノ國民ハ皆外國語ガ下手デアリマス、之ニ反シテ音韻ノ豐富ナ所ノモノハ外國語ガ概シテ巧ミデアリマス、ダカラ諸君モ能ク御承知ノ通リ日本國民ハ餘程外國語ガ下手デアル、何デアルカト云フト自分ノ國語ノ音韻ガ乏シイカラ非常ニ他國

語ヲ學ブ上ニ不利益デアル、所ガ露西亞語ダトカ支那語ダトカ云フモノニナルト、自國ノ言葉ガ非常ニ音韻ガ豐富デアルカラ他國ノ言葉ヲ學ブノニモ非常ニ易イ、支那ノ學生ガ日本語ヲ學ブノト吾々ガ支那語ヲ學ブノトハ非常ナ差ガアリマス、支那人ノ方ハ早ク覺エテ巧ミニ操ツル、吾々ハナカ〳〵容易ニ出來ナイ、朝鮮ニシテモ我國ヨリ音ノ數ガ多イ、ダカラ朝鮮人ニシテモ日本人ヨリハ寧ロ巧ミデアルト言ウテ宜シイカト思フ、ソレカラ專門家ノ委員ノ方ノ中ニハ假名遣ハソンナニ六ケ敷イト云フヤウナコトハナイダラウ、外國語ト比較シタラ六ケ敷クハナイダラウガ併シ是レハ不必要デアル、必要カ不必要カト云フ問題デアルト云フコトヲ堂々ト言ハレテ居ル、之ニハ既ニモウ反對モアリマシタガ私ハ大反對デアリマス、斯ウ云フ先生達ハドウ云フ風ニ今日ノ假名遣ト云フモノヲ見テ居ルカト云フト最モ正式ノ假名ヲ古物トシテ見テ居ルノデアル、今日自分達ガ日々使ツテ居ルコトヲ忘レテ、是レハ平安朝ノ假名遣デアル古物デアルト斯ウ言ウテ居ラルヽ、其見方ト云フモノハ丁度生物學者ガ化石ヲ見テ居ルヤウナ見ヤウデアル、或ハ人類學者ガ古器物ヲ見テ居ルト同ジヤウニ見テ居ラレル、此假名遣ノ問題ト云フモノハ實ニ現今ノ此社會ニ吾々ノ生キテ居ル社會ニ、今日ノ活潑々タル問題デアルト云フコトヲトント忘レテ居ラル、、實ニ驚キ入ツタト申サナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ次ニ字音ノ假名遣ノコトヲ少シ述ベマス、字音ノ假名遣ハ諸君モ御承知ノ通リ應神天皇以來殆ンド千六百餘年ノ間傳ヘテ來テ初メニハ音ノ博士モアル、殆ンド世々ノ學者ガ忠實ナ心ヲ以テ學問ノ爲ニ保存シテ來タノデアリマスカラ必ズ必要ガアリサウナモノデアル、ダカラ其必要ガ有ルカ無イカト云フコトハ先ヅドウシテモ御調ベニナラナクチヤナラナイト思フ、必要デアルカ不必要デアルカト云フコトヲ先ヅ御調ベニナラナクチヤナラナイ、ソレデ無論是ハ御調ベニナツテ居ル事ト考ヘテ居ルケレドモ不幸ニシテ今日迄此假名遣ガ我歷史文學ノ上ニ重大ナル關係ノアルト云フコトヲ專門ノ方々ヨリ私ハ聽カナイ、是レハ誠ニ私ガ遺憾トスル所デアリマス、ソレデ先ヅ第一ニ先刻モ申上ゲマシタガ天皇ノ御諡號、年號、此事ニ就テ先ヅ第一ニ申上ゲヨウト思フ、私ハ天皇ノ御諡號、年號ト云フモノヲ此處デ出シマスルノハ決シテ忠愛トカ何トカ云フ感情ヲ以テ御受取下サラナイコトニ願ツテ置キタイ、此歷代ノ天皇ノ御諡號トソレカラ年號ト云フモノハ、恰モ星學家「アストロノマー」ガ色々著名ノ星ヲ標的ニシテ天地ノ測量ヲスルト同ジコトデアリマス、歷史家ハ即チ御諡號ト年號トヲ標的トシテ時代ノ測量ヲシテ其間ニ起レル各種ノ現象ヲ研究スルノデアリマス、ダカラシテ之ヲ混亂スルノハ

全ク我歷史ノ研究ヲ妨ゲルモノデアルト申シテ宜カラウト思フ、殆ンド天文學者ニ向ツテマア望遠鏡ノ先ノ方ノ硝子ニ持ツテ行ツテ墨ヲ塗ツテ仕舞ツタト同ジコトデ星モ何モ見エナイ、サウシテ天體ノ測量ガ出來ヤセヌ、ソレト同ジコトデアリマス、ダカラシテ或ハ御笑ヒニナツタリシテ何云フカト御思ヒカモ知レヌガ、是レカラ云ウテ聽カセマスカラ能ク御聽キヲ願ヒタイ、ソレ丈ケハ御分リニナツタラウト思フ、天文學者ノ星宿ニ於ケルト同ジヤウナ關係ノモノデアル、ソレヲ混亂シテ仕舞フト云フト歷史ガ讀メナクナツテ仕舞フ、歷史ガ讀メナク分ラナクナツテ時代ノ測量ガ出來ナクナツテ仕舞フ、ソレガ爲ニ私ガ資料トシテ出シマシタ中等教育以上ニ關スル資料(一)トゴザイマス、「年號中讀ミ誤リ易キ例」ト云フノヲ御覽下サルト分リマス

中等教育以上ニ關スル資料　(一)

年號中讀誤リ易キ例

文部省ノ改定假名遣ニ從フトキハ、此ノ例ニ片假名ニテ記シタルモノハ、ミナ同一トナリ、爲ニ年號ノ混亂ヲ來スモノナリ

弘安（コウあん）……一九三八―二〇二二　康安（カウあんノ北）……一〇二二

弘治（コウぢ）……二二一五―四一三　康治（カウぢ）……一八〇三

弘和（コウわ）……二〇四一―二八二　康和（カウわ）……一七五九

承暦（ジヤウりやく）……一七三七―八七　正暦（シヤウりやく）……一六五〇

承元（じようげん）……一八六七―二三一　貞元（ぢやうげん）……一六三六

承和（じようわ）……一四九四―五一一　貞和（ぢやうわ北）……二〇〇五

元亨（げんかう）……一九九一―一〇　元弘（げんこう）……一九八二　二ツトモ後醍醐帝ノ御代ニアリ

承應（じようおう）……二三二一―四三〇　貞應（ぢやうおう）……一八八二

嘉祥（かしやう）……一七六六―一八〇一　嘉承（かしやう）……一一〇六―一三八

例ヘバ弘安ト云フ年號ト康安ト書イタノト二ツアリマス、ソレデ上ノ方ノ弘安ハ紀元千九百三十八年、下ノ方ノ康安ハ二千〇二十一年、横ニ書イタノハ即チ紀元ノ數ヲ書イタノデ、中央ニ書イタノハ是レハ時代ノ差ヲ書キマシタノデアリマス、即チ「こうあん（弘安）」ト「かうあん（康安）」トノ差ハ八十二年違ツテ居リマス、又弘和ト書イタノト康和ト書イタノトハ二百八十二年違ツテ居リマス、斯ウ云フヤウニ御覽下サルト私ガサウ多辯ヲ費スヲ須ヒズシテ能ク御了解ニナラウト思ヒマス、所デ一番仕舞ガ元亨（ぐわんかう）ト云フノト元弘（ぐわんこう）ト書イタノト、此二ツノ年號ハ同ジ天子樣ノ時代ニ出テ居ル、即チ後醍醐帝ノ時ニ出テ居ル、ダカラ此同ジ天子ノ時ニ斯ウ云フ同ジモノガ出テ來ルト云フト、ソレコソ何方ラデアルカト云フコトガ分ラヌコトニナリマセウ、所デ何モサウ八釜敷言ハスデモ歷史ノ事ヤ何カハドウ書イテモ宜イジヤナイカト云フ隨分極ク輕ク御考ニナルカモ知レマセヌガ、之ニ就テハ私ハ此處デ所謂學問ニ忠實ナル先輩ノコトヲ申サナケレバナラヌト思

フ、文部省デ明治七年ニ即チ敎育ノ布キ始メニ於テ歷代ノ御諡號及年號讀例ト云フモノヲ拵ヘマシタ、ソレヲ拵ヘタノハ誰ガ重立ツテヤツタカト云フト黒川眞頼君ガ重モナ人デ、小中村清矩、佐藤誠實等ノ先生ガ澤山集ツテサウシテ之ヲ調ベタノデアリマス、之ニ就テノ辯解書モアルノデスケレドモ其草稿ハ不幸ニシテ唯今手ニ入リマセヌケレドモ、ソレニ依テ見ルト御諡號ト年號ト云フモノハ總ベテ假名デ書イタモノニ依ツテ之ヲ調ベ上ゲタノデアル、ダカラ決シテ承暦(シヨウリヤク)ヲ正暦(シヨウリヤク)ト讀ム譯ニ行カヌ、承ハ「ぞよう」ト讀マナケレバナラヌト云フヤウニ實ニ誠實ニ是レハ調ベ上ゲテ出來タモノデアル、サウ云フ譯デアルカラ先ヅ是レハ正シイモノト見テ宜カラウト思ヒマス、其後ニ二三出來タモノモアリマスケレドモソレハ誠ニ極ク瑣細ナ點ニ於テチヨツ〳〵ト違ツタ所ガアルノミデ、大體ハ之ニ依ツテ行キマシテ少シモ差支ナイト私ハ認メテ居リマス、斯ク迄ニシテ先輩ガ骨ヲ折ツテヤツタト云フノハ何デアルカト言ヘバ即チ我國ノ歷史ヲ明ニシテサウシテ我國體ト云フモノヲ、ソレコソ萬世ニ保ツテ行カナケレバナラヌト云フ殆ンド根本トナルベキ歷史デアルカラ、ソレヲ讀誤ルヤウナコトガアツテハナラヌカラ、夫故ニ此ノ如ク骨折ツテ拵ヘラレタモノト私ハ信ジマス、次ニハ今日迄千六百餘年間傳ツテ來タ所ノ漢字音ト云フモノガ、現在ノ臺灣語支那語朝鮮語ト如何ナル關係ガアルカト云フコトヲ一ト通リ申上ゲテ見ヨウト思ヒマス、之ニ就キマシテハドウゾ再ビ普通字音表ヲ御覽ヲ願ヒタイ、此表ノ「こう」ト「から」トニ就テハ先刻モ一寸申シマシタガ如何樣ニ變化シテモ「こう」ハ本來ノ合口音タル「う」韻「から」ハ何時デモ開口音タル「あ」韻ニナツテ居マス、此處ニ少シク細カク調ベタモノガアリマスガ「こう」ノ方ノ音デ申セバ

「こう」ノ例

Kou	口句拘苟構購媾
Hou	后侯候厚後
こう Kung	工功攻貢控公
Hung	紅鴻弘洪薨

現代ノ支那ノ官話音ニシマスト「コウ」ト云フノト「ホウ」ト云フノト「クグ」ト云フノト「フグ」ト云フノデアリマス、「コウ」ハ「ウ」デアリマス、「ホウ」モ「ウ」デアリマス、「クグ」「フグ」モ「ウ」韻デ皆ナ合口音デアリマス、此外ニハ出マセヌ、ソレカラ「から」ト書イタ方ノ字ハ大分ニ變化シテ居リマスガ、皆ナ「ア」韻ヲ保チ變化ノ極ニ至テモ決シテ開口音タルコトハ失ヒマセヌ

Kao　高膏告考

Kang　伉抗航康慷岡綱肛 Kêng 更梗庚耕

Hang　行桁

Hsiao　孝校効　Chiao 交梭狡絞　Hsiang 香向降 Chiang 講降　Hsing 幸興

第一ニ「カオ」「カグ」「シアオ」ト分カレ、「カグ」ハ轉ジテ「カオケ」トナリ、「シアオ」ハ「チアオ」「シアケ」「チアケ」「シグ」トナル、「う」ニナツタノハ一ツモアリマセヌ、皆「か」カラ變ジテ行ツテ居リマス、若シ御用ガアレバ粗雜デハアリマスケレドモ此處ニ斯ウ云フモノガアリマスカラ御覽下サレバ分リマス、

(一) こう { Kou — Hou / Kung — Hung

(二) から Kao — (甲) { Kang — { Kêng / Haug } / (乙) { Chiao — Chiung / Hsiang — Hsing }

ソレハ矢張リ支那語ハ非常ニ今日デハ音ハ變ジテ居リマス、變ジテ居リマスケレドモ變ズルニハ矢張リ變化スル理法ニ依ツテ變ジテ居リマス、ダカラ日本デ昔「から」ト書イタノハ皆「か」ノ音ヲ存シテ居ル、此ノ「こう」ノ方ハ前ノ說明デ十分ト思ヒマスカラ申シマセンガ「から」ノ例ヲ云フト先ヅ「から」ガ二ツノ道行ニナル甲ハ「カグ」トナリ乙ハ「シアオ」トナツテ、「カグ」ニナツタ方ハ「カオケ」「ハグ」ト變ジ、「シアオ」ノ方カラハ「チアオ」「チアケ」「シグ」ガ出テ來テ居マス、

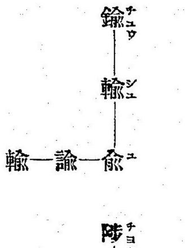
此ノ如ク變ジテ居ルケレドモ矢張リ音韻ノ變化ノ理ニ依ツテ行クノデアル、ダカラ決シテ「こう」ト「から」ト一ツニナツテ仕舞フ抔ト云フコトモナイ、若シ「から」「こう」ヲ一ツニスルト言ヘバ吾々ガ此ノ席デスルノデアル、後世ニ向テハ如何ナル罪ヲ犯スカハ甚ダ恐ルベキモノデハナイカト思フ、次ニハ漢字音ガ六ケ敷々々々ト云フコトハ一ハ學習ノ方法ガ宜シクナイ、支那語ヲ敎授スル方法モ知ラヌケレバ學ブ方法モ知ラヌ、ソレデ六ケ敷々々々ト云フコトヲ言ハルヽノデアルト思ヒマス、幸ヒ此處ニ大槪委員ノ出サレタ難問ガアリマス、是レハ先頃森博士モ言ハレマシタ通リ、モウ是丈ケ知ツテ居レバ外ハ六ケ敷イコトハナイト云フベキデアラウト云フ御說ガアリマシタ、果シテサウデアルカ否ヤハ知リマセヌガ、兎ニ角先ヅ難問ト見テ大槪博士ノヤウニ非常ニ博學ナ方デモ御困リニナツテ此處ニ御持出シニナツタラウト思フ、ソレデ私ハ素ヨリ此ノ如キ學問ヲ以テ身ヲ立ツテ居ルモノデアリマセスカラ、甚ダ大槪博士ノ御論ニ向ツテ何カ申スト云フコトハ少シク不遜ノ嫌ヒガアリマスケレドモ、委員タル以上ハ申サヾルヲ得マセヌカラドウカ御勘辯ヲ第一ニ願ツテ置キタイノデア

リマス、ソレニ就キマシテ若シ御手許ニアリマスナラバ「中等教育以上ニ關スル資料」トシマシテ「大槪委員ノ論難ニ對フルモノ」ト斯ウ云フノガアリマス、ドウゾ其處ヲ御開キ置ヲ願ヒタイ

中等教育以上ニ關スル資料（二）

大槪委員ノ論難ニ對フルモノ

（一）流行音ノ事



ch'ut（廣）　출（韓）

出 ch'u（北）　출 쥬（韓）

chue（溫）　역（韓）

（二）入聲ノ通用 附韓音ノ事

シアフ（臺）　リブ（臺）

接 chich（北）　접（韓）　立 li（北）　립（韓）

接待 接　立身 立

雜 tsa（北）　잡（韓）　喫 ch'ih（北）　긱（韓）

雜　キツパンハ韓音ナリ

（三）一字ニ二種ノ音アル事

法 방　法 법

（四）舌內音及唇內音ノ事

（十一眞）　신 臺灣モ亦同シ

申 伸 身 辰

其他元寒刪ノ文字皆同シ

（十二侵）　심 臺灣モ亦同シ

心 深 侵 針 箴

其他覃鹽咸ノ文字皆同シ

是レハ私ハ大槪委員ノ言ツタコトヲ書キ取ツタノデアリマシテ、隨分早ク仰シヤツタノヲ書取ツタカラ或ハ拔ケテ居ルコトモアリマセウ、アリマスレバ幸ニ大槪委員ガ御出席デアリマスカラ何時カ復タ御聽カセ下サルコトニ願ヒタイ、第一ハ

輸出ト云フノデ、一體アレハ「しゆする」デアルノダ、「しゆする」ト讀マナクチヤナラヌ、是レハドウ云フ譯デアルカ、サウ云フ不都合ガアルジヤナイカ、注射ト云フノハ吾々ガ「ちうせき」ト讀マニヤナラヌ、射ト云フノハ差スト云フ意味デ、又接、立ト云フノハ「せふ」、「りふ」デアル、カラ「せふ」、「りふ」ト言ハナクチヤナラヌ、ソレカラ喫飯ヲ「きつぱん」ト吾々ガ言ツテ居ルガ「げきはん」デアル、何セ「げきはん」ト言ハヌカ、斯ウ云フ第一ノ御論難ノ括リニナツテ居リマス、先ヅ輸出ノ所カラ申シマスルト云フト之ヲ御覽下サレバ分リマスガ、一番下ニ書イテアル簡單ナ兪、是レハ說文デ見ルト中心ノ空ナ船ニ形取ツテ造ツタ字デアル、ソレカラシテ兪カラシテ車ニ从フ、此字ガ即チ輸トナル、金ニ从フ、此字ガ鍮トナル、ソレカラ言ニ从フ之ガ諭トナル、ト云フヤウナ風ニナツテ居リマス、ソコデ是レハ即チ此處デハ無論變遷ノコトモアリマスケレドモ、先ヅザツト申シマスルト一ノ好イ例デスカラ申上ゲテ置キマスガ、所謂發達ノ例デアリマス、例ヘバ兪ガ輸ニナリ輸ガ鍮ニナツテ段々「コンプレックス」複雜ニ進ンデ參ツタ例デアリマス、何セソレガ分ルカト云フト、兪ト云フ字ハ說文ニアリマス、ソレカラ輸ト云フ字モ說文ニアリマス、ケレドモ金偏ノ鍮ノ字ハ說文ニナイ、說文ノ出來タ頃ニハ眞鍮杯ト云フ字ハ出來ナカツタニ違ヒナイ、ソレダカラ矢張リ兪ト云フ音カラ輸ニナリ輸カラ鍮ニナツタト云フ方ノ例デアリマスガ、併シソレモ唯今私ガ申ス論點デナイ、何故ニ之ヲ輸ト讀ムカト云フノガ論點デアリマス、或ハ言語學ニ御通ジノ方ニハ分ツテ居ル筈ノ話デアルケレドモ、外國ノ言語デモ「フオネチック」ノ理法カラ行クトドウシテモ斯ウ云フ風ニ變ゼネバナラヌト云フモノガ豫計ラレヤ妙ナ風ニ變ジテ居ル、ソレハ說明ガ今日出來ナイ、併シ之ハ「フアシヨン」流行デアルト云フコトデ皆今日ノ言語學者ハ說明シテ居ル、「フアシヨン」ハドウシテ出來ルカト云フトソレコソ社會心理學ノ幼稚ナ今日デハ十分ナ說明モイカヌカ知リマセヌケレドモ、兎ニ角社會心理ニ依ツテ、其時代ノ社會心ガ宜イト認メルト云フト斯ウ云フ風ニ移ツテ行クノデアリマス、ダカラ今日ハ「ちゆう」ト云フ字ノ音ガ少ナイ、「しゆ」ノ字モ少ナイ、ケレドモ「ゆ」ノ字ノ音ハ此處ニ書イタ「ゆ」ト云フ諭ノ字丈ケデハナイ、病ガ直ルト云フ癒ノ字モ「ゆ」デアル、其他澤山アルガ、自然ニ今流行ツテ居ル音デアル、流行ノ音デアル、サウ云フワケデ輸モ矢張リ「ゆ」ノ方ヘ入レテ仕舞ハレル、斯ウ云フコトニナル、ソコデ出ト云フ字ハ「しゆつ」ト「すゐ」ト二音アリマスケレドモ、此處ニ支那音ヤ何カ並ベテ御目ニ掛ケタ通リ、例ヘバ朝鮮語デ출（シユル）、모우ㅣㅅ쥬（シユウ）、斯ウ云フノガアリマス、「シユル」ガ「しゆつ」デ「シユウ」ガ「すゐ」デアリ

マス、用例モ矢張リ同ジコトデアリマス、今日「すゐ」抔ト云フ音ハ殆ンド流行ッテ居ラヌ、流行ッテ居ラナイカラシテソレダカラ矢張リ「しゆつ」ト云フ流行ノ音ニ化セラレテ「しゆつ」ト言ッテ居ルノダ、輸出(ユシュツ)ト云フノハ今日當リ前ノ話デ、決シテサウ咎ムベキモノデナイト考ヘマス、ソレヲ一ツノ例デ申上ゲテ見マスルト今日極ク流行ル方ノ字ガアリマス、ソレハドウ云フ字カト云フト抔ト云フ字ダ、手偏ニ歩ト云フ字ノ音ハ一體ハ「ほ」デアリマス、漢音ハ「ほ」デアリマスガ吳音ハ「ちよく」デアリマス、吳音ノ「ちよく」ト云フノハ黜陟(チュッチセキ)ト云フト同ジ字音デアリマス、ソレカラ「ほ」ノ方ダト云フト進歩、英流行ト言フベキ例デアッテ一向六ツカシイコトデハ無イト考ヘル、其次ハ接立(セフリフ)ト云フ例デアリマス、是ハ確カ大槪サンモ大槪サウ云フコトハ認メテ居ルヤウデスガ、是ハ入聲ノ通用デアリマス入聲ハ能ク通用シマスカラシテ其「セフ」ト云フノハ言ヒ惡イカラ「セツ」ニシテ仕舞フ「リフ」ト云フノモ言ヒ惡イカラ「リツ」ニシテ仕舞ッタ、所謂入聲ノ通用ト見テ差支ナイコトデアリマス、ソレカラ大槪サンニハ少シ御珍シカッタカモ知レマセヌガ、何故喫飯ヲ「ゲキハン」ト言ハヌカト云フ御說デアリマス之ヲ「キツパン」ト云フノハ韓音デアリマス、朝鮮デハ斯ウ言ッタノダカラ玆ニ念ノ爲ニ諺文デ喫飯ト云フ字ヲ現ハシマシタガ即チ朝鮮ノ音デアリマス、ダカラ何モサウ珍ラシク喫飯(ゲキハン)ナド言フニハ及バヌ、今日何處デモ「キツパン」ト言ッテ居リマスカラサウ好ンデ「ゲキハン」ト云フ必要ヲ見マイト思ヒマス、次ニ法ノ字ハ何故二音アルカ斯ウ云フ好イ例ガ有ルデヤナイカト云フ意味デ仰シャッタヤウデアリマス、是ハ何モ世話ノ無イ話デ元ト此日本ノ字音ト云フモノハ三韓ヲ經テサウシテ來タモノデスカラ最此吳音ニハ朝鮮ノ音ガ多イ、「ハウ」モ「ホフ」モ現在朝鮮ニ兩方トモ有ル音デアリマス、「ハウ」ノ方ハ法(バク)デ「ホフ」ノ方ハ凡(ボオブ)デス、即チ「ハグ」ガ「ハウ」ニナリ、「ボオブ」ガ「ホフ」ニナッタ譯デ、些トモサウ非常ニ珍シイトハ云ヘナイ、ソレデ「フ」ノ字ハ今日臺灣始メ南清ニハ澤山入聲ノヤウニ日本デハ「フ」ノ字ヲ使ッテ居ル處ニ「p」ヲ使ッテ「プ」ニ讀ムノガ澤山アリマス、珍シク無イ、其次ニハ十一眞ノ眞ハ「シヌ」デ十二侵ハ「シム」デアリマス、ドウ云フ譯デ區別スルカ、區別シテモ何ニモナラヌト云フ御說デアリマシタガ兎ニ角難問中ニアリマシタ、是ハ朝鮮ナドニハ極ク明カニ之ヲ存シテ居ル、朝鮮ノミナラズ臺灣デモ大槪存シテ居リマス、十一眞ノ「シン」ト云フノハ朝鮮ノ㠯(キ)鍵ノ手ノヤウニ書クコレガ我舊來ノ「ヌ」ノ字ニ當リマス、口ノ字ノ樣ニ書キマシタ㠯(キ)ハ我ガ「ム」ニ當リマス、即チ「シム」デアリマス、是ガチヤント存シテ居リマス奎章全韻ヲ見ルト皆有リマス、十一眞ノミナラズ元寒刪ノ如キモ皆存シテ居リマス、眞元寒刪ノ是丈ケノ所ヲ御覽ニナッ掛圖ヲ拵ヘタ其掛圖ハ地理ノ時ニ使フノデ多ク黙バカリ打ッテ有ッテ場所ノ名ノ書イテ無イノヲ拵ヘタ、ソレヲ文部省デハ暗射(アンセキ)地圖ト讀メト命ジ其物ヲ暗射(アンセキ)地圖ト言ハセタ、我々モ言ハセタ覺エガアル、所ガ何時カ知ラヌ中ニ暗射(アンセキ)地圖ニナリマシタ、何故暗射(アンセキ)地圖ニナッタカト云フト今日射ト云フ字ニ向ッテ「セキ」ナンテ云フ音ハ殆ド誰モ使ヒハセヌ、古學者ガ古物ヲ珍シガルヤウナ風ニ擔ギ出セバ知ラヌコト左モ無ケレバ斯ンナ「セキ」ナンテ云フ音ハ今日ハ使ッテ居ラヌ、居ラナイカラ矢張リ社會ガ「シヤ」ト認メテ仕舞ッタ、ダカラ是ハ御說デアリマス之ヲ「キツパン」ト云フノハ韓音デアリマス、朝鮮デハ斯ウ言ッタノダカラ玆ニ念ノ爲ニ諺文デ喫飯ト云フ字ヲ現ハシマシタガ即チ朝鮮ノ音デアリマス、ダカラ何モサウ珍ラシク喫飯(ゲキハン)ナド言フニハ及バヌ、今日何處デモ「キツパン」ト言ッテ居リマスカラサウ好ンデ「ゲキハン」ト云フ必要ヲ見マイト思ヒマス、次ニ法ノ字ハ何故二音アルカ斯ウ云フ好イ例ガ有ルデヤナイカト云フ意味デ仰シャッタヤウデアリマス、是ハ何モ世話ノ無イ話デ元ト此日本ノ字音ト云フモノハ三韓ヲ經テサウシテ來タモノデスカラ最此吳音ニハ朝鮮ノ音ガ多イ、「ハウ」モ「ホフ」モ現在朝鮮ニ兩方トモ有ル音デアリマス、「ハウ」ノ方ハ法(バク)デ「ホフ」ノ方ハ凡(ボオブ)デス、即チ「ハグ」ガ「ハウ」ニナリ、「ボオブ」ガ「ホフ」ニナッタ譯デ、些トモサウ非常ニ珍シイトハ云ヘナイ、ソレデ「フ」ノ字ハ今日臺灣始メ南清ニハ澤山入聲ノヤウニ日本デハ「フ」ノ字ヲ使ッテ居ル處ニ「p」ヲ使ッテ「プ」ニ讀ムノガ澤山アリマス、珍シク無イ、其次ニハ十一眞ノ眞ハ「シヌ」デ十二侵ハ「シム」デアリマス、ドウ云フ譯デ區別スルカ、區別シテモ何ニモナラヌト云フ御說デアリマシタガ兎ニ角難問中ニアリマシタ、是ハ朝鮮ナドニハ極ク明カニ之ヲ存シテ居ル、朝鮮ノミナラズ臺灣デモ大槪存シテ居リマス、十一眞ノ「シン」ト云フノハ朝鮮ノ㠯(キ)鍵ノ手ノヤウニ書クコレガ我舊來ノ「ヌ」ノ字ニ當リマス、口ノ字ノ樣ニ書キマシタ㠯(キ)ハ我ガ「ム」ニ當リマス、即チ「シム」デアリマス、是ガチヤント存シテ居リマス奎章全韻ヲ見ルト皆有リマス、十一眞ノミナラズ元寒刪ノ如キモ皆存シテ居リマス、眞元寒刪ノ是丈ケノ所ヲ御覽ニナルト一ツノ除外モアリマセヌ能ク御覽ニナルト忽チ分リマス、十二侵モ同ジク、其他覃鹽咸モ同ジデアリマス、皆朝鮮デハ明カニ「ム」ノ音ガ存シテ居リマス、是モ奎章全韻ヲ御覽下サレバ何ヨリ明カデアリマス、朝鮮ノミナラズ臺灣ニモ存シテ居マスケレドモ臺灣ノハ若シ御覽ニナル必要ガアリマスレバ正シイ物ニ據ッテ御覽ニナレバ明カニ分ラウカト思ヒマス、其次ノ論難ハ此頃ハ漢字ノ字音類推ト云フヤウナコトヲ言フケレドモソレハ不可能デアル、例ヘバ藝術ノ術ハ「ジユツ」ト書ク、木朮ノ朮ハ「ヂユツ」ト書ク、著述ノ述ハ「ヂユツ」、怵惕ノ怵ハ「チユツ」禾偏ノ秫ハ「ジユツ」、此通リ混亂シテ居ルヂヤ無イカ斯ウ云フヤウナ御說デアリマシタ、其次ノ寺ハ「ジ」デ、痔ハ「チ」、持ハ「チ」、ソレカラ待(タイ)ト云フ音モ有ルデハ無イカ、女ト云フノハ「ヂヨ」、汝ハ「ジヨ」ト云フヤウナ六ツカシイ字ヲ御列ベニナッタ、ソレカラ周ハ「シウ」、調ハ「テウ」、惆ハ「チウ」、此通リダ、迚モ類推モヘチマモ有ッタモノヂヤ無イ、トハ仰シャラヌヤウダガサウ云フ樣ニ聽取ッタノデアリマス、ソレデ是ハ私ノ書キマシタモノ、(五)「字音類推ノ事」ト云フ所ヲ御覽ヲ願ヒタイ

中等教育以上ニ關スル資料　(二)

大槪委員ノ論難ニ對フルモノ(續キ)

女 dzho
汝 zho
茹 如

（七）シャウ、ショウノ別

七陽十蒸等ノ例

シャウ（支）상（韓） chang ch'ang
尙裳賞嘗廠
ショウ（支）정（韓） chêng ch'êng
昌娼猖唱菖商上
章樟障彰瘴
成城盛誠聲
升昇乘剩省聖勝
丞蒸承稱症証證正政

例ヘバ待ト云フ字ハ「タイ」若クハ「ダイ」デアル、ソレカラ持ノ字ハ tshi デ「チ」ニナリマス、英語流ニ「チ」音ニ chi ヲ用キテハ音韻ノ變化ヲ能ク解クコトガ面倒デアリマス殆ド解ケマセヌ、ダカラ音韻ノ方ノ爲ニハ矢張リ「フオネチック」ノ字ヲ使ッテ tshi ト記スコトガ必要デアリマスカラ殊ニサウ云フ字ヲ私ハ用キテ居リマス、ソレカラ次ニ時（dzhi）次ニ寺（zhi）デアリマス、ソレカラ其下ノハ皆同ジコトデアリマス、ソコデ斯ウ云フ風ニシテ見ルト tai ガ詰ッテ「チ」（tshi）ニモナリ「ヂ」（dzhi）ニモナリ更ニ「ジ」（zhi）ニモ變ジテ來テ居リマスソレヲモウ一層好イ例ヲ取ッテ見ルト云フト台ガ笞ノ字ニナルト「チ」（tshi）ニナリマス、又其左ノ治ト云フ字ヲ書イタノガ「チ」（tshi）若クハ「ヂ」（dzhi）デアリマス、ソレカラ始ト云フ字ニナルト上ノ「t」ヲ取ッテ仕舞ッテ「シ」（shi）トナリ、ソレカラ今度恰ト云フ字ニナルト（shi）ガ取レテ唯（i）ノ一字丈ケニナッテ仕舞フ、子音ハ全ク無クナッテ仕舞フ、是ガ私ノ所謂音韻變化ノ理法ニ依ッテ變ッテ來ルト云フノハ斯ウ云フコトヲ申スノデアリマス、女（ヂョ）モ同ジコトデアリマスガ、クダ〳〵シウゴザイマスカラ申シマセヌ、ソレデ一番仕舞ニ仰シャッタコトハ「シャウ」ト「ショウ」ト別ナ言葉ハ唯々混亂スルノミヂヤ無イ、之ヲ學ンデモ通辯ノ役ニモ立タヌト仰シャッタ樣ニ記憶スル、若シ間違ヒガアッタラ御正シヲ願ヒタイ、其時ニ仰シャッタノハ是ハ詩カ何カデモ作ッテ覺エテ行ケバ格別左モ無ケレバ迚モ覺エラレルモノデ無イ、七陽ト入庚若クハ十蒸ト云フヤウナ詩韻デ覺エル外ナイ、斯ウ云フコトヲ仰シャッタガ成程詩韻デ覺エルノモ宜シイ、我々モ昔ハ詩韻含英ヤ詩語碎錦ヲ拈クッタコトモアリマス、今日ノ世ノ中ハナカ〳〵サウ云フ氣樂ナコトヲシテヤ居ラレナイ、ダカラ支那語トカ何トカ云フモノヲ學ンダ方ガ早イ、加之

（五）字音類推ノ事

朮 shu（ジュツ）　竹 ch'u　术 shu　竹 shu　述 同上　秫 同上
孺 ju　褥 同上
周 chou　舟 ch'ou　秋 tiao
週 稠 彫等　調 丘

ソレデ矢張リ一番上ニ書イタ朮（ジュツ）ト云フ字ガ元トニナッテ色々變化シテ來タ、ダカラ其一番元トノ字ガ朮デアッテソレカラシテ其次ガ立心偏ノ怵：藝術ノ術ハ「ジュツ」其次ノ述、秫モ「ジュツ」デアル、ソレカラ孺（ヂョク）ト褥（ジョク）ト斯ウナッテ居リマス、ソレハ支那ノ音ニ依ッテ見マスト一番上ノ木朮ノ朮ハ古音「チュウ」ト云フ音デアル、其後ニ支那デモ矢張リ「シュウ」ニナッタ、「チュウ」カラ「シュウ」ニナッタ、新シイ所ノモノニハ「シュウ」ト云フ音ガ現在アリマス、朝鮮モ同樣「シュウ」デス、怵ハ「チュウ」ト云フ昔ノ通リノ音ヲ有ッテ居リマス、朝鮮モ矢張リ「チュウ」ト言ッテ居ル、ソレカラ藝術ノ術ハ之ヲ「シュウ」ト言フ、ソレカラ著述ノ述ハ「シュウ」ト斯ウ云フ風ニナッテ居ル、是ハ音韻ノ變化ノ理ニ依ッテ斯ウナッテ居ル、之ヲ唯ゴタ〳〵ニ列ベテ見ルト云フト成程ドウモ無法ナコトガシテアルト御感ジモ尤モカト思ヒマスケレドモチャント能ク分解シテ音韻ノ理法ニ依ッテ考ヘテ行ケバサウ云フコトハ能ク會得ノ出來ル事柄デアル、ソレカラ其次ハ孺ト云フ字ノ「ヂョク」モ此頃ハ「ジュー」ト云フ新シイ音ガアリマス、下ノ褥（ジョク）ハ「ジュウ」ト云フ音デアリマス、是モ唯今申シタ理窟デ行ッテ居リマス、ソレカラ周ト云フ字モ同ジコトデアリマス、是モ餘リクドイヤウデゴザイマスカラ申シマセヌガ書イタモノヲ御覽下スッテサウシテ類推ナスッタラ分リマセウト思ヒマス、此處デハ「ジ」「ヂ」ナドノ例ヲ說明スル爲ニ私ガ一ツ「字音變遷ノ事」ヲ掲ゲテ置キマス、之ニ依ッテ御覽下サルト是等ガ能ク分ル

中等教育以上ニ關スル資料（二）

大槪委員ノ論難ニ對フルモノ（續キ）

（六）字音變遷ノ事

待 tai dai　持 tshi　時 dzhi　寺 zhi　侍 恃
殆 台 tai　笞 治 tshi or dzhi　始 shi　飴 怡 i

又決シテ韻字ハ當ニナリマセヌ、今日ノ支那語ヲ韻字デ律シヨウト思フコトハ大ナル誤リデ、ソレハ澤山ナ年ヲ經テ大ニ變化シテ居ル、ソレヨリモ例ヘバ「シヤウ」ト云フノハ今日ノ支那語デドウ云フ音ニナルカ、「ショウ」ト云フノハ今日ノ支那音デハドウ云フ音ニナルカト云フコトヲ覺エテ居ルト直接ニ通辯ノ役ニ立ツ「シヤウ」ハ大概「チヤグ」(chang)「チ・ヤグ」(ch'ang)ニナリマス、「ショウ」ノ方ハ「チオグ」(chêng)「チ・オグ」(ch'êng)ニナリマス、是ハ下ニ書イテアリマスカラ御覽ヲ願ヒマス、ケレドモ斯ウ云フコトヲ私ハ申上ゲテ置キタイ、必ズシモ百ガ百皆サウト云フ譯トハ申上ゲマセヌガ、ソレハ何處ノ國ノ文法ニデモ「エキセプション」除外例ガ有ル如ク支那語ニモアル、徐外例ト云フモノハアリマスケレドモ先ヅ日本ノ今マデノ字音ヲ覺エテ居ルト云フト十ノ八九マデハ推セマス、十ノ八九マデ推セルモノヲ何ガ爲ニ之ヲ捨テル必要ガ有ルカ、少シモソンナ必要ハ無イ、今日ノ通リデヤッテ行ッタナラバ宜シイコトデハ無イカト思ヒマス、ソレデ從來、日本デモ支那又ハ朝鮮デモ六書即チ小學ノ學問ト云フモノハ廢シテ仕舞ッテサウシテ誰モ殆ドヤッテ居ラナイ、サウシテ一方ニハ日本デモ又昔ノ漢學者トカ國學者トカ云フ先生達ガ今日ノ文明學術ノ理法ヲ漢字ノ問題ナドニ適用スル事ヲ知ラナイ、此頃大學卒業生デ若イ學士ガ一人アリマス、能ク私ノ所へ來テ色々話シテヤル人ガアリマスケレドモ先ヅソコラガボツ〳〵始メタ位デ未ダ少シモヤッタ者ハ無イ、ヤッテ居ラナイモノダカラ六ツカシイト思フノハ無理モ無イ、學バナイ者ハ誰ニダッテ六ツカシイ筈デアル、ソレダカラ文部省デハ是レカラ大ニ此漢字ノ研究ノ門戸ヲ開イテサウシテ漢字ノ敎授法ヲ能クヤッタナラバ決シテ今日言フガ如キ假名遣ガ六ツカシイ、漢字ガ六ツカシイト云フ事ヲ仰シャラナクテ濟マウト思ヒマス、是丈ケ意見ヲ述ベマシテ而シテ私ハ終局ニ至リマシテ私ノ結局ノ意志ヲ表明シマス、私ノ意志ハ小學校令施行規則附則第二號表、第三號表ヲ速カニ省令ヲ以テ廢スルコト是ガ一ツデアリマス、ソレカラ第二ニハ國定敎科書ハ總テ正則ノ假名ヲ以テ編纂スルコト、但シ最初三年間ハ敎授上發音假名又ハ發音符號等ヲ用ヰルヲ許容スルコト、是ハ書イタモノハ總テ正則ノ假名ニ據ルノデアリマス、國語假名遣タルト字音假名遣タルトヲ問ハズ、ソレハ先刻カラ申シタ理由デアリマシテ書イタモノハ總テ是ハ正則ノ假名ニ依ル但シ最初三年間位ハ所謂敎授上ノ方便トシテ或ハ發音假名ヲ用ヰルトカ又ハ發音符號ヲ用ヰルトカ云フコトハ是ハ文部大臣ガ御許容ニナッテモ宜カラウト思フ、ソレデ先刻文部大臣ノ御說示ニ依リマスレバドウカ勅令ニナルト云フコトデアリマシテ勅令ニナリマスルコトナレバ是非共曾我委員ノ言ハレマシタ如クモウ少シ完全ナル案ヲ具ヘテサウシテ御提出ニナッテ然ル後ニ御決定ニナッタ方ガ宜カラウト思フ、併シ初ノ御演說ニモアリマスル通リ敎科書ノ改訂ト云フコトハ最早來年ノ四月ニ迫ッテ居リマスルカラ目下ノ處分トシテハ小學校令施行規則附則第二號表第三號表ヲ速カニ廢サレテ行キサヘシマシタナラバモウ敎科書ノ編纂ハ自カラ正則假名ニ據ル事ハ明カデアリマスカラサウ云フ風ニドン〳〵御進ミニナッタラ如何デゴザイマセウカ、而シテ其假名遣ト云フ問題ヲ決定セラレルコトハ一時委員會ヲ中止ナサレルナリ又ハ其他ノ方法ヲ取ラレルナリ兎モ角モ鄭重ナル御詮議ガアッテサウシテ更ニ案ヲ具ヘテ御出シ下サルコトヽナサルコトガ宜カラウト思ヒマス、第三ニハ新假名遣ノ研究及許容ト云フヤウナコトハ是ハ學者ノ團體ニ一任シテ仕舞ヒマシテ、政治上ノ力ヲ以テ之ヲ學校ニ強課スルコトハ斷然御止メニナリタイ、即チ明治三十三年ニ一タビ斯ウ云フコトヲヤッタガ爲ニドレ程ノ害ヲ敎育上ニ及ボシタカモ知レマセヌ、是ヲ斷然學校ニ強課スルコトハ御止メニナルガ然ルベシト斯樣ニ考ヘマス

○委員長(男爵菊池大麓君)　今日ハ是デ散會イタシマス

午後五時散會

目次

附錄

新假名遣國語表案……一
問目一則（故井上毅氏ノ意見）……八
遞信省及統監府ノ告示ニ見エタル假名遣（振假名）例……九
歐米綴字改良事情（外國書ヨリ抜出）……一一
歐米綴字改良事情追加（獨逸正字法改良ノ事）……一六
米國ニ於ケル英語綴字簡略問題ニ關シ昨明治四十年二月伊澤委員ヨリ米國大使館ヘノ照會ニ對スル同大使館ドツヂ氏回答ノ要領……一八
尋常小學讀本卷一乃至卷六假名遣取調表……二〇
臨時假名遣調査委員會經過追記……二八

新假名遣國語表案（速記錄一三頁番外說明參照）

凡例

一、本表ハ別記四項ノ方針ニ依レル新假名遣ヲ用フル國語ヲ蒐集シ新舊ノ假名遣ヲ對照シタルモノナリ

二、本表ハ固有名詞ヲ含有セス

三、本表ハ主トシテ根本ノ單語ヲ採レリ複合語及ヒ轉成語ハ之ニ準シテ知ルヘシ但シ一見シテ複合語タルコトヲ知リ難キモノハ仍之ヲ揭ケタリ

四、一動詞ニシテ自動他動兩樣ノ活用アルモノハ其ノ一ヲ揭クルニ止メタリ

別記（路問案第二錄ニ同シキヲ以テ略ス）

あ

あたひ（價）　あたい
あぢさゐ（紫陽花）　あぢさい
あぢはふ（味）　あぢわふ
あは（粟）　あわ
あはし（淡）　あわし
あはつ（周章）　あわつ
あはび（鰒）　あわび
あはれ（哀）　あわれ
あはれむ（憐）　あわれむ
あふぎ（扇）　あうぎ
あふぐ（仰）　あおぐ
あふぐ（扇）　あおぐ
あふご（枌）　あうご
あふち（楝）　あうち
あふひ（葵）　あおい
あふり（障泥）　あおり
あふる（飜）　あおる
あへぐ（喘）　あえぐ
あほひ（葵）　あおい
あやふし（危）　あやうし
あらはす（顯、現、著）　あらわす
あゐ（藍）　あい
あを（青）　あお
あをのけに　あおのけに
あをむく（仰）　あおむく

い

いさどほる（憤）　いさどうる
いさほひ（勞）　いさおひ
いさを（功）　いさお
いたはる（勞）　いたわる
いちひ（櫟）　いちい
いつはる（僞）　いつわる
いとほし（愍然）　いとおし
いとほしむ（愛憐）　いとおしむ
いにしへ（古）　いにしえ
いぬゐ（乾）　いぬい
いは（岩）　いわ
いはふ（祝）　いわう
いはほ（巖）　いわお
いひ（飯）　いい
いへ（家）　いえ

いほ(庵) いお
う
うぐひす(鶯) うぐいす
うちは(扇) うちわ
うつは(器) うつわ
うは(上) うわ 上髪、上草履ノ類
うはさ(噂) うわさ
うはばみ(蟒蛇) うわばみ
うひ(初) うい 初子、初陣ノ類
うへ(上) うえ
うを(魚) うお
え
えひ(鱓) えい
お
おとがひ(頤) おとがい
おはす(御座) おわす
おほ(大) おう
おほかみ(狼) おうかみ
おほし(多) おうし
おほす(果) おうす
おほす(仰) おうす
おほふ(被、覆) おうふ
おほむね(率、概) おうむね
おほやけ(公) おうやけ
か
かう(斯) こう
かうがい(笄) こうがい
かうがうし(神神) こうごうし
かうたけ(革茸) こうたけ
かうぢ(糀) こうぢ
かうばし(馨) こうばし
かうべ(首) こうべ
かうほね(河骨) こうほね
かうむる(蒙) こうむる
かうもり(蝙蝠) こうもり
かうより(紙縒) こうより
かかはる(係) かかわる
かしは(柏) かしわ
かしは(黄鶏) かしわ
かしはて(拍手) かしわで
かすがひ(鍱) かすがい
かすがひ(鉚) かすがい
かたは(不具) かたわ
かたはら(傍、側) かたわら
かつを(鰹、松魚) かつお
かなへ(鼎) かなえ
かは(川、河) かわ
かは(側) かわ
かは(皮) かわ
かはいさう(愍然) かわいそう
かはいらし かわいらし
かはす(交) かわす
かはづ(蛙) かわづ
かはや(厠) かわや
かはゆらし(可愛) かわゆらし
かはら(瓦) かわら
かはらけ(土器) かわらけ
かはる(變) かわる
かひ(貝) かい
かひ(詮) かい
かひがひし(精悍) かいがいし
かひな(肱) かいな
かへで(楓) かえで

かへる(蛙) かえる
かへる(返、歸) かえる
かほ(顔) かお
かれひ(鰈) かれい
かをる(薫) かおる
き
きは(際) きわ
きはだ(黄蘗) きわだ
きはだまぐろ(黄肌鮪) きわだまぐろ
きはむ(極、窮、究) きわむ
きほひ(競) きおひ
く
くは(桑) くわ
くは(鍬) くわ
くはし(委) くわし
くはだつ(企) くわだつ
くはふ(加) くわふ
くひ(杙) くい
くひな(水雞) くいな
くらうど(藏人) くろうど
くれなゐ(紅) くれない
くわゐ(慈姑) くわい
け
けはし(險、嶮) けわし
けはひ(假粧) けわひ
こ
こずゑ(梢) こずえ
こだはる(拘) こだわる
こはごは こわごわ
こはし(強) こわし
こはる(毀) こわる
こひ(鯉) こい
こほり(氷) こうり
こほり(郡) こうり
こほる(凍) こうる
こほろぎ こうろぎ
こよひ(今宵) こよい
ころほひ(頃、比) ころおい
こゑ(聲) こえ
さ
ささはふ(幸) ささわふ
さう(然) そう
さは(澤) さわ
さはす(酬) さわす
さはやかに(爽) さわやかに
さはら(鰆) さわら
さはら(椹) さわら
さはる(觸) さわる
さふらふ(候) そうらふ
さへづる(囀) さえづる
さを(竿) さお
し
しかうして(而) しこうして
しはす(師走) しわす
しはぶく(咳) しわぶく
しひ(椎) しい
しほ(鹽) しお
しほ(潮、汐) しお
しほらし(柔順) しおらし
しをり(栞) しおり
しをる(撓) しおる
しをる(萎) しおる
す

すぎはひ(生業) すぎわい
すなはち(乃、則、即、便) すなわち
すなほに(從順) すなおに
すはう(素袍) すおう
すはう(蘇枋) すおう
すゑ(末) すえ

せ

せはし(忙) せわし

た

たうげ(峠) とうげ
たくはふ(貯、儲、蓄) たくわふ
たけなはに(酣) たけなわに
たたうがみ(疊紙) たとうがみ
たはけ(戯) たわけ
たはこと(戯言、妄語) たわこと
たはむる(戯) たわむる
たはら(俵) たわら
たひ(鯛) たい
たひらぐ(平) たいらぐ
たふとむ(尊) とうとむ
たふる(倒、仆) たおる

たましひ(魂、霊) たましい

ち

ちしほ(血汐) ちしお
ちひさし(小) ちいさし

つ

つはぶき(蜜吾) つわぶき
つはもの(兵) つわもの
つひえ(費) ついえ
つひえる(潰、費) ついえる
つひに(終、遂、竟) ついに

と

ときは(常磐) ときわ
とこしなへに(長) とこしなえに
とどこほる(滞) とどこおる
とひ(樋) とい
とほし(篩) とうし
とほし(遠) とうし
とほる(通) とおる
とんぼう(蜻蛉) とんぼう
ともゑ(巴) ともえ
とを(十) とお

な

なかうど(媒) なこうど
なはしろ(苗代) なわしろ
なはて(畷) なわて
なへ(苗) なえ
なほざりに(等閑) なおざりに
なほす(直) なおす
なほる(癒) なおる

に

にかは(膠) にかわ
にぎはふ(賑) にぎわふ
には(庭) にわ
にはか(俄) にわか
にはとこ(接骨木) にわとこ
にはとり(鶏) にわとり
にひ(新) にい
にほ(鴎) にお
にほはす(匂) におわす

は

は(把) わ 一把二把ノ類
はうき(帚) ほうき

はうむる(葬) ほうむる
はだへ(膚、肌) はだえ
はつほ(初穂) はつお
はなは(塙) はなわ
はひ(灰) はい
はふる(投) ほうる
はへ(蠅) はえ
はら(原) わら 石原、河原ノ類
―はし ―わし いそがはし、なげかはし等ノ類ニテ動詞ノ活用ヲ含マサルモノ
―はる ―わる くはる、そなはる、まじはる等ノ類ニテ動詞ノ活用ヲ含マサルモノ

ひ

ひたひ(額) ひたい
ひとへに(偏) ひとえに
ひは(痺) ひわ
びは(琵琶) びわ
びは(枇杷) びわ
ひひな(雛) ひいな
ひひらぎ(柊) ひいらぎ

へ

へ(重) え 一重、二重、八重、九重ノ類
へ(方) え 行方ノ類
へつつひ(竈) へっつい

ほ

ほしひ(糒) ほしい
ほのほ(炎焔) ほのお
ほほ(頬) ほう
ほほ(朴) ほう
ほほづき(酸漿) ほうずき

ま

まうく(設、儲) もうく
まうす(申) もうす
まうづ(詣) もうづ
ますらを(丈夫) ますらお
まはる(廻) まわる
まひなふ(賄) まいなふ
まへ(前) まえ
まらうど(賓客) まろうど
まゐる(參) まいる

み

みぎは(汀) みぎわ
みさを(操) みさお
みを(澪) みお

め

めひ(姪) めい

も

もよほす(催) もよおす

や

やうか(八日) ようか
やうやう(漸) ようよう
やうやく(漸) ようやく
やはら(柔) やわら
やはらかし(柔) やわらかし
やはらぐ(和) やわらぐ
やほや(八百屋) やおや
やもを(鰥) やもお
やをら やおら

ゆ

ゆゑに(故) ゆえに
ゆゑん(所以) ゆえん

よ

よはひ(齢) よわい

よひ(宵) よい

わ

わからうど(若人) わこうど
わらは(童、妾) わらわ

ゐ

ゐ(井) い
ゐ(蔺) い
ゐ(猪、豕) い
ゐ(亥) い
ゐせき(堰) いせき
ゐのこ(豕) いのこ
ゐのしし(猪) いのしし
ゐや(禮) いや

ゑ

ゑ(餌) え
ゑ(繪、畫) え
ゑぐし(荻) えぐし
ゑぐぼ(蝦) えぐぼ
ゑぐる(剜) えぐる
ゑさ(餌) えさ
ゑそ(鰕) えそ
ゑた(穢多) えた
ゑどる(著色) えどる
ゑば(餌) えば
ゑむ(笑) えむ
ゑんば(蝻蛤) えんば

を

を(緒) お
を(苧) お
を(尾) お
を(雄) お 竹薙ノ松、雄
を(小) お 乎小ノ川、雛小
をか(岡、陵、阜) おか
をか(陸) おか
をかし(可笑) おかし
をかす(犯、冒、侵) おかす
をがむ(拜) おがむ
をかめ(傍觀) おかめ
をき(荻) おぎ
をけ(桶) おけ
をこがまし(痴) おこがまし
をこぜ(虎魚) おこぜ
をこたる(怠) おこたる
をさ(長) おさ
をさ(筴) おさ
をさなし(幼) おさなし
をさむ(治) おさむ
をさむ(收) おさむ
をしどり(鴛鴦) おしどり
をしね(陸稻) おしね
をしへ(教) おしえ
をしむ(惜、吝) おしむ
をす(壮) おす
をそ(獺) おそ
をだまき(苧環) おだまき
をぢ(伯父、叔父) おじ
をちこち(遠近) おちこち
をつと(夫) おっと
をとこ(男) おとこ
をとし(緘) おとし
をととし(一昨年) おととし
をとつひ(一昨日) おとといら
をとめ(少女) おとめ
をとる(囮) おとり
をどる(踊、躍、跳) おどる
をなご(女子) おなご
をの(斧) おの
をのこ(男子) おのこ
をののく(戰慄) おののく
をば(伯母、叔母) おば
をばな(尾花) おばな
をはる(終、畢、了) おわる
をひ(甥) おい
をみなへし(女郎花) おみなえし
をん(雄) おん
をんな(女) おんな
をめく(喚) おめく
をり(雀) おり
をり(節、折) おり
をり(居) おり
をる(折) おる
をろち(大蛇) おろち
をを(雄雄) おお

以上約三三〇語

備考

諮問案第二章ニ所謂「動詞ノ活用ヨリ起ルる、ふ、は、ひ、へ、」トハ之カ解釋ノ如何ニ因リ新假名遣ヲ許スヘキ語ノ範圍ニ關係アリ若シ之ヲ活用ヨリ起ルコトノ直接明瞭ナルモノヲ指スノ意義ニ解釋スルトキハ、凡ソ左ノ如キ語ハ動詞ノ活用ヨリ起ル語ノ範圍ヨリ除去セラレ而シテ新假名遣表中ニ加ルヘキモノナルヘシ

かたゐ。(乞食)(癩)
くらゐ。(位)
とのゐ。(宿直)
はらゐせ
もとゐ。(基)
ゐざり(蹙)
ゐなか(田舍)
いしづゑ。(礎)
すゑ。(陶)

つくゑ。(机)
つゑ。(杖)
かはせ(爲替)
くちなは。(蛇)
なは。(繩)
あひだ(間)
あひ。(相)
あひだ(間)
おひこ(蠶)

ことなだ(此間)
ささらひ。(竹箆)
しなひ。(竹刀)
しひたげ(虐)
たぶらひ。(頰)
たらひ。(盥)
ふるひ。(篩)
めしひ。(盲)
やまひ。(病)

やよひ（彌生）　いけにへ（牲）
よろひ（鎧）　にひなへ（新嘗）

問目一則（故井上毅氏ノ意見）（速記錄一〇頁番外說明參照）

我が國音國字の言靈の幸にかなへるは外國にまさりて簡便なるによるなり況て文字は魚を得るための筌なりといへり故に教育は成るへく文字の學ひを簡便にするの手段を取ること必要なれ

我か國の假名は一種の特性として印度の悉曇歐洲の「アルハベック」に遙に優る所ありそは彼の文字には子音字母音字の二つありて二字又は數字を組合せて一音をなす故に生徒は字學の手始めとして先つ反切法即ち綴字法を學ばさるへからず此の反切法を諳むするために一年又は少なくも三四個月を費すといへり我が假名は一字一音をなす故に反切法を學ふの煩勞なきはいかに外國に秀てたるめでたき簡便の文字ならすや然るに支那より來れる長音拗音又は入聲を寫すには此の簡便法もなか〳〵に難澁なることそ出來ぬるそは彼の先覺の支那音に通する人の字音假名遣ひといふことを論へるよりひたすら分け難きわざとなりて漢字漢音に深き覺えある博士ならては其の爲に迷はぬものなきことゝはなりぬ

今字音假名遣ひを普通教育に用ゐて少年にその衆を學はしむるの可否は教育家の打ちすておくべきにあらざる問題なり

何故に様又は要用の漢字をヨウエウ又ヤウと假名にて書くか假名の漢字よりも易きに由るなりさるを様ならはヤウとし要ならはエウ用ならはヨウとすべしといはゝ漢音漢字を知る人ならてはわけかたきわざなりさる人は幼少より様又は要用の眞名を書くこそ易かるへけれ假名に書くの必要はあらし況て要の字も今の支那音はヤウにてエウにはあらず音博士の古傳も強ちに信ひがたきをや

蝶をテフと書き法をハフと書くを假名遣の法とするならば何故にチョウ、ホウとは讀むか漢字の爲に我か假名の正音を曲くるは假名の本色に背くものなり我が國にはもと入聲なし故にテフ、ハフの音あるへきなし支那音の拗曲なるを我が國の穩和なる平音に移したるは即ちチョウ又はホウにそあるさるを假名にて唐様に引直さむとするはいかに（古今集には法師をホウシと書けり）

支那の音を矯め直して國音に附かしむる時は國音のまゝに假名を遣ふこと古人の用例なりされはこそ困すをコウスとは書けともコンスとは書かず柑子をコウシとは書けともカンシとは書かず九郎判官をハウグワンとは書けともハングワンとは書かず近世の字音假名遣の說は此の用例と背けるはいかに

若し必漢字の正音に就くへしとならはチョウ、テウ、テフ、ショウ、セウ、セフの類のみにあらずして古の音博士のわざに習ひキとクキ、クとクエとをも書きわくべきも此は難きに難きわざならずや又音博士の紀長谷雄と發昭と同音とし芭蕉をハセヲと書きたるは漢音をそのまゝ寫す爲のわざなるも今の世に用ゐるへくもあらず

侵はシムと假名し安はアンと假名すへしといへる說はいとも疑はし現に支那音を學へる人の說に支那にて南音北音ともにかゝる差別はなしといへり支那の今昔の誤れるにて古音は我か國に遺れりなとゝの說われども信ひ難し余は普通教育の爲に久しきこのかた此の問題を思ひ煩ひたり諸君余がために八重の狹霧を拂ひ給ひなは此の上の喜はあらし

さりながらジョウとデョウ、クヮンとカン、クヮウとコウ、ワウとオウとの別のこときは發音の上に明かにけぢめあれは（或地方を除き）假名を誤らざるへきは論なし又我が固有の國音にはあらて一地方の訛音は（東京にてひとしとを混し東北にてゆとずとを混し南方のひとふとを混するかことし）もとより其の誤れるがまゝに任すべくもあらず

遞信省及統監府ノ告示ニ見エタル假名遣（振假名）例（速記錄一三頁番外說明參照）

遞信省告示八九　明治四十一、二、三

山王（サンワウ）郵便局	正	ワウ
羽生（ハニフ）郵便局	正	ニフ
會瀨（オオセ）郵便局	正	アフ
大洗（オオアラヒ）郵便局	正	オホ
龍舞（リユウマイ）郵便局	正	マヒ

遞信省告示一〇八　四十一、二、八

二及（ニギフ）郵便局	正	ギフ

遞信省告示二二七　四十一、三、六、

小石川久堅町（チヨウ）郵便局	正	カハ　チヤウ
澁谷廣尾（ヒロオ）郵便局	正	ヲ
淀橋柏木（カシハギ）郵便局	正	カシハ
下大崎（オオサキ）郵便局	正	オホ
本鄉湯島三組町（チヨウ）郵便局	正	ガウ　チヤウ
大阪難波櫻川町（ガワ）郵便局	正	オホ　カハ

統監府告示二二　明治四十一、三、九

鷺梁津（レウシン）郵便所	正	リヤウ
釜山賓水町（カウスイチヤウ）郵便所	正	ハウスヰチヤウ

遞信省告示二三七　四十一、三、十
京橋尾張町郵便局　正　キヤウ　ヲハリチヤウ

統監府告示三〇　四十一、三、十一
軍威郵便電信取扱所　正　井
義城郵便電信取扱所　正　ジヤウ

遞信省告示二五八　四十一、三、十四
出雲郵便局　正　イヅモ

統監府告示三一　四十一、三、十七
長湍電信取扱所　正　チヤウ
沙里院電信取扱所　正　井ン

遞信省告示二七九　四十一、三、十九
臼井電信取扱所　正　井
植木電信取扱所　正　ウエ
香春電信取扱所　正　ハラ

遞信省告示二八七　四十一、三、十九
加納電信取扱所　正　ナフ

遞信省告示三一八　四十一、三、二四
泉崎郵便局　正　イヅミ
相川郵便局　正　アヒカハ

遞信省告示三二一　四十一、三、二四
六條院郵便局　正　デウ　井ン

麻生津郵便局　正　ヲウヅ
歌笛郵便局　正　フエ
吉井郵便局　長崎縣　正　井
吉井郵便局　新潟縣　正　井

遞信省告示三三八　四十一、三、二七
東有家郵便局　正　アリヘ

遞信省告示三五四　四十一、三、二七
前田郵便局　正　マヘ
夕張礦郵便局　正　ユフ　クワウ

遞信省告示三八〇　四十一、三、三十
相可電信取扱所　正　アフカ

遞信省告示三八五　四十一、三、三十
青島郵便局　正　アヲ

遞信省告示五三六　四十一、五、一五
銚子無線電信局　正　テウ
天洋丸無線電信局　正　ヤウ

遞信省告示五六一　四十一、五、二六
球磨川荷扱所　正　カハ

遞信省告示五八〇　四十一、五、二九
笹岡郵便局　正　ヲカ

歐米綴字改良事情

（某々外國書ヨリ譯出）（速記錄二九頁番外說明參照）

一

綴字法改良トハ慣習上ノ綴字法ヲ撤去スルコトニヨリテ之ガ改良ヲ圖ルコト、或ハ少クモ發音ニ準ジテ正字法ヲ導キ出スコトナリ。

此ノ種ノ完全ナル改良ハ次ノ諸項ヲ含ムモノトス。

(一)過多ナル文字ヲ除去スルコト。例ヘバ英語ニテc（强音ノモノ）k並ニqノ同音文字中ソノ二ツヲ省クガ如シ。

(二)國語ノ重ナル音ヲ表ハスニ足ル記號即チ單獨文字或ハ結合文字ヲ加ヘテ「アルファベット」ヲ擴グルコト。英語ニテハ基本タルベキ音ノ數四十アレドモ其文字ハ二十六ニ止マレリ。

(三)唯一音ヲ表ハスベキ各個ノ文字或ハ記號ヲ用フルコト。

(四)英語ニ於ケル「アルファベット」ノ文字ヲ其羅馬字ノ價値ニヨリテ用フルコト。

モシ上記ノ條件ニシテ能ク之ヲ充タスコトヲ得バ正字法ト發音トハ正ニ調和合致スルニ至ラン。換言セバ綴字法ハ眞誠ニ發音表記法トナルベシ。此完全ノ域ニ達センコトハ近時ノ綴字法改良家ノ目的トスル所ナレドモ、從來ノ研究ハ之ヲ以テ單ニ理想トスルニ止マレリ。マタ之ヲ理想トスルニ止マル時期猶ホ或ハ長キニ亘ルベシ。慣習上ノ綴字法ハ習慣、實用ノ勢力並ニ文字使用者ノ美的（文學的）感情ト密接ニ結合スルモノニシテ、之ガ根本的改良ハ容易ニ實行セラルベキニアラズ、彼「アルファベット」ノ變更ノ若キハ之ヲ世ニ行フコト特ニ甚ダ困難ナリ。故ニ改良家實際ノ努力ハ今ヤ殆ド專ラ語ノ形式ヲ根本的ニ變更スルコトナクシテ行ヒ得ベキ不規則語形ノ撤去及ビ發音上不用ナル無聲字（例ヘバ英語ノhateノeニ於ケルガ如ク他字ノ價値ヲ定ムルコトナキモノ）ノ除却ニヨリテ綴字法ヲ簡易ナラシムル點ニ在リ。此種ノ變更ハ何レノ歐洲語ニ於テモ各時代ニ孤立的ニ起リタルモノナリ。但綴字法改良家ハ此日常アリフレタル手續ヲ一層普汎的ニ且系統的ニ行ハンコトヲ試ミント欲スルノミ。此簡易策ニ關スル規則ハ千八百八十三年亞米利加言語學會並ニ貌利頓言語學會ニヨリテ採用セラレ、千八百八十六年之ニ基ヅキテ成レル修正綴字法ノ表ハ亞米利加言語學會ニヨリテ採用セラレ且ツ其「議事錄」ヲ以テ公ニセラレタリ。爾來重ナル亞米利加ノ字書ハ之ニヨリテ翻刻シ且之ヲ承認セリ。

此種ノ簡易策ノミニテハ發音ノ精確ヲ生ズルコト難キヲ以テ大ニ發音的記號ヲ增加シ以テ英語綴字法ノ均一單純ヲ謀ラザルヲ得ズ。然レドモ現時ニ至ルマデノ傾向ハ、其綴字法ノ改良ガ右ノ如キ制限的意義ニ止マリ、又特殊學會及ビ科學界文學界ノ有力ナル人士ニヨリテ盛ニ勸誘セラルヽニ拘ラズ進步

極メテ遲々タリ。固ヨリ言語學會推奬ノ改良綴字法中或部分ハ一部ノ人士或ハ雜誌マタ若干ノ學術會ニヨリテ實行セラルレドモ、一般ノ氣運ハ未ダ之ヲ採用スルニ至ラズ。恐クハ此方面ニ於ケル進歩ノ第一段トシテ最モ見ルベキモノハ千八百九十八年亞米利加國民敎育會ニテ次ノ十二ノ簡易綴字法ヲ採用シタルコト是レナリ。

program. tho. altho. thoro. thorofare.
thru. thruout. catalog. prolog. decalog.
demagog. pedagog.

佛國ノ正字法ノ特質ハ綴字法ノ改良ヲ實際上ノ必要ト感ゼシムルコト英語ヲ用フル國ニ次グリ。是ヲ以テ此改良問題ニ關シ識者ノ注意ヲ喚起シタルコト既ニ久シト雖モ、正字法ニ關シテ佛人ノ思想ハ殆ド英人ニ於テ見ルガ如ク保守的ナルヲ免レザレバ猶未ダ實效ノ見ルベキモノ存セザルナリ。此改良ハ又獨逸ニ於テモ熱心ニ唱道セラレ、既ニ或部分ノ成功ヲ見ルニ至レリ。特ニ無聲字ノ除却（例ヘバ that ニ代フルニ tat ヲ以テスル類）是レナリ。西班牙及ビ伊太利ニ於ケル綴字法ハ簡單ニシテ且大ニ發音表記的ナルヲ以テ之ガ改良ニ關スル實地上ノ理由ハ兩國語ノ綴字法ニ對シテ適用ノ途比較的ニ鮮少ナリトス。

正字法ハ原則ヲ研究スルニハ言語ト書方トノ歷史的關係ニ關スル調査ヨリ始メザルベカラズ。古昔「アルファベット」發明セラレシ時竝ニ其ノ新シキ一國語ヲ表記スルガ爲ニ始メテ適用セラレシ都度言語ノ綴リ方ハ其發音ノ如何ニ依リテ定マリタリ。此時ニ當リ言語ハ全ク書方ノ標準ニシテ書方ハ言語ヲ表記スル爲ノ企圖ニ過ギザリキ。是等ノ古キ時代ニ於テスラ如上ノ企圖ハ多ク失敗ニ歸セリ、何トナレバ綴字ハ口語ヲ精確ニ表記スルニ足ラズ且初ハ文字少數ニシテ爾來適當ニ增加セラルヽニ至ラザリシヲ以テナリ。後世ニ及ビテ言語ト書方トノ離隔ヲ增加スルニ與リテ力アル一事情アリ、他ナシ各國語ニ於テ言語ノ發音ハ常ニ且不可避的ニ變更シツヽアルコト是ナリ。若シモ綴字ニシテ絕エズ言語ト接觸ヲ保ツベキモノナランニハ綴字ハ常ニ改正セラレザルベカラズ。然ルニ書方ノ本質ハ言語ト比較スレバ保守的ナリ。死滅又ハ衰殘ノ發音ニ相當セル文字ヲ除去スベキコトヲ認ムルヤ極メテ遲々タルノミナラズ、新シキ發音ニ對シテ新シキ記號ヲ供給スルヲ困難トセリ。且又文學社會ノ言語的發展ニ對スル態度ハ從來常ニ保守的ニシテ該社會ノ勢力又書方ノ變更ヲ抑制スルモノタリ。其他印刷ノ發明普及モ亦綴字ノ改革ニ關シ制止的勢力ヲ有シ、之ガ爲ニ今代ノ綴字一定シ且非常ニ強固不易ノモノトナレリ。英國ニ於ケル綴字一定ノ氣運ハ印刷術發明後二百年即チ

「チユードル」家時代ノ終末以來ノコトニシテ、今ノ英語綴字ハ「チユードル」時代ノ發音ニ依ルモノ尙多シ。

或國國ニ於テ言語ト書方トノ關係ニ於ケル通常ノ見解ハ書方ヲ以テ言語ノ眞ノ標準トセリ。是レ「書物敎育」ノ自然ノ結果ニシテ學習者ハ言語ノ綴字ノ通リ發音スベク敎育セラルヽナリ。然レドモ斯ル見解ノ非理ナルハ「アルファベット」ノ古來ノ歷史ノ證明スル所ナリ。是ノ如キ見解ハ言語ノ記號ニ與フルニ過分ノ權力ヲ以テスルモノナルノミナラズ後代ノ且不完全ナル書方ヲ貴ブノ餘之ニ適セザルヲ理由トシテ古來ノ發音ヲ非議スルコトサヘアリ。殊ニ斯ル見解ハ實際ニ不可能ノコトヽ云フベシ、何トナレバ生ケル言語ハ書記ニ用フル言語トハ一致セズシテ發達スベケレバナリ。

然ラバ表記法ハ今代ノ言語ト密接ノ關係ヲ持スベク時々改正セラルベキモノナリヤ。綴字改良主張論者ハ曰ク我々ハ殆ド「アルファベット」ノ利益ヲ喪失セリト。綴字ハ發音ト相違スルノ甚シキ多クノ言語ニ於テ殆ド勝手次第ノ記號タルニ止マリ、稍々耳遠キ言語ヲ綴ル場合ニ其發音ノ通リ綴ルトキハ誤謬トナリ、且綴方ハ本來正シキ發音ノ嚮導者タルベキ筈ナルニ實際然ラズシテ兒童ガ困難ナル綴方ヲ學ブ爲ニ其授業時間ノ大部ヲ消費セザルヲ得ズ。斯クシテ綴字改良ハ敎育上ハ固ヨリ商業上ノ問題タルニ至レリ。獨逸ハ一八八〇年及一九〇〇年ヲ以テ、佛蘭西ハ（獨逸ヨリハ狹小ナル範圍ニ於テ）一九〇〇年ヲ以テ之ヲ識認シソノ先驅ヲ爲セリ。而シテ一九〇六年ニ於テ大統領「ルーズベルト」ハ歐米言語學者ノ聲援ヲ藉リテ約三百語ニ對シ改良綴字ヲ實行セントシ、合衆國ノ公文書ニ之ガ使用ヲ命ゼリ。

綴字簡略ヲ目的トスル重ナル改革ニ包含セラルヽモノハ接尾語ノ撤廢、終リノ cd ニ代フルニ t ヲ以テスルコト、重複ノ子音ヲ廢スルコト、一般ニ終リノ音節ニ於ケル u ヲ廢スルコト、二重音 ae oe ヲ e ニスルコト且 ough ヲ o ニスルコトナリ。而シテ新綴字ノ數例ヲ擧示スレバ catalog, depresd, behavior, encyclopedia, phenix, tho 及 thorolyノ如シ。綴字改良ニ反對スル論者ハ曰ク(一)舊綴字ヲ以テ印刷セラレタル書籍ハ讀ムニ堪ヘザルニ至リ、一般ノ讀者ハ其書ヲ用フルヲ得ザルニ至ルベシ。(二)我現今ノ綴字ハ語源的ナリ、之ヲ廢スレバ社會ヨリ言語史ノ實物敎授例ヲ奪フニ至ルベシト。然レドモ此等ノ結果ハ實際ニ於テ論者ノ唱道スルガ如ク重大ノモノニアラザルベシ、且萬一此ノ如キ損失アリトシテモ利益ノ更ニ重大ナルコトハ主張スルヲ得ベシ。但シ實際的困難ノ解決ヲ要スベキモノアルハ勿論ナリ。標準發音的綴字ヲ設定スルニハ標準發音ノ承認ヲ要ス。然レドモ之ガ爲ニ聲音學ノ要求スルガ如キ嚴格ニ科學的ナル「アルファベット」ヲ使用スルニモ及バザルベシ。

如何ナル場合ニモ一私人及私協會ハ此ノ任務ノ遂行ニ適セザルベク、効力アル綴字改良ハ政府ノ方策タラザルヲ得ザルナリ。

三

書キ方ト發音トノ關係ハ國々ニヨリテ其事情ヲ異ニス。即チ或國ニテハ數世紀前ノ發音ニ隨ヘル字形ヲ今猶、一部分、書キ方ノ上ニ保存スルモノアリ。又或國ニテハ現在ノ發音ニヨリテ書キ方ヲ定ムルモノアリ。而シテ英吉利ト伊太利トハコノ反對ノ情態ヲ示セル好適例ナリ。英國ノ書キ方ニハモハヤ發音スルコトナキ文字ヲ綴リノ上ニ保存スル語甚ダ多シ。例ヘバ subtle, sign ノ b 及 g、knight ノ k 及 gh ノ如シ。又或文字ヲソノ固有ノ發音ニ依ラズ隨ツテ他ノ語ニ於ケル場合ト異ニシテ發音スル例亦少シトセズ。例ヘバ woman ニ於テ i ノ代ニ o ヲ laugh ニ於テ f ノ代リニ gh ヲ用フルガ如シ。斯ク書クトキノ文字ト話ストキノ發音トノ間ニ一致ヲ缺キ、又同一文字ニテ多クノ異ル音ヲ有スル如キハ英人ノ最モ不便トスル所ナリ。是ヲ以テサー、ウヰリヤム、ジョーンスヲ初トシテピットマン、エリス、グラッドストーン等相尋イデ發音表記主義ヲ原則トシテ英語正字法ノ改造ヲ唱道セリ。然レドモカヽル不便ナル英語正字法モ一面ニ於テ長所ナキニアラズ。學者ノ語源研究ヲ容易ナラシムル點是レナリ。此長所ハ正字法問題ニ於テ重キヲ置クベキカ、然ラズ。何トナレバ正字法ハ學者ノ用タルノミナラズ寧ロ一般國民ノ用ヲナスモノナレバナリ。

英國正字法ガ歴史的語源的學者的正字法ナルニ對シテ伊國正字法ハ發音的國民的正字法ト稱スルヲ得ベシ。伊國ニテハ殆ド完全ナル正字法ヲ採用ス。ソハ第一ニ各文字ガ唯一ノ音ヲ表ハス點、第二ニ各音ガ常ニ同一ニシテ異例ヲ生ゼザル點ニ存ス。故ニ今日話スガ如ク其儘之ヲ書クヲ得ベシ。而モ伊國ニテハ昔時話サヘスルモノニテ今日既ニ消エ失セタル音ハ一切語中ヨリ撤廢シタルノミナラズ、マタ音ノ用ヲ有セザルニ至レル文字ハ盡ク之ヲ除去セリ。彼ノ y. pl. th. ノ若キ即チ是ナリ。

佛國ノ正字法ハ英國ニ於ケルガ如ク甚シカラズト雖モ、既ニ死滅セル音ヲ書キ方ノ上ニ保存スル場合並ニ同一音ヲ表ハスニ種々ノ文字ヲ多樣ニ用フル例亦甚ダ多シ。之ニ反シテ西班牙語ハ千八百十五年以來伊太利ト同樣發音表記法ノ原則ニ隨ヘリ。

獨逸ノ正字法ニ關スル沿革ヲ按ズルニ、古代ニアリテハ話スガマヽニ書キ且語ノ變化ニ伴ヒテ字形ヲ變ジタルモノナルガ、宗教改革ノ時代ニ及ビ書キ方ハ漸次ニ語源的トナリ特ニルテルノ翻譯ニカヽレル聖書ヲ模範トシテ實際ノ言語ト隔離スルニ至リキ。即チ從前ノ「話スガ如ク書ケ」ノ原則ハ顚倒シテ「書クガ如ク話セ」トナレリ。而シテ此ノ二ツノ原則ハ正字

法ノ根本的規則タル「書キ方ト話シ方トヲ一致セシメヨ」ニ對シテ異リタル應用ヲナスモノナリ。其後正字法ノ統一ニツキテ諸種ノ企圖ヲナセシ人相尋イデ出デシガ、中ニモグリムハ語源ニ重キヲ置キテ之ヲ整理セント試ミ、ラウメルハ之ニ反對シテ發音ヲ本據トスベシト論ゼリ。コノ論爭ハ益々獨逸正字法ノ不安ヲ來シ、カバ之ヲ救ハンガタメニハノーベル高等教育局ニテハ千八百五十六年、ライプチッヒ教師組合ニテハ千八百五十七年、伯林オーベルレーレル組合ニテハ千八百七十一年新規則書ヲ公ニシ普魯西政府ハ千八百七十六年獨逸正字法ニ於ケル大體統一ニ關スル會議ヲ伯林ニ開キ、大學教授、學校教師、書肆組合並ニ印刷組合ノ代表者ヲ議員トシテ召集セリ。ソノ結果千八百七十九年並ニ同八十年ヲ以テ巴威耳普魯西公定規則書ヲ公ニシ其他ノ聯邦ハ些少ノ變更ヲ加ヘテ之ヲ採用スルニ至レリ。

四

正字法ハ發音的又ハ語源的タルヲ得ベシ。發音的正字法ニ於テハ一字一音ニシテ各音ニ對シ一定ノ文字アルベシ。嚴格ニ發音的ナル國語ハ存在セザレドモ某々國語例ヘバ伊太利語、獨逸語、古代希臘語、殊ニ梵語ノ如キハ此理想ニ接近スルモノタリ。而シテ此理想ニ最モ遠ザカルモノハ佛語、英語、西藏語ナリトス。近代ノ發音學者ハ發音ノ小異ヲ實際ニ表記スルヲ目的トシテ巧妙ナル方法ヲ發明セリ。然レドモ餘リニ精確ナル發音的正字法ハ學問上有益ナルモ實用ニハ適シ難シ。實用的表記法ハ大體ニ發音的ナラバ可ナリ。

語源的正字法ハ之ヲ概說スレバ古代發音ノ要素中ノ或ルモノヲ保存シテ書クノ方法ナリ。例ヘバ佛語ニ於ケル temps ナル語ノ綴字ノ如シ。是レ發音ハ tan ナレドモ拉典語ニテハ發音セラレ佛語ニテハ然ラザル p 及 s ナル子音ヲ含メリ。此ノ如キ正字法ハ勝手氣隨ノモノト云フベシ。殊ニ temps ノ s ノ如キハ拉典語ノ進入以來絶エズ保存セラルヽモノナレバ寧ロ自然的ト稱スベキモ、temps ノ p ノ如キハ一時實用上ニ撤去セラレ、後語源上ノ配慮ニ依リ復活セラレタルモノニシテ術學者ノ空想ニ基クモノナリ佛國ニ於テハ十四世紀前ノ文書ニ於テハ頗ル發音的ナリシニ後、語源上ノ配慮ニ依リ紊亂ヲ來セリ。十六世紀以來綴字改良論者輩出セシモ反對ノ徒アリテ失敗ニ歸シ以來合理的正字法ノ設定ヲ困難ナラシメタリ。十七世紀ニハ「アカデミー」ノ力ニ依リ公定ノ正字法ヲ見ルニ至リシガ、語源ニ拘泥シテ却テ正字法ヲ困難ナラシメタルガ如シ。後「ボルテール」氏ノ如キ大ニ批判論難セシ所アリト雖モ、「アカデミー」ハ其新辭書ヲ出セル都度比較的重要ナラザル改良ヲ施セルノミニシテ舊法ヲ踏襲シ來レリ。十九世紀ニ於テ改良案ノ提出アリシモ「アカデミー」依然動カズ。同世紀ノ終末

ニ於テ發音學者語學者並ニ佛語史家ニシテ更ニ起チテ正字法ノ論理的且穩健ナル簡略ヲ行ハントスル者顯レタリ。

歐米綴字改良事情追加（速記錄六一頁番外說明參照）

（獨逸正字法改良ノ事）

獨逸正字法ノ大體統一ニ關シ千八百七十六年普魯西政府ハ之ガ會議ヲ伯林ニ開キソノ結果同七十九年並ニ八十年ヲ以テ巴威耳普魯西公定規則書ヲ公ニシ、其他ノ聯邦モ大體ニ於テ之ニ準據スルコト、ナリシガ、猶幾多巨細ノ點ニ於テ一致ヲ缺クモノ多カリキ。是ヲ以テ識者ハ猶一層之ガ統一ヲ圖ルノ必要ヲ認メテ研鑽毫モ怠ルコトナシ。特ニヅーデン氏ノ編述ニカヽレル正字法辭書ハコノ方面ニ貢獻スルコト多キモノトス。其後官邊ニ在リテハ普魯西文部大臣ハ學校ニ於ケル正字法ト官文書トノ一致ヲ圖リテ時々之ガ訓令ヲ下ストコロアリ。ヴェルテムブルグニテモ公報ヲ以テ學校正字法ヲ刊行シ、且之ヲ以テ公文ニ有效ナラシメタリ。

一般ノ氣運斯ノ如ク學校正字法ト公文上ノ用法トハ漸次ニ相近接シ、終ニ最近ニ於テ千九百一年六月十七日ヨリ同十九日ニ亘リ、普魯西政府ノ發意ヲ以テ正字法會議ヲ伯林ニ開キ、其決議ニヨリテ全獨逸帝國ニ於ケル統一的正字法ヲ規定セリ。此規定ニヨリテコノ問題ニ關セル學校ト政府トノ不統一ハ除却セラレタルノミナラズ、從來各聯邦ニ於ケル學校正字法ノ上ニ存セル特異性モ亦一切消失スルコト、ナレリ。何トナレバ帝國及聯邦政府ノ公文ハ爾後此新正字法ノ規定ニ據ルコト、シ、同時ニ各聯邦政府齊シク學校敎授ニ於ケル書キ方ノ標準トシテ之ヲ承認シタレバナリ。

猶塊太利政府ニ於テハ伯林開設新正字法會議ノ際一人ノ委員ヲ派遣シ、コノ問題ニ關シテ獨逸ト一致ノ步趨ヲ取リソノ會議ノ決議ヲ承認シテ實行スルコト、定メ、瑞西聯邦政府ハ數年前ヨリ普魯西正字法ニ據リ來リシガ亦コノ新正字法ヲ採用スルコト、ナリ、ソノ他亞米利加在住ノ獨逸人間ニ於テモ北米獨逸語學校ニ於テモ殆ド一般ニ之ヲ採用スルニ至レリ。ヅーデン氏ノ獨逸語正字法辭書第七版（千九百二年出版）ハ前記新正字法ニ基キテ獨逸塊太利瑞西ニ有效ナル公定規則ニ從ヒタル者ナリ。右ハ重要ナル點ニ於テ殆ド全ク統一シタルモノナレドモ、詳シク言ハヾ重要ナラザル點ニ於テ各聯邦ノ學校正字法ニ於テ小異アルヲ免レズ。ソハ當分許容シテ用ヒシムベキノミ。

千九百一年獨逸語正字法會議ノ決議事項ハ從前ノ者ニ比シテ唯些少ノ修正ヲ加ヘタルニ過ギズ。玆ニ些少ノ修正トイフハ修正ノ原則ガ些少ナルヲ曰フノミ。此原則ニヨリテ爾來修正セラルベキ語數ハ決シテ僅少ナラザルナリ。今修正中主要ナル條項ヲ次ニ記スベシ。

一、thニ關シテ

他國語ヲ除キ、獨逸固有ノ語並ニ之ヨリ轉成セル語ニテtノ後ニ來ルhヲ省略スルコト

(例) Thal ノ代リニ Tal	Thran……Tran	
Thon……Ton	Thräne……Träne	
Thor(der und das)Tor	thun……tun	
Thür……Tür	Thaler……Taler	
thöricht……töricht		

一、phニ關シテ

外國語ヲ除キ、獨逸固有ノ語並ニ全然獨逸化セル外國語ハphノ代リニ總テfヲ用フルコト

(例) Epheu ノ代リニ Efeu	Phrasen……Frasen	
Rudolph……Rudolf	Elephenbein…Elefenbein	
Westphalen…Westfalen	Sopha……Sofa	
Elephant……Elefant		

一、sノ音ニ關シテ

Gaustür ノ如キ複合詞ヲ除キ tsノ前ニハ常ニ—ヲ用フルコト

(例) Haipe, toif

—ノ後ニeヲ脫スルトキハßニ變ズルコト

(例) augenneffener ノ代リニ augenneffener

然レドモ—ノ後ニeヲ脫スルトキハ—ハ其儘ナルコト

(例) Dreyfeiler ノ代リニ Dreyfiler

一、三箇ノ同一子音ノ連續シテ來ル場合

コノ場合ニハ其一ヲ省略スルコト

(例) Brennessel ノ代リニ Brennessel

Schifffahrt……Schiffahrt

然レドモ其綴ヲ分ツトキハ之ヲ省略スルコトヲ得ズ

(例) Brenn=nessel, Schiff=fahrt

一、「アポストローフ」ニ關シテ

前置詞ト冠詞ト相合シテ一語ヲナス場合例ヘバ ans ins durchs am beim mterem vom zum ノ外總テ音ヲ省略スルトキハ其省略音ノ代リニ「アポストローフ」ヲ施スコト

(例) heil'ge Nacht, golt's, ist's

一、母音ノ變化ニ關シテ

大文字ト小文字トヲ論ゼズ、總テ母音ノ變化シタル場合ハ「ウムラウト」ヲ施スコト

(例) Aeノ代リニÄ	aeノ代リニä
Oe……Ö	oe……ö
Ue……Ü	ue……ü

一、cニシテkノ音ヲ有スル場合又zノ音ヲ有スル場合コノ場合ニハkヌ及zヌニ改ムルコト

(例) Accordノ代リニ Akkord　Accentノ代リニ Akzent
Academie…Aktademie　Concert……Konzert

一、nissノ語尾ニ關シテコノ場合ニハnisニ改ムルコト

(例) Ergebnissノ代リニ Ergebnis
Erkenntniss……Erkenntnis

一、次ノ語ハ詞幹ニ於テ一ノ母音ヲ省クコト

baar, Heerd, Loos, loos, Maass,
seelig, Staar, Waare.

一、次ノ語並ニ之ヨリ轉成セル語ハdヲ省クコト

brodt, gesoheidt, Schwerdt, todt.

米國ニ於ケル英語綴字簡略問題ニ關シ昨明治四十年二月伊澤委員ヨリ米國大使館ヘノ照會ニ對スル同大使館ドッヂ氏回答ノ要領（速記錄六二頁番外說明參照）

英國及北亞米利加合衆國ニ於テ長ク問題トナリ居タル英語綴字簡略ニ關スル運動ハ凡三年以前アンドリュー、カーネギー及其他ノ資產家ノ出資ニ依リテ確立スルニ至レリ。

抑此運動ハ口語上發音セザル文字ヲ書方ニ於テ省クヲ目的トスルモノニシテ例ヘバ現在ノthrough及thoroughニ替フルニthruヲ及throヲ以テセントスルガ如シ、サレド此ノ如キ簡略綴字ハ其多クハ殆ンド三百年以前英國ニ於テ行ハレタル舊態ニ復スルニ過ギザルナリ例ヘバkissナル動詞ノ過去分子kissedガkistトナルガ如キ是ナリ。

此運動ハコロンビヤ大學教授ブランダーマシュース、ワシントンニ於ケルカーネギー學院長ダニエルコイットギルマン、オックスフォード大學教授ウォリヤムアルデスライト（有名ナル沙翁研究學者）ノ如キ卓絕セル學者及教育家ノ熱心ナル贊助ヲ受ケツヽアリ。

紐育、ボストン及其他亞米利加諸大市ノ教育局ハ此改革ヲ拒否セシガ大統領セオドールルーズベルトヲ初メトシテ此改革ノ首唱者ハ其改良セントスル英語三百字ハ早晩一般ニ新正字法ニ於テ使用セラルベシト信ズルナリ。

凡一年前大統領ルーズベルトハ白宮ノ通信ニ此簡略綴字ヲ採用セシガ上下兩院ハ兩院ノ記錄ニ關スル範圍ニ就テハ此變更ヲ否決セリ。而シテ此簡略綴字ハ公用ニ關スル範圍ニ於テハ目下唯白宮ニ於テノミ使用セラルヽモノヽ如シ。

（備　考）

○千九百六年十二月十五日ノ紐育トリブューン紙上ニ議會ト綴字ト題シテ揭載スル所左ノ如シ。

（十二月十四日ワシントン發）

綴字簡略問題ニ關スル最後ノ措置トオボシキモノ本日執行セラレ、豫算委員長トーニー氏ノ動議ニヨリテ議會ハ滿場一致ヲ以テ立法、行政、司法部豫算中ヨリ綴字ニ關スル費目ヲ削除セリ。此ニ至リタルハ大統領ガ印刷官ニ發シタル命令ヲ撤回スベク且本件ニ關スル前日ノ決議ヲ裁可スベキ約束ヲナセシニヨルモノナリ。

公文書ノ綴字ニ關スル議會ノ措置如何ニ關ラズ、白宮ヨリ發セラルヽ一切ノ通信ニハ依然簡略字ヲ使用セラルベシ。サレバ簡略字ノ使用範圍ハ白宮ト諸官廳トノ間ニ行ハルヽ一切ノ通信、大統領ノ私信ニハ勿論其他苟モ印刷局及ソノ支局ニ於テ印刷スルヲ要セザル一切ノ通信ニ及ボサルヽナリ。

○又某新聞紙上ニ綴字ニ於ケル健全ト題シテ揭載スル所左ノ如シ。

大統領ノ命令ハ一擧ニシテ英語ノ綴字ヲ改造スルニアリテフ矯激論者ノ迷夢ハ今ヤ已ニ醒メタルヲ信ズ。蓋シ大統領自身ハ決シテ斯ノ如キ意志ヲ有セザリシナラム。綴字ノ新舊兩形ニ關スル大統領ノ私見ハ執レニアリトスルモ氏ハ決シテ最終ノ審判者タルノ意志ナカリシナリ。而シテ公文書ノ綴字ニ關スル氏ノ命令ハ單ニ試驗的ノモノニシテ若シ一般ニ歡迎セラレザル時ハ直チニ之ヲ撤回セムトスルノ意志ヲ明ナラシメタリ。思フニ綴字簡略論者ノ失敗ハ最モ明瞭ニシテ又大統領自身ノ最モヨク認ムル所ナレバ、氏ハ屑ク該命令ヲ撤回シテ此事件ヲ終結セルナリ。

大統領ノ命令若クハ議會ノ決議ニヨリテ綴字（其他言語文章等）ヲ改造スルハ固ヨリ「簡便」ナリト雖モ之ヲ以テ決シテ健全ナル擧トハ云ヒガタシ、何トナレバ言語ハモト是レ國民一般ノ慣用シ、國民一般ノ發達變化セシムベキモノニシテ其變更ハ慣用ト公認トニヨリテ漸次ニ行ハルベキモノナレバナリ。此理ヲ認メ公文印刷物ノ綴字ヲ標準辭書ニ定ムル所即チ教育アル民衆一般ノ慣用ト一致セシムルハ明知穩健ナル大統領及議會ノ本務ナリ。

「改良三百語表」ノ唱道者ガ用フル一般論法ハ一見簡便ナルガ如ク思ハルレドモ實ハ頗ル薄弱ナリ。此等三百語ノ殆ド半數ハ永年慣用ノ結果漸次一般ニ認メラルヽニ至リシ自然的綴字改良法ニ從ヒテ簡綴セラレタリト雖モ、他ノ半數ハ千人中ノ一人モ未ダ曾テ考ヘ及バザルガ如キ突飛專斷ナル方法ニ依リテ綴ラレタリ。而カモ「簡綴字論者」ハ前者ヲ論據トシテ得々全部ノ辨明ヲナサムトス。果年ノ結果oeraガeraト改綴セラルヽニ至リシガ故ニ直チにthroughヲthruト改ムベシト云ヒ、時代ノ推移ニヨリ漸次多數ノ變更ヲ見ルニ至リシヲ以テ更ニ之ト